

工業關係者により創設された社團法人の工業家代表機關である、事業として關稅、通貨、投資、内國稅、勞銀等の諸問題を調査研究して意見を發表し同時に内鮮工業機關と提携し日滿工業界の諮問機關となつてゐる

(大連工業會) 大正八年十月創立され大連及びその附近に工場を経営するものを以て組織されてゐる(南滿洲工業者懇談會) 大正十五年創立し事務所を奉天に置き労働者の指紋採集その他の目的を遂行し、會員は南滿各地で職工人夫その他の使用人を備役する工業家又は企業家を以て組織してゐる以上のほか工業關係團體として滿洲技術協會、滿洲電氣協會、滿洲土木建築業協會、滿洲建築業協會、大連油房聯合會、滿洲發明協會、滿洲木材同業組合聯合會その他がある

滿洲國工業關係調查

滿洲國實業部臨時產業調查局は康徳元年十二月設立され五箇年調査

計畫に基き事業を進めたが、大體基礎調査を終り且つ滿洲國の第二次五箇年計畫の具現に對應しての政府行政機構の改革と同時に即ち康徳四年七月一日をもつて解消したが、今後は産業部内各所に於て從來の基礎調査に基き更に細密な調査が續行されることになり、資料の保存、各司との調査連絡には官房文書科及資料科が當つてゐる調査實施事項は左の如くである

全國主要工場調査

康徳二年より臨時産調に於て各種工業の大勢推移を検討し、工業行政の基本原料に供與すると共に總動員關係上の必要に應ずるため實施され、紡織金屬及び機械、窯業、化學、食料品、製材及び木製品、雜工業の七に分割して調査し康徳三年七月完了した

重工業特殊調査

各種工業中生産額の大なるもの、國防上重要なもの、貿易上重要なもの、海外特に日本及び支那に競争工業を有するもの、國民の生活維持に

重大なる關聯を有するもの等、特に重要と認めらるる工業を選擇し系統的に其の内容を検討し、基本資料を得る爲に實施された、而も重要産業統制、關稅改正、治外法權撤廢後に於ける對策及工業動員上貴重なる資料たるべきものとして康徳三、四年度に行はれた重要工業の範圍は左の如くである

炸藥系及炸藥織物工業、綿糸紡績業、織物業、糸布染色業、メリヤス製造業、鐵鋼及輕金屬工業、鑛油製造業、パルプ工業、油脂工業、人造脂肪製造業、製粉業、酒類製造業、製鹽業、ソーダ工業、マッチ製造業、煙草製造業

發電水力資源調査

康徳四年度迄に調査を實施したものは左の如くである

一、鴨綠江水系(通化—桓仁—沙尖子—渾江口)の水準測量發電地點の選定、地形、地質、流量發電量、堰堤土木工事の概算、電力キロ當り原價算出等調査

二、鴨綠江本流に於ける發電地點の流量測定及堰堤豫定地點並に地質調査
三、第二松花江(小峰門—大賚林)の流量測定及堰堤豫定地點並に地質調査
四、牡丹江(敦化—牡丹江—三姓)の水準測量及堰堤地點選定調査

東京市產業局在外機關

出張所△新京出張所滿洲國新京商埠大馬路三二號平安ビル町田克巳△天津出張所中華民國天津日本租界曙街六高橋鐵道△雄基出張所朝鮮咸鏡北道雄基港本町通久津安一△上海出張所中華民國上海南京路二四一號哈同大樓丹羽篤△マニラ出張所マニラ、サンタクルス、アヴェンダ・リザル八四八稻田茂△關託△中華民國上海南京路二四一號哈同大樓東京市海外商品館協會上海商品館△滿洲國奉天浪速通四二東京東亞輸出組合奉天出張所△滿洲國營口南新街吉興達内東京東亞輸出組合營口出張所

東京東亞輸出組

合在外機關

出張所△奉天出張所滿洲國奉天浪速通四二大間知久兵衛△大連出張所關東州大連若菜町一二二林善兵衛△營口出張所滿洲國營口南新街吉興達孫輔忱
關託△天津日本租界曙街六東京市產業局天津出張所高橋鐵道△新京商埠大馬路平安ビル東京市產業局新京出張所町田克巳△朝鮮咸鏡北道雄基港本町通東京市產業局雄基出張所久津安一△上海南京路二四一東京市產業局上海出張所丹羽篤△上海英租界九江路五三七天壽藥房梅野正秀△漢口第三特別區怡和路一三興華貿易公司△湖南省長沙大平門外大華洋行△廈門水仙路隅田洋行中村健二△汕頭廣實堂高林義三郎

外務省在外商務

職員

△大使館商務書記官英國倫敦本重二△同米國紐育井上豊次△同獨逸

伯林首藤安人△同ソ聯邦モスコイ田中耕作△同支那上海四川路一四九岩井光次郎△公使館商務書記官アルゼンチン國アエノス・アインス中村義雄△商務副領事支那天津(缺)△同カルカッタ杉田祥夫△同關領印度バタビヤ(缺)

滿洲輸入組合と聯合會の概要

滿洲輸入組合
滿洲に於ける各地輸入組合の設立は昭和二年より同五年迄の間に滿洲鐵道株式會社の援助の下に各地の輸入商によりて結成されたもので、所在地は大連、旅順、大石橋、營口、鞍山、遼陽、奉天、撫順、本溪湖、安東、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、新京、吉林、哈爾濱の十七都市で本邦商品の滿洲輸入増進と在滿邦商の振興を圖るを目的とし、産業助成團體として組合員の發展、組合事業の大成に精進して居るのであるが、組合の業務のうち主なるものを擧げると一、組合員に對する仕入資金の貸

附並に保證、これに聯合會より借入れた滿鐵融通資金と組合員の出資金を基として貸附又は支拂の保證を爲す、而して前記の貸附又は支拂の保證は組合員の仕入商品代金の仕拂に對してのみ行ふものであつて、尙資金は商團員に限ることになつてゐる、商團は組合員三名以上を以て組織し、各連帯保證により相互扶助する仕組のものであり、恰も徳川時代の五人組制度の精神を受け入れたもので、これは輸入組合の一大特色である然し貸付に對しては指定銀行と協議し、出納事務は銀行をして行はしむることとなつて居り、組合は貸附金を直接に組合員に交附することなく銀行を経由して賣主に送金する方法で、この方法を銀行介在と稱しこれ亦組合の特色である二、大藏省の低利資金は店舗の擴張設備の整備又は共同利益の増進及び販路の開拓施設等に限り貸附を行ひ、前條の仕入資金貸附とは全然其の性質は異つてゐる三、輸入組合は仕入の斡旋及び委託販賣の仲介をするが、これは業務中の主眼を爲すもので、組合は最も注力して居る、仕入の斡旋、委託販賣は組合に限らず、組合員外にもなし、この仕入斡旋に對しては前條の貸附制度も附帶して居り、貸附、保證は仕入業務に對する從的施設になつてゐる四、其他組合は全業務を通じて何處までもサービス機關として使命を果すべく努力して居り、これ等のために常に細心の注意を拂つてゐる、其の一、二の例は販路の開拓擴張のために背後地に旅商隊を出し、運賃諸掛軽減のために聯合會、滿洲輸入會社と協力し、又商店經營の合理化の爲に購買傳票も發行してゐる、而して組合の仕入斡旋業務には輸入會社が介入するが故に組合の理事は又一面輸入會社の支店長の職務をも執ることになつてゐるから輸入會社と資本關係は直接の關係なきも組合と輸入

會社とは絶對不可分の關係となつてゐる

滿洲輸入組合聯合會

滿洲輸入組合聯合會は本邦商品の滿洲輸入増進を目的として昭和三年八月南滿洲鐵道株式會社の援助の下に各地組合から組織されたもので、其事業としては所屬組合の指導監督及共同利益の増進所屬組合に對する資金の貸附、滿洲輸入株式會社に對する投資、見本市の開催、商業、商品に關する研究等であつて聯合會としては各組合に資金を貸附け又は共同利益増進の施設をなしこれが指導監督に當り組合側は聯合會を通じて共同利益の増進、組合事業に對する諸種の助成を受けるなど、兩者は關係は全く有機的に結合され日滿兩國關係の緊密と滿洲國發展の急激に鑑み滿鐵、滿洲國の援助の下に各地に滿洲輸入組合を結合せしめこれを内地組合及び各輸入會社と提携せしめ、其の助成發達を圖る計畫を進めてゐる

各地商業組合

商業組合は昭和十一年四月齊々哈爾濱に、七月に錦州に設立した商業組合は組合の業務としては滿鐵融通資本と大藏省の低利資金の分配を爲さず、即ち資金貸付が主眼でなく、仕入斡旋による商店經營を本領として本邦商品の改善を本領として本邦商品の輸入増進と邦商の發展を助成する組合事業の使命に基づいてなされるもので、斯種の組合は漸次滿洲奧地に進出する計畫である

滿洲輸入會社

滿洲輸入組合聯合會は各地組合と連絡して組合員の仕入の斡旋をなすが此の業務は組合業務中最も重要なものであるので輸入會社を設立し此の業務を移管し發展を期してゐたが、會社は昭和十年七月に設立、資本金は當時四十萬圓であつたが、昨年増資し五十萬圓とし茲數年間毎年増資を實行する豫定である、會社は資本金は小さいが、當社は組合支拂保證に對し參加保證をなし當社經由組合仕入に對する保證力は組合出資金二百六十萬圓及其の積立金六十五萬圓合計三百二十五萬圓と輸入會社の資本金とを合せ總計三百七十五萬圓である

日本鐵鋼販賣聯合會規約

第一章 總則

第一條 本會は本會に所屬スル各種共同販賣組合ノ統轄機關ニシテ共同販賣組合ノ組合員ヲ以テ組織ス
第二條 本會ハ鐵鋼ノ生産及輸出ノ入等供給ニ關スル一般的事項並ニ其ノ價格ニ關スル根本方針ノ決定、配給ノ調整、各組合ニ於

イテ解決シ得ザル紛争ノ處理、組合員ノ加入並ニ除名及調査統計等總テ各組合共通事項ノ外共同販賣組合ノ規約又ハ決議ニ依リ本會ニ委託セラレタル事項ヲ審議決定スルヲ以テ目的トス
第三條 本會ノ名稱ヲ日本鐵鋼販賣聯合會トス
第四條 本會ノ事務所ヲ東京市ニ置ク
第二章 機關
第五條 本會ニ左ノ機關ヲ置ク
一、委員總會ニ、常務委員會
第六條 委員總會ハ定時及臨時ノ二種トシ定時總會ハ五月及十一月ニ開催シ臨時總會ハ常務委員會ガ必要ト認メタルトキ若クハ會員四名以上ノ請求アリタルキ之ヲ開催スルモノトス
第七條 委員總會ハ會員ヲ推薦シタル委員ヲ以テ之ヲ構成ス
會員ヨリ推薦スル委員ノ數ハ本會統制品種ノ前年ニ於ケル生産總數ニ應ジ之ヲ決ス
會員ハ豫メ委員代理三名以内ヲ推薦シ當該委員差支ノ場合其ノ權限ヲ代行セシムルコトヲ得
第八條 委員總會ハ本規約及委員

總會ノ決議ニ依リ常務委員會ニ委嘱シタル事項ヲ除キ總テ本會ノ運用ニ必要ナル一切ノ事項ヲ議決ス
委員ノ互選ニ依リ委員長一名ヲ選出シ本會ヲ代表セシム
第九條 常務委員會ハ委員總會ニ於テ互選セラレタル會員六社ノ委員ヲ以テ之ヲ組織ス
二名以上ノ委員ヲ推薦セル會員ヨリ委員長ヲ選出セル場合ハ他ノ委員モ亦常務委員トス、常務委員ノ任期ハ一箇年トス但シ重任ヲ妨ゲズ、常務委員中ヨリ專務委員一名ヲ選任シ業務ヲ掌掌セシム
第十條 常務委員會ハ本會ノ日常ノ業務ヲ處理スルノ外委員總會ヨリ委嘱セラレタル事項ヲ議決ス
第十一條 常務委員會ハ毎月一回之ヲ開ク但シ必要アル場合ハ臨時開催スルコトヲ得
委員長ハ常務委員會ヲ代表ス

第二章 事務局

第十二條 委員總會及常務委員會ノ決議ハ第二十九條及第三十條ノ場合ヲ除キ總テ會員ノ一致ヲ原則トス但シ意見ノ一致ヲ見ザル場合ニ於テハ委員ノ表決權總數ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス
委員ノ表決權ハ當該委員ノ所屬スル會員ノ本會統制品種ノ前年度ニ於ケル總生産總數ヲ基準トシ最初ノ五萬圓以下及五萬圓ヲ増ス毎ニ一票トス但シ一會員ヨリ二名以上ノ委員ヲ推薦セル場合ニ於テハ委員ノ表決權ハ重複スルコトナシ
本條第二項但書ノ規定ハ第八條及第九條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三章 事務局

第十三條 本會ニ事務局ヲ置キ左ノ五部ニ別ツ
△總務部△販賣管理部△統計部△調査部△審査部
第十四條 總務部ハ文書ノ受付發送、官廳其他ヘノ報告書類ノ送

達、信認金及積立金ニ關スル事務、委員總會及常務委員會ノ開催ニ關スル事務等總テ本會ノ庶務ヲ所管ス
第十五條 販賣管理部ハ本會所屬ノ各共同販賣組合ヨリノ販賣ニ關スル諸般ノ報告ニ基キ本會ノ規約並ニ決議ノ實行ニ關スル調査、二以上ノ組合ニ亙ル注文ニ關スル組合聯合會ノ開催及配給ノ調整ニ關スル事項等總テ價格並ニ販賣ニ關スル事項ヲ所管ス
第十六條 統計部ハ本會所屬ノ各共同販賣組合ヨリノ生産輸入及販賣數量ノ報告ニ基キ統計ヲ作成スルノ外鐵鋼供給ノ調査ニ關スル一般的事項ヲ所管ス
第十七條 調査部ハ總テ鐵鋼ニ關スル調査事項ヲ所管ス
第十八條 審査部ハ各共同販賣組合ヨリノ抗訴事務一切ヲ所管ス

第四章 共同販賣組合

第十九條 本會ハ所屬組合ガ本會ノ規約又ハ決議ニ違反シタル場合ハ常務委員會ノ決議ヲ以テ當該組合ニ對シ適當ノ處置ヲ講ゼシムルコトヲ得
第二十條 前條ニ於ケル常務委員會ノ命令ニ對シ當該組合ヨリ抗議アリタルトキハ常務委員會ハ直チニ委員總會開催ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス
第二十一條 本會ノ所屬組合又ハ其ノ組合員ヨリ當該組合ノ規約ニ基キ訴アリタル時ハ委員長ハ之ヲ裁決スル爲直チニ委員總會ヲ召集スルモノトス
本會ノ決議ヲ不當ナリトスル所屬組合ヨリノ抗議モ亦同ジ
第五章 會員ノ他ノ品
種製造ニ關スル義務
第二十二條 本會員ハ全面的協調ノ精神ニ基キ他ノ品種製造ニ關シ左ノ各項ノ義務ヲ負フモノトス
一、本會所屬ノ一ノ組合ニ參加

セルモノハ本會統制品種ニ付テ
ハ他ノ組合ニモ必ラス参加スル
コトヲ要ス

一、本會統制品種並ニ本會員ノ
製造スル品種ニシテ自己ノ未ダ
製造シ居ラザルモノニ付製造セ
ントスル場合ハ本會ノ承認ヲ要
スルモノトス

三、本會員ノ製造セザル品種ヲ
新ニ製造セントスル時ハ豫メ本
會ニ届出ヅルモノトス

第六章 報告並ニ監督

第二十三條 本會員ハ本會委員總
會ノ決議ニ基ク必要ナル諸般ノ
報告ヲ提出スベキモノトス

第二十四條 本會ハ委員總會ニ於
テ指定シタル者又ハ委員ヲシテ
定時又ハ隨時ニ所屬組合又ハ會
員ノ帳簿及書類ノ檢閲又ハ檢査
ヲ爲サシムルコトヲ得、此ノ場
合會員ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第七章 保認金及積立金

第二十五條 會員ハ信認金トシテ
金五萬圓也ヲ本會ニ預ケ置クモ
ノトス

第二十六條 會員ハ本會ノ經費ヲ
支辨スル爲本會統制品種ノ生産
高一種ニ付金十錢以内ヲ釀出ス
ルモノトス但シ其ノ金額ハ委員
總會ニ於テ決定ス

第八章 計算

第二十七條 本會ノ決算ハ毎期末
之ヲ行フ

第二十八條 委員長ハ左記書類ヲ
定時總會ニ提出シ其ノ承認ヲ求
ムルコトヲ要ス

一 業務報告書

二 財産目錄

三 貸借對照表

四 收支計算書

第九章 罰則及除名

第二十九條 會員ニシテ本會ノ規
約又ハ委員總會ノ決議ニ違反シ
タルトキ當該組合員ヲ除キタル
總會ノ決議ニ依リ之ヲ處分ス

第三十條 委員總會ノ決議ニ依リ
罰金ヲ課スルトキハ總會ハ罰金
額ヲ定メ即時ニ之ヲ徴收スルモ
ノトス

罰項罰金ヲ一定期間内ニ支拂ハ
ズ

ザルトキハ本會ハ第二十五條ノ
信認金中ヨリ差引キ之ニ充當ス
ルコトヲ得、尙不足セル時ハ當
該會員ハ即時現金ヲ以テ支拂ヲ
ナスモノトス、第二十五條ノ信
認金中ヨリ罰金ニ充當シタル金
額ハ直チニ現金ヲ以テ當該會員
之ヲ補充スルモノトス

第三十一條

本會ノ所屬組合ヨリ
ノ申告ニ基キ委員總會ノ決議ヲ
以テ除名ヲ決定セラレタル當該
組合員ハ會員タルノ資格ヲ失フ
ト共ニ他ノ組合員タルノ資格ヲ
モ失フモノトス

第三十二條 委員總會ニ於テ除名
セラレタル會員ハ其所屬組合ノ
組合員タル資格ヲ失フモノトス

第三十三條

除名セラレタル會員
ノ信認金及釀出金ハ之ヲ沒收ス

第十章 加入、脱退及解散

第三十四條 本會ノ所屬組合ニ新
ニ加入シタルモノハ本會ノ會員
タルモノトス

第三十五條 本會ノ所屬組合ヲ脱
退シタルモノハ會員ノ資格ヲ喪

失ス
第三十六條 本會ハ脱退者ニ對シ
脱退當時決算ヲナシ信認金ヲ
返還スルモノトス

第三十七條

本會解散ノ場合ハ直
チニ清算人ヲ選定シ清算ニ當ラ
シメ解散當時迄ノ釀出金ニ付テ
ハ其釀出額ノ比率ニ應ジ清算ヲ
ナシ殘餘財産ニ付テハ平等ニ分
配シ信認金ハ會員ニ返還スルモ
ノトス

第三十八條 本會ノ存續期間ハ昭
和十二年七月一日ヨリ滿三年
間トス

第三十九條

本會ノ年度ハ毎年四
月一日ニ始リ翌年三月末日ニ終
リ之ヲ二期分トス

第四十條

第一期 自四月一日至九月末日
第二期 自十月一日至翌三月末日
以上契約締結ノ證トシテ各會員左
ニ記名捺印シ本書ニ通ヲ作成シ各
會員一通ヲ保有スルモノトス

昭和十二年

商工家 北支進出要解

日滿工業新聞社編

躍進

日滿支に
儼たる存在



購讀料 一ヶ月金五拾圓
半年金三拾圓
一年金六十圓

他の追隨を許さぬ 本紙の特色

地鉄	電化	電電	造鍛	工機	一
金鋼	鋼學	機氣	船工	具械	股
鋼鋼	鋼鋼	鋼鋼	鋼鋼	鋼鋼	業
經內	官官	購購	世世	商商	相相
濟外	公公	買買	果果	況況	燃燃
電工	特特	入入	知知	出出	料料
報業	報業	報業	報業	報業	報業

日滿工業新聞社

大阪一西區昭和通・東京一麹町區有樂町
滿洲總局 各地支局
新京 七馬路(永康ビル)
大連・奉天・名古屋・神戶
瀋陽・廣島・京城・臺北・上海

商工家北支進出要解

第一章 日本が支那に持つ權益

我國の對支權益は一八七一年日清戰爭によつてその端を開かれたものであつて、所謂馬關條約により朝鮮の獨立が承認され、遼東半島、臺灣、澎湖島が割讓され、沙市、重慶、蘇州、杭州の各地が初めて開放されたのである、爾來我國の權益は幾多の事變によりその都度種々の變遷を見たのであるが、世界大戰以後にあつては經濟的進展特に顯著なるものがあり、瀋陽橋に端を發した支那事變は實に彼の我が正當なる利權侵害に依るものなるは明白なる事實である、左に我國の對支經濟權益の全貌を詳述する

1、支那に對しどれだけ投資額を持つか

A 紡績業 我國の投資は之を我國の直接事業投資及び我國の支那會社への投資に大別される、而して兩者何れも今や殆ど滿洲に集中され對支投資は殆ど停止の状態にあるが、その間見るべきものは前者、即ち直接事業投資としての紡績資本の進出である、綿糸紡績工業は支那近代工業中率先して興つたものであり、その起源は一八八二年の古きに發しその發達の當初は英國が絶對的優位であつたが、今日日支兩資本の支配下にあり、全支紡績の九六%を占めるに至つたが、そのうち我國は四二%を占めて、斷然他國の追隨を許さない現況にある、殊に近年日本の青島に於て在華紡績の増設を圖り、又天津の裕元、寶成、北洋等の諸支那會社を買収する等益々その發展を見るに至つて居る、尙ほ支那に於ける日本の工業設置に對する法的基礎は日本人(そして總ての外國人)が支那に於て工場を所有し經營する權利を約諾したる下記の條約諸項に依る

下關係約第六條第四項(明治二十八年) 日本國民ハ清國各市場開港地ニ於テ自由ニ各種ノ製造業ニ從事スルコトヲ得ベク又所定ノ輸入
商工家北支進出要解

税ヲ拂フノミニテ各種ノ器械類ヲ清國ニ輸入スルコトヲ得ベシ清國ニ於ケル日本臣民ノ製造ニ係ル一切ノ貨品ハ各種ノ内國運送内地稅賦課金取立金ニ關シ又清國內地ニ於ケル倉入上ノ便宜ニ關シ日本國臣民方清國ニ輸入シタル商品ト同一ノ取扱ヲ受ケ且ツ同一ノ特典免除ヲ享有スベキモノトス

日清通商條約第四條 日本國臣民ハ其家族雇員及僕婢ト共ニ外國人ノ居住貿易ノタメ開キ又ハ將來開クベキ處ノ清國ノ諸港諸市ニ往來シ住居シ商工業製造業ヲ營ミ又ハ其他ノ一切合法ノ職業ニ從事シ且ツ商品及携帶品ヲ搭載シ、前記諸開港ノ間ヲ隨意ニ往來スベク(下略)

B 其他諸種製造業 この他、我國の直接事業投資として青島に製糖工場、窯業場、天津、上海、濟南に燐寸工場、天津、青島に煙草工場、上海に於ける製氷會社、麥酒會社等あり、何れも同條約に基くものである

C 電氣事業 我國にとつて、關係最も密接なるものは北支、殊に河北省であるが、現在電氣事業として稍進歩せるは北京、天津を中心とする地域に止まるやうであり、他は炭礦業者又は工場經營者が副業的に電燈を供給して居る位のものである、尙この地方の電氣料金は頗る高く我國のそれと比較して格段の相違あることは將來この地の開發に當り低廉なる電力供給の必要を致ふるものである、我國の關係電氣事業中主なるものは次の如し

▲我國が關係する電氣事業

名	稱	設立年次	資本金	發電量	經營		
河	北	省	山海關電燈股份有限公司	一九二二年	100,000元	三、五六KW H	日支合辦
山	東	省	天津 共益會	一九三三年	1,100,000元	三、八〇KW W	日 本
合	計		膠澳電氣股份有限公司	一九二二年	2,000,000元	三、八〇KW W	日支合辦
			魯大煤礦公司	一九三三年	2,500,000元	七、〇〇KW W	日支合辦
			博東鐵業公司	一九三三年	1,500,000元	一、〇〇KW W	日支合辦
			合 計		7,100,000元	一七、七六KW W	

D 石炭鑛業 紡績企業を除く其他の種々なる下事業投資は皆「我國の支那會社への投資」の形式を取つて居ること先づ特記して置かなければならない、支那に於ける石炭鑛業は鐵鑛業と共に支那鑛業中最も重要なるものであつて、その出炭高は一九三三年には一、八〇〇噸

一九三四年には總數三十三萬噸、年産二千萬噸を超えて居る、そのうち七炭鑛は外國資本の支那會社への投資に依るもので、その額實に全支出炭高の三九・三%に及ぶ、列國はかくて民國三年支那鑛業條令其他の諸關係法規を遵守し「外國人ノ出資分擔額ハ資本金ノ十分ノ五ヲ超エザルコト」を條件として投資をなして居るが、我國は出資高に於て第二位を占むるものである、而も第一位たる英國の六分の一にも足らざるを見ればその現況はおして知るべきであらう、今主なるものを掲ぐれば

▲日本の投資になる支那石炭鑛業

名	稱	資本額	年産出高	生産能力	經營		
魯	大	公司	2,500,000元	5,600,000噸	800,000噸	日支合辦	
博	東	公司	1,500,000元	1,100,000噸	110,000噸	日支合辦	
博	東	煤礦公司	1,500,000元	1,100,000噸	110,000噸	日支合辦	
魯	大	公司	2,500,000元	5,600,000噸	800,000噸	日支合辦	
坊	子	炭田				日支折半	
南	炭	礦				110,000噸	日支合辦
西	炭	礦				100,000噸	日 本
章	邱	炭田				100,000噸	日支合辦
旭	華	礦業公司				100,000噸	日支合辦
西	部	西山炭田				100,000噸	日支合辦
楊	家	地煤礦公司				100,000噸	日支折半
合	計					4,100,000噸	2,900,000噸

尙この他河北省の臨城、怡立、正豊の諸公司は日本系と目されてゐる、そのうち北支に存するものを詳述すれば次の如し

▲北支に於ける日系石炭鑛業

E 鐵鑛業 支那の鐵鑛企業の主要なるものは殆ど日本と何等かの關係を有してゐるものと見られてゐる、即ち北支鐵鑛の八〇%を占める山東省の金嶺鎮は魯大公司の所有するところである、又長江區域の大冶、當塗、繁昌等の各鐵山、湖北省營の象鼻山は日本と供給契約を結んでゐるが、このうち一九一三年の協定「同會社ハ日支兩國ノ合辦トシ日本國以外ノ外國ノ資本ヲ同公司ニ入レザルコト」に基く漢冶萍公司への借款は一九三〇年末に於て約四千萬圓と見積られてゐる、この借款契約に依り鐵石及び銑鐵の日本政府への供給確保がされたこと著明であり、この他北支の龍烟鐵鑛も最近日支共同開發計畫下にある

F 鐵道事業

日本は京漢、北寧鐵道の一部借款、京綏鐵道への列國との混成借款、膠濟鐵道への單獨借款、濟順未成線借款、滄石線への借款協定等にて總計六千四百萬圓を有するにすぎず而もこれらのものが北支に集中しつつあること注目すべき事である、尙ほ中、南支に於

ける唯一の鐵道として、一九一四年當時五百萬圓の借款より成る南潯鐵道がある、當初南潯鐵道公司は東亞興業會社から二百五十萬圓、一九一八年六十七萬九千圓、そして一九二二年に百五十萬圓を借入れた、その他一九一五年三井物産から車輛購入のための八萬七千圓の借款があり、このうち約六萬圓は現存してゐると報告されてゐる、従つて一九一四年の未償額をも加へて日本の同會社への投資は千七十七萬九千六百五十圓と推算されてゐる

▲支那に於ける日本投資關係鐵道

鐵道名稱	延長軒數	借款契約額	資本關係
北支			
濟順鐵道	壹拾軒	10,000,000圓	未成
京漢鐵道	一三三軒	10,000,000圓	正金銀行
中南支			
京綏鐵道	三三軒	3,000,000圓	東亞興業
膠濟鐵道	四三軒	40,000,000圓	日本政府
南潯鐵道	二六軒	10,750,000圓	東亞興業

G 航空事業

日本はその地理的優位に在るに拘らず從來支那の航空界には一指も染めなかつた、最近に至り北支を中心として、資本金五百萬元日支合辦惠通公司と折半出資、北京、承德、張家口を連絡、又錦州、大連とも定期飛行を行つてゐるが、將來は直接日支の航空連絡に當るものと見られてゐる

H 通信事業

日本は支那に於ける電信、ラヂオ及び電話の發達に關與すること比較的に少なかつた、下に擧げた支那側の三つの債務は、この領域に於ける日本資本關係の全部である

- 一、一九一八年二月二十一日、支那海軍部と三井物産會社間に締結された無電契約にて一九三一年一月一日現存債務額は五百二十一萬九千四百圓とされてゐるもの
- 二、一九一八年十月二十五日の一千萬圓電話擴充借款にて一九三一年一月一日に於ける現存債務額は一千九百八十九萬四千圓とされてゐるもの
- 三、一九二〇年二月十日に締結された一千五百萬圓有線電信擴張改良費借款にて一九三一年一月一日の現存債務額一千三十二萬圓と推算されるもの(以上レーマー氏調による)

I 金融

朝鮮銀行、臺灣銀行を初め十一行が内地に成長したる巨大資本の延長として、政府自身の積極的活動を先頭に、各所屬要の地に於て爲替業務、諸貸付事務、借款引受等に掌りつゝある、

▲在支日本諸銀行一覽

銀行名	設立年次	公稱資本金	拂込資本金	本店所在地	在支、支店所在地
朝鮮銀行	一九一	40,000千圓	35,000千圓	京城	上海、天津、青島
臺灣銀行	一九〇	15,000	13,350	臺北	廣東、福州、漢口、廈門、香港、上海、汕頭
天津銀行	一九〇	2,500	2,500	天津	北京
漢口銀行	一九〇	1,000	1,000	漢口	上海
三井銀行	一八九	100,000	60,000	東京	上海
三菱銀行	一八九	100,000	63,000	東京	上海
正隆銀行	一九〇	100,000	55,000	東京	天津、青島
上海銀行	一九〇	100,000(元)	100,000	上海	上海
住友銀行	一八九	50,000千圓	50,000千圓	大阪	上海
橫濱正金銀行	一八九	100,000	100,000	橫濱	廣東、漢口、香港、北京、上海、天津、青島
濟南銀行	一九三	100,000	100,000	濟南	青島

以上種々なる投資借款に依りて我國は鑛山採掘權、供給優占權、經營參加權、交通利權等の經濟的權益を獲得してゐる、しかも上海の紡績工業を除いては、それ殆ど北支に集中されてゐること注目すべき事實であり、既述の如く滿洲事變以後は對中、南支投資は停滯の状態にありといへ、北支の重要性は看過され得ない

口、我國へ支那はいくら借款があるか

我國の對支政府借款はC・D・レーマー氏調査によれば一九三一年現在に於て英國に次いで第二位を占めその額二二四、〇七七、六一九米弗にて列國借款中の三一・五%を占めてをり、一九三七年一月一日現在に於て財政部關係四五、四七八、四〇〇圓、交通部關係九三、六〇〇、〇〇〇圓と計算されてゐるが、何れも對滿借款部分を含むものと解されるが故に正確なる額は記述出来ないが、滿洲事變後政府借款もまた事業投資と等しく一時停頓状態にあるといへやう

▲一九三一年に於ける支那政府外債比較

英 國	日 本	佛 國	伊 國	米 國	オランダ	獨逸	スカンディナヴィヤ諸國	總計
三五八 (百萬米弗)	三四一	七〇四	四〇〇	四二〇	四一七	三三〇	〇九	一〇〇六
百分率	三二%	三三%	三三%	三九%	三九%	三二%	〇一%	一〇〇%

▲支那政府債務の日本保有高

(一九三一年十二月三十一日現在)

一般有擔保借款	四五、四六九、七六〇圓＝二二、七三四、八八〇米弗
鐵道債務	一六七、一六四、五〇〇圓＝八三、五八二、二五〇米弗
鐵道以外交通關係のための債務	三五、四三三、四八六圓＝一七、七一六、七四三米弗
無擔保借款	二〇〇、〇八七、四九二圓＝一〇〇、〇四三、七四六米弗
總計	四四八、一五五、二三八圓＝二二四、〇七七、六一九米弗

(C. F. レーマ氏調査)

第二章 開發を待つ北支の資源

支那事變は瞬時にして北支經濟情勢に重大なる轉換を齎せた、日滿ブロック經濟は必然的に日、滿、北支ブロック經濟に擴充、飛躍せんとするの機運にいたつた、未開發の寶庫—北支資源は今後如何にして開發せられ、如何なる發展を遂げるであらうか、潤澤なる内地資本と高度化された技術とに恵まれて育成される今後の經濟情勢の伸張こそ刮目に値するものである、以下鐵、石炭、鹽、棉花、羊毛の各資源についてその概要を記述する

1、鐵の埋藏量は莫大

支那に於ける鐵の埋藏量は二億噸と云ひ或は三億噸と云ひ甚だ漠然として居るが、其の約二分の一即ち約一億二、三千萬噸は北支に在ると云

はれてゐる、更に之を細分すれば察哈爾省六六%、河北省二四%、山東省一〇%である

◆龍 烟 鐵 鑛 (察哈爾省) 支那第一の鐵鑛山である、煙筒山及び龍關 家堡の總稱にして鑛石は前石炭紀の生成にして鐵分平均五十二% (四八—五六) 鐵分中位 (平均〇・一二%) 硫黃其他夾雜物を含まず極めて良鐵である、本鐵鑛の採掘權は龍烟鐵鑛公司在所有し同公司は世界大戰の好景氣時代に創設されし資本金五百萬元の官民合辦會社にして石景山に製鐵所を設け二百五十萬噸熔鑛爐一基を据付け年産銑鐵八萬噸生産を企圖せしが工事七、八分通り竣工の際、世界大戰は終焉を告げ熔鑛爐は遂に火を入れずして今日迄風雨に曝されてゐる、然し専門技術者の視察の結果に徴すれば熱氣少北支のとて鐵類に何等故障なく使用し得るも設計の改良、不足品の補填、コークス工場、水源配水設備、宿舍等の設備を行へば事業を開始し得る見込充分 (約四、五百萬圓を要する見込) なりと云はれてゐる、日滿に於ける鐵の生産、需要の關係からしても是非この龍烟鐵鑛を開發する必要があるが龍烟鐵鑛石を日本へ輸出することは運賃割高のため必ずしも有利ならず、従つて同鐵鑛山を開發するには現地に於て製鐵を實施することが必要である

◆冀東の鐵鑛 冀東地區内に於ては灤縣、臨榆、撫寧等に埋藏量約三千萬噸を埋藏してゐるが、鐵分品位が三十%弱であるため利用價值は目下の所僅少である

◆山東の鐵鑛 金嶺鎮鑛石は後石炭紀に屬するもので平均六十二、三%の富鐵であり日支合辦の魯大公司の所有であるが今日迄正式に採掘せられてゐない、埋藏量一千四百萬噸と云はれてゐるが將來鐵道運賃の低下を圖り同鐵鑛の利用を考慮すべきである、尙近年僅かに三、四百萬噸を青島より輸出したとがある

◆山西の鐵鑛 三千萬噸埋藏量ありと云はれてゐるが概して分散配置せられあると夾炭層の下部に不規則に且つ地下深部に埋藏せられあるものが多い

◆保晋公司煉鐵廠 山西平定陽泉驛の河北岸にあり、民國七年着手して、十一年事業開始、其後作業は斷續してゐる、資本約七十萬元にして熔鑛爐一基あり、一日の銑鐵生産能力二十萬噸である、又熔銑爐一基あり土鐵の熔化と大型鐵製品に備へてゐるが一時間の熔鑛能力四萬噸である、別に製鋼爐一基と製鐵條爐一基がある、原動力にしてはボイラー五基計四千六百馬力にして、送風、機械修理工場、發電機等の動力に供して居る、

商工家北支進出要解

發電機三座にして、起重機、高梁搬運輸、高爐、電燈等の用に供してゐる、炭は井陘礦務局石家莊コークス工場製品を使用し、石灰岩は工場の東數里の地點より取り鐵鑛石もまた附近數十里内の地より採るものであるが、農民に採掘せしめた鑛石を公司が純當り約六元見當にて買収するものである

最近の同工場鉄鑛産額左の如くである

民國二十一年	無	民國二十四年一月—四月	無	五月	二二九噸
〳二十二年	五、二〇〇噸 (四月—十月作業)	〳	六月	六七二噸	六八〇〳
〳二十三年	三、六八〇〳 (一月—七月作業)	〳	八月	六八〇〳	七三三〳
			九月		

山西省に於ける製鑛業は保晋鐵工場以外、現に西北實業公司在日産一六〇噸の製鑛工場を太原に興築すべく計畫中なるも、未だ生産の時期に達して居ない、又土法製鑛は山西省に於て大いに發達し、就中平定、晋城、高平等の諸縣が最も旺にして、長治、昔陽、沁源、和順等が之に次いでゐる、平定に於ける産額保晋工場を除いて毎年約一萬噸あり、井陘獲鹿石家莊地方一帯に販賣してゐる、晋城も亦鐵工大いに發達し鐵鑛、鐵針等年産額約三千噸に達してゐる、之を要するに山西全省の一ヶ年間に於ける鉄鑛産額約五萬噸見當である、製鋼設備としては太原北門外の育才鋼廠あり、現在西北鐵鑛廠に歸屬し、元日産二十噸の平爐一基ありしものが、西北鐵鑛廠となるに及び日産百噸に擴張せんと計畫中である

▲北支鐵鑛調(滿鐵調)

山東省	探掘額(噸)	埋藏量(千噸)	百分比	山西省	一六二、二二六	三〇、〇〇〇	一六・八
河北省	一四、三〇〇	八・〇〇	八・〇〇	察哈爾省	—	八三、八七八	四七・〇
	三九、六四四	二二・二	二二・二	綏遠省	—	一〇、七〇〇	六・〇
				計	一六二、二二六	一七八、五二二	一〇・〇

〇、石炭は掘れど盡さず

河北省

河北省の生産高は約八百萬噸、全支生産量の四割以上を占め、特に重要な役割を占めてゐる

◇開濠炭礦

民國元年開平公司及開州公司の合組により、成立せるものにして、その源を溯れば則清光緒三年、清國政府より人を派し

て唐山炭礦の計畫を實施せしめたるに始まる、翌年官督民營を以て資本金百二十萬兩の開平鐵務局を開設し、光緒十五年乃至二十五年の間に、唐山及び林西の兩鑛坑を開鑿すると共に、運河を開き鐵道を架設し同時に海港秦皇島を開くに至つた、光緒二十六年庚子の亂に當り、警辦張翼は獨逸人デットリングに委任、總辦となしたるところデットリングは鐵廠の全部及び附帶營業を悉く英人の組織せる開平鐵務公司に賣却するに至つた光緒三十二年支那人中に滸州に於ける石炭埋藏量の豊富なるに着目するものあり、資本金二百萬兩(うち五十萬兩は省の資金)を以て滸州鐵務公司を成立し馬家溝に開坑、次いで資本金三百萬元の募集を行ひ、宣統元年探掘許可證の發給を受けた、民國元年一月廿七日興州公司及開平公司の聯合營業に關する契約を締結し開慶鐵務總局を成立して兩公司の資本を各百萬兩となした、合併後に於ける新規事業は總局に於て行ふとし開平公司の産業は、滸州公司在十年後に價格を協定して買収し得るものと定め、秦皇島海港市場及び省各縣運河等け均しく總局の經營に移つたのである現在の鐵廠は唐山、林西、馬家溝、趙各莊、唐家庄の五處あり、河北省興縣及び豐潤縣下に屬してゐるが、廿五年一月より馬家溝廠は作業を中止するに至つてゐる、唐山、秦皇島間には、北寧線の複線一三六桿あり、輸出の要道である唐山より北寧線により北京迄の距離二七〇桿、天津迄一、一三五桿、塘沽迄八〇桿あり、又開平公司在會て開鑿せる運河の長さ三三・九桿にして省各縣より閘莊と北塘河に通じてゐる、而して運河は悉く開鑿の管理に屬してゐる、秦皇島及び塘沽より、海路輸出に當つては自家用船たる開平號一隻と備船十八隻を算してゐる炭田は唐山より東北に向つて延長し、地層は大體に於て東南に向つて傾斜、單斜層を成してをり、林西に於て傾斜は西に向つて趙各莊と向斜式を成してゐる、石炭紀に屬し炭層の採掘し得べきもの十三有り、石炭埋藏量は現存量約七億噸なるも、開慶鐵務局に於ける民國二十二年の鑛内各大巷所在の現存炭量見積額は左表の如くである

鑛區	總量(噸)	既採量(噸)	現存量(噸)	趙各莊	九二、九五〇、〇〇〇	一五、三三五、〇〇〇	七六、九一五、〇〇〇
唐山	四、八六五、〇〇〇	三、五五〇、〇〇〇	一、三一五、〇〇〇	唐家庄	三、一〇〇、〇〇〇	六、三三三、〇〇〇	二、八八七、〇〇〇
林西	八、一三六、〇〇〇	三、三三三、〇〇〇	五、八〇三、〇〇〇	總計	一七、〇九〇、〇〇〇	二七、〇五〇、〇〇〇	一、六、九二、〇〇〇
馬家溝	三、五〇五、〇〇〇	三、三三三、〇〇〇	一、一七二、〇〇〇				

該鑛の分析表は左の如くである

商工家北支進出要解

唐山	林西	馬家溝	趙各莊	唐家莊	同業探炭量
五槽	五槽	十二槽	十二槽	九槽	示せば左の如くである
水分 一・二	二・二	二・六	二・三	二・三	
揮發分 三四・二	二五・五	二七・八	三一・〇	三四・五	
固定炭素 五八・〇	五七・三	五五・六	四六・一	四九・八	
灰分 七・八	一七・二	一〇・七	二二・九	一六・四	
硫黄 〇・五三	一・八三	〇・七九	〇・四一	〇・三二	
熱量 B.T.U 一三、四七〇	一三、八〇〇	一三、二一〇	一〇、八九〇	一一、七六〇	
記號 B1	B1	B1	B1	B1	

民國十八年 四、六二〇、〇〇〇 噸
 十九年 五、三二七、三三七
 二十年 五、三五六、〇〇〇

本鑛の毎月探炭日數は約廿一日乃至廿三日にして、各鑛の實際日産量は唐山及び馬家溝各約二千二百噸、林西及び唐家莊各三千五百噸、趙各莊五千九百噸と合計一萬七千餘噸なるも、現在の探炭巷道及び設備に依れば、最高能力日産二萬七千噸に達し得べきものである、鑛夫の探炭能率は民國廿一年乃至廿二年間に於て探炭夫〇・九九五噸、坑内工全部〇・五八四噸、全鑛〇・三八七噸である

開鑛炭の北寧線に於ける運炭は民國二十年より特別運賃の改訂を爲せるものにして、塘沽秦皇島向は一割引とし、古冶より各處に至る運賃は左の如くである

距離	石炭運賃	一噸料運賃	貫條運賃
古臺、北京前門間	三・五	四・三	六・九
天津東站	一・五	二・〇	三・四
塘沽間	二・一	一・五	二・三
秦皇島	一・三	一・五	二・五
山海關	一・九	一・九	二・八
漢沽	一・五	一・五	一・七

井陘炭鑛

本鑛は前清光緒二十四年、獨人ハッネツケンと支那との合辦契約により、井陘炭鑛を採掘することとなり、資本金各二十五萬兩を出資して成立するに至つた、歐洲戰爭當時、獨人の歸國により支那政府にて接收、營業し來れるも民國十一年九月三十日獨商と契約を改訂し、獨逸資本四分の一即ち一、二二五、〇〇〇元、支那河北省資本三、三七五、〇〇〇元共計四百五十萬元の資本と改むるに至つた、その後營業方面も極めて有利に進捗せるも近年炭價の暴落せんと事務關係に於て幾多の缺陷を生ぜるためつひには營業不振に陥り、廿四年秋には總局制を取消して河北省營業監理委員會の管理下に置き、總事務費を四分の一に減少すると共に營業、作業の兩方面も徹底的に整理を加ふるに至つた

(註) 民國二十五年四月、營業監理委員會の管理を離れ總局制を復活するに至る

本鑛廠は井陘縣東北の崗頭村にあり南正太線の南河頭驛を距る二十支里にして自設の輕便鐵路に依り連絡し、又南河頭より正太線に依り石家莊驛迄は四十四軒ある、炭炭工場及び總局は皆この石家莊に存在してゐる、石炭系の地層は石炭二疊紀に屬し、可採炭層六枚あり、現在採掘中の第一、二、三、四、五の各層中第一層は厚さ三呎、第二層は七呎、第三層は一・五呎、第四層は六呎、第五層は二十四呎、第六層は一・六呎を有してゐる、炭質は有煙にして炭炭製造に適し、その分析は左の如くである

水分	揮發分	固定炭素	灰分	硫黄	第三層	第四層
第一層 〇・三	元・三	元・七	一〇・八	二・三	〇・八三	二・四
第二層 〇・八	七・九	元・六	一三・五	二・七	〇・五	三・三
					三・三	三・九
					四・六	四・九

鑛坑は大鑛坑五あり、出炭用は三である、南井は直徑四・五米、深さ一八四米あり、北井は口徑二・六米、深さ一八四米あり、兩者は四百米を距てゐる、新大井は北井の西北一千五百尺の地點にあり口徑五米、深さ二五〇米を有してゐる、外に風通口三あり、ボイラーは合計二十四にしてその發動力は一、五六一馬力に達し、一日石炭八八・五噸を使用してゐる、一時間の發蒸汽四一、七〇〇磅あり、ボイラー室は南井、北井及び新井の三ヶ所に分れてゐる、發電機は合計四座あり、一座は一五〇キロワット、二座は七二キロワット、一座は二〇キロワットである、空氣壓縮機は一座にして一分間の壓縮空氣は一、七五〇立方呎に達し、氣壓力は毎方寸八十五磅にして、坑内の絞車、ポンプ、換氣用に供してゐる、その他排水機、換氣機洗炭機、修理工場、輕便鐵路、機關車等あり、廿二年秋にはコンクリート製の大橋一を架した、輕便線の一日の運炭能力は最高

商工家北支進出要解

約二千五百吨である

本炭礦の最近數年間に於ける出炭額は左の如くである

民國二十一年	六四三、二四五・一〇〇	民國二十三年	七九五、二四七・七〇〇
民國二十二年	七〇六、六八一・〇〇〇		

民國廿三年に於ける採炭費は共計九八五、二五五・六二元、炭礦事務費三二〇、九八一・〇九元にして一吨に對する山元原價は約一・六四元となり、南河頭迄の運賃一八〇、一五九・二九元を加算すれば一吨につき二十四仙となり南河頭に於ける原價は一元八角八分である、このほかに總局事務費、營業費その他の費用は約一元以上に達するを以て、總原價は一吨につき三元二三角である

臨城炭礦

光緒八年北洋大臣李鴻章が委員となり試營されたものにして、初め資本十萬兩を用ひたるも三十一年蘆漢鐵路の白耳義人と借款契約を締結し白支合辦となした、民國九年十五年間の合辦期限満期となるや、華商蘆漢鐵路公司に於て代理經營することとなり、茲に完全なる支那の資本の事業となつた、官民合辦である、その後規模漸く備はり年産二十萬吨内外に達したるも民國十五年以降は車運困難に陥り、販路を阻碍せるのみならず、材料供給の途絶えたるため、ボイラー、機械類も損壞するに至り坑内は悉く出水するに至つた、従つて出炭は全く停止し損失莫大に上つたが、民國十七年、河北省政府より係員を派遣して接收し、省金二十四萬元を投じて整理工事を行ひ、現在年産十萬餘吨に達せるも僅かに自給の範圍を出でず、販路不振にして發展を期し難い、廿五年一月また出水に依り採掘中止に陥つてゐる

臨城炭礦は白支合辦當時、坑内に二堅坑を開鑿し各深さ百九十米あり、南井より出炭し北井は通風及び坑夫材料の出入口となした、民國十一年祁村の南方六軒なる石固村附近に別に二堅坑を開く、口徑十六尺にして一四〇及び一八〇米の箇所到大巷二を作つた、民國十五年後上記四堅坑は悉く出水を蒙り機械類も全部破壞するに至つた、十七年以後初めて石固井を修理復工し排水に努めた結果、二十年に至り初めて又産炭を見るに至つたのである

停工前迄の同礦出炭量は一日約五百吨にして最近數年來の産額は左記の如くである

民國二十年	二一、六二八吨(二月三日より)	民國廿一年	五九、六九〇吨
民國廿二年	一〇〇、八二六吨	民國廿三年	一六九、六六四吨

臨城炭田の埋藏量は豊富にして、約四億五千吨に達す、炭系地層は石炭紀に屬し、總厚約二百餘米あり、含炭層は合計九層にして總厚十一米に達してゐる、うち第三層は最も厚くして二・三米あり、これに次ぐものは第一、四、六の各層にして第五層は最も薄く〇・六米を有するのみ、炭質分析の結果は左の如くである

水分	揮發分	固定炭素	灰分	硫黄	カロリー	骸炭性	符號
一・八八	三二・六四	五七・三二	八・一六	二・六五	七六四六	粘結	BI

正興煤礦公司

本礦は井陘縣下の鳳山村にあり、正太線の南張村驛を去る七軒にし支線を通じてゐる、民國元年商民が資本を集め採掘を開始せるものにして、當初土法を沿用せるも民國七年鳳山大堅坑を開鑿して新法を採用してより成績漸次顯著となる、民國十六、七年の間、戦事の影響を受けてより、時に停頓せるとあるも二十年以後出炭量漸増して年額三十餘萬吨に達し營業概して良好である、公司の資本は六百六十萬元である、

設備完全にして主要なるものは發電機二座あり、一は二八キロにして他は一九キロの發電力である、ポンプは十二吋のもの二座あり、出炭量は各五十立である、同礦の出水量は比較的大にして、三號井にけ更に排水機五座あり、二十一年春地下水の爆發を見たるも設備の完備により幸ひ災害を被るに至らなかつた、このほかに通風機、ボイラー修理廠等悉く完備し、現在堅坑三と斜坑一を有してゐる、詳細は左の如くである

坑別	口徑	深さ	築坑材料	坑架
第一號堅坑	三・八米	一八七米	石灰岩	鋼鐵架、高一九・五米
第二號堅坑	二・八米	一六〇米	石灰岩	木質
第三號堅坑	三・七米	一八七米	石灰岩及木材	
斜坑	二・五米方	長一九四米		

坑夫は民國廿二年に於て一、八六〇名あり坑内採炭能率〇・六六吨、全礦〇・四五吨にして、賃銀は四角乃至六角、一吨の石炭につき約賃銀一元一角を要してゐるが、民國廿年及び廿一年産炭の毎吨原價は左の如くである

採炭費	管理及事務費	至石家莊費用	石家莊費用	合計
一・六五	一・一〇	〇・七三	〇・五一	三・九九
一・六五	一・二四	〇・七三	〇・五八	四・二〇

商工家北支進出要解

炭層は石炭紀地層に屬し、井陘炭層と同一炭田である、炭層は合計六層あり悉く採掘し得べく、厚さ共計九米にして炭質分析の結果は左の如くである

層	水分	揮發分	固定炭素	灰分	骸炭性	熱量	等級
甲槽	0.39	18.66	55.54	5.55	粘結膨脹	8310	BH
第一層	0.74	33.54	70.50	5.40	粘結膨脹	8090	BM
第二層	0.22	33.54	70.50	5.40	粘結膨脹	8090	BH
第三層	0.20	33.54	70.50	5.40	粘結膨脹	8090	BM
第四層	0.66	18.66	55.54	5.55	粘結膨脹	8090	BM
第五層	0.44	16.66	55.54	5.55	粘結膨脹	8090	AB

門頭溝中英煤礦公司 本炭層は宛平縣下の門頭溝にあり北京西直門を距る約五十里、平綏路支線門頭溝驛を距る二・五杆間支線を有してゐる

本炭層は元光緒九年に通興煤礦として成立し、光緒二十二年英商に貸與したが、三十四年に英支合辦となり、民國六年出水に依り停工となつた又隣接鐵區には豫公司あり、白支合辦にして民國二年成立したるも四年英支合辦に改められた、七年通興公司と合併するに至つたが、これ今日の門頭溝公司にして資本百五十萬元を有し、うち支那側は五十一%を占め、英國側は四九%を占めてゐる

現在大堅坑二あり西堅坑は口徑十六呎にして通風及び工人材料の出入に使用し東堅坑は西堅坑の東七十一呎の地點に在り直徑十六呎、深さ三百二十呎にして出炭坑である、西堅坑の北二六五米の地點に豫豫公司の堅坑あり通風用に供してゐる、西堅坑の南一八〇米の地點には小堅坑あり、深さ三二〇呎の箇所に於て大堅坑の大巷道と連絡してゐる、探炭地地表下四五〇呎及び六〇〇呎に各石門を開き各炭層に貫通すると共に再び炭層の走向に沿ひ大巷を開いてゐる、一日平均入坑坑夫二千百人あり、探炭能率は〇・八噸、坑内全工〇・四七噸、全工〇・四噸である、本炭層は盆地の中心地にあるため、毎夏水を被り二百萬噸の水を排水し得たる時はじめて探炭し得るものにして、現在電力ポンプ八臺あり、一分間の排水量は合計六千三百ガロンに達してゐる、十八年電力選炭機一組を設備し、四吋以上炭、二吋以上炭、一吋以上炭及び一吋以下炭の四種に選炭してゐる

本炭層の最近數年間に於ける出炭量、汽車搬出量及び販賣量を示せば左の如くである

年次	出炭	汽車搬出量	販賣總額	民國二十一年	民國二十二年	民國二十三年
民國十九年	100,000	20,000	21,000	31,000	33,000	35,000
二十年	100,000	101,000	101,000	100,100	100,000	100,000

註一 印は門頭溝及び三家店提出の總量である

含炭地層は侏羅紀に屬し炭層合計十三層あり、上層より下方に向ひ探炭し得べきものを算ふれば、子兒槽、黑煤大層、白煤層、煤中層、明煤大層及び青煤大層等あり、上二層は厚さ各一乃至三米、下二層は各三米にしてその他は各一米内外である、現在採掘中のものは子兒槽、黑煤二層、黑煤大層及び腰石層にして本公司區内に於ける埋藏量は共計約五百五十餘萬噸である、炭質分析成績は左の如くである

水分	揮發分	固定炭素	灰分	硫黃	子兒槽	黑煤二層	白煤層	煤中層	明煤層
2.3	21.1	55.2	3.3	0.3	2.7	2.0	2.5	2.8	0.5

齊堂煤礦公司

齊堂は宛平縣の極西部に位し民國七年呂調元より鐵區を出願、政府の議決を経て齊堂煤礦公司を設立するに至る、官民合辦にして資本百萬元、官四割・民六割の比率である、鐵區は共計一九四方里餘にして其後鐵路を敷設する爲に之が資金七百萬元を募集し、又板橋に於て小炭礦者の産炭を買収する目的を以て大同煤礦を設立し更に百萬元を増資し資本總額九百萬元となる、民國十六年門頭溝、清水間の鐵路完成後、資本金の不足に依り増築するを得ず、現在僅に京綏路の車輛に依り板橋一帶の産炭を運輸するのみである、齊堂鐵區は民國八、九年の試掘當時無煙炭及び有煙炭の兩種あり、有煙炭は骸炭製造に適し質量共に優秀なることが判明したが、各鐵區の略状を示せば左の如くである

區別	炭質	試掘層數	共厚(呎)	試掘埋藏量(噸)	(註)
馬蘭達摩火村區域	無煙炭	七	三二・六	四、七〇〇、〇〇〇	達摩火村の埋藏量を含みます
雙峰岩黑土港區域	有煙炭	三	四〇・六	四、四〇〇、〇〇〇	炭層斜深三百米を以て計算
王城峪區域	〃	八	八三・二	六、〇〇〇、〇〇〇	

齊堂炭田の推定埋藏量は無煙炭約一億六千五百萬噸、有煙炭約八千五百萬噸なるも前記數量の一千五百餘萬噸は既に試掘を了せる炭量のみにして全面積の十分の一に過ぎず、炭質分析は左の如くである

	水分	揮發分	固定炭素	灰分	骸炭性	カロリー
東齊堂西家峪	〇・三二	九・六四	七七・八九	一一・一四	不	七六一七
西齊堂西家峪	〇・二六	一六・九三	七七・五七	五・二四	粘	八二六三
牛占小西天東崖	〇・二〇	一一・〇四	八〇・一六	八・六〇	粘	七九五七

門齊路沿線の炭礦は總て板橋及び齊堂一帶にあり、小鑛業者合計二十家にして有煙炭の年産は約八千五百噸あり、全部東西齊堂牛心港石橋溝一帶にある、無煙炭は年産合計約三萬八千噸にして悉く清水湖、板橋、王平村、東齊堂、馬蘭火村の處にある、探炭はみな人工法に依り、山元炭價は平均して毎噸一元乃至一元八角である、鑛夫は最多時二百名にして作業時間は十二時間、工賃四角五分乃至六角である

◇柳江煤礦公司 柳江公司炭礦は臨榆縣の柳江にあり、秦皇島を距る約三十軒にして、自築の輕便鐵路を有してゐる、民國二年華商が資本二十萬元を集めて柳江公司を組織し、探炭に着手して五槽斜坑二を開鑿し、四年には三槽斜坑二（現在の出炭坑）を開鑿、五槽を探炭中止し、更に増資を行つて輕便鐵路を修築、北寧線と連絡するに至つた、七年には又増資改組を行ひ華商柳江煤礦公司と改稱、總公司を上海に設くるに至つて、八年には修理工場を建築し、十一年には輕便鐵路を秦皇島貯炭場迄延長するに至つた、十四年には機械設備を擴充し、五槽に沿つて第三斜坑を開鑿、十五年には又三槽斜坑に石門を開鑿して五槽迄通じた、二十年には發電機を擴充して、全部を電氣ポンプに改め、規模漸く備はる、資本額百四十萬元である

炭系地層は石炭紀に屬し含炭層六あり探炭し得べきものは第三層の十呎及び第五層の七呎である、民國廿二年の調査に依れば坑下の可採量は尙ほ六百萬噸ありといふ、炭質は無煙炭にして、分析成績は左の如くである

	水分	揮發分	固定炭素	灰分	硫黄	カロリー(B.T.U)	記號
五層塊炭	〇・四七	九・七九	六八・五三	一一・八一	一・六二	一一二五〇	A I
三層塊炭	〇・六六	八・〇八	六六・五〇	二四・七六	〇・六八	一一五九〇	A I
五層粉炭	〇・五四	六・八二	五七・八八	三四・七六	〇・九七	一〇〇五〇	A
三層粉炭	〇・四六	九・六七	五五・七五	三四・一一	〇・七一	一〇二九〇	A B

炭礦にはボイラー、發電修理等の諸工場皆備はり又篩炭機により選炭を行ひ、明塊、立砵（一吋以上）二路塊（灰分多きもの）小塊及び粉炭に

分けてゐる、現在斜坑三より出炭し鑿坑一は通風に使用してゐる、第一、二斜坑は第三層炭に沿つて開入し高さ七呎、幅八呎あり、斜深一千五百呎に達してゐる、第三斜坑は第五層に沿つて開入し斜深二千二百呎あり、皆廿五磅軌道を敷設してゐる、又十八年より寶興及及び潮田鑛區を賃借探掘し來つたが、寶興は既に探掘し盡し潮田區も亦中止してゐる

◇怡立煤礦公司 本鑛は磁縣城北五十里の西佐村にあり、東京漢線の碼頭鎮驛を距る約三十支里にして支線を有す

光緒三十四年、土法に依り探掘に従事するものあり、民國八年怡立公司は作業を擴充、鐵路を修築し十三、四年頃は日産六、七百噸を算し營業尙ほ旺なりしも十五年以後内亂に依り工場の破壊されるもの多く損失莫大にて近年漸く稍恢復を見るに至つた、公司資本總額は四百八十萬元なりとす

十六年後には鑿坑四ありそのうち十五號井は主要出炭坑にして口径八尺、深さ三百尺あり、別に第七、八の兩坑あり、下方に於て十五號井と相連絡してゐる、廿一年第十八、十九の兩坑を開鑿して廿二年竣工出炭するに至る、新大井即ち一號井は十五號井の東北約三百尺の地點にあり、口径十三尺半にして民國十三年開工し、深さ三百餘尺に達したるも、炭層に到達せざる中に、早くも經濟困難に逢着し、工事を中止するに至る、廿三年又繼續して本坑を開鑿せるも、坑内の石炭は既に十五號井より探掘したる後であつた、本炭礦にはボイラー十五、排水機三臺、修理工場、捲揚機等總て完備し、廿二年に又捲揚機一臺、ボイラー二臺、發電機一部を増設した

近年の出炭量は、常に十餘萬噸にして、廿三年には二二四、四〇四噸に増加し、同年の販賣額は一六五、四六一噸に達した
炭系地層は石炭二疊紀に屬し重要炭層九あり、下方より上方に向つて算ふれば下架煤は厚さ約八尺、大青煤は厚さ二尺半、小青煤は四尺、山青煤は五尺、青煤は四尺、一座煤は三尺、二煤は九尺あり常に大煤と合して一層となる、大煤は厚さ九尺、小煤は厚さ一尺にして常に三層又四層あるも薄くして探掘困難である、炭質は有煙炭にして、骸炭に製造し得べく、分析は左の如くである

	水分	揮發分	固定炭素	灰分	硫黄	カロリー	符號
〇・四	三・一〇	七・一〇	六・四	二・一	〇・五	八二五	B
〇・二	一・八	六・四	一・三	一・五	〇・三	七二二	B H

◇中和煤礦公司 中和公司炭礦は怡立公司を距る約六里の嶺々村にあり、東京漢線の光線驛を距る三十里にして當てこの間に輕便鐵路敷設し

てみた、民國十八年出水に因り停工となり十五、六年以後營業缺損を續け、光線鎮に至る小鐵路も亦破壊さるゝに至つた、十九年には大堅坑も作
業中止となり、僅かに土法に依り小口採掘を爲すに止つた、二十一年致和公司の立替金により繼續作業することとなり、光線鎮迄の輕鐵を修理、
出炭工事を恢復し、日産量三百餘噸に達す、斯くて一年餘を経過せるとき、新舊株主間に意見の相異を來し遂に致和公司は又この關係より離脱す
るに至る、二十二年出炭三八、八〇八噸、二十三年九三、六二三噸にして、二十二年の販賣額は二萬餘噸、二十三年六、七萬噸である

本炭礦には元大堅坑一あり、太安井と稱し新法により探炭し口徑十二尺、深さ三百四十二尺を有してゐる、その他には小堅坑の林立するもの四
十餘箇所に達し、作業を開始又は中止すること常なく、二十二年には雙和井に機械を設備し、又新法により探炭に着手す、ボイラー十八具約四百
馬力、捲揚機十四、ポンプ二十餘を各坑に分設してゐる、修理工場にも亦簡單の設備がある

炭系地層は石炭二疊紀にして含炭層十五有り、總厚八十二尺餘にして三尺以上のもの七層あり、上層より下層に向つて數ふれば大煤と稱するは
厚さ二十三尺あり、一座炭は三尺二寸、野青煤は七尺、山青煤は六尺、小青煤は八尺、大青煤は六尺、下架は十二尺あり、炭質は骸炭製造に適し
分析成績は左の如くである

水分	揮發分	固定炭素	灰分	硫黄	カロリ	骸炭性	符號
〇・四	二七・九	二〇・六	九・五	〇・六	六・七	粘結膨脹	B H

◇興實煤礦公司 興實公司炭礦は房山縣の長溝峪にあり、長溝峪、周口店間約八里の間には興實公司所有の高架線がある、又周口店より京
漢線の琉璃河驛迄約十六軒の間には支線あり運輸は比較的便利である、元來同地方には小規模の土法炭礦業者甚だ多く、採掘の深度増加に伴れ水
量も漸く増加し、採炭原價加重となり採炭者も漸次衰ふるに至つた、民國二十年興實公司是高架線の運炭減少せるに因り、遂に小鐵業鐵區數處を
買収して自ら採炭を行ふこととし、機械を設置して新法に依り探炭せんとし、廿年春季閉鑿に着手せるも廿一年春工事の錯誤に依り遂に炭層に到
達せず、この年秋季工事計畫を變更して初めて炭層に到達した、茲に於て探炭及び防水に關する一切の設備をなし廿三年より平均日産三百噸に達
す、本炭礦にはボイラー三を設備しその受熱面は一千四百呎内外である、電力ポンプは一分間の出水一噸なるもの三臺、半噸のもの二臺、四分の
一噸のもの一臺を有し電氣捲揚機一臺、蒸汽捲揚機二臺あり、その他修理工場壓汽機、扇風機等總て備はる、現在斜坑より出炭し探炭鐵夫は全年

を通じ二二七、七三一一名にして、一日平均六百三十二名が就工してゐる、毎班の作業時間は八時間内にしてその他の坑夫は全年一五九、八三八名
平均一日四百四十四名である、山元原價は毎噸約二元八角、山元より高架線驛迄輕鐵二千餘尺あり、毎噸の運賃一角にして、高架線驛より周口店
迄は六千十五呎あり、毎噸の運賃五角、周口店原價は三・四元にしてこれに積卸費二角及び營業費二角を加算すれば販賣原價は三元八角である、
販路は保定、北京、天津地方一帶なり

長溝峪含炭地層は侏羅紀に屬し重要炭層八あり、下層より上層に數へ第一層は厚さ一・三乃至六米、第二層は厚さ二・四乃至三・二米、第三
層は一・二米、第四層は〇・五乃至三米、第六層は一乃至二米、第七層は〇・六乃至二米、第八層は二米半あり、現在の埋藏量は約一千四百萬噸
である、炭質は無煙炭にしてその分析は左の如くである

水分	揮發分	固定炭素	灰分	硫黄	カロリ	骸炭性	符號
一・〇	六・五	七九・五	二・〇	〇・三	七四三	不粘結	A m
一・六	八・六	六五・三	二・五	〇・三	三六九	ノ	A I

山東省

膠濟沿線に沿ふものと南部の嶧縣附近のもの大別され、ともに良質の瀝青炭である

◇嶧縣中興煤礦公司

年産百五十萬噸、山東省最大のもので我國でも日本鋼管がこの石炭を使用してゐる

總公司は上海、炭礦は嶧縣城北十二軒の棗莊にあり、西津浦線の臨城驛を距る三十二軒にしてこの間支線がある、棗莊より運河沿岸の臺兒莊迄
は自築の輕便線あり、運河の水運に依つて南方に通ずることが出来る、臺兒莊より隴海線の趙驛迄二十五軒の間は廿二年冬季隴海局より連絡
鐵路局より連絡鐵路を修築したが、これに依つて中興炭は直接連雲港に出づることが出来、交通甚だ便利である、本炭礦は前清時代李鴻章が人を派
し資本二萬兩を以て探炭せることあるも光緒廿一年省令により探掘を禁止するに至つた、光緒廿五年民間に於て探掘の權利を獲得し、後三年獨逸
資本の加入を見たるも三十四年支那資本八十萬兩を集め獨資を償還するに至つた、宣統元年鐵區三一七方里を定め、二年には南大堅坑及び臺兒莊鐵
路完成し、資本を三百萬兩に増資した、民國四年水害を被り武漢地方より新資本百萬元を集む、九年大北堅坑完成し十一年には資本を一千萬元と
し七百五十萬元拂込とした、當時の年産額は八十萬噸にして營業極めて旺であつた、十五年時局及び内亂の影響を被り、つひに十七年八月停工す

るに至る、その後上海銀行團より五百萬元を借款し、十八年一月復工、近年營業漸次恢復の狀態にある

◆ 潘川炭礦 年産七十萬噸、大正三、四年戰役後日支合辦の經營となり日本側は滿鐵が主體となり山東鑛業株式會社が擔當してゐる、販路は主として膠濟鐵道及びその沿線が一部が青島を経て他に供給せられてゐる

◆ 博山炭坑 博山には群小炭坑多きもそのうち博東炭礦は日支合辦、年産八萬噸、炭質良好、目下同地方へ鐵道開通せらるゝと同炭坑(特に黑山炭坑)は日本の技術を入れ近代的經營に着手しつゝあり將來の増産が期待せらる

山西省

全支石炭埋藏量の約半ばを占めてゐるが地理的關係の不利等に制約せられ現在の出炭量は年僅か三百萬噸に過ぎない、炭坑數約一千五百を數へてゐるが、近代的經營を行つてゐるのは保晉公司及晋北鑛務局の二つに過ぎない

◆ 晋北鑛務局 民國十三年山西省當局は大同に軍人煤廠なるものを設け、口泉附近十餘ヶ所に於て試掘を行ひたるも、後内亂により一時作業を中止、十七年秋復工し、永定莊に口徑十七呎の一鑿坑二本を開鑿した、十八年五月改組して晋北鑛務局となし、省政府より百萬元を支出有限資本となし、機械類を購入すると共に擴張建築を行ひ、永定莊より口泉迄及び煤峪口より口泉迄の支線を敷設するに至つた、同年八月永定莊の兩鑿坑は炭層に到着し、又十月には煤峪口に鑿坑を開鑿して十九年三月炭層に到達するに至つた、永泉及び煤泉の兩支線は四月及び八月に前後して開通するに至り、同時に口泉、馬林洞間の泉峰輕便線と晋煤公運局も同局の管理下に移つた、廿一年春同局は大同保晉分公司及び同寶公司等と出炭統制共同販賣方法を協議し、山西省營業公社を合同して大同に大同煤業公司を成立し大同炭の統一運搬販賣業務を司らしむることとなつた資本金三十萬元にして全部省營業公社の支出に係る、廿一年十二月又改組して公民合辦の株式會社とし、資本を百五十萬元に増資して、うち百十五萬元を公金、二十五萬元を民資とするに至つた、廿三年末泉峰支線を中興改進硯究社の管理に移し、路務科の制度を取消し、永泉及び煤泉の兩支線を測量股の管下に移した、該局の組織は株主會、重役會及び經理より成り、其の下に總務科、鑛廠、採炭處及び駐外辦事處あり、鑛廠は井務測量、機械、材料等の諸股及び鑛務醫院等に分れてゐる

◆ 大同保晉分公司 大同保晉分公司は炭礦は口泉驛の西北に在り、四・三呎の輕便線により連絡してゐる、民國七年の開始に係り、鑿坑二

本を開鑿したが民國十二、三年前後して竣工、十四年正式に出炭するに至る、民國廿二年迄に使用した資本金百六萬元である、鑛區は興旺、石岩及び黑龍王廟溝の三處あり、面積合計九〇、七七四アルである、現在採掘中のものは厚さ九呎の〇〇一にして、炭質は分析の結果に依れば、水分三・六九、揮發分二九・九八、固定炭素五九・〇〇、灰分七・三三、硫黃一・〇四、カローリ七八九八である、埋藏量は、三十區を合して二千萬噸以上なりと云はれる、鑿坑二あり口徑十四呎及び十二呎にして深さは三四二呎、一坑より出炭し、通風坑は口徑七呎を有してゐる

民國十四年	一三、七〇九噸	民國十九年	一三一、〇六一噸
十五年	三一、七九〇噸	二十年	一〇八、八九八噸
十六年	五〇、八九〇噸	廿一年	一一〇、八一噸
十七年	六二、二五八噸	廿二年	七四、〇九六噸
十八年	七九、七二一噸	廿三年	一一一、〇一三噸

察哈爾、綏遠兩省 殆ど開發されるに至つてゐない、只大同炭礦のみは有名である

ハ、鹽の産出もまた豊富

支那に於ける鹽は井鹽(四川の自流井及び雲南等に産する地下の鹽水を汲上げ製鹽するもの)石鹽(湖北及び湖南に産し岩石に浸潤せる鹽水を洗滌して製鹽せるもの)池鹽(山西、甘肅、青海、外蒙に産し鹽湖及び乾湖せる鹽田より採取せるもの)海鹽(河北、山東に産し海水より製鹽せるもの)の四種がある、産額は約三千五百萬擔と稱せられ河北省の長蘆鹽は約四百萬擔、河東約二百萬擔、山東約五百萬擔を生産しつゝありて全支生産高の約三〇%を占めてゐる

山東 鹽の輸出は南京政府により禁止せられてゐるが山東に限り山東邊境の際に於ける協定に依り華鹽出口辦法を設け一年最高三億五千斤、最低一億斤の輸出が行はれつゝあり

商工家北支進出要解

四四〇

長蘆 河北省中渤海に面する天津附近の鹽田を稱するもので、海水中の鹽の含有量、湿度、風、地勢等の關係より見ると長蘆鹽の天然條件は最も恵まれて居り、現在生産能力は一年約七十萬噸と云われ、そのうち實際に生産しつゝあるは三十五萬噸乃至四十萬噸に過ぎず他は若干の入手を行へば直ちに生産し得る状態にあり、新田開拓は極めて容易なる爲め長蘆鹽百萬噸生産は易々たるものと目されてゐる。従來長蘆鹽は對日輸出を禁ぜられてゐたが冀察政務委員會の成立に伴ひ之と折衝し昭和十一年度約七萬噸、昭和十二年度約二十三萬噸を對日輸出することとなり、將來増産に必要な資金を提供して其の増産を圖り大いに對日輸出を促進すべきである。

近時ソーダ、硝子工業を初め纖維工業の飛躍的發展に伴ひ工業鹽の需要激増し我國の工業鹽輸入高は百五十萬噸の多きに達し益々増加の傾向にあり、しかも遠く「アフリカ、ソマリアランド」等より輸入してゐることを考へると日本の近海に於て自給自足の途を講ずることは緊急事にして政府では二百萬噸増産五ヶ年計畫を樹て關東州鹽五十萬噸、滿洲鹽四十萬噸、長蘆鹽六十萬噸、山東鹽五十萬噸増産を計畫してゐる。

▲北支鹽産調(滿鐵調)

名 稱	産 地	産 額 (千 擔)
長 蘆 鹽	河北省海岸	四、四〇〇
山東 鹽	山東省海岸	三、五七〇
計	青 島 鹽	四、一二九
	河 東 鹽	一、三〇〇
	山 西 省 北 部 地 方	四、〇〇〇
	膠 州 灣 沿 岸	一三、七九九
	山 西 省 解 池	
	山 西 省 北 部 地 方	

二、棉花の生産は世界第三位

支那に於ける棉花生産高は全世界の一〇%に達し世界の第三位を占む、(米四九%、印度一六%)主として棉作地は長江流域と黃河流域とに大別せらるゝも黃河流域のものは單位面積に於ける生産高多く全生産高は全支那の約五〇%を占めてゐる、品種は漸次米棉に改良せられつゝあり、將來に實に有望である。

日本の現在棉花消費高は一ヶ年十二億斤(米棉七二%、印棉二一%、支那棉三%、埃及棉三%、其他一%)であるが最近毎年三千萬斤宛を増加しつゝある爲め棉花自給政策よりするも北支棉の將來に實に大なるものがある。

北支棉花の産額は年三百五、六十萬擔前後で其のうち米棉種は二百萬擔以上に達してゐる、其の消費區分を見ると北支に於ける紡績消費高が約

三百萬擔であつて輸出約四、五十萬擔、省内製棉の手工業の原料百萬擔に區別が出来、而して輸出では日本向が最も多い、尤も日本に輸出する棉は全部在來棉であつて中棉或は藥用棉に使用せらるゝもので紡績棉ではない。

河北、山東、山西三省の耕地面積は二億八千萬畝であつて其の内棉作地は一千五百萬畝で全面積の五%に過ぎないから棉作地の増加棉作の改良とに依り現在の生産高三百五十萬擔を三倍にし一千萬擔と爲すことは敢て難事ではなからう、かくして棉花の對日輸出が促進せらるゝことなれば獨り日本纖維工業の原料獲得を強固ならしむる上に役立つばかりでなく疲弊せる北支農民の復興を促進し眞の日支經濟提携の實を結ぶ一石二鳥の政策である。

北支棉産統計

(續綿量、單位擔)

産 地	一九三二年		一九三三年		一九三四年	
	産 量	百分比	産 量	百分比	産 量	百分比
河 北 省	三六、四〇〇	三六・六	五五、〇三三	三六・六	一、〇〇三、九三三	三六・六
山 東 省	六九、七五〇	七〇・四	八四、九七五	六六・四	一、八三三、九七五	六六・四
山 西 省	七、〇〇〇	七・〇	六七、六五〇	六八・二	六〇、七六八	六八・二
合 計	一、〇七三、〇〇〇	一〇〇・〇	一、四九一、六五八	一〇〇・〇	三、四四二、六七六	一〇〇・〇
在 來 棉	一、〇七三、〇〇〇	一〇〇・〇	一、四九一、六五八	一〇〇・〇	三、四四二、六七六	一〇〇・〇
米 棉 種	一、〇七三、〇〇〇	一〇〇・〇	一、四九一、六五八	一〇〇・〇	三、四四二、六七六	一〇〇・〇

次に河北、山東兩棉につきその品質を略記すれば

◇ 河 北 省 西河棉(天津棉)は纖維約二分の一吋、純白粗毛にして紡績用に適せず毛交織、中棉、火藥、脱脂綿に用ひらる、御河棉は纖維二分の一乃至八分の五吋、軟く主として毛交織及び太番手に用ひらる、東北河棉は米棉種に屬し三十二番手乃至四十二番手紡績用に適し、唐山、天津紡績工場に於て消費さる。

◇ 山 東 省

米棉種はストリクト・ミッドリングに匹敵し、纖維八分の七吋より十六分の十五吋に及び二十番手より三十二番手紡出原

商工家北支進出要解

四四一

棉となる、在來棉は純白なるも裁維粗短にして二分の一時乃至四分の三時、最上なるもの（濱州棉）を以て漸く二十番手、十六番手紡出濃棉に利用する

次に北支棉の輸移出額（一九三〇年乃至一九三四年）を見ると殆ど天津を通じて行ける、ところであるがその詳細は左表に見る如くである

移 出 額	輸 出 額		▲天津の棉花國別輸出額（單位擔）	
	數量（擔）	金額（元）	一九三三年	一九三四年
一九三〇年	二五、三〇〇	七五、六九七	三三、七六一	三三、二六八
一九三一年	一六、二六二	八、八〇〇、五〇四	二五、三〇三	三、六六八
一九三二年	三三、七五五	六、六八八、六六六	七、〇四九	一〇、三三五
一九三三年	三三、三三三	三、四七〇、七五七	一、九〇四	三、四三三
一九三四年	三六、一八〇	三、四四九、四三三	三、九七九	二、〇九八
			一三、四四〇	一〇、五八八
			四六、九六六	三六、五五九
			計	
			日 本	一九三三年
			米 國	一九三四年
			英 國	三三、二六八
			獨 逸	三、六六八
			佛 國	一〇、三三五
			其 他	三、四三三
				二、〇九八

▲株式会社北支棉花公司 △組織日本法人△資本金三百萬圓、半額拂込△株主興中公司、綿業三團體△營業區域北支一帶△事業内容本店を天津に、支店を大阪ほか中國主要地に開設し、天津又は適當の地に中央倉庫を、地方棉花市場に收買倉庫を設置し、左の事業を行ふ

- イ、棉花の賣買及び仲立
- ロ、倉庫並に附帯業務
- ハ、繰繰及び打包工場を設置並に經營
- ニ、農具の共同購入並に斡旋
- ホ、その他必要な事項

尙ほ本會社はその保有する國策的使命に鑑み極力配當を制限（大體年六分）剩餘を以て北支農民の福利増進に當てる筈で、一面取締役の選任にも一定の制限を設けるとなつてゐる

ホ、羊毛は將來性がある

北支五省の産額は河北が三萬八千擔、綏遠及び察哈爾六萬四千擔、山東二萬擔、山西一萬五千擔、合計約十四萬擔である、之等羊毛は交通不便

なる奥地より搬出せられ天津より海外に輸出せらる、其の額は一千萬元以上に達し近年増加の傾向にある、然し纖維は彈性少く光澤不良の爲め其の大部がカーベット、交織カシミア、厚地羅紗用として使用されるのみで殆ど全部が米國に輸出せらる、日本に於ては鐘紡が張家口に粗毛工場を設置し大いに日本の羊毛問題解決に乘出さんとしてゐるが、更に大いに日本企業の進出を圖り帝國羊毛國策遂行に資する必要がある

第三章 經濟開發の根本方針

北支の資源その他經濟開發に當つては一體どんな方針を以て臨むべきだらうか、皇軍破竹の進撃により北京、天津一帶の治安回復工作が順に進展し、人心漸く安定に赴くに從ひ内地産業界は重大關心はこの一點に追々集結して來た、滿洲國誕生當時強固な統制政策のよつちりを受けこの新天地から一様に縮出しを食つた内地商工業者、産業資本家再び滿洲の例を繰返さぬやうにと口を揃へて自由主義を禮讚、主張し始めた、強力な統制經濟を北支に實施するとは、必然的に數々の面白からぬ事態を招致するだらうとは萬人の認める所である、これと同時に北支開發の抱合を第一義とした、所謂新自由經濟政策なるものが時勢の波に乗つて大きくクローズ・アップされ始めたのである、これと同時に北支開發に當つては出來得る限り外資の流入を容認せよとの議論も擡頭して來た、以下財界、業界各方面の意見を綜合して最も有力視する、根本方針を記述する

1、一般的な開發方針

大體論として北支經濟工作は我國の國防經濟と日滿支ブロック經濟を中樞として統制經濟と資本主義經濟との緊密なる抱合せによらねばならぬその何れの方に偏するも不可である

△今後北支に於ける經濟開發は内外資本の最も適正なる北支進出を企圖すべきであつて、これによつてまた日支兩國國民が喜んで株主として、また企業者として北支經濟開發に緊密な利害を持ち得ることとなるわけである、但しこれについては日滿支ブロック經濟並に日支親善工作に妨害を興

へないことを主眼とせねばならないこと勿論である

右に關し日本經濟聯盟に於ても北支開發に當つては極力外資の流入を許容する必要があるとし、右の建議を非公式に當局に提出した

一、北支における經濟開發は滿鐵、興中、東拓等においてそれぞれ具體案の實施に着手してゐるが内地資本の吸收なくして經濟開發の至難なることは既に滿洲事變後の大陸經營において經驗済みである、従つて今後における日滿支を通ずる綜合的開發に就いては官僚、軍部、財界が互に胸襟を開いて討議決定すべく舉國一致、以てその開發に當ること

一、北支開發に就いては偏狹なる排外的鎖國的觀念に躊躇することなく須く大乗の見地から寧ろ進んで英、米其他列國の資本投下を誘導することとし、この旨堂々世界に向つて闡明し、以て我態度に對する列國の誤解一掃に努めること

△北支本來の文化、文情は勿論既存の經濟機構を出來得る限り維持發達させること

△工業主義と重農主義との對策を誤らないこと
刻下の對策として農民の救済、農村經濟復興に注力する必要がある、従つてこれに爲には支那農民の福利増進を主眼とせねばならない、然し重農主義を唯一の原則としてこれを確守して行くとは北支の進歩を確實且つ安固に導く上に必要な全要件を充たし得ない結果となる爲め工業主義を併用し、兩者間の相互關係を緊密ならしめるとが肝要である

△治水事業を促進すること
北支に於ける治水事業は農村經濟の振興上最も緊要であり、水力電氣發源に資すると同時に民力の涵養、治安維持を促進する事が出来る

ロ、部門別の開發方針

△滿鐵委任經營を便とするもの

運輸 交通 運輸交通の根幹たる鐵道、港灣の建設並に經營は原則としてこれを滿鐵の經營に委任することとし、その他の補助運輸機關はなるべく民業に委ね一定の統制を加ふること

△或る程度の統制下に民業に委ねべき基本産業

電力事業は一定の統制の下に内地電力聯盟をしてこれに當らしむこと

鐵、石 炭 國家の統制下に民間の經營に委ねること

一、鐵、石炭は國防經濟強化の上に又日滿支ブロック經濟の組織の上からこれが開發は國家に於て計畫又は統制を施すことの必要なるは勿論であるが、これを滿洲に於けるが如き完全なる統制機構の下に置くことは内外資本の誘致を妨げ敏活なる企業の發展を阻害す

二、また企業の資本構成の上にてこれを日支兩國の一般民衆が所有し得る株式とする必要がある

三、右の株式は滿洲に於ける企業株と趣を變へ有價證券市場に於て有力なる株式とし、これが轉々流通せらるゝことに依つてこれらの株式は更にまた資本化し、同時にまた企業者も事業經營に最大の努力を拂ふこととなる

鹽 前條と大體その主旨同様である

棉 花 資源の培養保存等については國家的の見地から計畫統制を施す必要があるが、これが取引については一般營業者の自由經營に委ねるをもつて得策とす

内地に於ける棉花統制並に米棉、印棉等の關係から營業者の自治統制を基調とすべきこと勿論である

ハ、交通、運輸整備が先決問題

資源開發の前提として運輸交通機關の整備、充實が必要なるは論を俟たない所である、昭和十年末北支經濟開發の國策的機關として滿鐵より分離創設された興中公司もこの點に着目、當時の翼察政權との間に各股の重大折衝を進め、津石鐵道の如き實現の一步手前迄交渉が拂つたのであるが、南京政府の容喙によつて不運實現に至らず、再度の折衝が開始された直後瀋陽橋事件の勃發を見たものである、以下鐵道の敷設並に港灣修築の見透しについて若干の検討を試みる

一、鐵道 これは先づ北支の政權を對象としなければならない、鐵道の敷設、港灣の修築等大規模な建設事業は何れも政權を無視して考へられない、王道樂土と化した北支に果してどんな政權が誕生するか、すべてこれによつて左右されるものではあるが、以下簡單に最も緊急を要する諸鐵道について今後の見透しを述べることとする

▲津石鐵道 天津、石家莊間を連ねる幹線で、前述の如く曰く付き未解決の重大路線である、當時の翼察最高首腦者たる宋哲元の肚

さへはつきりと決つて居つたならつくに實現してゐたに違ひない、井陘炭を初め山西寶庫の數々の資源を搬出する上からして是非とも早急具體化を圖るべきものである

▲承 通 線 滿洲國熱河省承德と通州とを結ぶ一線で、滿洲、北支を連ねる重要鐵路としてこれ亦緊急敷設の必要がある
▲膠濟線の延長 中部支那物資の搬出と、同方面への日本商品進出とを考へると青島、濟南を連ねる膠濟線は更に京漢線へ延長、接續すべきである

二、港 灣 鐵道の敷設と並んで港灣の修築は北支の經濟開發上是非とも早急に解決すべき問題である、現在北支六港として擧げられてゐる諸港即ち天津、青島、秦皇島、龍口、煙臺、威海衛中、將來性を有するものは十目に見る所天津、青島の二港に歸着する、秦皇島は冀東貿易で一時相當の賑ひを見せたことがあるがその位置が東北に邊してゐる關係上全北支の門戸としては地理的條件に於て既に落第であり、次に龍口、煙臺、威海衛三港は背後地との連絡に甚だ劣位にあり、到底將來の北支門戸としての重責を擔ひ得ない、こんな状態で結局將來北支資源の搬出、日本商品の搬入門戸として關心を拂はれるに足る自然の良港は天津、青島二港を措いて他に見出し得ないとなる、而してこの兩港中青島について見ると青島は規模小なりと云へ現在に於て相當の港灣施設を有してゐるので、緊急着手を要するのは天津港の修築であるとの點に關係者の意見が一致してゐる、今天津港の現在の状態を見ると、天津即ち白河河口の吞吐能力は一ヶ年漸く三百萬噸（天津百五十萬噸、塘沽百五十萬噸）に過ぎず、出入船舶も二千噸級以下の比較的小型のものが大部分を占めてゐる、天津が殆ど上海に匹敵するに足る有利なヒンター・ランドを有し、その貿易額が嘗ての上海の五分の一にも及ばなかつたのは主としてその吞吐能力に關係してゐるのである、白河は元來河幅狭くその上黄土地帯を貫流してゐる爲め泥土が多く、河口及び天津迄の遡行區間が常に黄土で塞がれ航行困難となり、勢ひ沖止を餘儀なくされ、結局その貿易能力に重大な支障を與へるのである、過渡的便法として小型ランチの活用が旺であるが、これほど迄も一時の糊塗的手段であり、今にして將來の大計畫を樹立し、一日も早くこれに着手せねばならない、次に參考に現在關係技術家方面に唱道されてゐる具體的築港計畫を記載する

▲太 沽 港

- 一、白河河口左岸に於て現航路に沿ひ水深約一〇米に達する地點まで防砂導流堤延長二六、〇〇〇米を築造する
- 二、防砂導流堤北側に沿ひ船舶航路を設け幅員三〇〇米、水深九米、延長二三、〇〇〇米とする
- 三、防砂導流堤北方に接し二十萬坪の埋立を施し、更にその北方に約二十五萬坪の雜船錨地の水面を設ける

- 四、埋立地の前面に長五〇〇米、幅二〇〇米の埠頭を並列築造し差當つて四基、將來擴張の餘地を残す
- 五、埠頭間の海面は水深九米に浚渫する

▲天 津 港

- 一、永定河は楊村附近に於て北方に付替へ下流を金鐘河に導く
- 二、大清河、子牙河は白洋淀附近の適當の地で合流させる
- 三、白河の航路屈曲を匡正し全航路を適當な水深に浚渫し二、〇〇〇噸級船舶の航行を可能ならしめる

三、自動車

活用の程度は極めて微々たるものである、これは一に道路の開設が立ち遅れとなつてゐる爲で、將來は鐵道網の擴張と並行して當然發達を促進されねばならない、天津租界別の貨自動車業者及び車輛數を見んと

日本租界	十六軒	三八輛	伊 租 界	四 軒	二 三 輛
英 租 界	二十四軒	一一八輛	支 那 街	二 六 軒	一 〇 二 輛
佛 租 界	二十二軒	一三八輛	特 別 區	不 詳	一 九 三 輛

でこのほか天津を起點として郊外又は近郊に通つてゐる長途自動車營業者は現在三十三軒と稱せられてゐるが運行路線の主要なものを列記すると

商 號	所在地	車輛數
永利長途汽車行	河北院大街	二
宏源長途汽車行	河北院大街	二
祥茂長途汽車行	昇臺舞臺渡	二
永安長途汽車行	南市華樓房	二
同利長途汽車行	蘆莊丁	一
長順長途汽車行	北馬路	一
豐利長途汽車行	健物大街	一
益大長途汽車行	三條石	一
▲津 監 線		
公共長途汽車行	南門外南星橋	五
同鄉長途汽車行	南門外南星橋	六
健除長途汽車行	西馬路	三
▲津 河 線		
津河肅長途汽車行	三條石	四
永興長途汽車行	西馬路	四
▲神 寶 線		
天寶長途汽車行	候家後	二
快別長途汽車行	河北院大街	一
隆星長途汽車行	候家後	一
安利長途汽車行	河北院大街	一
和記長途汽車行	官濟大街	一

北京に於ては去る昭和十年十月より市營バスの開通を見たが、利用程度は未だ僅少である

二、金融政策の確立

金融問題の解決は何を措いても先づ眞先に行ふべき問題である、現在北支には南京系三銀行を初め河北省銀行その他の群小銀行發行の紙幣が二億五、六千萬流通して居り、事變後は朝鮮銀行券、滿洲國紙幣も漸次圓滑に流通してゐるが、これ等雑多な紙幣を合理的に統一する必要がある、一時的便法として軍票の發行も唱道されてゐるが各方面の意見を綜合した金融根本政策は大體次の範圍に落着く、即ち圓貨の強制通用を斷行するに結局物價の騰貴をもたらし、北支の金融界を刺激するとなるから、急激な變化は出來得る限りこれを避け、外國人間にも多く流通してゐる法幣によるのが得策である、我國としても正金、鮮銀等が河北省銀行なり或ひは他の適當な銀行を中心として法幣の圓滑な供給を圖るに努力する點にある

大阪商工會議所の意見

尙ほ大阪商工會議所對支問題調査委員會では左の如き財政金融政策を樹立してゐる

△日本の合作下に北支財政の根本的整理を行ふと

イ、北支財政の收支均衡を圖る根本政策を樹立する

ロ、税制の根本的改革、殊に日滿北支間の商品流通を圓滑ならしめる爲め雜税を撤廢する

ハ、公債の整理並に公債政策の根本的調査を實行する

ニ、以上整理によつて得たる餘裕を産業建設資金に充當する

ホ、日本と共同の財政、金融委員會を設置する

△金融部門に於けるブロック結成の基礎工作として獨立金融機關を設立し、金融諸機關の體系的整備を行ふ爲め左記事項を實行する

イ、金融機構の改革、即ち銀行制度の確立、發券制度の整理、舊式金融機關の整理等

ロ、金融政策の確立、殊に低金利政策により過剰資金の産業界還元を容易ならしめる

ハ、日滿、北支の通貨協定を實現する

日滿實業協會大阪支部の建議

日滿實業協會大阪支部では左の如き意見を樹立し本部と提携し當局に建議して居る

一、河北省銀行を改組して北支の通貨を統一し、將來北支中央銀行確立の基礎たらしむ

二、純銀の一定量（現在の中華民國國同一純銀量）を以て貨幣の單位としこれを圓と稱す

三、北支通貨を日本國通貨にリンクせしめ漸次圓對邦貨パーを實現せしむ

四、河北省銀行は紙幣發行高に對し四割以上に相當する銀塊、金塊、確實なる外國通貨又は外國銀行に對する金銀預け金を保有することを要す

五、前記準備額を控除せる殘餘の發行高に對しては公債證書、政府の發行又は保證せる手形その他確實なる證券若くは商業手形を保有することを要す

六、河北省銀行は日本國公債證書又は確實なる有價證券を擔保として貸付を行ふことを得

七、朝鮮銀行券は現在既に北支に流通する金額を限度としてこれを通用せしむることを得、但し一定期間内に回收せしむべし

八、中央銀行、中國銀行及び交通銀行の三銀行券は現在北支に流通する金額を限度としてこれを通用せしむることを得、但し右三銀行の北支に

有する資産を調査したる上、一定の比率を定めて三銀行券を河北省銀行券と引換せしめ、三銀行の支店は漸次これを河北省銀行に合併せしむ

るものとす

ホ、企業の原動力たる電力

北支に於ては從來小規模の電力會社が林立して居り（天津市のみで五社）電力料金もキロ當り最低五錢五厘、甚しきに至つては十錢と云ふ素晴らしい高率で工業用動力としては到底利用に耐へなかつた、この結果紡績會社の如きも止むを得ず自家發電によると云ふ状態であつたが、この種弊害を除去し、經濟開發を促進する意味合ひから昨年興中公司によつて天津電業公司が設立されたのである、本公司は興中公司として誇るに足るべき一大事業であり當時の南京政府による數々の容喙を克服、この懸案を見事達成した効績は見逃し得ないものがあり、既に一萬五千キロ發電二基を建設した、この結果電力料金も一躍二錢内外と驚くべき程の低率となる譯である、天津電業では創立以來の懸案として北支電力の一元化、群小會社の統合を目指し着々折衝を進めてゐるが、既に先般冀東地區内即ち通州、昌黎、蘆臺、灤縣各地の群小會社の一元的統合に成功し、日支合辦資本金三百萬圓の新會社の設立を見、同時に北京にある支那人經營の電力會社（資本金五百萬圓、半額拂込）の合辦契約にも成功し、電力一元化計畫は着々と進捗を見てゐる、尙ほ火力發電と並行し水力發電の開發も焦眉の問題とされてゐるが、これには永定河並びに海河の地理的、自然的條件が極めて水力發電に適合してゐるので、案外早くこの計畫も實を結ぶ事と思ふ、目下問題となつてゐるものに永定河の水力を利用する問題

溥の十萬キロ發電、河の二十萬キロ發電があり、遠からず實現するものと思はれてゐる、北支の電力開發については興中公司と電力聯盟との提携、話合ひが極めてスムーズにすゝみ、天津電業の創設に際しても電力聯盟では投資會社として資本金五百萬圓（四分の一拂込）の北支電力興業を創立して極力支援を與へてゐる、今後とも北支の電力開發は興中公司と電力聯盟との提携、抱合によつて進展させるのが最も妥當と思はれ、既に電力聯盟では十月日本電力副社長内藤熊喜氏を調査員として現地に特派し今後の計畫に備へた

第四章 　　どんな形態の開發機關が出現するか

今後の北支經濟開發には一體どんな機關を以て當てるべきか？北支に漸く戰亂治まり平和回復の曙光が見出されるや、最先きに關心を蒐めたのはこの問題である、事變前の北支開發には周知の如く十河信二氏の率ゆる興中公司が専らこの役割を擔當して來た、だが表面に現はれた結果からのみ判斷すると興中公司の收めた業績は決して上々とはいへない、勿論興中公司だつて各方面に亘る全權を附與されてゐる譯でもなく、一つの事業を計畫し、これを實行に移さんとする際には一々當時の北支主權たる翼察政權と折衝し、これの承認を獲得しなければならなかつた、所がこの翼察政權が終始「ハ／＼として足許が地に着いてゐないといふ難物だつたから、なか／＼話ハスピーディに拂らなかつた、今日我國に迎合するかの態度を見せたかと思ふと、明日は急に掌を返したやうに南京政府の顔色をうか／＼といつた按配だつたんだから、興中公司の業績を批判する時は多少この點を考慮に入れてやる必要がある、然し乍ら事變後の北支形勢はあらゆる情勢を一變させ、北支の重要性は一躍從前の二倍にも三倍にも飛び上つたのである、資本金僅か一千萬圓、この程度の臺所しか持たない興中が膨大な北支を一手に引き受けてその國策的使命を十二分に遂行し得やうとは決して思はれない、茲に於て北支事變前後からぼつ／＼興中公司擴充案が芽をふき始めた、所謂一億圓増資案である、かくて北支事變突發によつて興中公司上に新しい重大關心が注がれたのであるが、當時十河社長はこの千歲一遇のチャンスに他所に空しく病床に臥せつてゐた、病癒ゑた十河氏が急遽上京、中央政府並に關係方面と折衝を開始したのは既に十月中旬で、この時分に東京にあつても今後の北支開發機關問題について相當突込んだ検討を進められ色々と取沙汰が交されてゐた、一億圓増資案が水平線上を絶えず浮き沈みし、到々進んで興中の中

心とする一大投資會社新設の意見さへ口上り始めた、だがこの間にあつても空氣は必ずしも興中にとつて有利とはいへなかつた、興中公司の組織に徹底的な療治を加へ根本的に改組すべしとの意見や、甚しいのになると興中に顧みる事なく全然別個の開發會社を新設すべきであるとか色々な意見が亂れ飛んだものだ、それからあらぬ中央當局との折衝を一先づ終へた十河社長が大坂財界打診のため特に西下した折、ぶつきらぼうな質問に答へて彼がこのやうに放言した「今後の開發機關がどんな形で實を結ぶか全然見透しがつかない、それだから興中公司の改組にしても巷間色々と取沙汰されてゐるやうだが、何等目鼻がついてゐる譯でもないし、又こんな事は大した問題でもない、要は國策の線に沿つて完全に使命を遂行し得るやうな立派な機關を設置すればいいんだ、この意味からすれば一興中なんか極言すれば潰れやうがどうならうが問題ではない」と勿論彼のいふとほり北支開發といふ一大目的の前から見れば一興中の改組なんか區々たる些事ではある、彼としても心から國策的見地に立脚して斯く語つたのであらうが、その言葉の裏には何かしら物淋しい捨鉢的なある物が感ぜられた、この渦中に突如降つて湧いたやうに突發したのが日産の滿洲進出とこれに伴ふ滿鐵の重工業經營線からの總退却である、日産の滿洲移轉が表面化しない以前に於て、事變突發直後から滿鐵としても十二分に北支に色氣をもつてゐた、乃公田ですんばとの鼻息を機會ある毎にちらつかせていたのである、天津に大規模の北支事務所を開設し、宇佐美理事が采配をふつて着々鐵道敷設準備を進めてゐた、そこへ日産の問題である、滿洲に於ける活動分野に大きな制限を附せられ、鐵道經營一本槍へ還元を餘儀なくされた滿鐵は今までのブールをあつさりとかたがりして、北支開發に對する積極的意圖を表明した、重役會が連日連夜に亘つて開かれる、社員會が驟起して重役會の尻をたたく、ど／＼のつまり滿鐵北支開發具體案なるものが作成せられ、松岡總裁の私案に次いで政府に提示されるといふ段取りになつた、滿鐵重役會でこの緊迫した雰囲気は押し流され「北支開發は滿鐵でやる」と次のやうな具體案を公表した

- △北支の運輸交通は一元的に滿鐵で經營する
 - △井陘、正豐、嶧縣、山東などの諸炭礦を中心に炭礦業務も兼營、約一億圓の資金により五ヶ年一千萬噸の増産を圖る
 - △五ヶ年約七千三百萬圓をもつて天津五十萬噸、石景山八萬噸の製鐵所を新設、昭和十七年末までに銑鐵約五十八萬噸の生産を圖る
 - △山東省招遠ならびに冀東地區の進出を中心に採金會社を設置産金にあたる
- この時分の出來事である、日産にしてやられたと信じた血氣旺な若手社員は松岡總裁を訪れてその真相を質し、北支開發に關する眞意をたゞき眞に滿鐵の行方を憂へて號泣した、その直後あれだけ強氣一天張りで押し通した總裁が沁々沈黙したといふ「俺も社員の話聞いて思はず泣いた

そして滿鐵はまだ衰へずといふ氣持を一層強くした、北支開發はこの精神を以て滿鐵がやらなければならない、滿鐵にはい、社員が多い……」と日産進出の裏に秘められたうら淋しいエピソードである、日産の滿洲進出については色々批判が下されたものであるが、客觀的情勢よりすると止むに止まれぬ事であり、日滿兩國を一貫して生産力を擴充させる、具體的にけ立ち遅れの滿洲重工業を大いに發展向上させる方策、手段としてけ當を得た措置であるとして批判された、勿論滿洲の重工業全般を擧げて日産コンツェルン一手に委せて了ふ事には多少議論の餘地もあり、或ひは日産にその全股を委す事なく、鐵、金、自動車、輕金屬と別個の専門的産業資本にそれ／＼分割して當らせるのがより効果的であるのではないかと意見も聞かれた、兎も角滿鐵がこのやうに滿洲重工業開發の前線より退却した事は深まり行く非常時局と照し合せ見る人それ／＼に色々の感懐を興へたものではあるが、これと同時に滿鐵は滿洲重工業を日産に肩替りした資金、約一億一千万圓を握つていよいよ北支の開發に総合的に乗り出すのであるとの感銘を一樣に與へた事も間違ひのない事實である、もつとけつきりといへば滿鐵に充分の資金を與へて北支の開發に當らせる事を第一の目標にして、この日産滿洲の進出劇が脚色されたのであるとさへ穿つた觀測を下す向さへあつた、事實滿鐵の北支經營に對する態度は極めて眞剣なものがあつた、又滿鐵が北支經濟に對して徹底した認識と調査を持ち合せてゐる事も事實なのだ、そして又滿鐵が當の膝元たる滿洲を開發する所要資金の調達にさへ大きな障礙にぶつ、かつてゐる事も周知の事實であるのだ、かう考へて見ると、日産の滿洲進出、次に來る滿鐵の北支進出、これは決して考へられない筋書きでもない、そこにはちやんと一貫した筋合ひがあり、合理性がある、だが客觀的情勢は果して滿鐵の北支綜合的開發計畫を全面的に容認するだらうか、誰が考へても種々錯雜した支障があり、色々面倒な障礙物が構はつてゐる、先鞭をつけた興中公司も儼然と控へてをり、又その一方には虎視眈々たる内地資本家の眼が光つてゐる、興中と紡織聯合會、棉花同業會、在華紡織聯合會綿業三團體の合作で新會社が設立され、棉花の買付計畫が進められる、その改良、増産には東拓が手を出す、井陘炭礦の株式を興中が買取る、電力開發には興中と電力聯盟が手を握つて乗出す等々部門的の開發工作はどん／＼進められるといふ實情である

以上北支開發に關する興中公司と滿鐵の動向を概観したが、結局の所開發工作は根本的に綜合統制會社を設置して行ふか、或ひはそれ／＼の専門に従つて民間資本を動員するか——問題はこの一點にかゝつて來る、そしてこれが果してどんな方向に進展するかは興中なり、滿鐵なりの動き或ひは内地産業界の要望等が大きな作用を爲すものではあるが、つきつめた所最も妥當であり、合理的な機構が一應つぎのやうな所に落ち着くのでないかと豫測される

- △鐵道、港灣、石炭—滿鐵に全股を委任し、開發、經營に當らせる(但し石炭開發には多少の難色がある)
- △電力—興中と電力聯盟の合作に委ねる
- △棉花—興中、綿業三團體並に東拓に行はせる
- △鹽—興中又は東拓
- △他部門—内地専門別資本に開放する

第五章 對北支貿易はさう發展するか

イ、廣大な北支市場の現状

北支事變の勃發、次に起つた中支への戰局擴大は一時的とはいへ我が對支貿易を全面的に杜絶させる結果となつた、そして戰局が漸次擴大され支那軍の敗色が漸く顯著となつて來ると南洋方面に絶大な商權を有してゐる華僑の排日貨傾向も段々と色濃くなつて來た、支那貿易と南洋貿易が我國の輸出貿易の上になんか大きな役割を占めるわけ今更くと述べ立てる必要もない程はつきりした事實である、特に我國が最大の強みとする雜貨製品にとつては何物にも代へ難い地盤である、戰爭がはじまる以前から爲替管理で材料の手當に色々苦痛を感じて來た中小工業家、輸出貿易業者が資金難、材料手當難に直面して如何に苦しんだか想像に難くない所である、だが平時ではない、戰爭なんだ、全國民が一致して敢然と立ち上つて手にした暴支膺懲の聖戰なのだ、東亞の平和、皇國の隆昌を賭した決戦の前にはどんな犠牲をも耐へ忍ばなければならない、然し乍ら輸出貿易の鈍化が必然的に貿易所に悪い結果を齎せ、國際收支の上に面白からぬ數字を生み出すこと何としても避け得られない所である、一方輸入は如何かと思れば生産力擴充政策強行のために必要な物資はどし／＼海外よりこれを補給せねばならない、輸入は増加する、輸出は減退する、かうして入超實に七億なんかといふ空前の赤字を出し、これを克服するために官民一致の協力が施され、次々と戰時經濟立法の制定、實施を見た、そして輸出貿易の振興、就中小工業製品の輸出振興が當局の急務とされ、これに對する根本的對策が眞剣に考究されたのである、四圍

の情勢はこゝまで進行して来た、この時に待望の北支に戦塵漸く地を拂ひ、經濟回復の曙光は漸く判然と人目を打つに至つたのである、拗くに捌けぬ膨大なストックを擁して貿易業者がはつと安堵の溜息を漏らし、北支の天地に大いなる期待を繋ぎ始め、内地の工業製品は一齊に北支進出の陣容整備に萬全を期し始めた、雌伏から待望の雄飛へ業界は今や躍動の一步手前であり待つて待機の姿勢をとつてゐる

一方南洋市場の動靜はどうか、事變以來南洋華僑はどんな態度に出て来たか——國民政府や、これと結託する財閥の手に踊らされた彼等は事變漸く酣の頃からぼつ／＼表面的な行動に移り始めた、海峽植民地の華僑を中心に排日貨運動が表面化するの氣配を見せ始めたのである、然し彼等の運動は本質的に極めて微温たらざるを得なかつた、特に比島方面に於てはその傾向が目立つて来た、これは一體何に原因するものだらうか利にさとい彼等は上海事變當時の無謀な排日貨運動の悲惨な結末を未だに忘れず、その愚學を再び繰返す事を極力警戒したのである、上海事變當時に於ける華僑の排日貨運動は相當強力な根強いものであつたが、その結果彼等が得たものは一體何であつたらうか、商權の失墜を招き、彼等の財政的地歩に妙からぬ脅威を受けたのである、この生々しい記憶を胸にたゞんでゐるためその排日性質も極めて微温的な薄弱なものであり、寧ろ彼等の地歩を確實に護り通すため國民政府より強要される國債の購入に主力を置きこれによつて表面を糊塗せんとするやうな氣配さへ見えたのである、南洋貿易の將來、これは決して懸念すべきものではなく、又現在多少の打撃があるとしてもそれだけ完全に立直るのにはさう大した時日を要するものではない

内地工業製品の消化市場としての北支は、誕生當時の滿洲國市場にも比すべきもので、今後どのやうに發展、膨脹して行くかは何よりの楽しみである、事變以前より北支市場はすでに内地商品にとつて一つの獨立した大きな顧客であつた、これに滿洲輸入組合聯合會によつて年々定期的に開催されて来た北支見本市がなか／＼大きな貢獻を與へてゐる、内地から見本市團、旅商團が渡支した事も屢々であつた、特に昨年秋冀東政府が例の四分の一關稅を創設してからは冀東貿易は一時に旺盛な勢ひで進展し、冀東地區に向つてとばかり商品が進出し、平津地方から背後地帯へと流れ込んだものだ、その後現在に至る迄多少の消長はあるにせよ冀東貿易は未だに相當の股賑さを示してゐる、將來完全に北支市場を開拓するには色々施さねばならぬ對策があらう、當面の問題としては先づ關稅の合理的改正が必要であり、農村經濟の復舊にも努力せねばならぬし、たま港灣の修築も決しておろそかにはならない、明朗新北支建設の魁しけて天津に、北京に、察南に次々と治安維持會が雄々しい誕生の聲をあげ、隨所にばつと建設、復興の氣が漲るや、先づ商品陣營の第一線戰士として食料品、土産材料が今こそチャンスと一齊に堂々たる進軍を開始した、そしてこれに續いて一般雜貨、工業製品が本格的な進出を遂げる段取りとなるのであるが、果してどんな商品が一番歡迎を受けるだらうか！勿論第一に農民の購買力如何に念頭を置かねばならず、本當に北支が内地商品の需要地帯として充分の活動を始めるとは幾分の日子を要するの論を俟たない所ではあるが、販路開拓に對しては直ちに今から萬般の準備を進めねばならない、北支の農村狀態を十二分に検討しその民土、氣候、慣習にびつたりと適合した商品を送り出す事も勿論必要であり、同時に北支獨特の商取引慣習に對してもよく／＼注意を拂ねばならない、物資の缺乏に喘ぐ北支であるといへ、これを完全に商取引市場として確保するためには先づ周到なる用意と稠密なる調査、研究が何よりも必要である、只漫然たる企業的野心はこゝまでも禁物であり、決して永遠の得策ではない

在來北支市場に於て日本商品の強敵として驕を爭つたものに上海製品並に天津土産品があつた、これ等は概ね石鹼その他化粧品、ゴム靴、メリヤス製品、磁器鐵器等所謂輕工業品の範圍を出でない、比較的粗製品であつたが、北支民衆に喰ひ入つたその實力は仲々輕視し得ないものがあつた、所が今後の事變で天津並に上海の素人經營工場が甚大な被害を被つた結果、その生産能力も殆ど全滅に近い程の打撃を受け、一瞬にしてその實力の大半を殺がれてしまつた、これも今後の日本商品の進出に一つのいゝ結果を齎らせるものであらう、尙ほ昭和十一年度に於ける北支六港（天津、青島、秦皇島、芝罘、龍口、威海衛）輸出入貿易額は三億三千萬元、全支貿易の約二〇%を占め、この内天津が一億九千萬元、青島が一億元を占め他の諸港は一千萬元以下に過ぎない、天津の對日貿易は輸出三千百萬圓、輸入二千八百圓、計五千九百萬圓である（以上何れも冀東貿易額を含まず）

□、北支には將來どんな商品が有望か

わが國の對北支貿易は以上述べた如くであるが將來どんな商品が北支の新しい舞臺に躍り出るだらうか、以下主要工業製品別にその概説を述べて見やう

雜貨

内地雜貨製品の消費市場としての北支が今後の情勢展開につれて如何に擴大發展するかの想像に難くない所で、輸出業者の期待も亦この一點に集められてゐる、事變前の北支市場も我國雜貨にとつて決して輕視すべきものでなかつた、滿洲國誕生以來この未開の沃土に大量進軍を開始した輸出雜貨は暫くにして殆ど全滿を埋めつくすの盛觀を呈したのであるが、漸く滿洲に於て飽和状態に達するや次には北支へ北支へと流出し始めたのである、だから北京、天津、青島等の主要都市は勿論その背後地に至るまで一應内地雜貨は紹介されつくしたのである、これ等北支に向けられる雜貨製品は自轉車、帽子、紐釦、鈕釦、硝子器具を第一に縮メリヤス、ゴム靴、洋傘、ランプ部

こゝ一、二年間は非常なる活況が豫想される

土木機械

北支建設の魁として土木建築業者の北支乗り込みは既に續々開始されてをり、單に各種産業開發と文化施設建設の基礎條件としてのみ見るも土木機械の北支進出は緊急重大なる項目の一つである

製材機

製材機類の北支市場の開發は既に従前より行はれてをり偶々今回の事變の結果一頓挫を見たが、北支の林業開發は滿洲國の林業開發と相俟つて相當大規模の企業計畫も進めらるべき可能性を充分に持つてをり精密機械と違つて高價な舶來品の競争圏外にあるだけに相當期待すべきものがある

紡織機

棉花の生産原産地を控へ尨大なる消費市場を持つ北支開發の進展に連れて紡織機の北支進出は將來最も期待される所にして、北支治安の回復に伴ひ現存紡績企業の擴充計畫を初め縮紡其他の北支進出計畫など着々進捗を見せつゝあり、本邦紡績機メーカーの獨占市場としての將來は洋々たるものがある、紡績工業地帯として在來支那最大の實力を誇つた上海が戦火の爲に再起殆ど不能の程度迄に痛めつけられたとは將來に於ける支那紡績工業の中心が天津に移行するを約束づけるものであつて天津を中心とする紡績工業地帯の出現は最早決定的と目され、これに伴ふ紡績機は必然的に内地にその供給を仰ぐこととなる

農業用機械器具

内地農業用機器の普及を見てより生産力擴充を達成した各メーカーは滿洲市場を有力な消化市場として滿洲建國以來活潑な商戦を展開した、廣大なる滿洲が農業立國を國策として進みつゝある關係から農用機器の有望性は昨十二年に至つて愈々具體化し在來の大農法に依り必要とされてゐたトラクターを中心勢力として著しい需要を告げ大體滿洲を對照とする輸出を目ざし昨秋には大日

商工家北支進出要解

1ターとなつてゐる、家庭に産業に電力なくしては日々を送るとは出來ない状態となつてゐる、従つて北支の前途は電氣關係諸機械の一大消費地となるのけ自明の事實であらう、扱て北支の電氣事業であるが現在北京、天津兩市を中心として僅かに普及を見てゐる程度でその他では炭礦業者或は工場が自家發電に依り電力の供給を圖つてゐる状態である、今本邦が同地に關係してゐる事業概況を擧げると河北省では山海關電燈股份有限公司、出力二萬一千五百三十八キロ、天津共益會、出力二千八百キロ、山東省では膠澳電氣股份有限公司、出力一萬三千八百キロ、魯大煤礦公司、出力七千キロ、博東礦業公司、出力一千六百キロ、合計四萬六千七百三十八キロの内純然たる日本資本に依つてゐるのは天津共益會のみで他は日支合辦となつてゐる、その他は英國系資本を主勢力に五萬九千六百六十五キロで兩者を合せて十萬キロ餘に過ぎぬ状態である、これを面積、人口から見れば如何に將來性に富んでゐるかを明瞭である、國産メーカー昨十二年に於いては記録機七萬五千キロ發電機を製作に成功如何なる用機の製作にも充分應じ得る實力を有するに至つてゐるから鬼に金棒と云ふ譯である

鐵道材料車輛

北支に於ける鐵道事業は北京が嘗ては首都であつた關係から全支に比較して第一位を占める發達振りを示し河北省の如きは北平、津浦、京漢、京綏、正太の五幹線を有し鉅々たる事業内容を有してゐる、今之を距離から見ると合計三千三百四十軒に達してゐる、然し我國と比較すると未だ充分でなく殊に事變に依り至る所爆破され妙からぬ損傷を來してゐるのでこれが復舊に本邦鐵道技術の進出を待つもの多く又北支の新情勢は日滿兩國との連繫が緊密化すると共に幾多新設線の開設を要求されてをり現に新設計畫が具體化しつつあると聽く、従つてレール並にこれが附屬機器、車輛、機關車等の需要は相當巨額の購入がある筈で交通事業の性質上その需要は急を要し

本農機具輸出組合の結成を見るに至つた程でこれと同時に哈爾濱に陳列所を設置する計畫を進めてゐる程である、然るに支那事變を轉機として滿洲より北支へと降つて湧いた様な朗報が業界に傳へられ正に欣喜雀躍進出の待機の姿勢を取つてゐる、即ち北支は滿洲に比して總てに文化的であり機械に對する知識も相當深いのは事實でこれが最も強味であらう、唯現在の調査に依ると農民の財力が頗る低く従つて内地取引とは自ら異り、メーカー制が當分は必要であらうと思ふ、これが爲め或る機關を通じ買込みをすと云ふ方法が考慮される譯で最近の各方面の情勢を綜合して左様に推しつゝある、機種としては動力機械を中心に耕耘機械、畜力機、槓摺機、製綿機、製粉機等が最も有力なるものに擧げられる

鑛山機械

北支に於ける石炭、鐵礦その他金、石灰石、石綿、瀋陽等の産額は實に無盡蔵の埋藏量を有し特に石炭の如きは世界第三位に位してゐるので事變を契機としてこれが開發は活潑に行はれると充分察知出来るがこれに従ひ在來機械化が充分でなかつた各鑛、山は凡ゆる日本の文化を吸収一齊に優秀機械裝置の購入が行はれるは當然で採算を有利にする目的と大資金の放出と俟つて想像に餘りある活況を呈するであらう、周知の如く鑛山機械は一プラント數十萬圓に達するものが多々あるから鑛山事業と相共に黄金時代を現出する事が期待される

港灣關係機械

北支治安の回復、これに續く産業發展は必然的に物資の需給が增大するのは當然のとであらう、これが爲め北支六港即ち天津を初めとして太沽、塘沽、青島、秦皇島等は急激に物資の吞吐が増大を來すは明かであるが爲め現在の各港灣施設は將來を考慮し急速に改善擴張を要する譯である、既に太沽を第一着手として各港の改良計畫が擧てられてゐるから今春早々には所要機の大引合があることが豫想される、滿洲國が建國當時大連港の大改良をし内地輸送機

1カーに記録的起重機等の引合を設した事實に徴し北支諸港が改良計
書に着手された時、所要機の引合が設せられるならこれに實に膨大な
内容を持つたものとならう、事變後材料問題が幾分緩和されるなら内
地メーカーは充分消化する力を有するから正に腕に燃してこれに期待
して可であらう

鐵管繼手バルブ類

鐵管繼手、バルブ類等は文化施設の着
手と不可分離の關係にあり、従つて今後の北支市場は今時事變の各機
構破壊の再建設乃至は新建設の勢ひに乗つて重要市場となるべく
日支事變以前は三菱商事並に大阪商店筋より天津を中心として相當に
賣込まれてゐたが、今後の需要數量の膨大性は明かであり、大體が本
邦製品は今日迄南洋、印度其他各種民地並に歐洲諸國にまで發足を延
ばしてゐた事實から北支市場の確保は極めて有利な條件にあり、大い
に進出の餘地があると云はれる

紙螺類

北支の文化施設に伴つて紙螺類—ポルト、ナット、
ワッシャー等々の需要増大の見透しは一點の疑ひなく日支事變以前既
に北京、天津を中心と相當大量輸出に成果ををさめてゐた強味もあり
その既成地盤的特性は事變後に幾倍かの好結果を齎すことは確信する
ところでは本邦製品の價格低廉は北支需要家筋の好評を受くること
となり大々的成績を擧げ得るものとされてゐる

鍛造、粗工具類

日支事變後の北支文化施設の活発化は明瞭
にして機械工業の漸次旺盛に工具類の需要は當然の事ではあるが就中
鍛造製品、鍛造粗製品等の進出は期待すべきである、その一番大きな
理由は本邦製品は歐米各國製品に比し價格の割安なる強味であり、而
も運賃料の點からみてもわが國は近距離にあり、日本勢力の有力化と
相俟ち當然北支の需要に應じ大々的進出の餘地充分なるものがある
らう、その品種別を擧げれば各種レンチ類、各種部品、スッパナー、

しいことと思ひ半ばに過ぎるものがある、宣傳と理解によつてゴム
輸出靴は前途頼もしい限りといはねばならぬ、正義日本と明朗北支の
握手は必ずやゴム靴界に絶大の明朗性を附與するであらう

石鹼

北支に對する石鹼の輸出はまことに微々たるものであ
つた、昭和十年に於ける支那全體の石鹼輸出額が僅かに五十二萬八千
圓に過ぎないのだから北支だけならば更に相當この數字を減少させ
ねばならない、而も支那の五十二萬八千圓に對する瀋陽(關東州を合
む)への輸出は百四萬圓といふ二倍の數字を示してゐることは少から
ぬ矛盾を感じしめる、即ち瀋陽に於いては百萬圓を超える石鹼を輸
出してゐる今日、瀋陽一般民衆よりも教養もあり、人口も數倍を數へ
る北支が斯様な微々たる消費力しか有せぬなど絕對考へ得られない所
である、斯様な矛盾の上つて來る所以は英國の邦品防遏以外の何もの
でもなかつたといふも過言ではあるまい、北支に於ける石鹼は英國品
によつて席巻されて來た、我が石鹼は英國の牛耳る海關により、その
他凡ゆる手段により陰に妨害されてきたもので、明朗北支の建設
後には先づ英製品を打破つて我が石鹼の進出こそ先づ刮目すべき價値
を持つてゐる、技術に於いて、工賃に於いて、地理的條件に於いて、
裸と裸の一騎討において我が石鹼は英國製石鹼に一步たりとも引けを
とるものではない、瀋陽もさること乍ら北支こそ我が石鹼の最大需要
地帯でなければならぬ、石鹼全輸出額の僅か八分の一しか占めぬ支那
が、北支のみでも瞬時にしてその數倍の輸出をみるであらうことは火
を見るよりも明かなことである、北支向有望商品の劈頭を飾るものは
先づ石鹼であると斷言したい

セメント

戦争が破壊作業に外ならないものである限りは、戦
の後に來るべきものは先づ建設である、燬破された建物の再建から、
新設、さては又橋梁架設、道路敷設それらは先づ以つて北支に着手さ
るべきもので、それに要する最大需要品こそセメントなのである、

チエントング、アンビル、各種バイス類、各種ハンマー、各種ベンチ
パイプカッター、其他金物類に近きものは有望性があらう

自動車部分品

北支では未だ道路が整備されてゐないので内
地と異り自動車交通にはフォード、シボレーよりも堅牢なダッチが使
用されてゐる、従つてダッチ部分品が最も有望なわけである、自動車
部分品は昨年十一月より輸出は許可制となつたが、これは普通國產自
動車に限り部分品の輸出は原則として許可の方針であるから申請手續
が煩瑣になつたのみである、北支交通は將來道路、鐵道等の整備に俟
たねばならぬが、これには多少の時日を要する、従つて當分自動車交
通は最も緊要な交通機關であり、従つて其の取替部分品の需要も亦旺
盛であることはいふまでもなく、國產部分品の進出には絶好の輸出先である

自轉車

本邦自轉車の支那向け輸出は昭和八年に二百二十五萬
圓であつたものが加速度的に増大し昭和十一年には七百八十四萬圓と
なつた、昭和十二年度は支那事變の影響を受けて激減せるものと觀測
されるが、これは一時的の現象であり、昨年末には既に天津方面から
ポツ／＼引合があつた、今後の政治的安定を得れば北支は自轉車にと
つて非常な有望な市場となるであらう、由來自轉車の製作は小規模、
家内工業的のもの多くこれが日本人の特質に適つて他國の追隨を許さ
ぬ製品安を結果してゐるので北支安定後の進出は非常に有望である、
自轉車の輸出は日本自轉車輸出組合がこれを統制してゐるのでこれが
規定に服さねばならぬことはいふまでもないことである

ゴム製品

日本に於いてもゴム靴の最もよい消費地は農村を初
めとして、一般には北陸、東北、北海道、樺太方面の寒地、寒地とい
ふよりも雪國である、この條件は北支のそれにそのまゝ當て嵌るので
ある、北支の殆んどは農民であり、その土地は雪の中に一年の相當期
間を費すことを厭はなくされてゐるのである、ゴム靴の需要の素晴ら
内地に於ける鐵鋼工作物製造許可規則による高層建築の制限などの影
響によつてさらだに高率限産による不況を啣つてゐたセメント業界
は昭和十二年十二月、翌十三年一月、二月の三ヶ月間の内地セメント限
産率を六割五分、朝鮮は五割四分と何れも未曾有の最高限産率を示し
セメント各社の業績も昭和十三年上期から目に見えて悪化すること
何人も疑はぬ常識であるが、各社の期待は北支の建設工作に對してこ
そ最大の望みをかけてゐるのである、膨大な北支の道路建設、耐久
耐寒を必要とする諸建造物など我國セメントに對する北支の需要層は
戦後まさに絶大なものがある

塗料

北支は昭和十二年に入つてからは塗料業界の進出舞臺
としてクローム・アップされた、瀋陽に本據を持つ瀋陽ペイント、さ
ては又日本ペイント瀋陽工場が、北支を有望市場として狙ひ、内地塗
料各社と塗料合戦を同地に展開し始めたのはさう遠い昔のことではな
い、而もその進出には少からぬ障害も伴つたのである、然し乍ら事變
は正に一變しやうとしてゐる、極彩色を好む支那民衆の嗜好は塗料業
者にとつても一つの良い顧客である、鐵道に、鐵梁に、家屋建設に塗
料の行くべき途は決して少しとしない、支那事變以前の北支塗料合戦
も今後は愈々本格化するであらうことは疑ふべくもない、桐油を初め
各種原材料を相當豊富に供給し得る支那はまた同時によい消費者でも
ある

土木建築材料

北支の建築工事には美術建築僅少のため粗材料
の需要に限られる、木材は従來福州木材と米材によつて市場が占めら
れてゐたが今回の事變を契機として朝鮮、瀋陽材が要求せられ特殊の
長尺杭木、角材のみが米材を使用せられる事とならう、煉瓦は勿論採
算關係から地元業によつて供給せられ日本内地より進出の餘地が
ない、スレートは事變後今日迄に約五十萬坪の契約を見てゐる模様で
あるが今後もなほ相當の需要ある見込みである、セメントは將來は彼

地に工場建設を見ても現在のところ日本内地の工場が六割五分と云ふ高度の生産制限をなした満洲のセメント界にも若干は餘裕があるのに茲數年間日本内地工場より供給されるであらう、彼地では必要あるものはセメント急結劑でこれは大量に引合はれるものと期待される、土木方面では下水道の完備を急とせられてゐるので導水給水管は當然必要とせられるが、鐵鋼使用制限の今日としては混凝土管に類するものが寧ろ有望ではないかと觀測せられる

土木建築請負 北支に於ける土木建築事業は滿洲國の場合と異り官衙、ビル等は尠く主として生産的建築の勃興を見る譯で只請負方面では滿洲で各義人の數が熟練工の數より多い地方すら現出し、この統制に手を焼いた經驗があるため所謂一貫の請負人が活躍する事

ハ、關稅はどう改正される

北支貿易を本格的に振興させるために現行の關稅率を合理的に改正する事の必要な事はいふまでもない、果してどの程度の改正が行けるものか輸出業者は齊しくこの一點に深い注視を拂つてゐるのである、事變以前の關稅制度は中央政府の支配を受けたものであり、従つてその關稅も亦その關稅法規によつて一から十まで律せられたのである、この結果その稅率中にはことさら日貨排斥を目標とした不合理なるものが多々見受けられたのである、關稅改正にあつては先づこれ等を合理的に改正することが第一である、そしてそれけ又同時に日、滿、北支の經濟提携、北支への物資供給を主眼としなければならぬ、北支の關稅改正に關しては關係業界は早くも種々要望の火の手をあげ、その實現の一日も早い事を期待してゐるのであるが、その意見は大體現在の四分の一關稅を北支一帯に擴大し、以て商品の進出に積極的助成を與へて貰ひたいとの點に一致してゐる、然し乍らこの四分の一關稅は内地業界から擧つて強調されてゐるとはいへ、各方面の情勢を綜合すると必ずしも實現可能性を多分に有するものではなく、寧ろ當面の具體案としては滿洲國關稅率の適用説が有力である、即ち現行の滿洲國關稅をそのまま北支に移し、あらゆる關係商品にその稅率を適用せよといふのである、以下北支を包含する支那の現行關稅制度を記載する

支那の現行輸入稅率

昭和五年五月關稅自主權を完全に回復すると同時に單一國定稅率を制定、翌六年一月一日より實施、後同年七月と七年三月、八月及び八年一月並に昭和九年六月の改正を経てその輸入稅率を從價五分、七分五厘、一割、一割二分五厘、一割五分、二割、二割五分、三割、三割五分、四割、五割、六割、七割、八割の十四種に分ち徵收することとしたのである

又その徵收は昭和十年二月一日以來海關金單位(純金六〇・一八六六センチグラム)に改めたのであるが、金單位の實貨は存在しない爲税金徵收は當該地通用の貨幣に換算して收納することとしたのである(いま稅表により大項別稅率を示せば次の如くである(數字は總て%)

一、棉花及綿製品	二五
二、麻及麻製品	三五
三、羊毛及同製品	五五
四、絹及絹製品	五〇
(人絹ヲ含ム)	
五、金屬及同製品	五七
六、飲食料品及藥材	一〇
七、煙草	一五
八、化學藥及染料類	五〇
九、蠟燭、石鹼、油、脂、蠟、ゴム及樹脂	一〇
十、書籍、地圖、紙及ウツド、バルブ	七五
十一、畜產品及同製品	七五
十二、木材、木、竹、籐、標、藥及同製品	七五

商工家北支進出要解

は不可能と觀測される、現在内地では清水、大林、森、福、福、柳谷等が積極的に動いてゐるが、就中滿洲飛鳥組の活躍は相當期待されるべきであらう、また内地に於ける一流業者の團體である建築業協會が共同出資(約二千萬圓)の北支開發請負會社設立等が進められてゐるので中小請負業者にとつては茲二、三年間は進出の餘地なきものと觀られる、一方地元の支那人請負業者も相當の數に上り而もこれらの業者の見積は日本業者と全然異つた數字に根據を置いてゐるため比較にならぬ程度の低額となり工事の日支均霑と云ふ意味から中小工事は自然それらの支那人業者に委ねられる結果となるであらう、要するに支那の請負界はより統制化せられ組織化された内地一流業者のみの活躍すべき天地である

十三、石炭、燃料、ピルチ及タール	一〇
十四、陶磁器(磁器及磁器)	三五
十五、石材土及同製品	一〇
一六、雜品	一〇

附加稅

水災附加稅と收入附加稅と呼ばれる關稅附加稅(兩者とも正稅の五分)計一割が課せられる

統稅

昭和六年二月より國民政府は内國關稅廢止に依る財政上の損失を補填する爲め左記の外國品に對して統稅を課することとした

(甲) 生綿糸二三番手を越えるもの	每百斤 二・七五元
(乙) 同 二三番手を越えるもの	〃 三・七五分
(丙) 其他の綿糸	從價 五分

安全マツチ

(甲) 長さ四八耗、巾三四耗、厚さ一六耗の小盒にて五本乃至八〇本を裝入せるもの、毎大箱	一三・五元
(乙) 長さ五九耗、巾三八耗、厚さ一八耗の小盒にて一〇〇本乃至一〇五本を裝入せるもの、毎大箱	一七・四元
(丙) 長さ五九耗、巾四〇耗、厚さ一八耗の小盒にて一一五本乃至一二〇本を裝入せるもの、毎大箱	二二・一元
セメント	每一樽(百七十斤) 一・二元
小麦粉(甲) 一袋重量四九封度以上のもの	〇・一元
(乙) 四九封度未満のもの(甲)の稅率により重量に	

アルコール(甲) 普通アルコール	比例して徴收
	每立〇・一三元
(乙) 變性アルコール及メチルアルコール	
	每立〇・〇六五元

輸入免稅品

金、銀、地金及硬貨、白金(未製品)
書籍、海圖及地圖、新刊新聞及雜誌、動物肥料

輸入禁止品

鹽及化學製品にして二〇%以上の鹽分を含有するもの
阿片及罂粟子

武器、彈藥及各種軍需品(但し政府の請求による場合又は許可を得たる場合此の限りに非ず) 其他印度大麻、藥品類等二十餘種

現行輸出稅率

一九三一年六月一日より實施せられ一九三四年七月の修正を経た現行

輸出稅率に依ると從價稅及び從價稅共に大體從價七分五厘を標準として定められてゐる、但し或種物品に對しては内國産業保護乃至輸出獎勵の目的を以て從價五分乃至三分見當とした、輸出稅にも水災附加稅及收入附加稅があり、その稅率は共に正稅の五分即ち合計一割である

輸出免稅品

茶、絹織物及び人造絹糸織物、絹紬、書籍及びパンフレット、麥稈眞田、漆器、米その他穀類、酒及び藥酒、絹織糸及び同緯糸、毛製絨氈衣服及び同附屬品、鐵、鋼及び同製品(鉄鐵、鐵、舊廢鐵鋼を除く) 銅器、硝子及び硝子器その他三十七種に及んでゐる

輸出禁止品

帶毛鳥皮、銅、青銅及黃銅を熔解して槍器物に製せざるもの古銅、屑銅
金地金及金裝飾品、支那の古籍、各人の原稿、孫文の遺墨等

二、市場としての北支農村の購買力

我國生産力擴充の爲には原料の獲得、生産能力の擴充等を圖るばかりでは充分ではない、平時に於てその擴充さるべき生産力を維持し更にこれを増進する爲には製品に對して充分販路を擴大することが必要である、この見地に於て北支は我が有力なる商品市場とならなければならない、然るに北支を有力なる商品市場とする爲に先づ執らねばならない根本的對策は大衆の購買力を増進することだけではない、そして北支の民衆の約九割は農民であるから北支の民衆の購買力を増加することは疲弊せる農村を如何にして復興するかといふ問題に歸着するのであつて、我國生

産力増加に寄與するためには北支農村對策を講ぜねばならないといふ結論に達する、又我國從來の對支政策の跡を見ると往々にして軍閥その他個人的要人對策に墮し大衆を對象とする點に於て甚しく缺ける所があり、茲に對支政策失敗の原因が伏在するのであるとさへ考へられるのである、故に若し日本がこの際支那の農村問題を取上げこれに働きかけるならば所謂大衆を基礎とするものであるから本格的日支提携の境地に達し對支政策の百八十度轉換を促すこととなるのである、この見地に於て北支農村の實態を究明しこれが對策の根本を吟味して見たいと思ふ

支那農民は積年の軍閥政治のため甚大な負擔を課せられてゐるばかりでなく、天災、兵禍、匪禍等が絶え間なくしかも世界農業恐慌の餘波を蒙りその疲弊は驚くべきものでその上、人口は極めて稠密で人口に對する耕地面積は又僅少である(人口密度一平方浬當り河北省は二二二人、山東省一九九人で日本内地は一八一人、滿洲は二四人である) 農家一戸平均畝數は河北二四畝、山東一九畝の割合となつてゐる

以上の如き状況であるから緊急着手すべき對策として第一に農村の復興運動として近年驚くべき程の勢ひを以て發展を見てゐる合作社運動を注視せねばならない、合作社とは所謂農村の協同組合であり國民政府及び地方政府が國民經濟建設運動の一環として指導獎勵したものであつて近年支那の各銀行がこの運動を支援してゐるとは本運動をして益々發展させるに役立つてゐる、然し乍らその多くは信用組合に墮し最も緊要な生産方面に缺ける所がありその上、合作社操縱の實權が土豪劣紳の手に集つてゐる關係上眞實の農民復興として寧ろ反對の方向に進みつゝあるといふも過言ではない

日本はこの點に着目し眞に農民本位の而も生産、信用、利用、購買の組織を完備した協同組合運動の發達を促進しこれを助成することに依りて農村を復興してその購買力を増進、以て帝國の商品市場としての價値を向上させ又同時に北支農民の民心を收攬して眞個の日支提携の基礎を確立する必要がある、而してこのためには日本側の機關として支那の合作社及び農村に關する各種事業を支援する一大公益法人を設置することが望ましい

ホ、冀東貿易はどう發展するか

支那の輸入關稅は極めて高率であるため冀東防共自治政府が昭和十一年秋自領への輸入品に對しその稅率を支那の四分の一に引下げるや北支向

貨物は高關稅を避けて先づこの地に流入し、然る後陸路天津を経て支那各地に搬出されるといふ所謂特殊貿易なる現象を呈するに至つたのである。即ち冀東貿易であるが、支那向貨物が一旦秦皇島、留守島、北戴河、南大寺に陸揚げされ北寧鐵道により天津に入り、こゝから支那各地に移入されるといふ經路を採つたのであり、その全盛期であつた昭和十一年一ヶ年に於ては實に支那の總輸入額九億四千二百萬元の約二十五%たる二億五千萬元がかかる方法を以て輸入されたものと推定され、従つてこの年に於ける天津海關の關稅收入は例年に比し約六百萬元といふ巨大な減少を示してゐるのである。然し乍ら關稅收入を以て重要な歲入源泉とし、高率關稅による國內産業保護を必要とする支那當局がこのまゝ黙過しやう道理けないのであつて、冀東貿易がその實力を發揮するに至つてからは擧げにこれが妨礙策に出で、特に十二年五月、滄州、大成、泊鎮に天津海關辦事處を設けて之を取締りそのうへ商家に對しては手持私貨の登記を強要し登記を了せざる者に對しては七月一日以後沒收を以て脅し極力特殊貿易の防遏に努めたのである、このため十二年に入つて冀東貿易は急激に衰退を見たことは次表に掲ぐる天津海關調查に見るが如くである。

▲天津東站着冀東貨物(單位千俄又千担)

年次	人絹	煙草紙	反物	砂糖	石油	雜貨
一九三五年	三〇〇	三〇〇	六六六	四〇五	一	一七
三六年	六〇七	六〇一	八〇八	一〇〇五	三〇三	三七八
三七年上期	五七	〇二	四三	二四八	一五九	一七二

然し乍ら事變以來對支輸出が全面的に杜絶して以來は冀東貿易は漸次往時の殷賑を取り戻し、北滿麥粉を先頭として急速な増大振りを見せた。冀東貿易輸入關稅(角砂糖、棒砂糖及氷砂糖糖を含む)角砂糖及棒砂糖、水砂糖、人造絹糸、干貝、紙巻煙草用紙の六種目を除く外は悉く支那關稅の四分の一とし、一金單位銀二〇二元として換算し賦課し、その上に十分の一の附加税を加算すること、した、今例外六種目に關し、冀東と支那の稅率を夫々比較すれば即ち次表の如くである。

稅番	品目	單位	稅率	單位	金單位元ニ換算
一三〇	人造絹糸	百磅	六〇〇元	百担	二〇〇〇元
二七八	干貝	百斤	一五〇〇	〃	六〇〇元
三九七	砂糖(角砂糖、棒砂糖及氷砂糖ヲ含マス)	一包	〇〇〇	〃	三九七
三九九	角砂糖及棒砂糖	百磅	六〇〇	〃	一〇〇〇

四〇〇 永砂糖 百斤 六〇〇 〃 一五〇〇 三三〇〇
 五四六 甲紙巻煙草用紙(小卷一六〇) 〃 一五〇〇 五〇〇〇
 (捲紙又ハ細軸ニ卷キタルモノ)
 尙輸入禁制品の範圍をも縮小し僅に左記三種のみとなした、即ち食鹽及鹽化ナトリウム二〇%以上を含有する化學製品、武器、彈藥及一切の軍用機發藥(政府の輸入によるもの又は政府の許可を得たるもの、外は總て輸入禁止)
 阿片、モルヒネ、コカイン及其他烈性の麻醉藥及其製劑(特許を得たる醫師、藥品商の保證あるもの、他は總て輸入禁止)

▲昭和十二年上半期各月商品別輸出額(單位元)

品目	一月	二月	三月	四月	五月	六月	計
動物及動物產品	九六五、三三〇	八九六、六三三	六七五、一五五	八六六、〇二一	三、二七〇、七〇七	一、五八三、三三〇	六、九〇〇、三三〇
皮革及毛皮	六、一四九、九三三	七、六六六、九三九	七、六二一、九三八	一〇、四四八、八八八	七、三三三、三三三	五、〇四一、三三八	四、〇〇四、五五五
魚介及海產物	二、五九八、八八八	七、〇一、八二二	三、三三三、三三三	二、九七四、四四四	四、八八八、八八八	一、八三三、三三三	一、八三三、三三三
豆類	八、八三三、三三三	九、九三三、三三三	三、九三三、三三三	三、九三三、三三三	二、九三三、三三三	六、〇三三、三三三	四、〇三三、三三三
穀類及同製品	二、一七五、一〇七	二、〇七五、一〇七	一、八六八、八八八	一、九三三、三三三	二、四三三、三三三	三、四三三、三三三	三、四三三、三三三
植物性染料	一、五八八、八八八	三、〇三三、三三三	三、〇三三、三三三	二、四三三、三三三	一、〇三三、三三三	三、四三三、三三三	三、四三三、三三三
鮮果及貯藏果	一、四三三、三三三	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	一、四三三、三三三	一、〇三三、三三三	三、四三三、三三三	三、四三三、三三三
藥材及香料(化學合成品ヲ除ク)	七、七六六、六六六	九、八七五、一〇七	一、〇〇三、二二八	九、〇三三、三三三	九、三三三、三三三	一、二六八、八八八	五、九〇〇、二二二
油脂及臘	九、八三三、三三三	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	一、五八八、八八八	九、七〇〇、〇〇〇
種及臘	五、一四〇、九三九	六、一四〇、九三九	四、八七五、一〇七	四、八七五、一〇七	二、九三三、三三三	二、七三三、三三三	二、七三三、三三三
酒精	九、九三三、三三三	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	一、〇三三、三三三	二、九三三、三三三	二、九三三、三三三
砂糖	二、六六六、六六六	三、〇三三、三三三	二、三三三、三三三	三、三三三、三三三	一、二六八、八八八	一、二六八、八八八	一、二六八、八八八
茶	八、三三三、三三三	一、四三三、三三三	一、四三三、三三三	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	二、七三三、三三三	二、七三三、三三三
煙草	八、三三三、三三三	一、四三三、三三三	一、四三三、三三三	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	二、七三三、三三三	二、七三三、三三三

商工家北支進出要解

Table showing trade statistics for various goods (e.g., 蔬菜, 其他植物産品, 燃料) with columns for year (昭和), month, and values for output (輸出), input (輸入), and total (計).

▲北支六港貿易額

◆天津

Table showing trade statistics for Tianjin (天津) with columns for year (昭和), month, and values for output (輸出), input (輸入), and total (計).

◆青島

Table showing trade statistics for Qingdao (青島) with columns for year (昭和), month, and values for output (輸出), input (輸入), and total (計).

十二月 一月

◆芝罘

Table showing trade statistics for Zibo (芝罘) with columns for year (昭和), month, and values for output (輸出), input (輸入), and total (計).

四月

◆龍口

Table showing trade statistics for Longkou (龍口) with columns for year (昭和), month, and values for output (輸出), input (輸入), and total (計).

◆威海衛

Table showing trade statistics for Weihaiwei (威海衛) with columns for year (昭和), month, and values for output (輸出), input (輸入), and total (計).

商工家北支進出要解 完

商工家北支進出要解

業界要覽

主告廣誌本

諸機械……………
 工作機械……………
 化學工業機械……………
 唧筒、壓縮機……………
 汽機、汽罐、燃燒機……………
 製材木工機械、鋸……………
 一般工具……………
 切削工具……………
 齒車齒切、傳導裝置……………
 バルブ、コック、繼手……………
 ベアリング……………
 熔接機器材料……………
 鐵道、自動車附屬用品……………
 製鋼、船舶、機器用品……………

製鋼、鑄造、合金、鍛工……………
 耐火材料、鑄造用品……………
 珪瑯、鍍金、熱處理……………
 鐵鋼、地金……………
 線條、發條、金網……………
 パイプ螺旋管……………
 螺子、釘……………
 製鋼、鍍金加工品……………
 電機材料……………
 土木、建築、材料……………
 暖、冷房、水道、衛生……………
 化學製品……………
 石綿、ゴム、パッキング……………
 雜……………

諸機械

▼合名會社岩田商會 神戸市
 合區北本町通三丁目△葎合一
 三四四△機械工具
 ▼星加製作所 大阪市大正區泉
 尾松之町一丁目△櫻川四
 三一△起重機、各輪送機、
 各種ポンプ、大型旋盤、道路
 輾壓機、諸機械
 ▼富田鐵工所 大阪市大正區泉
 尾松之町一△櫻川四三五二△
 製繩機、其他農機一殿
 ▼轟製作所 大阪市天王寺區東
 平野町一丁目△南五六二九△
 針金直線自動切斷機ト鐵線寸
 法切
 ▼合資會社中央製作所 大阪市
 北區中之島四丁目△五番地△
 土佐堀二六五八、六五四二△
 輪送機其他諸機械製作
 ▼理研ピストンリング株式會社
 東京市麴町區有樂町(常盤生
 命ビル)△電話銀座(57)七

六二一(一〇)△理研ピスト
 ンリング、理研諸機械
 ▼株式會社岡谷商店大阪機械部
 大阪市西區西長堀北通一丁目
 △新町五九一、一六五七、二
 ○四八、二三七一△鐵管機械
 ▼大阪除塵器製作所 大阪市西
 淀川區浦江中二ノ二△福島二
 八四七△集塵除塵裝置
 ▼株式會社高田商會大阪支店
 大阪市北區中之島三丁目二〇
 番地△北濱四八一、四八二、
 三六五〇、五六九八△機械材
 料輸出入
 ▼株式會社高尾鐵工所 神戸市
 葎合區葎妻町三丁目△葎合〇
 ○七三△諸機械製作
 ▼浪速機械株式會社 大阪市東
 淀川區三津屋南通四丁目△北
 二一八五△空氣機械、鑄山機
 械、鑄物機械
 ▼野依商店機械部 大阪市東區

谷町五丁目△東一五一八、八
 一七九△ピクター發動機製造
 發賣元

▼合名會社山下製作所 大阪市
 西淀川區佃町一、二二〇△福
 島四五四△各種輸送機、コ
 ンベヤー、エレベーター各種
 クレーン

▼大和三光商會 大阪市此花區
 玉川町四丁目△土六二二〇△
 特許各種乾燥機

▼丸市商店 大阪市大正區泉尾
 濱通四丁目五四△櫻川六〇七
 四△特許古トラム繼再製裝置
 新繼機械、古繼再製機械製造

▼前川試驗機製作所 東京市芝
 區芝浦二丁目三△三田三八六
 八△各種試驗機

▼近藤機械製作所 大阪市東成
 區南中道町四△自動木捻子系
 螺頭筋入機

▼南鐵工所 大阪市東淀川區本
 庄中通四ノ四七△北七七一四

プレナー、紡織機、諸機械
 専門

▼三井物産株式會社機械部 東
 京市日本橋區室町二△日本橋
 二二五一△諸機械

▼城下工作所 大阪市旭區蒲生
 町三三四番地△旭二七四四△
 精密機械及部品

工作機械

▼石原兄弟製作所 大阪市西成
 區出城通三ノ六△戎一九五六
 鍍金加工用諸機械、設計製作
 所

▼服部製作所營業部 大阪市港
 區九條中通二丁目△西七六八
 四番△工作機械製作販賣

▼日本精機商會 大阪市北區會
 根崎上三丁目八△北一八七七
 精密工作機械

▼西山鐵工所 大阪市東區味原
 町六一△南五七四三△アサヒ
 印工作機械製造及鑄造

▼大阪若山鐵工所 大阪市西成
 區長福通二丁目△戎六〇一、
 △航空機部分品、精密ゲージ
 類高級工作機械

▼高橋鐵工所 東京市江戸川區
 逆井二ノ四四九△電墨田二〇
 一八△大型プレナー

▼中村機械工作所 大阪市北區
 東野田八丁目六一△堀川四三
 四七△高級工作機械、グライ
 ンダー加工

▼中川鐵工所 名古屋市中區榮
 場町三八△南七三〇九△米式
 旋盤製作

▼山篠鐵工所 大阪市大正區泉
 尾松之町一△櫻川四四一八△
 旋盤、ポンプ

▼株式會社富士製作所 靜岡縣
 清水港△清水一〇七二△工作
 機械

▼深山商店 大阪市西區薩摩堀
 東ノ町九△新町八六一△工作
 機械、機械工具

▼小山商店 大阪市南區谷町六
 丁目△東二七四△高級工作機
 械

▼小山商店 大阪市西區薩摩堀
 南ノ町一△新町三〇一八△工
 作機械及一般機械諸工具

▼秋岡榮商店 大阪市南區谷町
 六丁目△東一九四五△工作機
 械

▼三浦武商店 大阪市港區九條
 中通一丁目△西二六八五、四
 三二二△工作諸機械並工具

▼宮内工作所 大阪市東區森
 町南二丁目四三△東二五二七
 シカル盤專門製作

▼島シャーリング機製作所 大
 阪市港區南境川町四丁目△西
 六三二二△シャーリング機械
 製作

▼下川工務所 名古屋西區名
 塚町新菊井一七三△西一五四
 五△旋盤、セーパー
 ▼廣瀬仲藏商店 大阪市南區谷

町六丁目△東三三〇二△工作機械及工具

化學工業機械

- ▼日本生産工業株式會社 大阪市東區南久太郎二阿部市ビル△船場三二一九△化工機、鉛工
- ▼大江工業株式會社 東京市芝區芝浦三ノ三八△芝一〇二七△化學機械
- ▼關西脫水機製造所 大阪市旭區赤川町四丁目一七〇九△堀川二二三△遠心分離機
- ▼合資會社第一瑛瑛製作所 大阪市西成區千本通七丁目一四△櫻川一四八八△化學工業用耐酸諸機械
- ▼株式會社高橋鐵工所 大阪市住吉區平野町正覺寺△天王寺三九三四△各種蒸溜裝置
- ▼巽商事株式會社 大阪市北區中之島三(朝日ビル)△本局四四三二△化工機械及裝置

▼前田化學機械株式會社 大阪市西區立賣堀北通一丁目△新町一八七△マエダフキルタ

唧筒、壓縮機

- ▼松永器械店 大阪市西區立賣堀北通三丁目一六△新町一八八△醫療器械、理化學器械
- ▼近藤鐵工所 大阪市大正區泉尾通三丁目五〇△櫻川二三三七、三一△ステープルフアイバー製造機械製作
- ▼合名會社木村鉛工所 大阪市西淀川區佃町四五五△福島六九二△人絹化學工業用、耐酸機械一式
- ▼合名會社櫻井化學機械製造所 神戸市林田區東尻池町八丁目兵庫二四五三△蒸發並ニ乾燥裝置
- ▼三石深井鐵工所 大阪市西淀川區野里町五二九ノ一△福島四〇七一△化學並ニ窯業機專門製作

四七〇

ポンプ

- ▼合資會社稻垣鐵工所 名古屋西區則武町御臺所九八八△西一〇八△タービンポンプヒュガルポンプ製作
- ▼日本水壓機製作所 大阪市西區薩摩堀南之町△新町二五〇九、二五一〇△特許高壓ポンプ、高壓壓搾機
- ▼合資會社東京壓搾空氣機械製作所 東京市蒲田區新宿八七二△蒲田二七九五△高壓コンプレッサ、パーナ
- ▼岡善ポンプ製作所 名古屋市南區新尾頭町△南一五〇六△ポンプ
- ▼合資會社太陽空氣機械製作所 東京市蒲田區今泉町三九△蒲田二七五四△一般空氣機械
- ▼田中政鐵工所 大阪市天王寺區國分町二〇五△天王寺五五五△空眞ポンプ、エヤーコンプレッサウ、オシングトン

- ▼田邊鐵工所 大阪市浪速區櫻川一丁目△空氣壓縮機、タンク
- ▼合名會社双益商會 大阪市西區土佐堀一丁目△トキワ發動機ポンプ
- ▼株式會社野里工作所 大阪市西淀川區野里町△福島二八九二四一八△各種水壓機械設計製作
- ▼山本製作所 大阪市西區本田通一丁目五〇△西五三一△空氣壓縮機、ニューマチックツール
- ▼松田ポンプ製作所 大阪市西淀川區北浦江電停北入△福島二二二八△各種ポンプ
- ▼藤田製作所大阪出張所 大阪市北區道本町四三電車通り△北二一四一△各種ポンプ専門製作
- ▼株式會社帝國機械製作所 大

阪市西淀川區野里町九八△福島二八八四、四五二七△ポンプ製作

▼日本給炭機製作所 東京市日本橋區馬喰町四丁目△浪花九九三△自動給炭機

西區江戸堀上通二丁目四二△土佐堀七七六五△D・I・F ストリーカー及清糶劑ヤラゲン發賣

丁目△北濱一五一△タクマ式小型ボイラー

▼三榮ポンプ製作所 兵庫縣西宮市北ノロー〇九〇△西宮三六〇八△電氣ポンプ

▼沼田動力商事社 大阪市南區難波驛前御堂筋△戎三七九六△NTS・ストリーカー・發電所設計据付工事請負
- ▼合資會社大阪汽密罐製作所 大阪市東區北濱四丁目一四△北濱二三三七△汽罐

▼高木鐵工所 大阪市此花區恩貴島南之町△土佐堀二九八一△高木式萬能無煙風呂釜
- ▼中原清四郎商店 大阪市港區九條中通一△西一三五一△ボイラー、エンヂン

▼三宅機械工作所 大阪府大軌沿線俊徳道電停前△大阪二三三△各種機械自動給炭機
- ▼御法川工場 東京市小石川區初音町四△小石川二四一△IM自動送炭機ニューデルタ電動卓上錐二九式燃焼機

▼株式會社神藤ポンプ製作所 大阪市此花區中江町三△福島三六七、三六八△各種ポンプ製作専門

▼合資會社尾崎鐵工所 大阪市此花區朝日橋通一ノ五△土佐堀六四〇五、七六四九△特許尾崎式重油燃焼機低壓プロパー、オイルバーナー各種製機、サンドブラスト
- ▼合資會社火王商會 大阪市西區幸町通三丁目一△櫻川四六〇三各種燃焼機

▼陸工作所 大阪市西區阿波堀通四丁目一五△新町二五九五陸船諸機械製作及修繕
- ▼楠重三郎商店 大阪市港區九條南一△西四九七△ボイラー機械金庫

▼久山鐵工所 大阪市大正區福町一丁目△櫻川三八三五△陸舶、油槽、陸舶汽罐、蒸釜、鐵骨、各種ポンプ、鐵管工事並ニ設計製作

▼東田製作所 大阪市旭區赤川町九九二△堀川二三三三、二三三四△空機壓縮機専門

▼川崎一商店 大阪市西區江戸堀三丁目△土佐堀二六五一△高壓タンク・立形ボイラ
- ▼大東工業所大阪支店 大阪市

▼小森商店機械部△大阪市西區薩摩堀南之町△新町二五〇九二五一〇△燃焼機
- ▼帝國工業研究所 大阪市東淀川區木川東之町一ノ五八△北七四七三△帝研式ストリーカー
- ▼安宅商會 大阪市東區今橋五

▼比留間福太郎商店 東京市芝區新橋四ノ三△芝一八七二△水管式ボイラーチューブ、クリナー・スチームトラップ電動機

汽機汽罐燃焼機

- ▼合名會社濱田鐵工所 大阪市東淀川區新高南通三丁目△北一三二一△フリースト自動完全燃焼機濱田式送風機

▼大東工業所大阪支店 大阪市

▼安宅商會 大阪市東區今橋五

▼比留間福太郎商店 東京市芝區新橋四ノ三△芝一八七二△水管式ボイラーチューブ、クリナー・スチームトラップ電動機

製材木工機、鋸

- 合資會社馬場商店 大阪市西區幸町通四ノ一八△櫻川二〇六六△各種製材鋸販賣
細田商會合資會社 大阪市西區松島町二丁目二四△西四五八一、四五八二△製材機用品製作販賣
合資會社岡本機械製作所 大阪市港區石田町一ノ三△西六二四四、六二四五△製材木工機製作
能登鐵工所 大阪市大正區泉尾上通一ノ一六△櫻川七四二△製材機製作
合資會社楠田竹治郎商店 大阪市西區本田町通一丁目△西一七九五、一二四五△製材木工機製作販賣
天龍製鋸株式會社 大阪市大正區千島町一二九ノ七△櫻川三一△製材用丸鋸帶鋸一式、ステープルファイバー切断カッター

一般工具

- 井上機工商事株式會社 大阪市南區內安堂寺町三丁目△東二一六四△機械工具類一式
伊藤松太郎商店 大阪市西區新町通四丁目△新町七四二、三〇一六△機械工具
一見商店 大阪市此花區今開町二丁目七二△土佐堀四四八、四四八九△機械工具卸
原田商店 大阪市旭區蒲生町三三四△旭二九八三△機械工具金属材料商
日本コールメーター製作所 大阪市西區梅本町一△西二四〇三△石炭自動計量機
岡田製作所 大阪市此花區上福島北四丁目六九△福島二五六四△ネルソン印オイルカッター
大塚製作所 東京市蒲川區上中里五一〇△小石川四〇一三△ダイヤモンド、チエン、硬度計

品製作販賣

- 吉田暗造商店 大阪市西區新町通三丁目四五△新町四六七一△機械工具
中元庸光商店 大阪市港區抱月町三丁目△西七二八二△マシナツプ及磨ナツト
合名會社中元鐵工所 大阪市浪速區反物町一三二一△櫻川三〇六九、五七〇三△各種チエンブロック
草場計器製作所 大阪市西區西長堀問屋橋北詰△新町一四三六、一九六〇△メートル計壓器試驗機
福島治三商店 大阪市西區立賣堀北通六丁目二二△新町四三六、四三七△鋼機械、工具
二葉製作所 大阪市港區九條南通二丁目△西六三三二、六三三三△チエンブロック、ワイヤブロック・ウインチ
藤橋良商店 大阪市西區南堀江一番町五十番地△櫻川四六七一△ドロップフオージ鍛造

切削工具

- メルカトル商會 大阪市東區高麗橋二丁目野村ビル五階△北濱五二二七△工業用ダイヤモンド各種並粉末直輸入
合資會社目黒計器營業所 東京市麴町區內幸町一ノ三△銀座五一△各種計器
合名會社水谷泰之助商店 大阪市西區立賣堀南通五丁目△新町一五六〇、一〇三八△諸機械電動工具
合資會社三輪謹一商店 大阪市港區九條中通一丁目五八△西六二五△精密工具商
合名會社美和商會 大阪市西區立賣堀北通一丁目△新町一三五九、一三五〇△機械工具
宮川工具研究所 大阪府布施市菱屋東五三三△英田一一〇△トーチランプ、レツキス
三益商會 名古屋市中區南殿治屋町四△中六四八△ハガネ工具
樋口商店 大阪市東成區南中道町四丁目二四△南二六三九△チエンブロック及工具類
森田商店 神戸市葺合區脇之濱町三丁目一〇一△葺合五三六〇△機械工具パイプ金物材料
岩崎商店 大阪市西區京町堀通一丁目四七第七△太平ビル△土四〇五七△日立電動工具、電氣ペンシル、ダイヤモンド輸入加工
日本ナイフ株式會社 大阪市東區住吉町三五△東四八四〇△セイコータツプダイス
日本ダイヤモンド株式會社 東京市京橋區銀座六ノ二△銀座一七四〇△ダイヤモンド工具
土井商店 大阪市西淀川區大仁東一丁目七九△福島三九六六△日立電動工具、空氣壓縮機ニウマチツクツール
東京ダイヤモンド工具製作所 △東京市芝區田町一〇五(田町ビル)三田三二七〇△ダイヤモンド工具
芝浦マツダ工業株式會社特殊合金工具製作所 神奈川縣川崎市大宮町一三〇二△川崎代三〇〇四△ダイヤモンド、タンガロイ製造販賣
合名會社大川ヤスリ製作所 大阪市西淀川區佃町一一五四△福島二三〇七△ヤスリ製作販賣
大阪金剛商會 大阪市浪速區櫻川一丁目△櫻川一二七六△砥石、研磨材料
大阪ヤスリ製造所 大阪市大正區大正通七丁目五〇△櫻川四七八六△各種ヤスリ製作
米田製作所 大阪市此花區上福島南通三ノ一四二△福島四六四△フネ印ドリール
竹本鑄造所 大阪市此花區

▼安積製作所 大阪市東淀川區南濱町三丁目一△北六四一
一△カッター、ホープ、ゲージ類

▼三井鑛山株式會社目黒研削砥石工場 東京市目黒區中目黒一ノ七二△大崎三六九一△研削砥石

▼合名會社水谷商店 大阪市南區谷町六丁目△東一〇八〇△MTDパイプタップ一般工具

▼廣島製砥所 大阪市西區西長堀北通五丁目△新町五〇五△研磨砥石類

▼元内製作所 大阪市港區千代見町四ノ一九△西二八八△電氣ドリル、電氣グラインダー

齒車齒切傳導裝置

▼濱田齒切工場 大阪市港區尻無川北通五丁目△西五三三九△各種機械切齒車

▼合資會社特殊齒車製作所 大

阪市此花區櫻島町三八△土佐堀三八八六、三八八七△特殊齒車、減速裝置製作

▼岡坂工業所 大阪市港區繁榮町二△西三一四△オートフリクシヨクラツチ

▼高木チエイン商店 大阪市西區立賣堀北通六丁目△新町五九〇、五九三△リンクチェーン各種チェーン

▼谷坂鐵工所佃工場 大阪市西淀川區佃町一四〇△福島四〇七四△各種減速裝置

▼田中商店 東京市京橋區銀座四ノ四△銀座五二一△日立製作所戸畑工場、リンクチェーン、グリスカップ特約販賣店

▼奈須野機械製作所 大阪市此花區對込町二三△土佐堀一四八三、七二八三△減速裝置

▼中川商店 大阪市南區谷町六丁目△東五六六△シャフト傳

導裝置一式

▼合名會社植田鐵工所 大阪市西淀川區御幣島町三七七ノ五△福島八八三、五一〇七△齒車、齒切

▼野江工業所 大阪市西淀川區野里町七九四△NK式安全革寄機、化學機械

▼合名會社眞木傳動機製作所 大阪市此花區江成町△土佐堀一四九〇△シャフト精工品、ベアリング、プーリー、カツプリング各種

▼エヌデイエス割革車製作所 大阪市西淀川區御幣島一四二△福島二九二三△NDS割革車製作

▼湯淺調帶營業所 大阪市西區立賣堀北通三丁目△新町二五六△各種調帶

▼廣澤チエイン製作所 大阪市東淀川區南濱町二丁目△北二四三二△傳導用チエイン専門

製作

▼精保齒輪工作所 大阪市此花區今開町一丁目一〇二△土佐堀四一五六△各種齒車、齒切及減速機各種ポンプ設計製作

▼バルブ・コック・繼手 株式會社日本特殊バルブ製作所 大阪市西淀川區佃町一〇七四△福島五〇三、四五〇八△各種バルブ

▼合名會社特殊鋼具製作所 大阪市西淀川區大仁本町二ノ四八△福島一九八八△空氣機械用バルブ

▼岡新兵衛商店製作部 大阪市西區立賣堀北通五丁目△新町六一九、五一九△鑄鐵製バルブ、コック類専門

▼合名會社春日井商店 大阪市西區立賣堀南通五丁目△新町三一八△各種鐵管繼手類

▼辻本鐵工所 大阪府南河内郡長野町△長野六一△鐵管繼手

▼中野製作所 大阪市西區阿波座四番丁△新町四八五七△各種バルブ、コック、カラン類

▼村井フランチ製作所 大阪市港區南境川町四丁目三五△西四四二五△各種フランチ

▼倉田商店 大阪市西區立賣堀北通五丁目△新町一六九△特殊バルブ

▼株式會社丸五商店 大阪市西區新町通五丁目△新町二七八六、二二三△鐵管繼手、バルブコック

▼株式會社古林商店 大阪市港區九條南通三丁目△西一七三五△繼手・バルブ・コック・ポンプ類

▼鐵管繼手販賣會社 大阪市西區新町南通四丁目△新町ビル△鐵管繼手

▼赤萩鐵工所 大阪市港區辨天町三丁目一九△西三四六五△

フランチ製作

▼合資會社旭商會製作部 大阪市西區新町通四丁目△新町一九〇六、四三三七△各種鐵管繼手類

▼木谷商店 大阪市西區立賣堀南通三丁目△新町六七四△各種バルブ・コック類

▼新京商店 大阪市西區立賣堀南通二丁目△新町四二二九△バルブ、コック

▼ベアリング 二宮商店 大阪市西區立賣堀北通一丁目△新町五五二△ボールベアリング

▼東洋ベアリング製造株式會社 大阪市南區末吉橋通四丁目新橋ビル△船場二一八五、二一四四、二一五五△ボールベアリング、ローラーベアリング

▼神崎商會 大阪市東區岡山町三九一△東六六五△ボールロ

熔接機器材業

▼イラベアリングSKF・NSK・RIV・S&BSBS

▼香山機工所 大阪市西淀川區海老江中三丁目△福島六四四九△農機用ボールベアリング製作

▼光洋精工株式會社 大阪市東成區中川町二八一△天王寺△三〇六五、△IKFローラーベアリング、ボールベアリング

▼泉尾酸素製造所 大阪市大正區泉尾濱町三丁目△櫻川二二三一△酸素、カーバイト、熔接棒

▼イマシロウエルディング商會 大阪市西淀川區大和田町一八八△福島五五一△電弧熔接製罐、熔接工作請負

▼特殊機械製作所 大阪市港區尻無川北通一丁目△西七〇四△電氣熔接機械熔接材料

▼東洋特許品製作所 東京市城東區龜戸町六ノ五一△墨田(74)三七三一△熔接機製作

▼大阪電氣株式會社 大阪市住吉區北加賀屋町△櫻川六三三電氣熔接機ダイヤデンバイト

▼笠島房次郎商店 大阪市港區九條通四丁目△西二二九九△熔接器具材料專門

▼田村瓦斯工業所 大阪市此花區上福島中三△福島一四四五アルミニウムステンレス類諸容器製作

▼長澤商店 大阪市西區本田町二丁目二△西九九二△ダムラーク電氣熔接棒、熔接器具材料

▼公文商事部 大阪市西區本田町二丁目四八△西三三九一△熔接器具材料

▼帝國酸素株式會社 神戸市神戶區明石町三八△三宮二九四三、市外專用三宮一三△瓦斯

酸素一式、電氣瓦斯熔接機械器具

▼株式會社電元社 東京市淀橋區上落合一ノ一二△大塚三三三七△電氣熔接機、エレバス電氣爐

▼愛知工業株式會社 東京市品川區北品川四ノ五五△大崎三七六一△アーク電氣熔接機、棒クランプ電氣計器

▼坂上好司商店 大阪天王寺區下寺町四丁目△戎四六〇三一 一般熔接機器及材料製販

▼三好鐵工所 大阪市東淀川區中津南通四丁目四一△福島五四四四△鐵工及電氣熔接アジレ販賣店

▼スタビロード製作所 神戸市灘區都通一丁目一〇一△御影五九六二△熔接棒

鐵道、自動車、附屬用品

▼株式會社五十嵐商店 東京市

日本橋區江戸橋三丁目五△日本橋二五七二六〇△各種レール、鐵道材料一式

▼萬歲貿易商會 大阪西區阿波座下通一丁目十△新町一八三三△自動車及航空機用品

▼日本自動車株式會社 東京市赤坂區溜池三〇△赤坂48一〇一△ハドソン、テラプレーン、オールツモビル、ダットサン、理研ビストンリング販賣

▼日本ダンロップ護謨株式會社 神戸市葺合區筒井町一丁目二〇△葺合2六七三△タイヤ1並ニゴム製品

▼日産自動車販賣株式會社 東京市京橋區銀座一ノ二△銀座九一五六△ダットサン、ニッサン消防用自動車

▼東京自動車工業株式會社 東京市品川區東品川五丁目△高輪三二〇一△スミダ、イズズチヨダ自動車

▼横濱護謨製造株式會社 横濱市鶴見區平安町△鶴見三三八一△ヨコハマタイヤバルカロツク製品

▼ブリヂストンタイヤ株式會社 東京市麴町區内幸町一高千穂ビル△銀座六四七△BSタイヤ

▼汽車製造株式會社 東京市麴町區丸ノ内丸ビル三階△丸ノ内三八〇七△汽車、汽罐、工作機械、自動車ボデー

▼合名會社平尾製作所 尼ヶ崎市潮江上佃二△尼崎一〇七七福島三六七九△シーマ印刷照燈製作専門

製網、船舶機器用品

▼泉辰商店 大阪西區南堀江二番町二一△櫻川三三九二△船舶造船諸金物及材料

▼東洋製鋼株式會社 大阪西區立賣堀北通三丁目△各種ワイヤロープ及索道設計施設 東亞製鋼株式會社 大阪西區

區立賣堀北通三丁目△新町二七九二△マニラロープ製造販賣

▼東芝實業商店 大阪西區立賣堀北通七丁目△新町四〇二七△ワイヤロープ

▼富田製網所 尼崎市杭瀬一ノ坪六番地△尼崎八八九△各種製網

▼海陸用品商會 大阪北區中ノ島七丁目△土佐堀一〇〇九△船舶、鐵道、鑛山用品

▼竹島製作所 大阪浪速區木津川町一丁目△櫻川三〇七△船舶用品、土木建築用品

▼ネリヲ商店 大阪西區北堀江二番町三二△新町四〇六四△發動機部分品機械工具

▼小林弘之介商店 大阪出張所△大阪西區新町南通三丁目△新町三六二八△發動機部分品一般

▼佐藤製作所 大阪大正區三

軒家濱通一丁目△櫻川三一四二△船舶用品一式製作

▼昭和製鋼株式會社 大阪正區新千歲町一八三△櫻川二二二、二七七△各種高級鋼索並燃線專門製作

製鋼、鑄造合金

鍛工

▼濱木機工社鑄造鐵工所 大阪府中河內郡加美村正覺寺△天王寺一四八八△諸機械鑄造、工作機械、鑛山機械、傳導裝置

▼日本電解製鐵所大阪營業所 大阪北區宗是町一大阪ビル△土佐堀五一五二△製鐵業

▼保坂製鋼所 大阪西區淀川區佃町一九五△福島四五八七四四一四△鑄鋼、鑛山機械

▼富永興業所 神戸市葺合區吾妻通二ノ七一△葺合六六八五△鐵材壓縮並ニ鐵工業

▼大阪合金鑄造所 結野儀三郎

大阪西區淀川區野里町七三八△福島五四九一△合金鑄造業

▼大阪鑄造所 大阪西區成島沙路通五丁目△櫻川三三四九△諸機械鑄造並ニ製作

▼大任合金所 大阪東區淀川區中津濱通四ノ一△北二一四六〇〇△特殊合金專門

▼岡田鑄造工場 大阪此花區恩貴島南之町△土佐堀二四八六△諸機械鑄造加工

▼奧小路シャヤリング工場 大阪港區南境川町三丁目一八△西七九三△シャヤリング

▼合名會社釜吉鑄鍊所 大阪大正區泉尾中通五ノ一三△櫻川二六五九△諸機械鑄造

▼合資會社金子鑄鋼所 大阪大正區千島町三八七△櫻川一五八〇△鑛山用諸機械並ニ特殊鑄鋼品

▼合名會社浪速鑄造所 大阪府豊能郡庄内村△北二〇七五△工作機械用高級鑄物

▼永瀨鐵工所 埼玉縣川口市本町一ノ三五〇△川口二〇二二△鑄鐵鑄造合金

▼合資會社窪田鐵工所 大阪港區石田町一ノ一七五△西三〇四九△クランク延物火造一切

▼牧野輕合金製作所 大阪西區淀川區堀島町一六九七△福島二〇四四、二四九八△輕合金鑄造及工作

▼合名會社前川電氣鑄鋼所 大阪市旭區放出町一〇二△東六〇七〇、旭二三三五△普通鑄鋼、滿庵鑄鋼、ニツケルケルーム、高炭素鑄鋼

▼古屋鑄工所 大阪東區淀川區長柄東通二丁目五七△堀川四五八、一二〇二、一三三六△鑄造

▼株式會社神戸製鋼所 神戸市葺合區協之濱一丁目△葺合一〇一△諸機械

▼圓藤特殊合金製作所 大阪西區淀川區佃町一〇六七△福島二五七四△合金鑄造

▼荒瀨鐵工所 大阪此花區吉野町二ノ二七△土佐堀二二四四△クランク、ロット、スラスト、丸角平鋼鐵棒鍛伸ロール、各種鍛造品專門製作

▼里井鑄造所 布施市岸田堂二七△天王寺三〇四四△鑄及小物鑄造

▼株式會社共立電氣鑄鋼所 大阪西區淀川區大和田町一三六一△福島三七七八△電氣鑄鋼

▼合資會社三好鑄造所 大阪大正區泉尾松之町五丁目△櫻川三四四△諸機械鑄造並ニ製作

耐火材料鑄造用品

▼合名會社服部製品所 大阪西區津守町七七〇△櫻川一七三△耐火材料一式

▼吉田ケン製作所△大阪東區成區中道二四五△南一三二一

△鑄造用ケレン、ヘラ、筆
 ▼福松商會 大阪市西區西道頓堀一丁目一(住友ビル内)△櫻川一八〇〇△コークス、鑄物用福Aコークス
 ▼赤谷商會 京都市京都驛前△下二九六五△月星黒鉛、耐火煉瓦、黒鉛坩堝、耐火諸材料
 ▼九州耐火煉瓦株式會社 大阪市西區江戶堀南通一ノ三九△土佐堀四一三八△耐火煉瓦
 ▼南出商店 大阪市西區南堀江上通五丁目△櫻川三四四二△製鋼耐火材料
 ▼三石星煉瓦株式會社 大阪市西區西道頓堀通一△櫻川一六八七△☆印耐火煉瓦製造販賣
 ▼芝本金治商店 大阪市此花區西九條下通一丁目一六△鑄造用品

▼合資會社特殊亞鉛工業所 大阪市西淀川區佃町一〇五一△福島一八二一、二四〇六△各種亞鉛鍍金一切
 ▼東洋金屬熱煉工業所 大阪市西淀川區御幣島町△福島二八八三△金屬熱處理
 ▼緒方鍍金所 大阪市東成區南中道町四丁目三九△南三五四三△ジナライト鍍金及電氣鍍金各種
 ▼矢滿登瑠製作用所 大阪市西區四ツ橋交叉點南△新町二一四七△特殊瑠瑠
 ▼合資會社牧田鍍金工業所 大阪市西淀川區蒲島町五五△福島二六四、四六一二△各種鍍金

區高見町一△土佐堀八四八△鉛管、鉛板、硬鉛製品
 ▼株式會社井上商店 大阪市西區立賣堀南通四丁目△新町一〇〇△鐵鋼
 ▼ハカマ鋼商店 大阪市西區立賣堀南通三丁目△新町一七六五△各種鋼
 ▼徳山鐵板株式會社 大阪市東區高麗橋四丁目三五△鋼板帶鐵
 ▼東京C工業株式會社 大阪市西區阿波液中通一ノ三六△新町三二〇〇△鑄青銅及特殊合金
 ▼富永鋼業株式會社 神戸市神戶區西町三六興銀ビル△三宮五〇△薄鐵板、平浪板、丸釘
 ▼高島屋飯田株式會社大阪支店 大阪市東區橫堀一丁目十△北濱二三五一△諸機械、地金、

絕緣材料
 ▼高橋繁次郎商店 大阪市南區田島町一△南六五七六△各種磨引披シャフト
 ▼竹島三郎商店 大阪市港區北境川町二ノ二八△西六八八六△銅真鍮地金
 ▼高田アルミニウム製作所 大阪市西成區西四條一丁目△戎二四二、二四三、二四四、二四五△マツタカ印アルミニウム、アルマイト、アルミニウム塊、板線
 ▼武田彌商店 大阪市浪速區西圓手町一〇一九△櫻川四六一二△銅吹業
 ▼大承工業所 大阪市東成區猪飼野西一ノ三三△天王寺二二八四△特許牧田のバナメタル
 ▼谷坂鐵工所 尼崎市築地本町

瑠瑠、鍍金、熱處理

鐵鋼、地金

五丁目△尼崎二九三△製線平浪板製造
 ▼成川製造所 大阪市南區谷町七丁目△南六四五、一〇一三三一△九△半田錫、向馬印ハピットメタル
 ▼村上政雄商店 大阪市西區立賣堀南通四丁目三△新町九二四、二七四三△銅真鍮パイプ
 ▼合資會社植野商店 大阪市西區立賣堀南通二丁目二△新町二八五八△各種鋼
 ▼合名會社山本貞吉商店 大阪市西區幸町通一丁目八△櫻川一二五△鐵鋼
 ▼山口英一商店 大阪市東成區南中濱町二丁目一△東三一六八、三二六八△鐵、鋼材料
 ▼マルタカ商店 大阪市此花區吉野町三丁目一△土佐堀四五〇三△日鐵製電氣鋼板、磁性合金
 ▼福島治三商店 大阪市西區立

賣堀南通六丁目二二△新町四三六、四三七△鋼、工具、機械
 ▼近藤鋼商店 大阪市西區靱南通四丁目△土佐堀五五四、七七六△旭ハガネ發賣元
 ▼種村治郎兵衛商店 大阪市南區長堀橋筋一ノ一四△南三四三、六〇二二△亞鉛引鐵線、鋼線、丸釘、鬼針
 ▼株式會社青山鋼商店 神戸市湊東區相生町五丁目△湊川一五九二△レコード鋼
 ▼湯淺伸銅株式會社 大阪市西成區辰巳通三丁目一七△櫻川一八八三△伸銅鐵工
 ▼美馬商店 大阪市西區本田町三番町六八△西一六三九△鉛板、鉛線、鉛管
 ▼伸銅共販株式會社 大阪市北區梅田新道(共同ビル)△北四八八六△伸銅販賣
 ▼スナミ商會 大阪市西區南堀

江下通三丁目△櫻川三〇五四△鉄鐵、合金鐵
 ▼杉本卷鐵工場 大阪市旭區今市町八二九△旭二三九一△磨卷鐵、磨卷ハガネ製造販賣
 ▼線條、發條、金網
 ▼合資會社日本鋼線製造所 大阪市大正區北恩加島町△櫻川二〇六三△各種鋼線、ワキヤロープ
 ▼東洋スプリング製作所 大阪市東淀川區中津南通三丁目一六△福島四六七七△各種スプリング製作
 ▼東亞スプリング製作所 大阪市東淀川區田川通六丁目四五△北四八六六△各種スプリング製作
 ▼大阪發條鋼材合資會社 大阪市南區安堂寺橋通四丁目二九△船場三七三五△ゼンマイ及燒入鋼帶
 ▼若月源壽商店 大阪市西區立

賣堀南通五丁目△新町三四五九△スプリング
 ▼内田スプリング商店 大阪市西區北堀江一番丁六△新町二二二六△各種スプリング全般
 ▼山田屋鐵線營業所 大阪市南區內安堂寺町三丁目△東五六一九△鋼線、鐵線、ピアノ・ワキヤ
 ▼松井政治郎商店 大阪市南區安堂寺橋通二△船場九五〇△各種金網
 ▼丸金々網株式會社 大阪市西淀川區堀島町一二五△福島三三八四△各種金網、丸金印金網
 ▼兒島金網製作所 大阪市西區幸町五丁目二二△櫻川64一〇一二、工場西成區津守町七四一△金網ト直線
 ▼志水伴治商店 大阪市南區安堂寺橋通三丁目△東四六三六△磨鋼帶、ゼンマイ

パイプ螺旋管

- ▼西村福治商店 大阪市西區新町通五丁目一六△新町一四、一五、一六△(内外鋼管)一手發賣
▼日本金屬工業所 大阪府中河内郡加美村正覺寺一七七三△平野一四三六△銅真鍮パイプ
▼日本エタニツトパイプ株式會社 東京市麴町區大手町二日清生命ビル△丸二四八八△エタニツトパイプ
▼東京螺旋管製作所 東京市大森區堤方町五一△大森六一二〇△螺旋管、フレキシブルシャフト
▼合名會社柏原パイプ製造所 大阪市西區立賣堀北通三丁目△新町五五六△各種パイプ類
▼川崎螺旋管製作所 東京市東區北砂町四ノ二五三△本所三五六六△螺旋管、フレキシ

製罐鍍金加工品

- ▼原製作所原佐太郎 大阪市港區九條通二丁目七二△西二六七三△金屬拔物押物百般
▼日本鐵罐製造所 大阪市東區川區南濱町三丁目△北八七四△各種ドラム罐
▼合名會社勝田螺旋製作所 大阪市東區白山町一丁目二六△東三五五七△金屬挽物、拔物
▼合名會社吉田太工作所 大阪市浪速區立葉町一三〇三△櫻川四五六〇△自動車用、紡績用部分品拔押物
▼淀川打拔鐵工所 大阪市此花區大開町四丁目三二△土佐堀六三二六△諸金屬打拔鋼板
▼合資會社高木製罐所 大阪市西淀川區大和田町一五〇五△

ブルシャフト

- ▼中島鋼管合資會社 大阪市西區津守町二六一△天下茶屋二八五三△引拔鋼管鐵工
▼中村卷パイプ製造所 大阪市大正區北區加島町三三△櫻川一五九五△卷パイプ製造
▼松本鋼管販賣所 大阪市西區新町通四丁目△新町四五五△引拔鋼管販賣
▼松本恒商店 大阪市西區立賣堀北通六丁目△新町五八八△各種パイプ
▼松本清商店 大阪市西區立賣堀北通五丁目△新町八七二△鋼管
▼福安鋼管商店 大阪市西區薩摩堀東之町一七△新町一六四、三五七七△各種引拔鋼管
▼近藤要商店 大阪市西區立賣堀北通七丁目△新町三三三七△各種パイプ
▼株式會社帝國鋼管製造所 大

鉄、螺子、釘

- ▼西村健商店 大阪市西區新町南通五丁目△新町四九四一△ポールのナット
▼大阪鐵製ナット工業組合 大阪市港南九條南通三△西四七二八△規格抜ナット、丸鐵ナット一手販賣
▼織田金屬所 大阪市南區瓦屋町三番町六〇△南四〇六九△特殊ネジ製作専門
▼田中ポールのナット製作所 大阪市西區本田町通二ノ七
▼阪市西區出城通一丁目△戎一五九七四三三七△引拔鋼管製造販賣
▼赤尾鋼管商店 大阪市西區立賣堀南通四丁目△新町三〇八四△各種鋼管
▼三豐商店 大阪市西區立賣堀北通二丁目△新町二四二四△各種引拔鋼管、瓦斯硝

電機材料

- ▼磯野商事株式會社 大阪市此花南上福島北一丁目△福島四一二七△電氣ペンシル
▼日本電氣株式會社 東京市芝南三田四國町△電話芝代四一
▼福島二七四八△特許ドラム罐並ニ各種製罐
▼永田製作所 大阪市浪速區稻荷町二ノ九三七△櫻川五九八四△各種拔物専門製作
▼合名會社小野製作所 大阪市港區九條南通二丁目六〇〇△西四四七二△各種金屬拔物押物並ニドロップホーシ型製作
▼木下器具製作所 大阪市港區抱月町三丁目一△西七〇八〇△各種金屬プレス作業一式
▼杉本杉松商店 大阪市西區立賣堀北通六丁目△新町九七五△金屬打拔網、工具、工業諸材料
▼日本電磁工業株式會社 神戸市須磨區外濱町二ノ一△須磨二三八六△デンジマグネト

- ▼西村健商店 大阪市西區新町南通五丁目△新町四九四一△ポールのナット
▼大阪鐵製ナット工業組合 大阪市港南九條南通三△西四七二八△規格抜ナット、丸鐵ナット一手販賣
▼織田金屬所 大阪市南區瓦屋町三番町六〇△南四〇六九△特殊ネジ製作専門
▼田中ポールのナット製作所 大阪市西區本田町通二ノ七
▼阪市西區出城通一丁目△戎一五九七四三三七△引拔鋼管製造販賣
▼赤尾鋼管商店 大阪市西區立賣堀南通四丁目△新町三〇八四△各種鋼管
▼三豐商店 大阪市西區立賣堀北通二丁目△新町二四二四△各種引拔鋼管、瓦斯硝
▼福井製作所 大阪市西區出城通八丁目九△櫻川四五七七△各種磨ナット
▼福田製鉄所 布施市高井田四七五△東六〇六九△地球印系ネジ製造
▼株式會社小林正治商店 大阪市港區北區境川二丁目△西六五二、三五四三、六四四六△ポールのナット・ナット・リベット鑄骨材料、鐵筋材料、一般材料
▼コハラ商會 大阪市西區島津町二四△新町三五九六△ポールのナット
▼三浦螺旋工業所 豊中市新免九四〇△豊中二五七三△各種精密螺旋
▼白石商店 大阪市西區北區江

電機材料

- ▼日本電磁工業株式會社 神戸市須磨區外濱町二ノ一△須磨二三八六△デンジマグネト
▼門本商店 大阪市南區北桃谷町一七ノ一△東五四七八△パソンの機械及日立モートル販賣修繕
▼株式會社神戸電機製作所 大阪市西淀川區浦江北五丁目△福島三一五一△蓄電池、神戸ライト製品
▼株式會社關西電線製造所 堺市戎島町三丁目八番地△堺一〇六、一二〇六△電線
▼吉田化學製品所 大阪市南區東區町四〇△東三七三四△エナメル電線及特殊絶緣塗料
▼椿本商店 大阪市南區安堂寺橋通一丁目△船場一三六六、一三八七△電氣絶緣材料、チエイン
▼牛尾製作所 大阪市西淀川區野里町七九二△福島二五三一

二五三二△各種電氣爐並ニ製鐵製鋼用機械

▼福理工業社 大阪市北區會根崎上一丁目△北七八一九△電磁開閉器、起動開閉器、モーター、芝浦電氣製品

▼株式會社小松英製作所 大阪市西淀川區歌島橋西詰△福島二七九一番△電氣爐、パイロメーター、金屬熱處理機械
▼古河電氣工業株式會社 東京市麴町區丸ノ内二丁目△丸ノ内四七七一△電線、電纜、合金類

▼旭タミナル製造所 大阪市西淀川區大仁本町三丁目二六△福島二〇〇六△ターミナル
▼阿部商店 東京市芝區新堀河岸三四△三田四八五△ファイバー、ベークライト、エポナイト、マイカ

▼安治川亞鉛鐵工株式會社 大阪市港區石田町二丁目△築港三三七、三三八、三三九、長三三〇△亞鉛鍍金、錫、鉛、鐵塔鐵柱

▼先山商店 大阪市西區藤原堀南之町十九△新町四六一五△コンヂットパイプ並附屬品

▼三ツ矢電線營業部 東京市芝區田村町二ノ九△銀座六九六四△自動車用ワイヤーハーネス電線コード、航空用ワイヤ

▼精電社製作所 大阪市東淀川區野中南通三丁目△北四六八二△電氣爐、パイロメーター

▼株式會社住友電線製造所 大阪市此花區恩貴島南之町六〇△土佐堀一五〇四、二五〇〇

土木建築材料

▼日本エレベーター製造株式會社

社 兵庫縣尼崎市外神崎驛北側△福島三七七五、三七五八
尼崎一七七七△日立エレベーター販賣、工事、保守

▼日本ドアーチェック製作所 大阪市東成區中川町四九△天王寺八九〇△旋盤用チャックドアーチャック

▼日東工業所 大阪市西區梅本町一△西二四〇三△煙突、水槽設計製作

▼日本大理石株式會社 東京市芝區田村町(榮和ビル)△芝43三二八〇△大理石販賣

▼日本ソリデチット株式會社 東京市京橋區京橋一丁目片倉ビル△京橋二七七二、五三三一△ソリデチット各種、瀝青乳劑製造販賣、工事請負其他

▼東洋鋼板工業所 大阪市東成區北中濱町二丁目二七△東一

九五二△スチールドアー、シヤッターサツシユ、自動車骨格

▼株式會社大林組 大阪市東區京橋三丁目△東五四〇四△建築、土木請負

▼合名會社大阪橋本組 大阪市東區農人橋二丁目二△東一五八〇、一五八一、五八八△土木建築業

▼片岡商店 大阪市南區末吉橋通四丁目一六(新橋ビル内)△船場三五二四△土木、建築

▼株式會社竹中工務店 大阪市北區中之島三ノ三(朝日ビル八階)△北濱一九一、一九二一九三、一九四、一九五△土木建築業

▼中西商會 東京市日本橋區吳服橋一丁目三△日本橋二五六

一、一七九〇△アスファルト及ルーフィング其他一般販賣

▼株式會社松村組 大阪市東區大手通一ノ二六△東三一七一三一七二△土木建築

▼建築資料協會 東京市京橋區銀座(建築會館)△京橋56二六九二△建築資料常設館

▼三機工業株式會社 東京市麴町區有樂町(三信ビル)△銀座57五一四一△建築附帶設備一般

▼佐久間パブコ工業株式會社 東京市京橋區銀座四ノ三△京橋七一三五△佐久間式ルーフィング製造販賣元

▼株式會社宮製鋼所 東京市城東區南砂町六ノ四一〇△本所

二二五八△スチールサツシユバー、アングルチヤンネル

▼昭和鋳前製所代表者野口耕夫 大阪市東淀川區野中南通三丁目一八△北七一五六△建築金物、船舶、金物各種、鋳前百股

▼伸和ラテックス研究所 神戸市葦合區濱邊通二ノ七△葦合五九七六△ラテックス

▼日垣太市郎商店 大阪市南區安堂寺橋通二丁目△船場二六二二、四〇二六、四九五七△金物類

▼株式會社錢高組 大阪市西區土佐堀三ノ二四△土佐堀三四一七、一七二四、二〇七三、二一七四△土木建築

暖、冷房水道衛生

▼日東鑿泉工業所 大阪市北區若松町△鑿泉

▼東光商會 神戸市葦合區御幸通八丁目一六△葦合二七九九△陶磁器、水道衛生用品

▼ヤマト工作所 東京市小石川區柳町二九△小石川一六△ボリング機械並ニ工事

▼丸ヨ商店 大阪市西區新町通五丁目△新町四八〇、△暖房冷房、水道衛生用附屬品

▼フシマン製作所 東京市品川區大井伊藤町五六八一△高輪五三七五△スチームトラップ暖房諸機械

▼帝國鑿井合資會社 大阪市西淀川區船場島町二〇八九△福島

四六七〇、五六四三△鑿井工事一切

▼阿波田良之助商會 大阪市西區江戸堀上通二丁目四二△土佐堀八四一△暖房、衛生工事諸用品

▼淺野物産株式會社水道工部部 東京市麴町區丸ノ内海上ビル△丸ノ内二五八一△鑿井とボンプ

▼合資會社淨水工業所 東京市麴町區丸ノ内二ノ六、八重洲ビル△丸ノ内二一八一△硬水軟化装置

化學製品

▼合資會社井上商店 神戸市兵庫區西出町二二六△兵庫一〇九九△塗料船具

▼日本曹達株式會社 東京市麴

町區大手町△丸ノ内一二七一
△工業化學藥品、染料、合金
鐵、特殊鋼各種

▼日本石油株式會社 東京市丸
ノ内南榮館△丸ノ内三三三一
一△石油採掘、製造アスフ
アルト其他

▼日本香料藥品株式會社 神戸
市葺合區臨之濱町三丁目△葺
合五五四△香料藥品

▲大橋漆行 大阪市旭區生江町
四三三△堀川二二三△特許
焼付漆

▼川上塗料製造所 兵庫縣尼ヶ
崎市外塚口四二〇△福島五八
五一、△島印エナメル、ワニ
ス、カボライトラッカー

▼内外物産株式會社 大阪市東
區高麗橋詰町△東四七四△カ
ーバイト、工業藥品

▼松村商店 大阪市西區幸町通
四丁目△櫻川一九二一、一二
九四△ペイント

▼松垣藥店 大阪市北區樽屋町
一一△堀川二五八七△工業用
藥品

▼向陽化學工業株式會社大阪營
業所 大阪市西區阿波座上通
一ノ四五△新町三八九△各
種バリウム並ニ化學用藥品

▼旭硝子株式會社 東京市麴町
區丸ノ内八重洲ビル△丸ノ内
三一八五△ガラス、工業藥品
曹達灰、耐火煉瓦

▼合資會社三恩商會 大阪市西
區京町堀上通二丁目一三△土
佐堀一六〇三△サンオン熱處
理劑

▼ピカール金屬磨本舖磨粉商店

大阪支店 大阪市北區中ノ島
七丁目△土佐堀八七一△研磨
材料

▼佐藤合名會社 大阪市北區榎
上町八七△北三八一三△美光
鋳止グリース

▲株式會社島田硝子製造所 大
阪市西淀川區海老江下三丁目
△福島一〇五五、一九二二△
硝子製造販賣

石綿、ゴム、パツ キング

▼ローヤル皮革工業所 大阪市
東淀川區十三西之町四丁目△
北四一六九△各種革パツキン
グ生皮製齒車、製作販賣

▼日本アスベスト株式會社大阪

支店 大阪市西區南通四丁
目△土佐堀七三九△石綿各
種パツキング、保温、保冷
工事

▼巴パツキング製造所 大阪市
浪速區惠美須町三丁目△戎一
五二△石綿とゴム加工

▼押谷工業株式會社 大阪市西
區立賣堀北通五丁目二△新
町三〇一〇△フェルト、コル
ク板製造販賣元

▼大澤ゴム商會 大阪市北區北
扇町四六△北七〇五三△工業
用ゴム一式

▼大阪フェルト工業所 大阪市
此花區上福島北二丁目八六△
福島二二六五△羊毛、羊毛フ

エルト

▼カナエ石綿工業株式會社 大
阪市西成區出城通四丁目二番
地△櫻川三八四、三八五△各
種石綿製品

▼中川ゴム商店 大阪市西區靱
南通四丁目△土佐堀五六八〇
△各種工業用ゴムパツキング

▼浪速パツキング商會 大阪市
西區立賣堀北通六丁目△新町
四八三△石綿ゴムパツキング

▼松下フェルト工場 大阪市浪
速區西濱北通四丁目△櫻川二
三五一△各種フェルト一式

▼小鹿皮革工業所 大阪市西淀
川區花川町△福島二三四七△
皮革製品パツキング齒車

▼秋田商會營業所 大阪市浪速

區敷津町二丁目△戎九六四、
二四四三△V型ハマロープ其
他各種ベルト

▼株式會社攝津アスベスト 大
阪市西區立賣堀南通五丁目一
三△新町三六四三△石綿

雜

▼伊東製作所 大阪市東區材木
町二二△東二八二〇△炊事調
理機及軍需品

▼泉慶綿布卸部 大阪市西區北
堀江黒金橋北詰西入△新町三
一四△作業服、厚司

▼日本聯合紙器製作所 大阪市
東成區深江中四丁目一三△東
一五九一△各種パツキングケ
ース製造販賣

▼日本ゴム車輪製作所 大阪市
西區新町通三丁目△新町二六

六四△ゴム車輪

▼額田辰一商店 大阪市西區西
長堀南通五丁目△新町一八一
八△ゴム車輪

▼大阪瓦斯株式會社 大阪市東
區平野町五丁目△北濱四六六
△瓦斯器具一式、工業用ガス

▼合名會社於勢商店 大阪市西
區本町通三丁目△西三六四
△ファイルタークロス

▼竹本シート商會 大阪市港區
九條通四丁目△西四六四八△
テント、シート

▼高橋美章堂 大阪市西區靱中
通一丁目△土佐堀三五二八△
メタル、徽章、カッブ、ネー
ムプレート、ホーロー看板

▼魚谷文治郎商店 大阪市西區

新町通五丁目△新町二四九七
△工業用各種ブラシ

▼株式會社天辻鋼球製作所 大
阪市西區北堀江通二丁目一△
新町二一六一△鋼球製作

▼明工會 大阪市東區釣鐘町一
丁目△東五九三△アルミニウ
ム、セルロイド印刷と加工

▼三浦シン機工業所 豊中市
新免九四〇△豊中二五七三△
タカラ王マシン

▼島貿易株式會社東京支店 東
京市日本橋區吳服橋一△直輪
入商

▼平野シャツトル株式會社 大
阪市住吉區平野梅ヶ枝町一丁
目△平野一五四△高級各種シ
ヤトル製造

廣告目次

イ(キ)

イマシロウエルディング商會 後五
伊藤松太郎商店 後五
伊東製作所 後六
五十嵐商店 表紙
株式會社井上光次商店 前四
井上機工商事株式會社 後八
岩崎商店 後七
合名會社岩田商會 後六
泉辰商店 後三
泉尾酸素製造所 後四
泉慶綿布御部 後五
泉鉛管製造所 前二
沼垣鐵工所 後六
磯野商事株式會社 前八
一見商店 後二
石原兄弟製作所 特元
ローヤル皮革工業所 後七
ハカマ鋼商店 後一〇

濱田齒切工場

濱田齒切工場 前九
合名會社濱田鐵工所 前二
濱本機工社鑄造鐵工所 前八
原田商店 後八
原製作所 中四
服部製作所營業部 前九
合名會社服部製品所 後五
合名會社馬場商店 中四
合名會社橋本組 後二
萬歲貿易商會 後一〇
日本ドーイチエツク製作所特三
日本ダイヤモンド株式會社中三
日本タングステン株式會社
日本ダンロップ護謨株式會社 後二
日本ソリデチット株式會社前二
日本ナイフ株式會社 前九
日本ライド商會 後七
日本コイルメーター製作所 中三
日本ゴム車輪製作所 後二
日本エタニットパイプ株式會社 前九
日本エレベーター製造株式會社 後二

日本アスベスト株式會社

日本アスベスト株式會社 後九
大阪支店 後九
日本電氣株式會社 特六
日本電子株式會社 前七
日本電池株式會社 後七
日本電磁工業株式會社 前九
日本電解製鐵所大阪營業所前六
日本鐵條株式會社 後四
日本香料藥品株式會社 中六
日本聯合紙器製作所 後八
日本大理石株式會社 中三
日本給炭機製作所 中五
株式會社日本特殊バルブ製作所 前六
日本鐵鑄製造所 前八
日本水壓機製作所 後三
日本金屬工業所 後七
日本精機商會 後七
日本生産工業株式會社 中四
日本曹達株式會社 前三
日本自動車株式會社 中六
日本石油株式會社 前七
日本冶金株式會社 後四
日本鋼線製造所 後一〇
日東工業所 中三
日東鑛業工業所 中四
日滿商事株式會社 前二

日産自動車販賣株式會社

日産自動車販賣株式會社 中八
二宮商店 中三
西村健商店 後七
西村福治商店 特三
西山鐵工所 後九
保坂製鋼所 特八
細田商事合資會社 後三
星加製作所 後六
東洋ベアリング製造株式會社 特三
東洋スプリング製作所 後六
東洋特許品製作所 前七
東洋金屬熱練工業所 前三
東洋鋼板工業所 中六
東京イーシー工業株式會社後三
東京ダイヤモンド工具製作所 後二
東京壓搾空氣機製作所 前四
東京自動車工業株式會社 中九
東京螺旋管製作所 中四
東亞スプリング製作所 後七
東亞製鋼株式會社 後二

東芝貴藏商店 中四
東光商會 後六
合資會社特殊齒輪製作所 後七
合資會社特殊亞鉛工業所 後八
特殊合金工具製作所 特一
特殊機械製作所 中六
合名會社特殊鋼具製作所 前三
富永鋼業株式會社 中五
富永興業所 特七
富田鐵工所 後六
富田製綱所 中四
徳山鐵板株式會社 中三
轟製作所 後七
巴パッキン製造所 後八
土井商店 後三
合資會社中央製作所 後九
理研ピストンリング株式會社 前五
額田辰一商店 中四
沼田動力商事社 後八
大阪ヤスリ製造所 後三
大阪フェルト工業所 後一〇

大阪發條鋼材合資會社 中三
合資會社大阪汽密罐製作所中四
大阪電氣株式會社 特三
大阪金剛商會 前二
大阪鑄造所 前二
大阪除塵器製作所 後九
大阪鐵製ナット工業組合 前六
大阪合金鑄造所 中四
大阪瓦斯株式會社 特二
大阪若山鐵工所 後五
株式會社大林組 D
大橋漆行 前六
大西三郎商店 後三
合名會社大川ヤスリ製作所中五
大江工業株式會社 後六
大塚製作所 中六
大澤ゴム商會 後八
大任合金所 後三
岡田鑄造工場 中七
岡田製作所 前四
岡坂工業所 後四
合資會社岡本機械製作所 中四
岡善ポンプ製作所 中四
岡新兵衛商店 後三
株式會社岡谷商店大阪機械部 後八

奧小路シャーリング工場 後一〇
小野製作所 中九
緒方鍍金所 中五
尾崎鐵工所 後七
合名會社於勢商店 後八
押谷工業株式會社 前六
織田金屬所 後三
若月源壽商店 後二
カナエ石綿工業株式會社 前三
關西脫水機製造所 後八
株式會社關西電線製造所 中四
川崎一商店 後四
川崎螺旋管製作所 後四
川上塗料製造所 前三
合名會社柏原パイプ製造所後元
柏木商店 後四
門本商店 前四
笠島房治郎商店 前四
合名會社春日井商店 後三
海陸用品商會 前七
香山機工所 後九
合名會社釜吉鑄鍊所 後一〇
勝田螺旋製作所 中元
金子鑄鋼所 後二六

神崎商會 後二五
合資會社火王商會 前六
片岡商店 後二
吉田浩造商店 後六
吉田化學製品所 中四
合名會社吉田太工作所 後六
吉田ケレン製作所 後六
淀川打拔鐵工所 後七
橫濱護謨株式會社 中二
米田製作所 特三
大同電力株式會社 後四
大東工業所大阪支店 後七
大承工業所 中四
太陽空氣機製作所 特三
合資會社第一班礮製作所 F
高橋鐵工所 後三
高橋繁次郎商店 前二
高橋美章堂 後三
株式會社高橋鐵工所 前四
高木鐵工製作所 後三
合資會社高木製鐵所 後八
高木チエイン商店 前四
高田アルミニウム製作所 前四

株式會社高田商會大阪支店前六	株式會社高尾鐵工所	高島屋飯田株式會社	田中ボルト製作所	田中商會	田中政鐵工所	田原商會	田村瓦斯工業所	田邊鐵工所	竹島製作所	竹島三郎商店	竹本鐵製作所	竹本シト商會	株式會社竹中工務店	武田彌商店	谷坂鐵工所	谷坂鐵工所併工場	巽商事株式會社	十河商店	双益商會	椿本商店	辻本鐵工所	ネリヲ商店			
後七	特三	中六	前二	中六	後七	後七	後七	前九	中六	後五	後三	後一	後一	後一	中六	前七	前七	中六	中六	前六	中五	後四			
内外ダイヤモンド合資會社前七	内外物産株式會社	ナニワ鐵製作所	浪速パッキンク商會	合資會社浪速鐵造所	浪速機械株式會社	中川ゴム商店	中川商會	中川鐵工所	中村機械工作所	中村卷パイプ製造所	中島鋼管合資會社	中島健三郎商店	合名會社中元鐵工所	中西商會	中原清四郎商店	中野製作所	永田製作所	永瀨鐵工所	長澤商店	成川製造所	奈須野機械製作所	村井フランヂ製作所	村上政雄商店		
前六	前六	後三	後七	前九	前九	中三	中三	後八	後七	中七	前八	中三	後七	後六	後六	後五	後五	前四	前四	前四	前四	中二	後五		
陸工作所	合資會社植野商店	植田鐵工所	上野製作所	内田スプリング商店	魚谷文次郎商店	牛尾製作所	野江工業所	野依商店機械部	株式會社野里工作所	能登鐵工所	合資會社楠田竹治郎商店	楠重三郎商店金庫部	窪田鐵工所	吳製砥所	倉田商店	草場計器製作所	公文商會	山本信義商店	合名會社山本貞吉商店	山本製作所	合名會社山下製作所	山口英一商店			
後三	後一	前二	中六	後三	中六	前二	後七	後一	特二	後七	中四	前三	後六	前四	中六	前七	前七	後三	中元	前二	中三	前三			
山田屋鐵線營業所	山篠鐵工所	合資會社八千代工作所	ヤマト工作所	矢滿登塔製製作所	大和三光商會	マルタカ商店	松本清商店	松本恒商店	松本鋼管販賣所	株式會社松村組	松村商店	松井政治郎商店	松永徳三商店	松田ボンブ製作所	松下フエルト工場	松垣藥店	丸ヨ商店	丸市商店	株式會社丸五商店	丸金金網株式會社	前川電氣鐵工所	前田化學機械株式會社	前川試驗機製作所	牧野輕合金製作所	合資會社牧田鍍金工業所
前四	前六	中六	中一	後六	後六	後一	前元	後元	後六	後二	後六	中三	後五	後四	後三	後六	後六	後四	後四	後四	特三	後三	後七	中五	

合名會社眞木傳動機製作所後六	建築資料協會	フシマン製作所	ブリヂストンタイヤ株式會社	福井製作所	福理工業社	福田製鉄所	福安鋼管商店	福島治三商店	福松商會	藤橋良商店	藤岡商店	藤田製作所大阪出張所	古河電氣工業株式會社	古屋鐵工所	株式會社古林商店	株式會社不二耐久ツール製作所	不二越鋼材工業株式會社	株式會社富士製作所	二葉製作所	二見音商店營業部	深山商店	深井鐵工所		
特五	前八	中三	中三	中三	後一	中三	特三	中六	前五	後二	後一	後一	後六	後六	中六	B	後五	特九	後三	後七	中三			
コハラ商會	小林正治商店	小林製作所	小林弘之介商店大阪出張所後五	小山商店(谷町)	小山商店	株式會社小松英製作所	小森商店機械部	小出兄弟商店	小鹿皮革工業所	近藤機械製作所	近藤鋼商店	近藤鐵工所	近藤要商店	株式會社神戸製鐵所	株式會社神戸電機製作所	兒島金網製作所	株式會社古島商店	光洋精工株式會社	向陽化學工業株式會社	エヌ(エ)	エヌデイエス割革車製作所前四	圓藤特殊合金製作所	帝國鋼管製造所	株式會社帝國機械製作所
中五	後五	後四	後五	前四	後六	後二	後三	後一	前四	後五	前四	前四	後三	中七	後六	後一	後九	特七	後一	前四	中八	後三	前六	
帝國工業研究所	帝國酸素株式會社	帝國鑿井合資會社	鐵管總販賣株式會社	天龍製鐵株式會社	株式會社電元社	株式會社安宅商會	安積製作所	安治川亞鉛鐵工株式會社	阿波田良之助商會	阿部商店	秋田商會營業所	秋岡榮商店	種村治郎兵衛商店	赤尾鋼管商店	赤谷商會	赤萩鐵工所	旭タミナル製造所	合資會社旭商會製作所	旭硝子株式會社	株式會社青山鋼商店	青柳製作所	淺野物産株式會社水道工事部	愛知工業株式會社	株式會社天汁鋼球製作所
後七	特六	前四	前四	特六	前六	前三	特四	後六	後七	後一	前四	中七	中六	後二	中五	後三	後三	中三	特八	後六	特九	中二	後五	
荒瀨鐵工所	三機工業株式會社	三榮ボンブ製作所	三益商會	三恩商會	三益商會	佐藤製作所	佐藤合名會社	齋藤商店大阪支店	合名會社櫻井化學機械製作所	坂上好司商店	佐久間パブコ工業株式會社前二	里井鑄造所	先山商店	木谷商店	木下器具製作所	合名會社木村鉛工所	九州耐火煉瓦株式會社	汽車製造株式會社	共立電氣鐵工所	ユニオン調帶鍍金具製造所特二	湯淺伸銅株式會社	湯淺調帶營業所		
中三	前六	中五	後一	後一	中四	後六	後六	後五	後五	後四	後一	後六	中六	中七	後一	前七	前六	後五	後二	後二	後二			

株式會社湯淺七商店大阪支店 前六	御法川工場 特七	元内製作所 特四	精電社製作所 後二〇
メルカトル商會 中五	昭和製網株式會社 前五	森田商店 後六	スタビロード製作所 中六
目黒計器營業所 後五	昭和錠前製作所 中四	攝津アスベスト株式會社 中五	スミナ商會 前六〇
目黒研創砥石工場 前七	島シヤリング機製作所 後五	精保齒輪工作所 中四	杉本杉松商店 特三
明工舎 中七	島買易株式會社東京支店 前六	株式會社錢高組 後二八	杉本卷鐵工場 前七
三井物産株式會社機械部 E	株式會社島田硝子製造所 前三		株式會社住友電線製造所 C
三ツ矢電線營業部 後二	下川工務所 後三		
三石星煉瓦株式會社 前六	志水伴治商店 中四		
三浦武商店 前六	芝本金治商店 後四		
三浦工業所 前六	城下工作所 後八		
合資會社三好鑄造所 後八	白石商店 後五		
三好鐵工所 前八	伸和ラテックス研究所 中六		
三輪謹一商店 後七	伸藤ポンプ製作所 後三		
三豐商店 後三	伸銅共販株式會社 前三		
三宅機械工作所 後一〇	新東京商店 後五		
株式會社三國鐵工所 特五	淨水工業所 中七		
宮内工作所 後三	廣島製砥所 前八		
宮川工具研究所 後三	廣瀬仲藏商店 後二〇		
宮製鋼所 特六	廣澤チエイン製作所 後四		
合名會社水谷泰之助商店 中六	平野シャトル株式會社 中六		
合名會社水谷商店 後六	平尾製作所 後二		
南鐵工所 中六	久山鐵工所 後六		
南出商店 前九	東田製作所 特三		
美馬商店 中元	樋口商店 中八		
合名會社美和商會 後五	日垣太市郎商店 後七		
	比留間福太郎商店 後六		

昭和十二年十二月二十日印刷
昭和十二年十二月二十五日發行
昭和十三年 日滿工業年鑑 (定價金壹圓也)

發行所 日滿工業新聞社
大阪市西區江戶堀北通五丁目三十七番地 (昭和通)
電話土佐堀(44)〇八元・三三・三三
振替大阪一〇一六一五番
東京支社 東京市麴町區有樂町二丁目四番
電話銀座(57)三九九一

發行編輯 堤 憲 治
印刷所 日滿工業新聞社印刷部
大阪市西區江戶堀北通五丁目三十七番地

元内製作所 特四
森田商店 後六
攝津アスベスト株式會社 中五
精保齒輪工作所 中四
株式會社錢高組 後二八

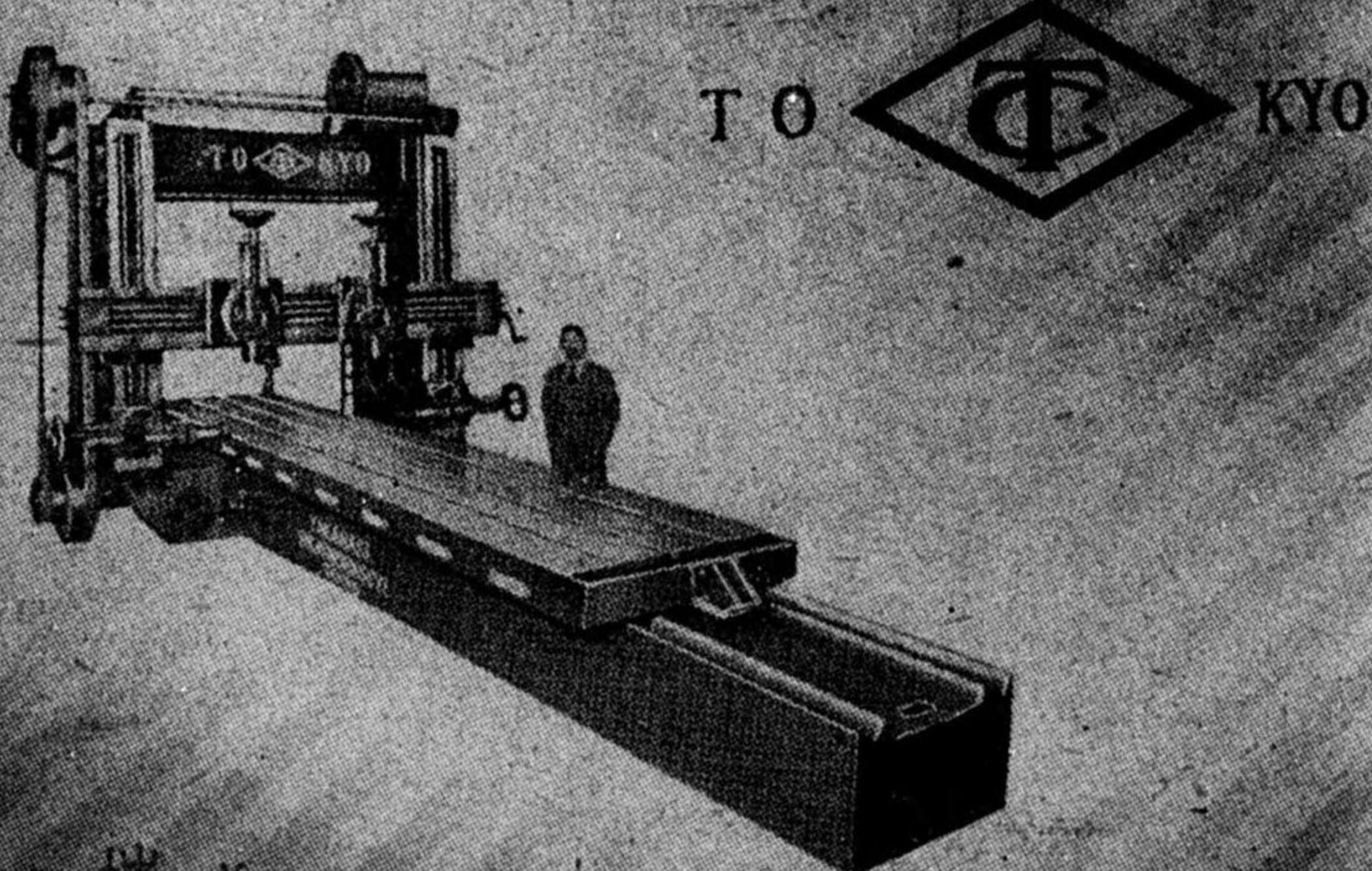
精電社製作所 後二〇
スタビロード製作所 中六
スミナ商會 前六〇
杉本杉松商店 特三
杉本卷鐵工場 前七
株式會社住友電線製造所 C


電氣鋼板
磁性合金
各種販賣問屋

マルタカ商店

山本隆之

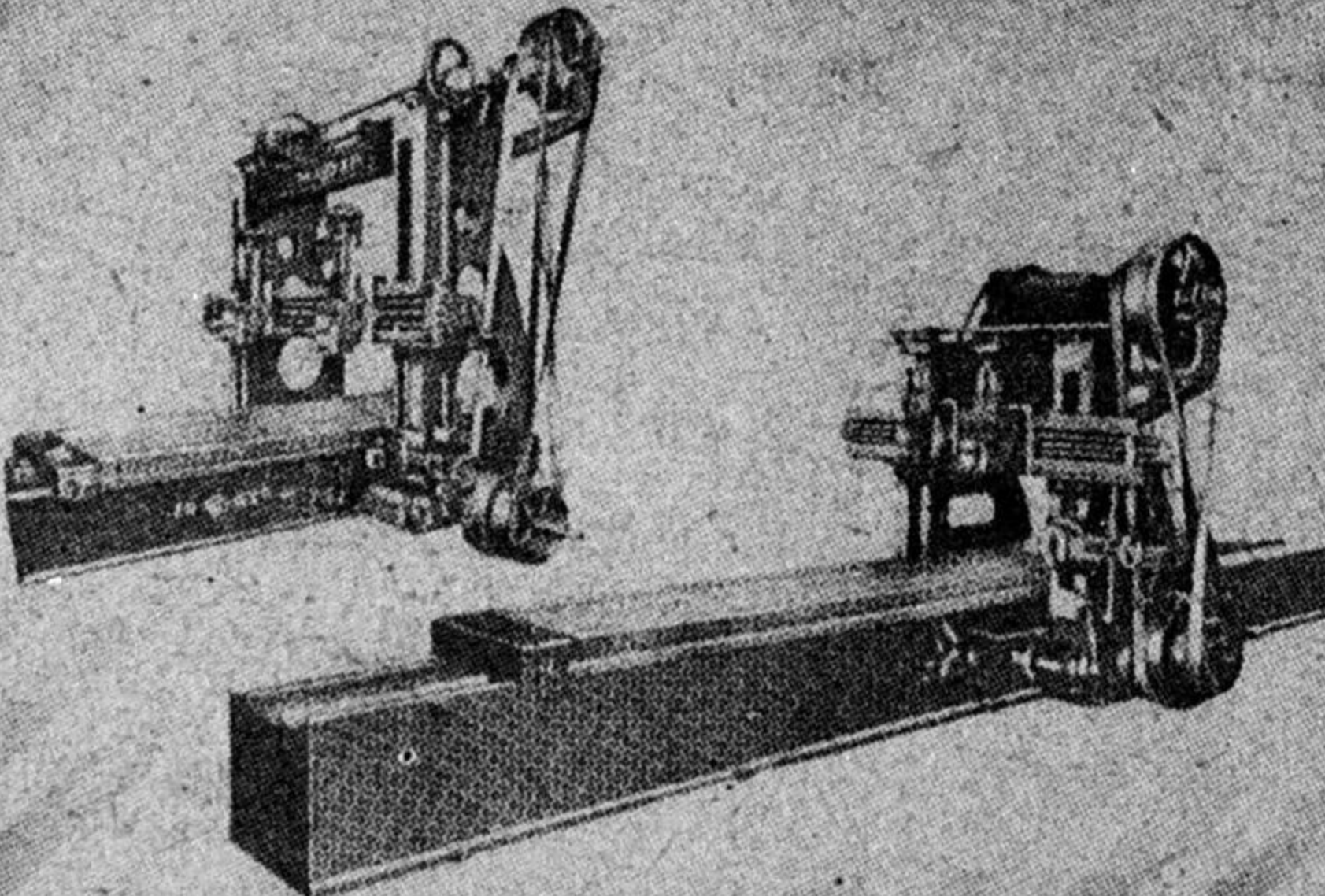
大阪市此花區吉野町三丁目一番地
電話土佐堀四五〇三番



TO  KYO

株式會社 高橋鐵工所

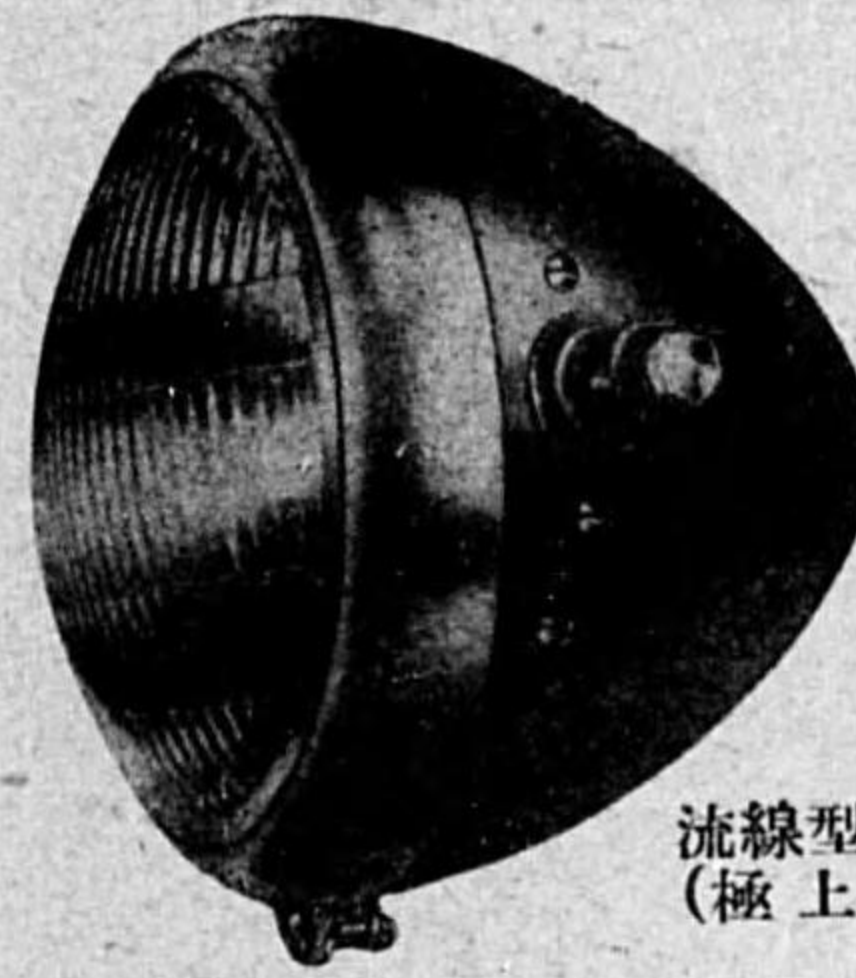
東京市江戸川区越井三、四九九
電話墨田(74) 2018・5634 番



後
三

理想的  純國產品

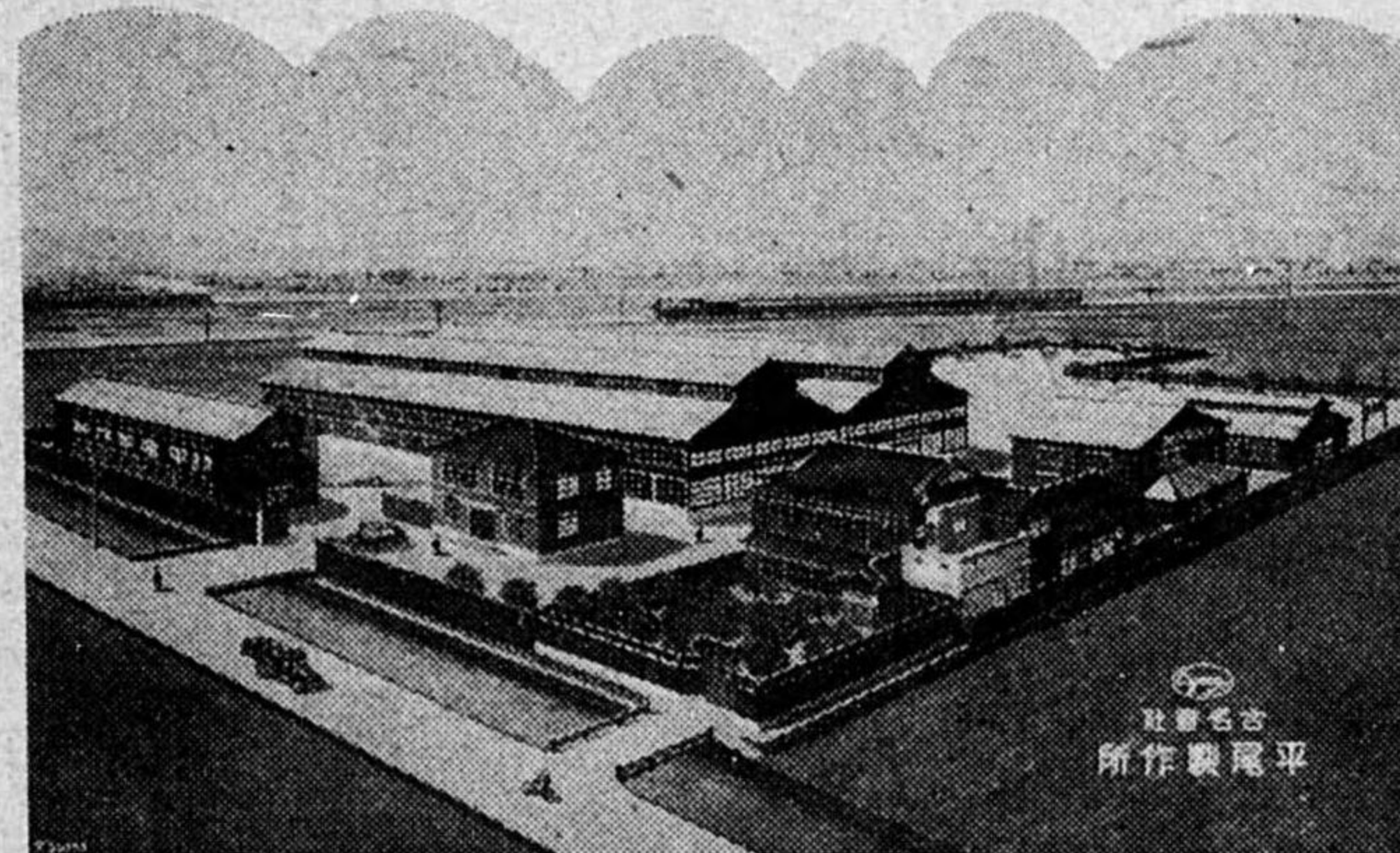
小型自動車前照燈
並速度計專門製作



流線型前照燈
(極上黒塗)



配電裝置付前照燈
(極上黒塗)

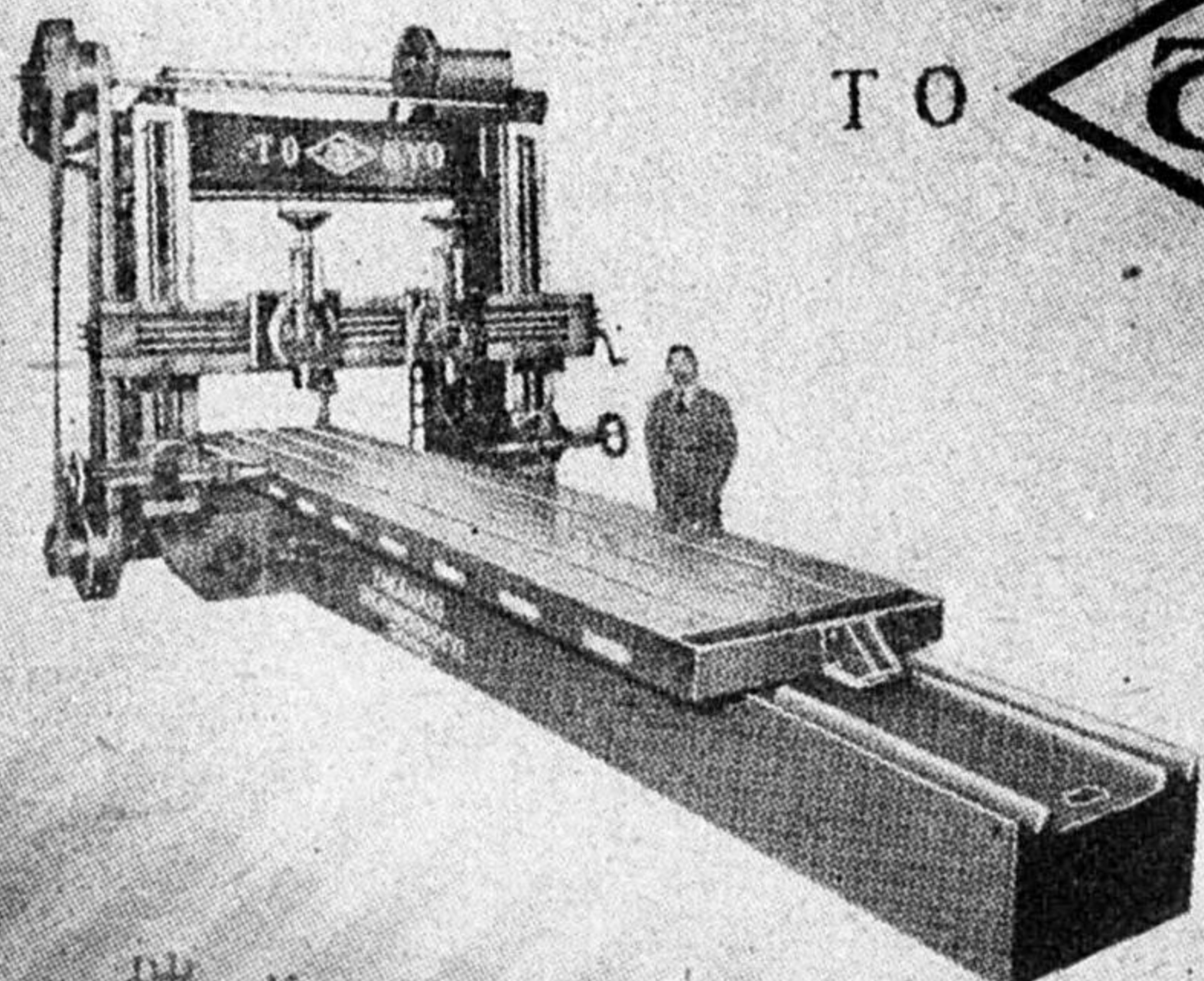



合名社 平尾製作所

尼ヶ崎市潮江上佃二番地
電話 尼ヶ崎一〇七七番
福島三六七九番

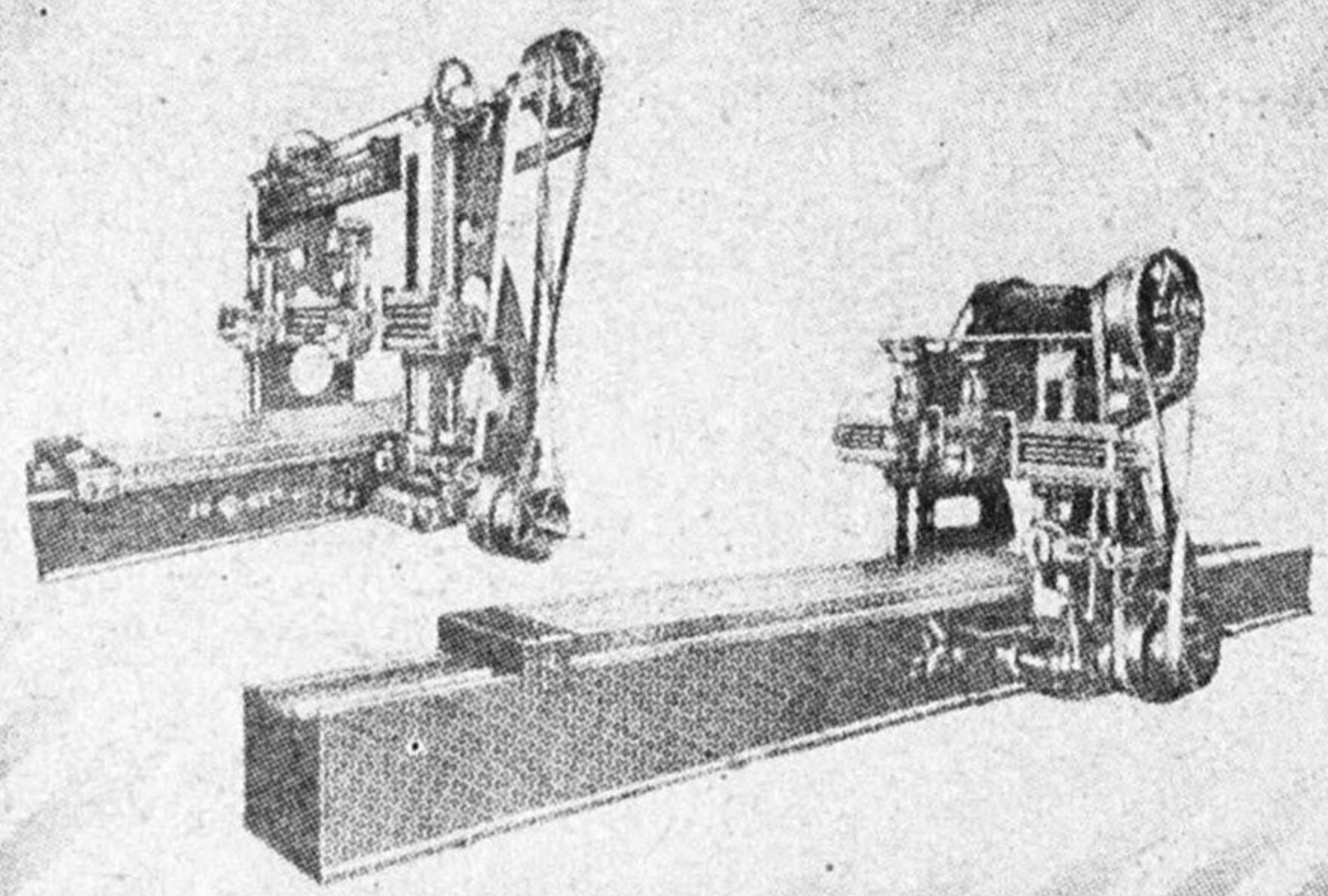
發賣元 日本ワキコマグネツト株式會社
大阪市北區堂島北町

後
二



T O  K Y O

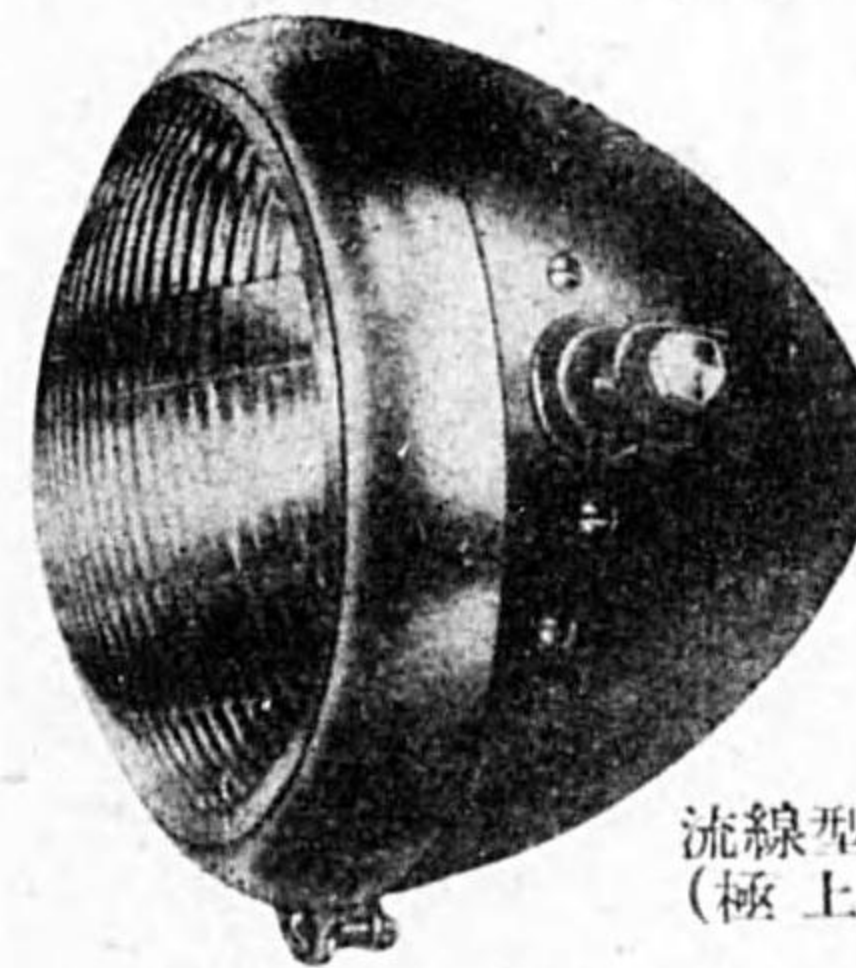
株式會社 **高橋鐵工所**
 東京市江戸川区送井二、四九九
 電話墨田(74) 2018・5634 番



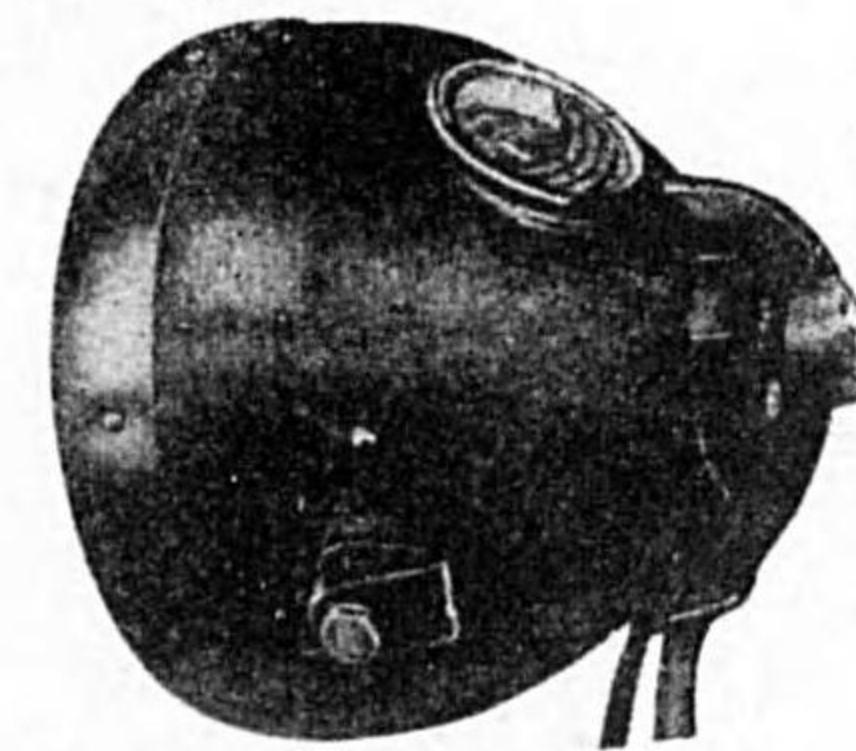
後
三

理想的  純國產品

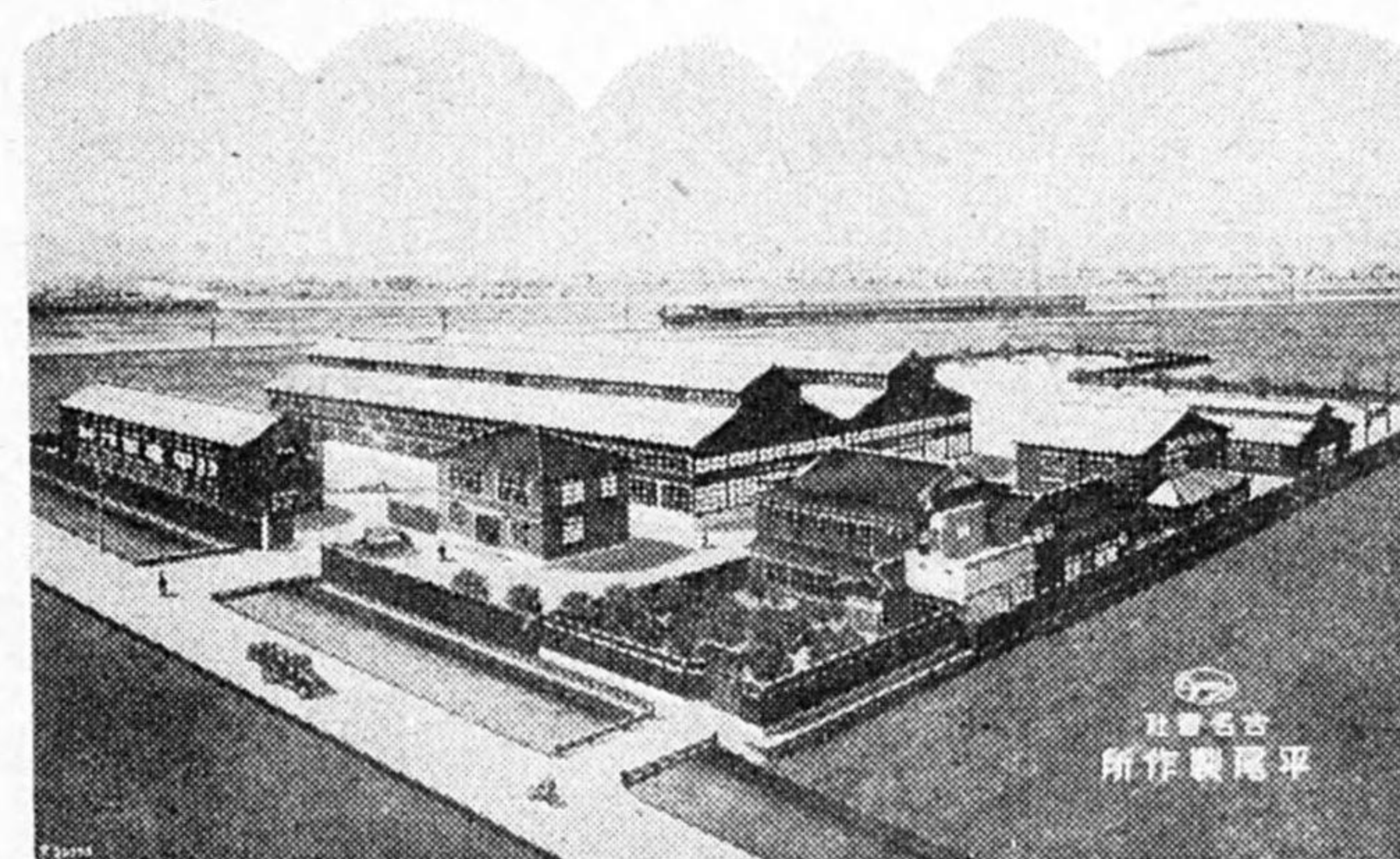
小型自動車前照燈
 並速度計專門製作



流線型前照燈
 (極上黒塗)



配電裝置付前照燈
 (極上黒塗)



平尾製作所

合名會社 **平尾製作所**

地 番 二 番 上 江 潮 市 崎 尼
 番 七 七 〇 一 崎 尼
 番 九 七 六 三 島 福
 電話

發賣元 **日本ワキコマグネット株式會社**
 大阪 市 北 區 堂 島 北 町

後
二



ローレル
クロムスチールボール

國産に冠あり!

後
五

株式會社

天辻鋼球製作所

本社・大阪市西区北堀江通二丁目・電話新町2161・3709・工場北7653

向馬印

バビットメタル

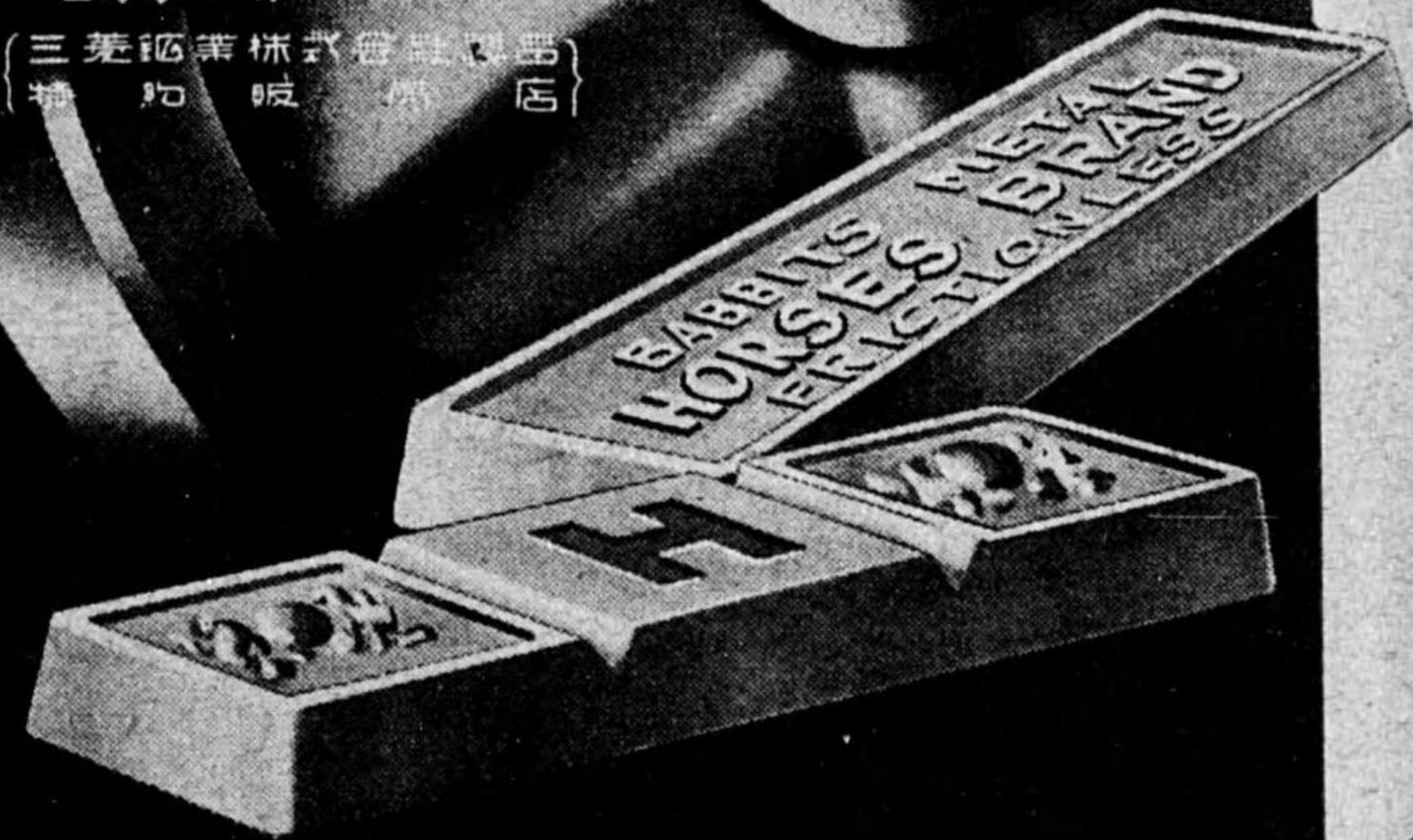
半田錫

各種線棒

電氣用一松脂入錫鐵・線

電氣丁錫・折錫

{ 三菱鉛筆株式會社 東京店 }



所造製川成

目丁七町谷区南市阪大

番四〇五七・九一一三・三〇一・五四六南電

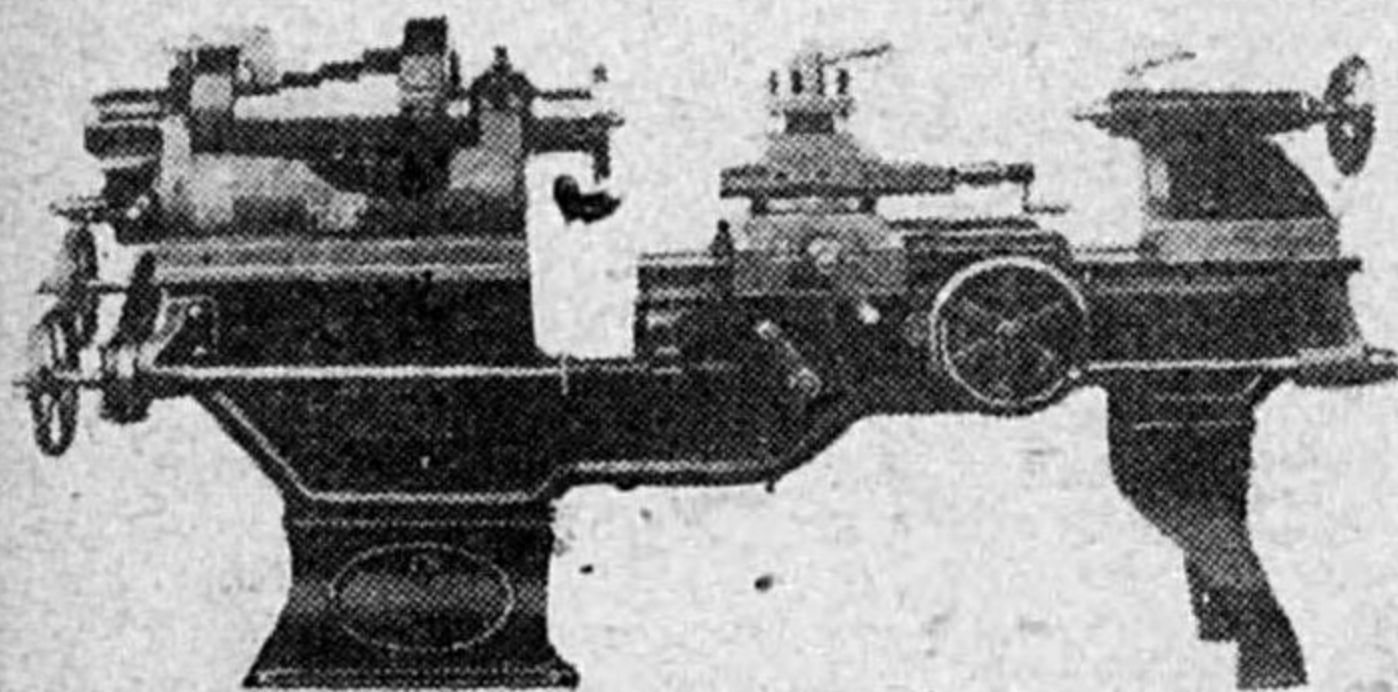
番三〇八六南話電場工

後
四



極めて精度高く技術優秀

(實物御一覽ヲ乞フ)

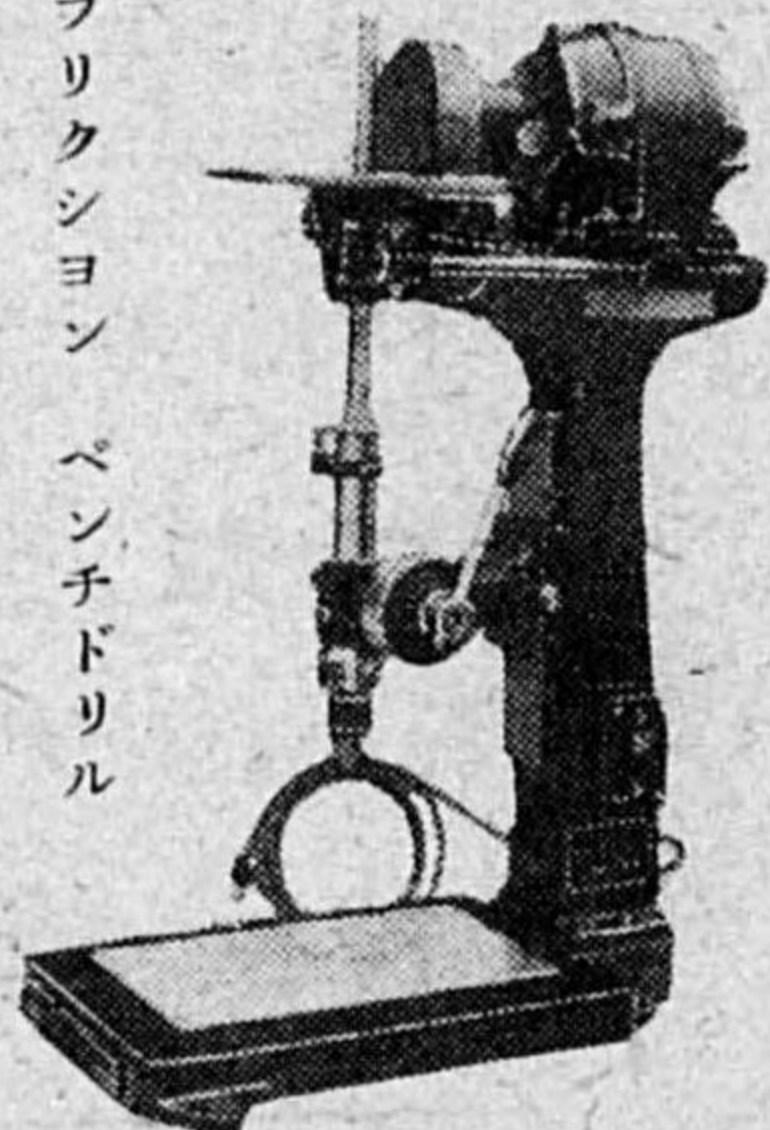


7呎英式強力旋盤

海軍工廠御指定 中村機械工作所

大阪市北區東野田八丁目六一
電話堀川④四三四七番

フリクション
ペンチドリル



日本機械學會制定精度の第一種合格!

800-3000回轉 1/4HP100Vモーター直結

營業種目

各種傳動用革ベルト
各種革パッキング(專賣特許)
生革製齒車(新案特許)
(ローハイド・ピニオン)
船舶用革製品
鐵道用革製品
紡績用革製品
工業用革製品一式

諸官場省
指定納入品

國產高級品

生皮製齒車



新案特許品

カタログ呈上

合名 合社 ローヤル皮革工業所

營業部 大阪市東淀川区十三面一丁目四 電話北 4169番
工場 大阪府箕面村大字南瀬川

後七

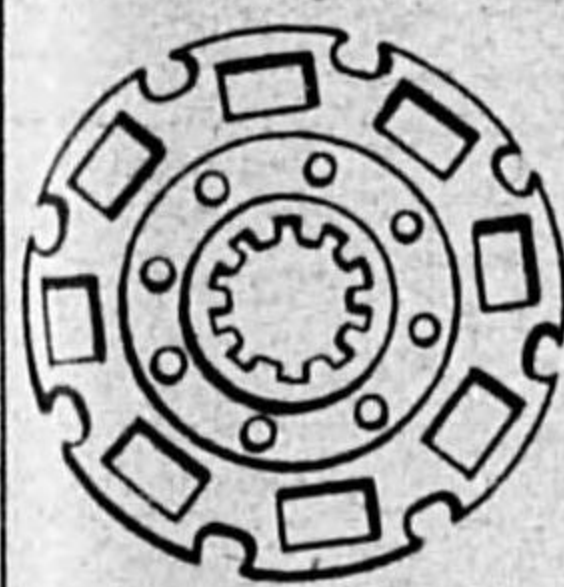
營業課目

高級足踏製繩機
高級動力製繩機
高級仕製繩機
高級打機

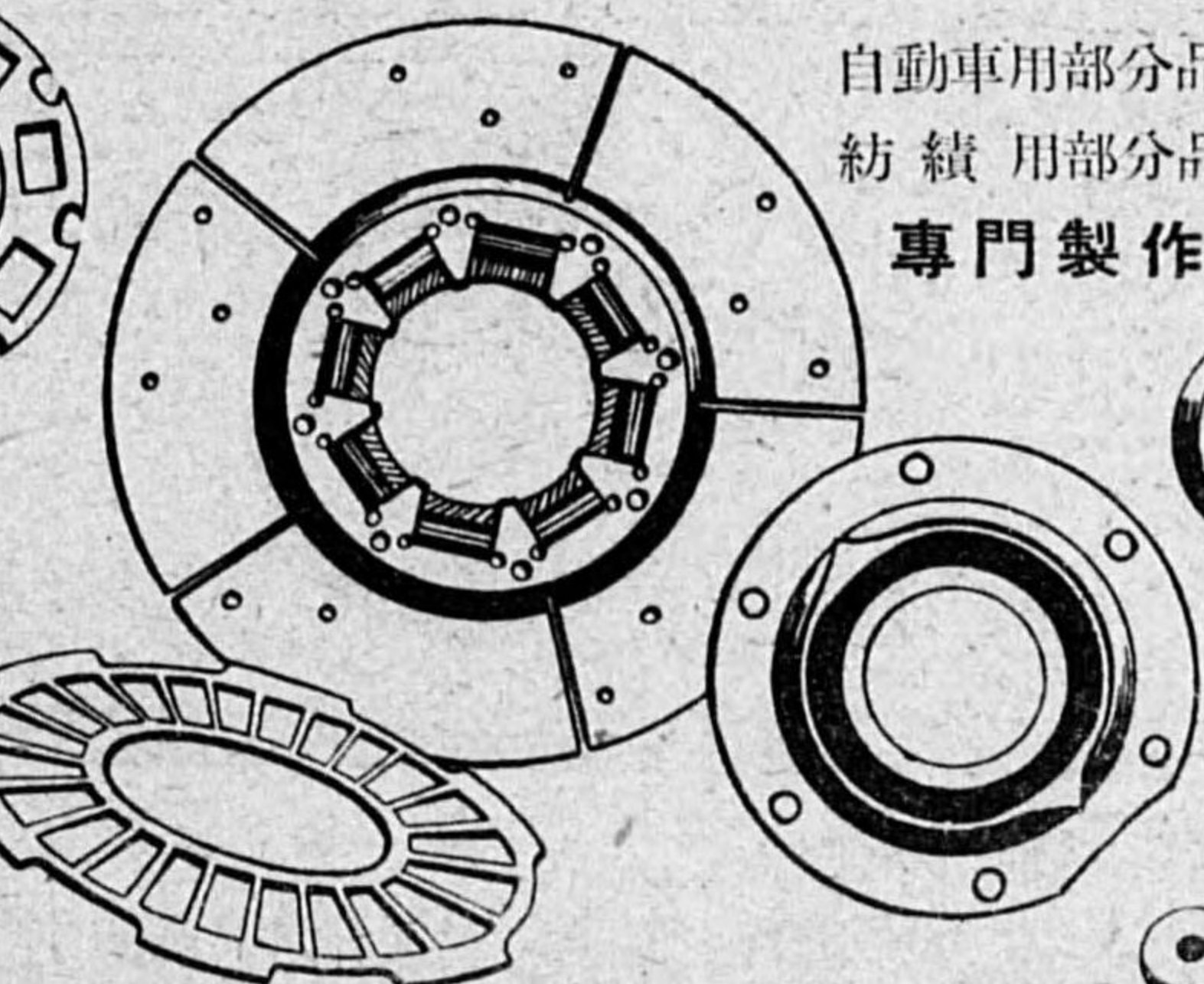
高級稻扱機
富田式水削機
富田式アイスクリーム機
ツエツペリンフリーザー

富田鐵工所

大阪市大正區泉尾松之町一丁目
電話櫻川④四三五二番 振替口座大阪 七五三七六番



難物歡迎
抜押物



自動車用部分品
紡績用部分品
專門製作



寝臺用滑車



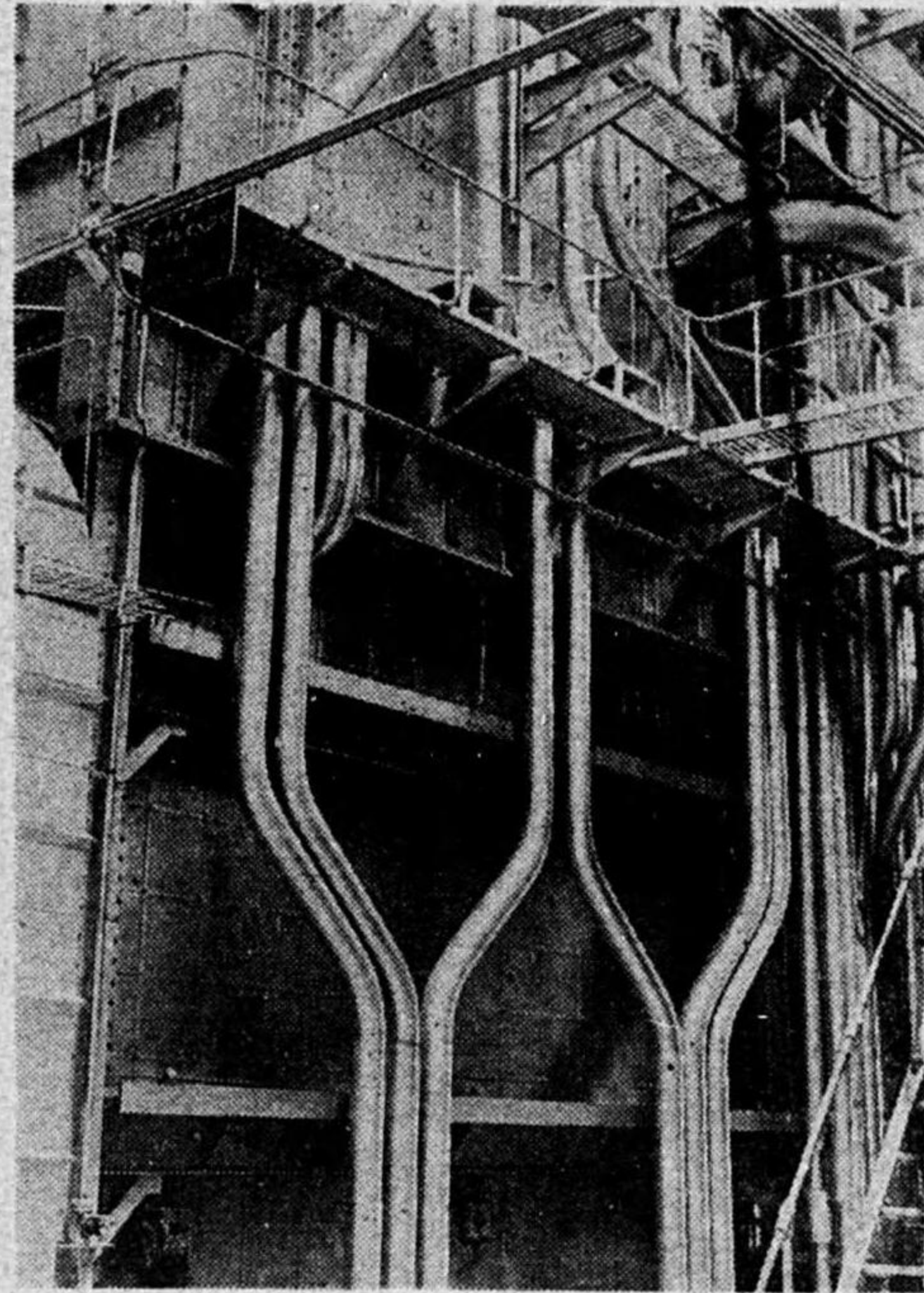
合名 合社 吉田太工作所

大阪市浪速區立葉町一三〇三番地
電話櫻川④四五六〇番

後六

海軍省指定工場

創立明治二十九年



弊社施工某発電所保温工事の一部



N.A.K.

営業種目

保温、保冷材料及工事
 プレーキライニング
 各種バッテリー
 各種紡織製品
 石綿

日本アスベスト株式会社

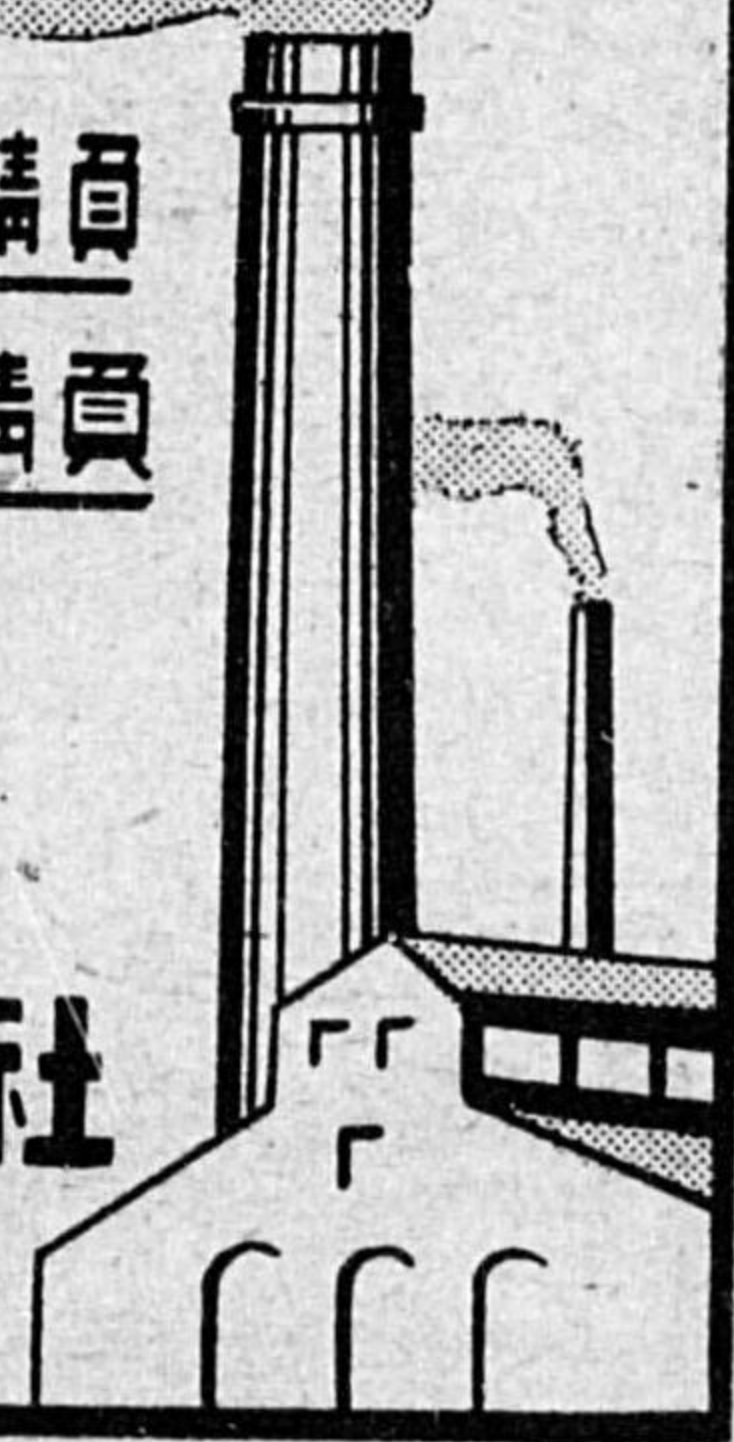
営業部 東京市京橋區銀座西六丁目 電話 銀座 1756・4536・4537・7091 番
 大阪市西區靱南通四丁目 電話 土佐堀 739・2021・6919・7048 番
 工場 東京市品川區北品川四丁目 電話 大崎 4107・4108・4109 番
 奈良縣北葛城郡王寺町 電話 大和王寺 110 番
 出張所 名古屋、福岡、長崎、大連、奉天、新京

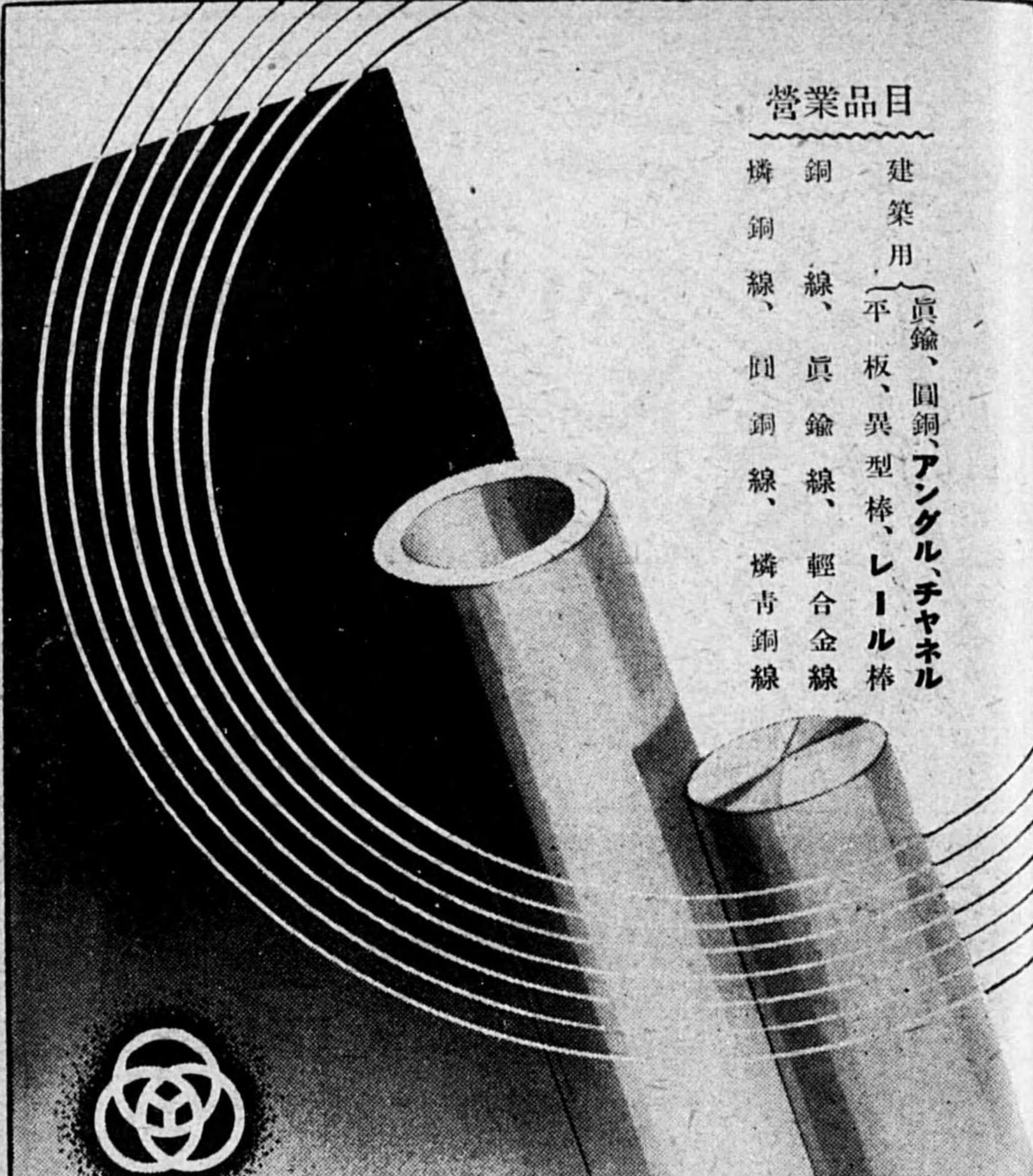
ENTY ストーカー
 高木式 唧筒
 GK 式電動機 スイッチ 各種
 つねきちボイラー
 大阪變壓器株式會社特約店
 各種電動機

発電所設計据付工事請負
 汽罐設計据付工事請負
 汽罐掃除請負
 電気工事設計請負

沼田動力商事社

大阪市南區難波新地五番町五七
 (難波驛前御堂筋) 電話 戎 3796 番





營業品目

建築用
 眞鍮、圓銅、アンタル、チャネル
 平板、異型棒、レール棒
 銅線、眞鍮線、輕合金線
 銅線、圓銅線、眞鍮線、輕合金線
 銅線、圓銅線、眞鍮線、輕合金線



海軍省指定工場

湯淺伸銅株式会社

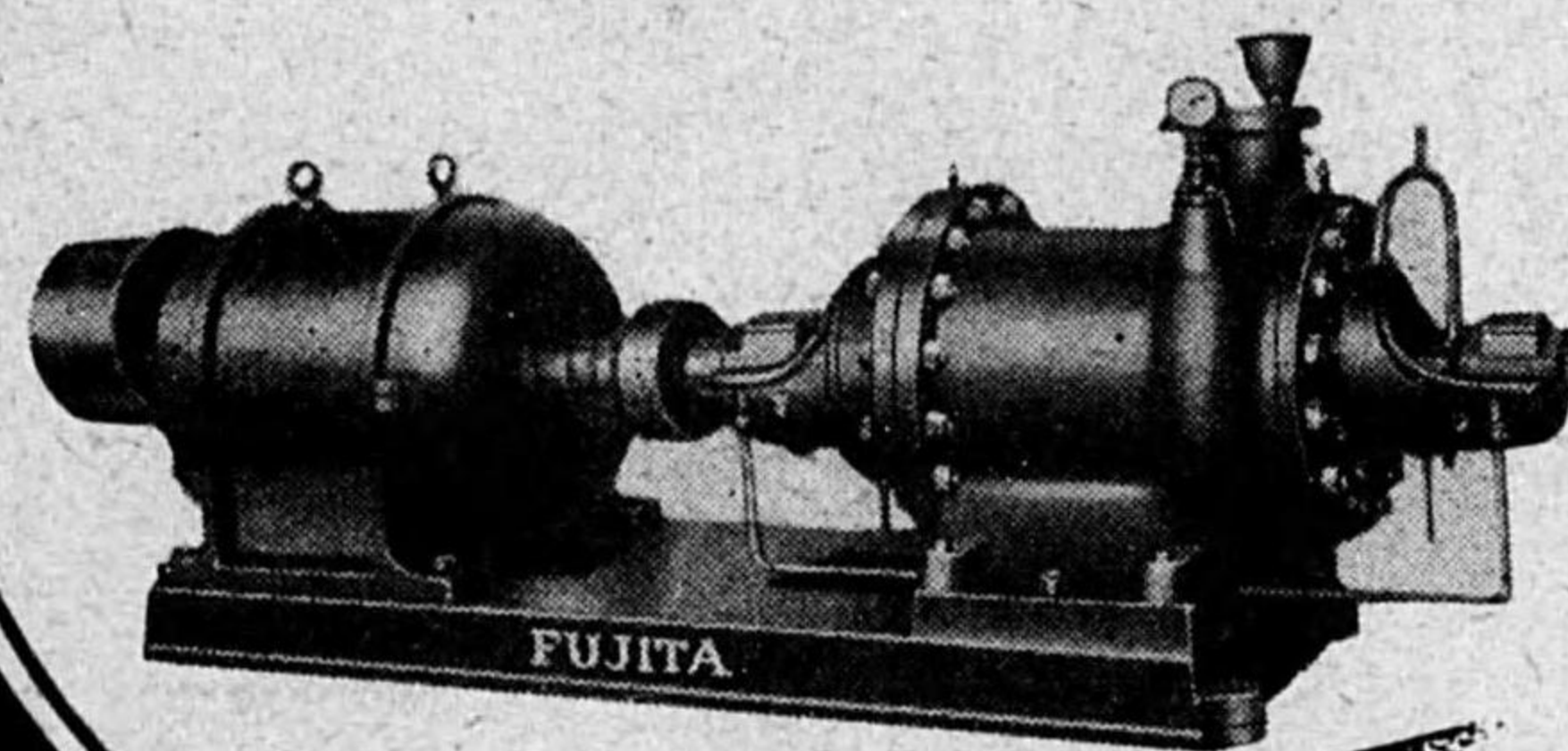
大阪市西成区辰巳通三丁目十七番地
 電話 桜川・一八八三番三一五一番
 天下茶屋・二二一五番四〇九一番

後二



藤田ポンプ
二十年の歴史

三萬臺の経験



營業
 各種高壓多段タービンポンプ
 各種渦巻ポンプ
 冷房防湿用ポンプ

専門製作

藤田製作所大阪出張所

大阪市北區道本町四三（高垣町電停前）
 電話北 36 2 1 4 1 番
 本社 滋賀縣八日市上之町
 電話八日市 1 0 2 番

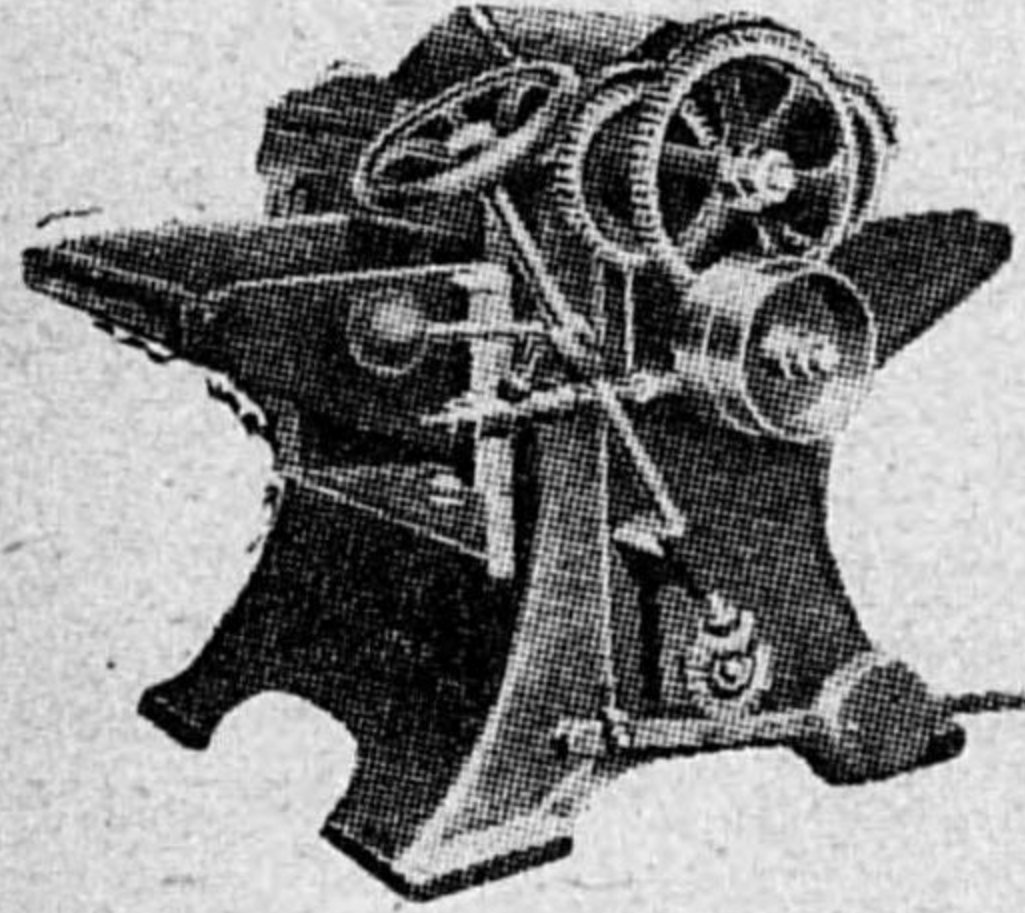
型録進呈

後一〇

營業種目

製材木工機械器具
 鋸類砥石傳導用品
 直輸入製作販賣

(H.S.式自働送平削鉋機)

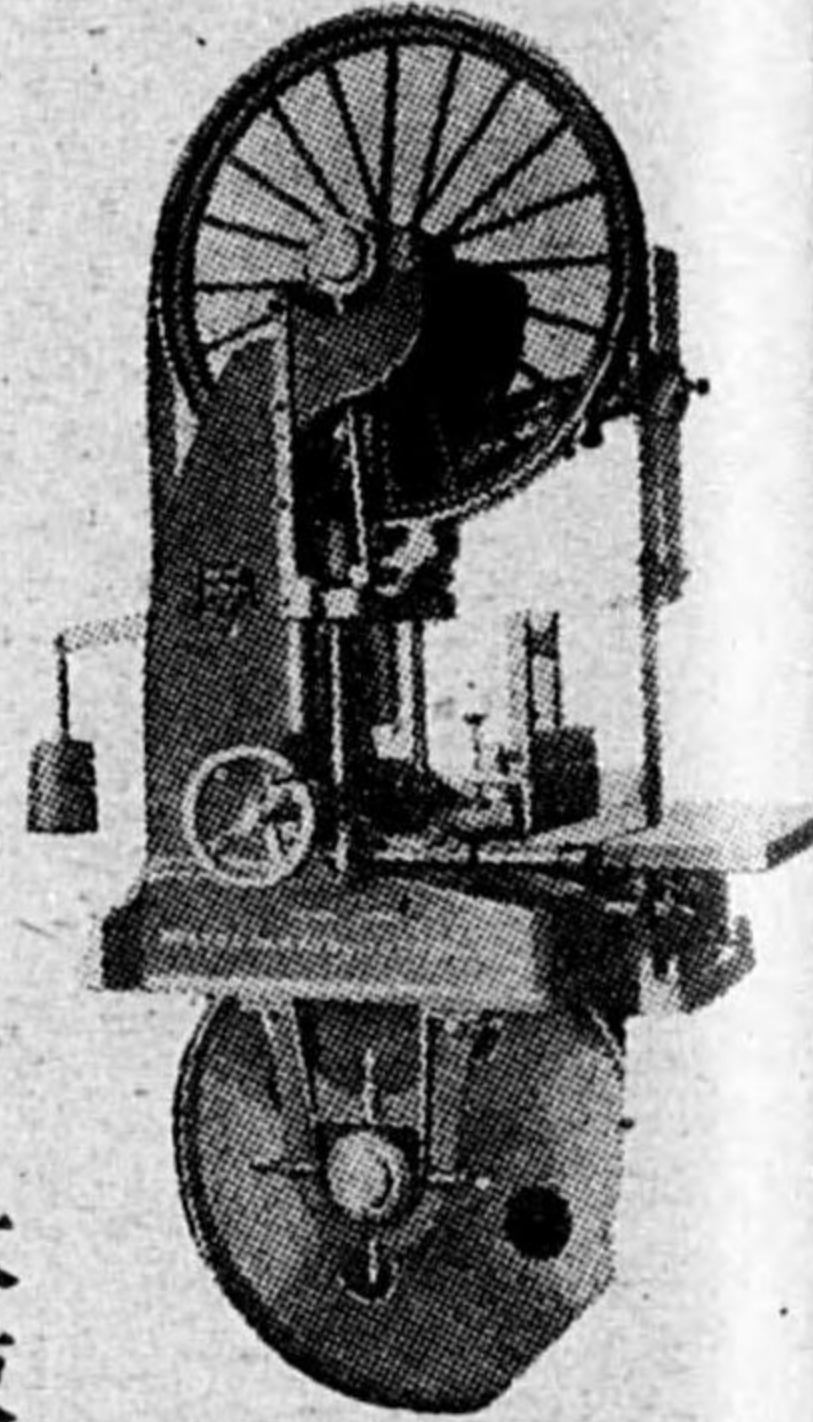


機械陳列所

大阪市西區松島町二丁目五
 (千代崎橋電停前)

後一三

(H.S.式高速度帶鋸機)



大阪市西區松島町二丁目二四

細田商事合資會社

電話西 (四) 五五八二番

ダイヤモンドドリッサー
 ダイヤモンドバインダー
 ダイヤモンドリブ
 硬度計用ダイヤモンド
 ダイヤモンドボインスト
 硝子切各工全種
 ダイヤモンド工具全般
 ラッピングマシン

東京ダイヤモンド工具製作所
 東京市芝區田町一丁目五(田町ビル内)
 電話 (三) 三二七〇番・一六二番
 第一工場 東京市目黒區中根町
 第二工場 東京市目黒區平町

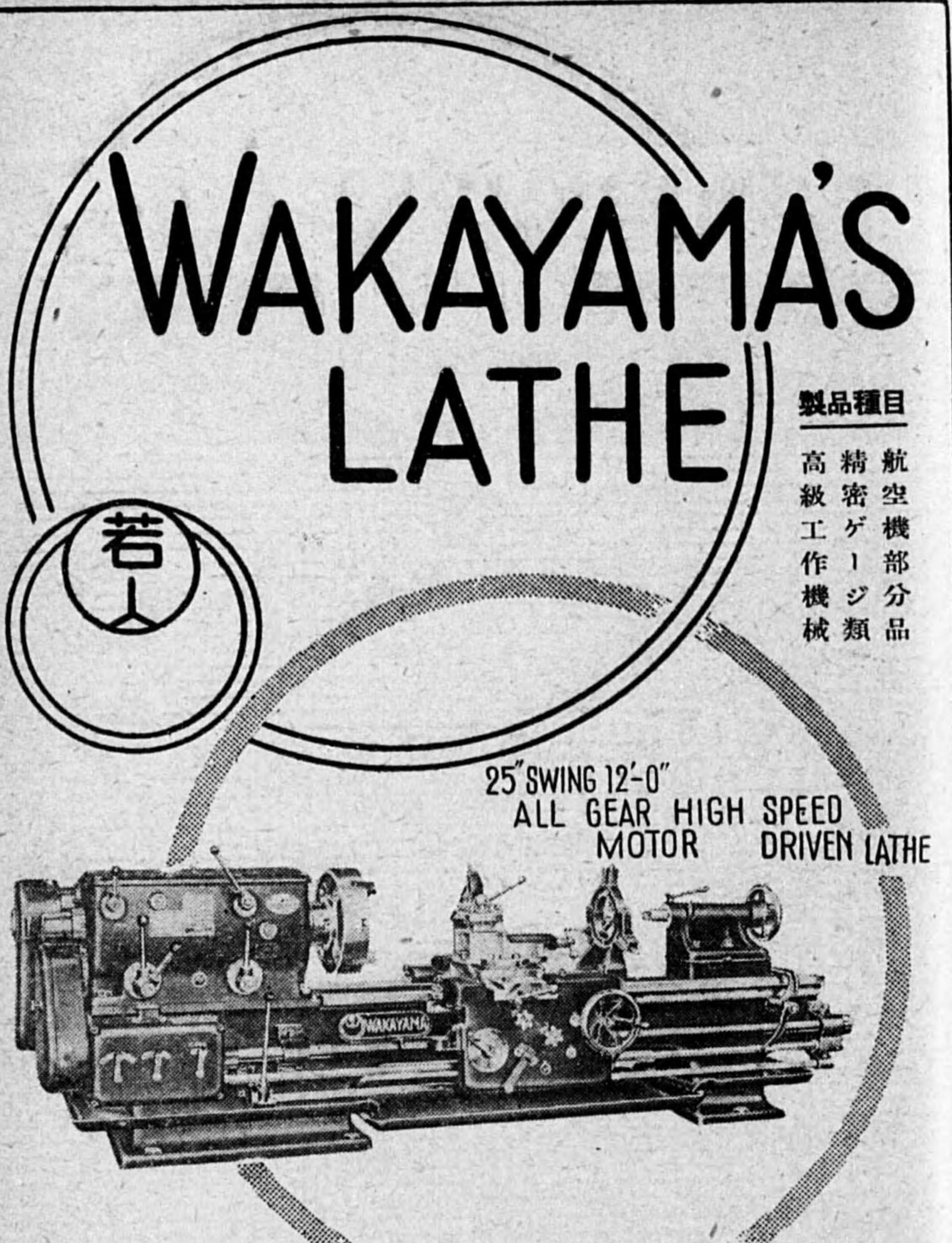
在庫 豊富

自動用ワイヤーハーネス製造卸
 電線コード航空機用ワイヤー

三ツ矢電線營業部

東京市芝區田村町二丁目九番地
 電話 銀座 (五七) 6964番

後二二



WAKAYAMA'S LATHE



製品種目

航空機部分品
精密ゲージ類
高級工作機械

25" SWING 12'-0"
ALL GEAR HIGH SPEED
MOTOR DRIVEN LATHE

株式會社 大阪若山鉄工所

大阪市西成區長橋通二丁目
電話 戎 601-6401-6402-6403
東京出張所 東京市麴町區丸ノ内ビル403號 電話 丸ノ内5430

海軍監督官派遣工場
諸官廳指定工場
□ イド認定工場



各種ワイヤーロープ製造

東洋製綱株式會社

本社工場
大阪府泉南郡北中通村下瓦屋
電話 三〇・四・四五三番
營業所
大阪府西區立賣堀北通三丁目
電話 新町三三・三三番
東京出張所
東京市京橋區越前堀一丁目
電話 橋三・七・九八番

海軍監督官派遣工場
内務省指定工場
鐵道省指定工場
□ イド認定工場



東亞製綱株式會社

マニラロープ
タニラトワイプ
製造販賣
本社工場
大阪府西區立賣堀北通三丁目
電話 新町三三・三三番
營業所
大阪府西區立賣堀北通三丁目
電話 新町三三・三三番
東京出張所
東京市京橋區越前堀一丁目
電話 橋三・七・九八番

ジーエス蓄電池

及 び

ライター水銀整流器



自動車用蓄電池
一般大衆型

日本電池株式會社

京都市上京區新町今出川北

東京・大阪・福岡・名古屋・廣島

札幌・京城・臺灣・大連・奉天

後一七

特許 ヴァーデン

自動給油グリースカップ

給油自動

給油量の調節自在



空の
の
護
り
堅
し

機械互具防錆堅し
機械の守りも堅し

透明美光

錆止グリース



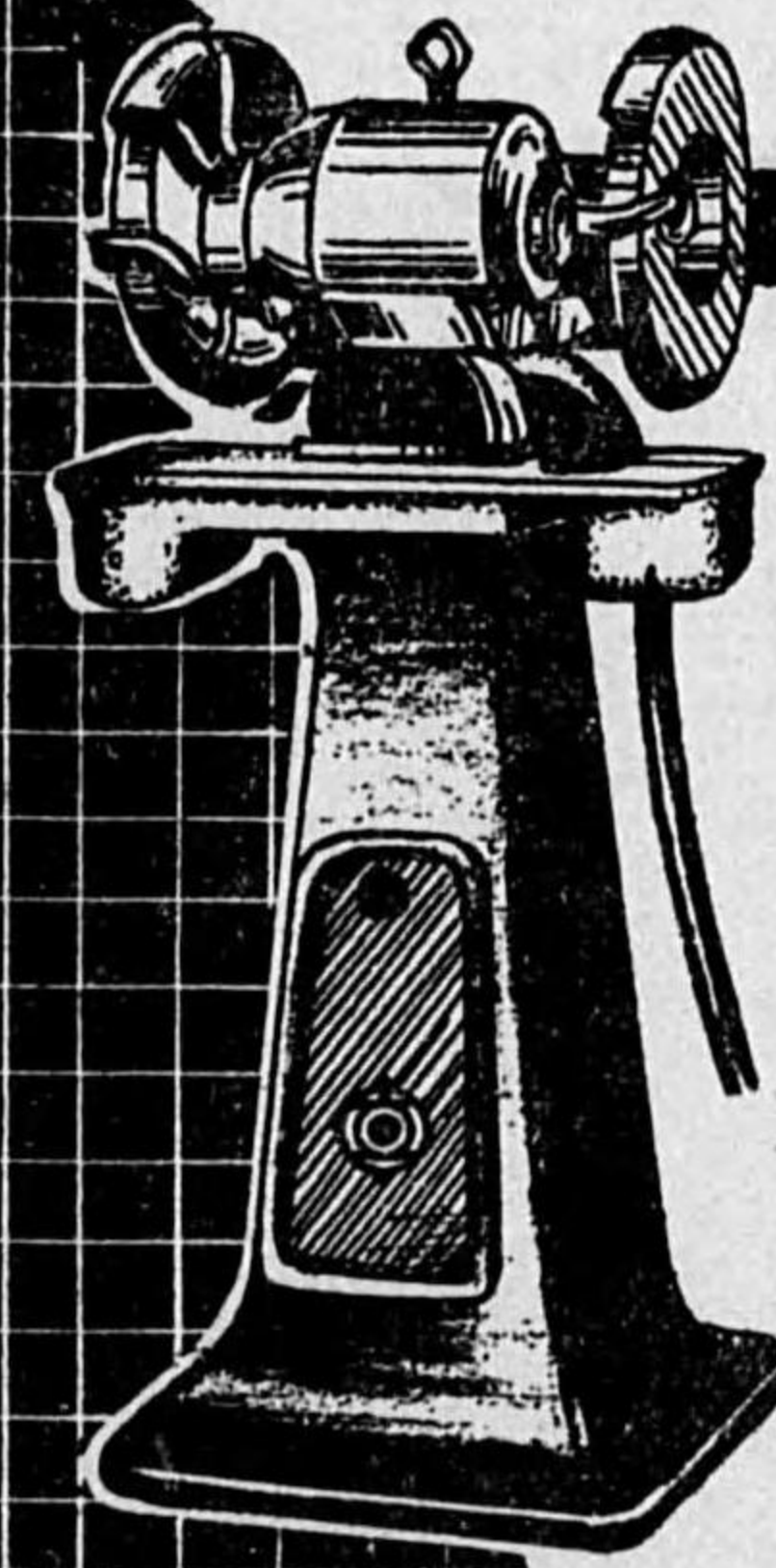
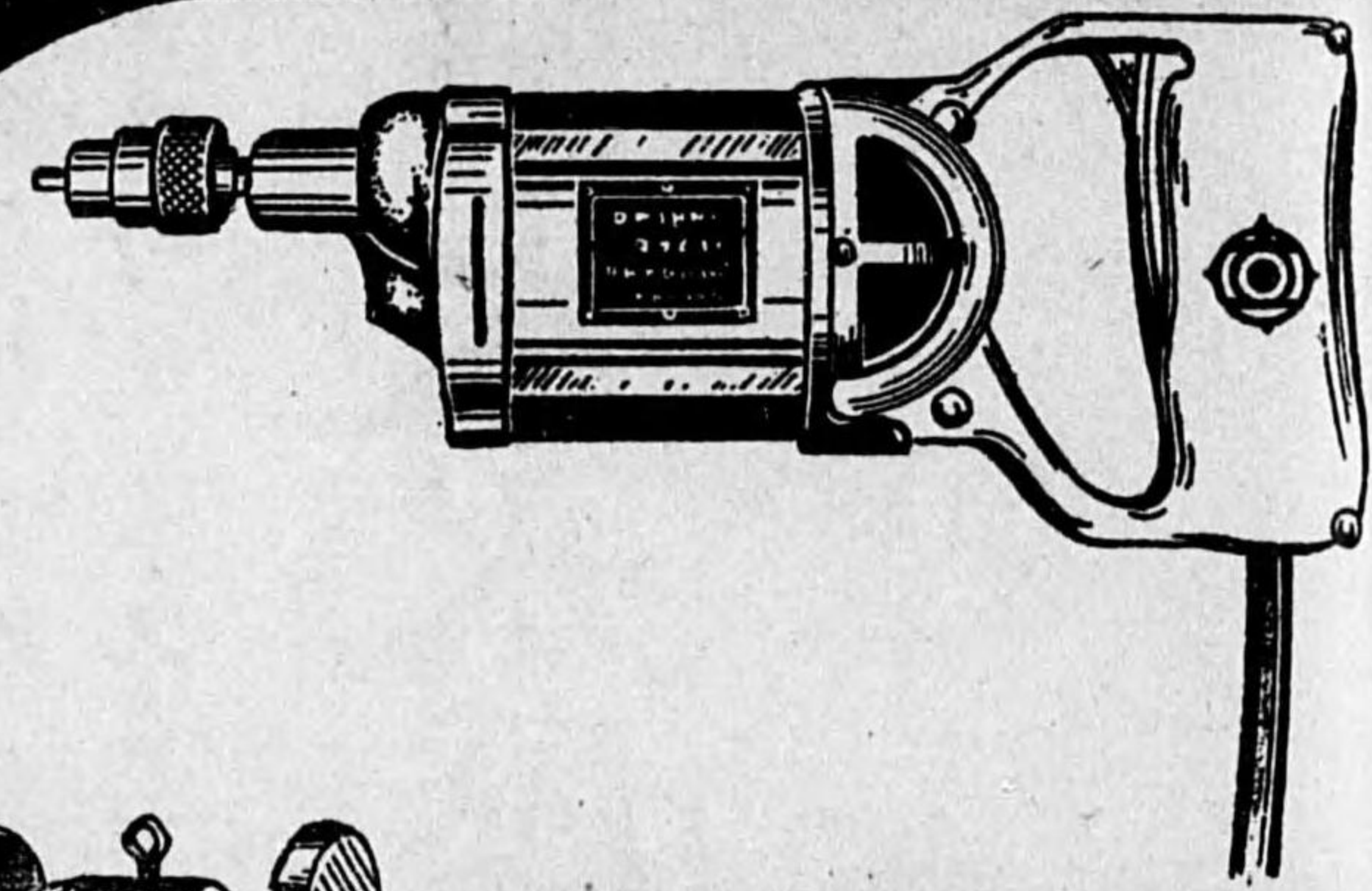
後一六

佐藤合名會社

大阪市北区桶上町八七

電話北 三八一三番

日立電動工具



日立製作所製

特約店

株式會社 古島商店

大阪西區立賣堀北六

日本鋼管株式會社
 日本瓦斯管販賣株式會社
 住友金屬工業株式會社
 日立製作所木津川工場

代理店

宗

株式會社

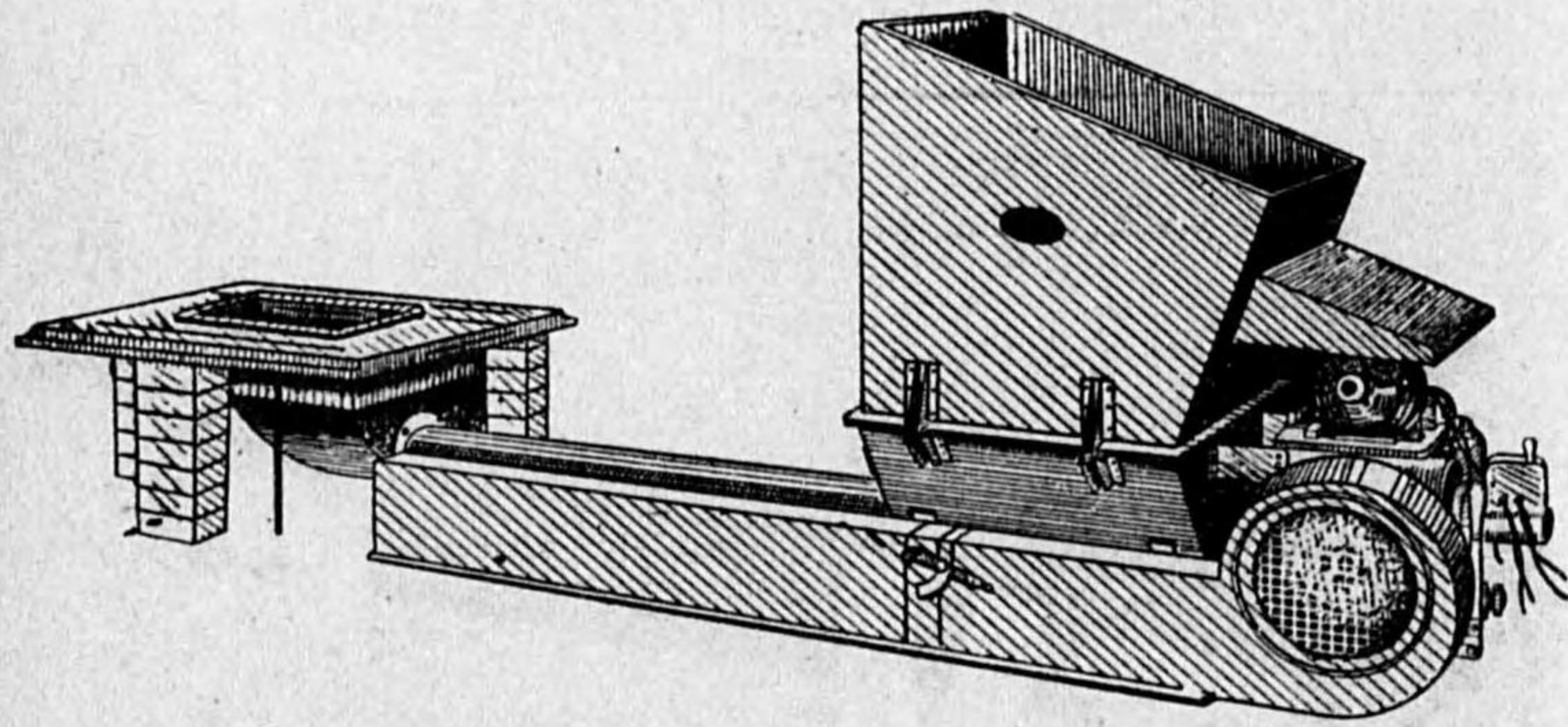
岡谷商店大阪機械部

大阪市西區西長堀北通一丁目
 電話新町 長 五九一 番 二〇四八 番
 一六五七 番 二三七一 番
 振替口座大阪四二三〇一 番
 電報受信登錄オサカ・ササソウキカイブ
 營業所 東京、名古屋、大連、奉天

材質及機構の優秀を誇る

FKE 自働粉炭完全燃焼機

(アンダー フィード ストーカー)



小森商店機械部謹製

大阪西区薩摩堀南之町 電話(三五〇九) 新町(三五〇九)

TRADE MARK



日本水壓機製作所

特許 高圧ポンプ
高圧壓搾機、高圧バルブ
各種ジャッキ、テストポンプ

大阪市西区薩摩堀南之町

電話新町二五〇九・二五一〇番



最高の品質



最古の歴史

板・棒・線・管

在庫日本一・乞御照會

人絹及化學用

E.C モネルメタル製	耐酸	金網
E.C ニッケル1號3號製		ポルト
純ニッケル製		ナット
燐青銅製		スプリング

陸海軍省指定工場

東京イーシー工業株式會社大阪出張所

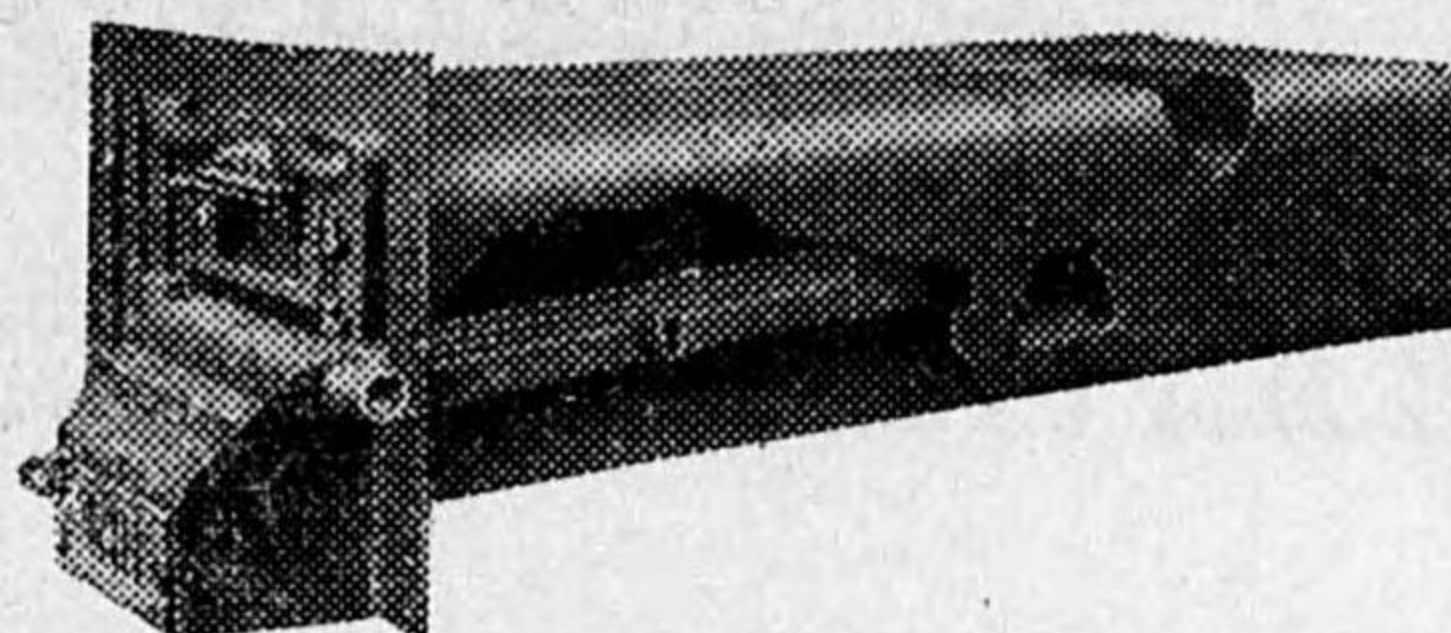
大阪市西區阿波座中通一丁目三六(電停前)
電話新町345・3200番
本社及工場 東京市世田ヶ谷區池尻町

後二三

高木式無煙萬能風呂釜

實用新案 第175323號 第183177號

其他一般湯沸用
浴場用・工業用



燃料節約・煤煙防止
湯沸力は從來の二倍以上
(大阪府廳煤煙絶無御證明)

御照會次第カタログ進呈

高木鐵鋳工作所

大阪市此花區恩貴島南之町
電話土佐堀二九八一番 振替大阪四三九九二番

絶対責任

ラクダ印
ヤスリ



名會社 ナニワ鑢製作所

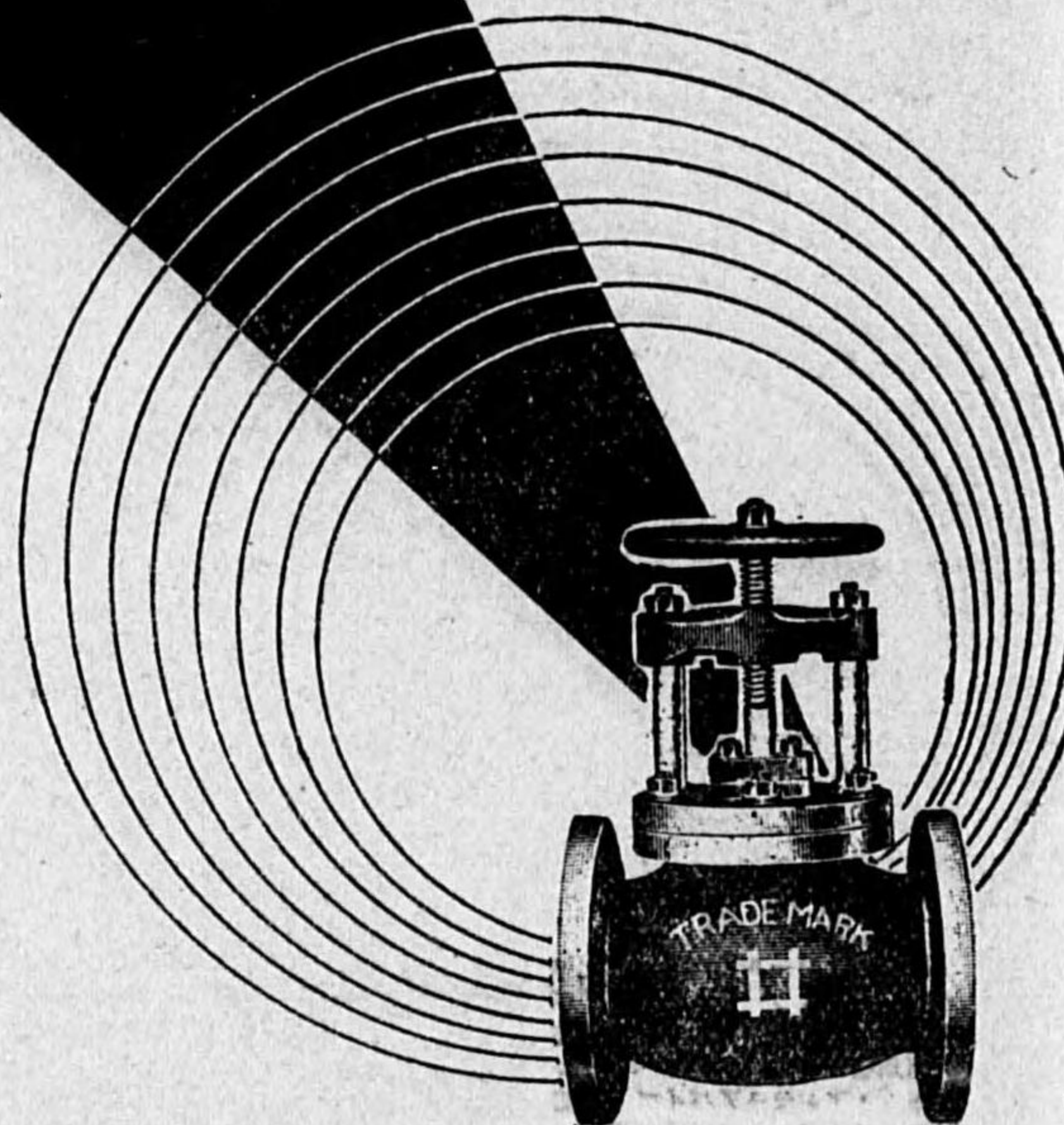
大阪西野田局私書箱第二十三號
電話土佐堀44三四五二番・七五三九番
振替大阪九四三〇七番

後二三

類 専 門
コックバルブ 製鉄 鑄

營業科目

井印各種高級制水辨
井鑄鐵製バルブコック
印砲金製バルブコック
水道暖房用品、汽罐用品
カラノ類、注油器、ポンプ



専門コックバルブ製鐵鑄

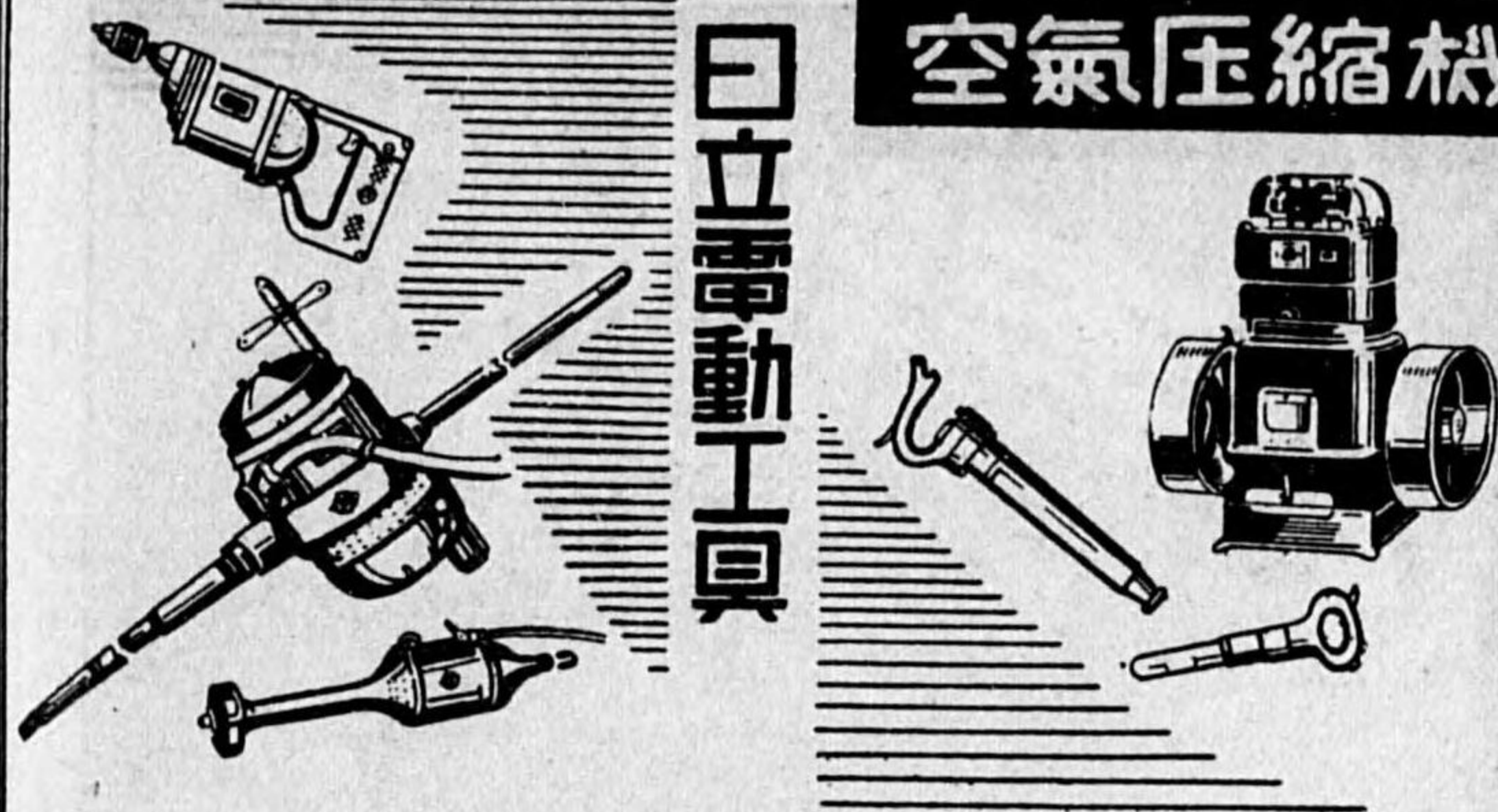
部 作 製 店 商 衛 兵 新 岡

大阪市西區立賣堀北通五丁目六
電話新町五一九番 六一九番 振替大阪九六二二三番
鑄造工場 彦根市芹川町
電話二三九番
仕上工場 彦根・大阪

後二五

機 縮 圧 氣 空

ニ ム マ チ ッ ク ツ ー ル



日 立 電 動 工 具

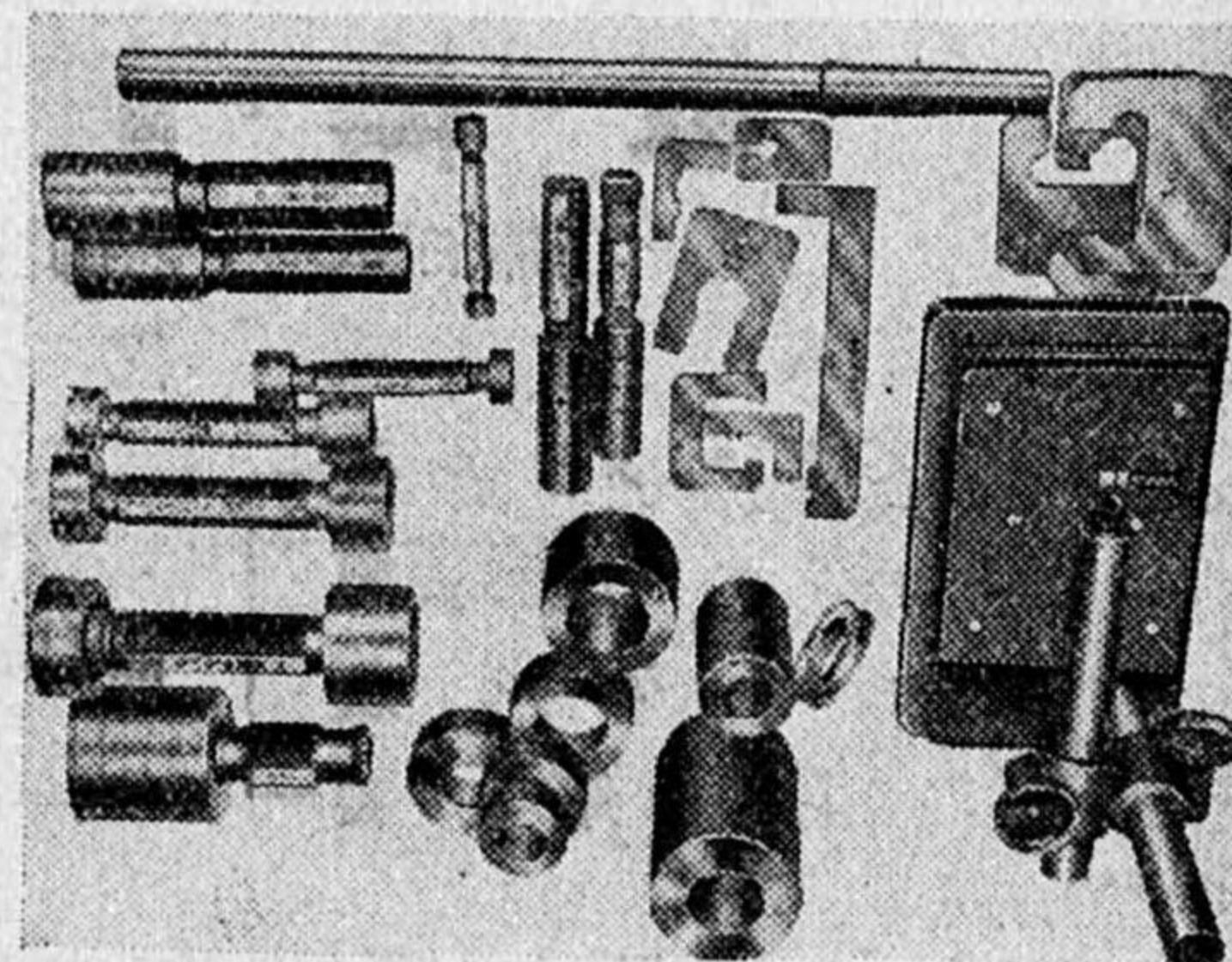
日 立 電 機 製 作 所 代 理 店

土 井 商 店

大阪市西淀川區大仁東一丁目七九番地
電話福島三九六六番・振替大阪一〇六〇三〇番

營 業 課 目

特 殊 限 界 模 範
新 案 特 許 バ ル ブ コ ッ ク
エ ア ー コ ン プ レ ッ サ ー バ ル ブ
精 密 器 具 製 作
專 賣 特 許 潤 滑 防 錆 劑
ク ラ イ ン タ ー 加 工 工 事 請 負



小 林 製 作 所

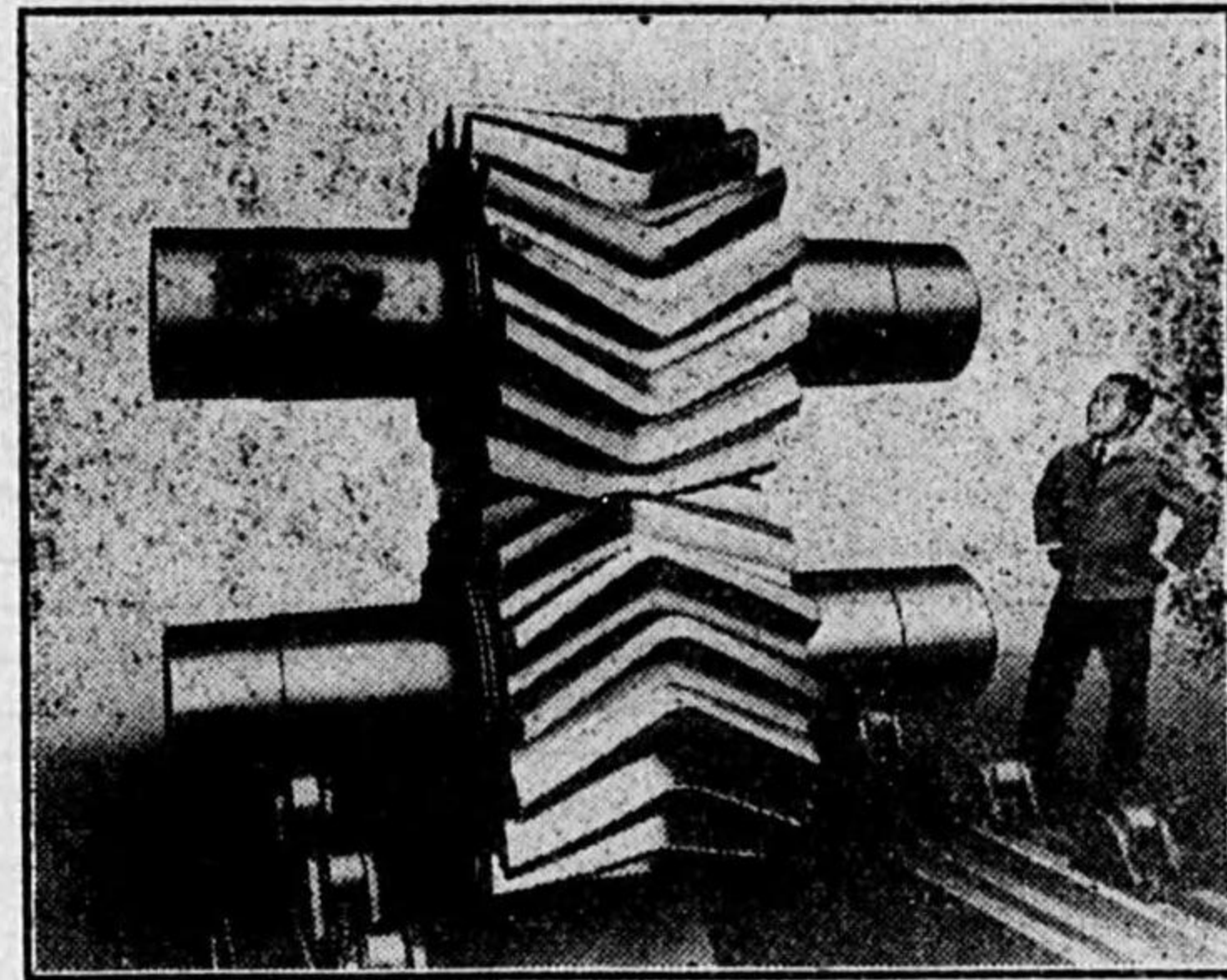
大阪市東成區片江町二〇〇番地
電話天王寺三九四六番
振替大阪一〇二五九四番

後二四

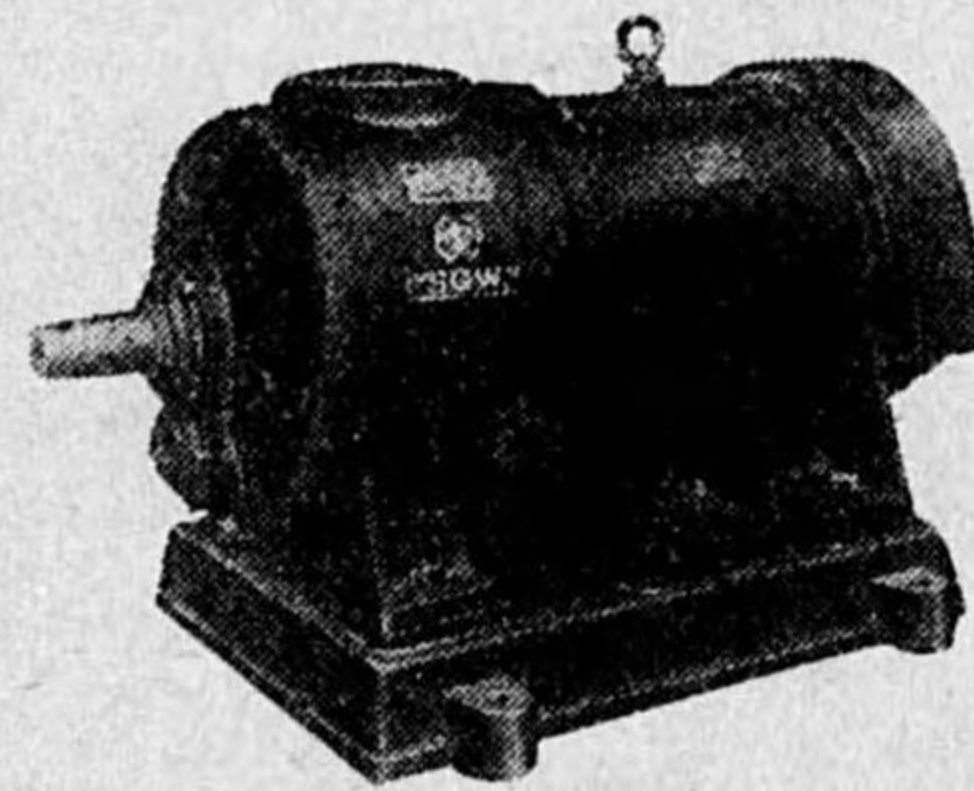
“S.G.W.”

Herringbone Gear
Speed Reducer

二分ノ一馬力ヨリ三千馬力
マデ如何ナル用途ニモ……



齒輪と減速装置は何卒
弊所製品の御使用を!!



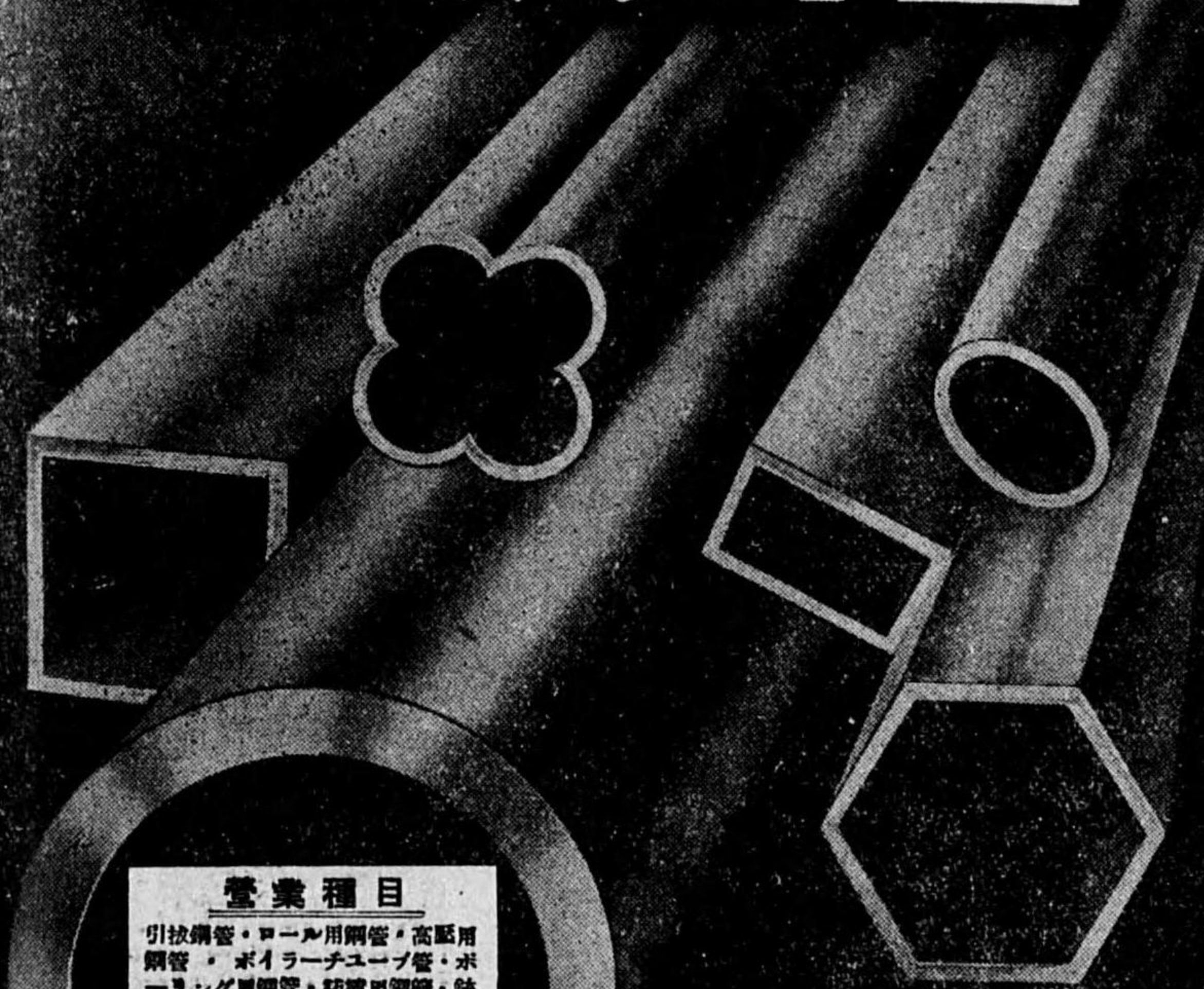
弊所は設計、材質素地仕上
齒切に一貫せる特殊製品の
製作を以て本領とす

資 會 社 特殊齒輪製作所

大阪市此花區櫻島町三十八番地
電話土佐堀三八八六・三八八七番

後二七

引拔鋼管



營業種目

引拔鋼管・ロール用鋼管・高圧用
鋼管・ボイラーチューブ管・ホ
ーリング用鋼管・紡織用鋼管・銃
身用鋼管・平角異型管・ベアリン
グ用管・アンモニアパイプ・自轉
車ハブパイプ・建築手摺用鋼管・
冷凍機用パイプ



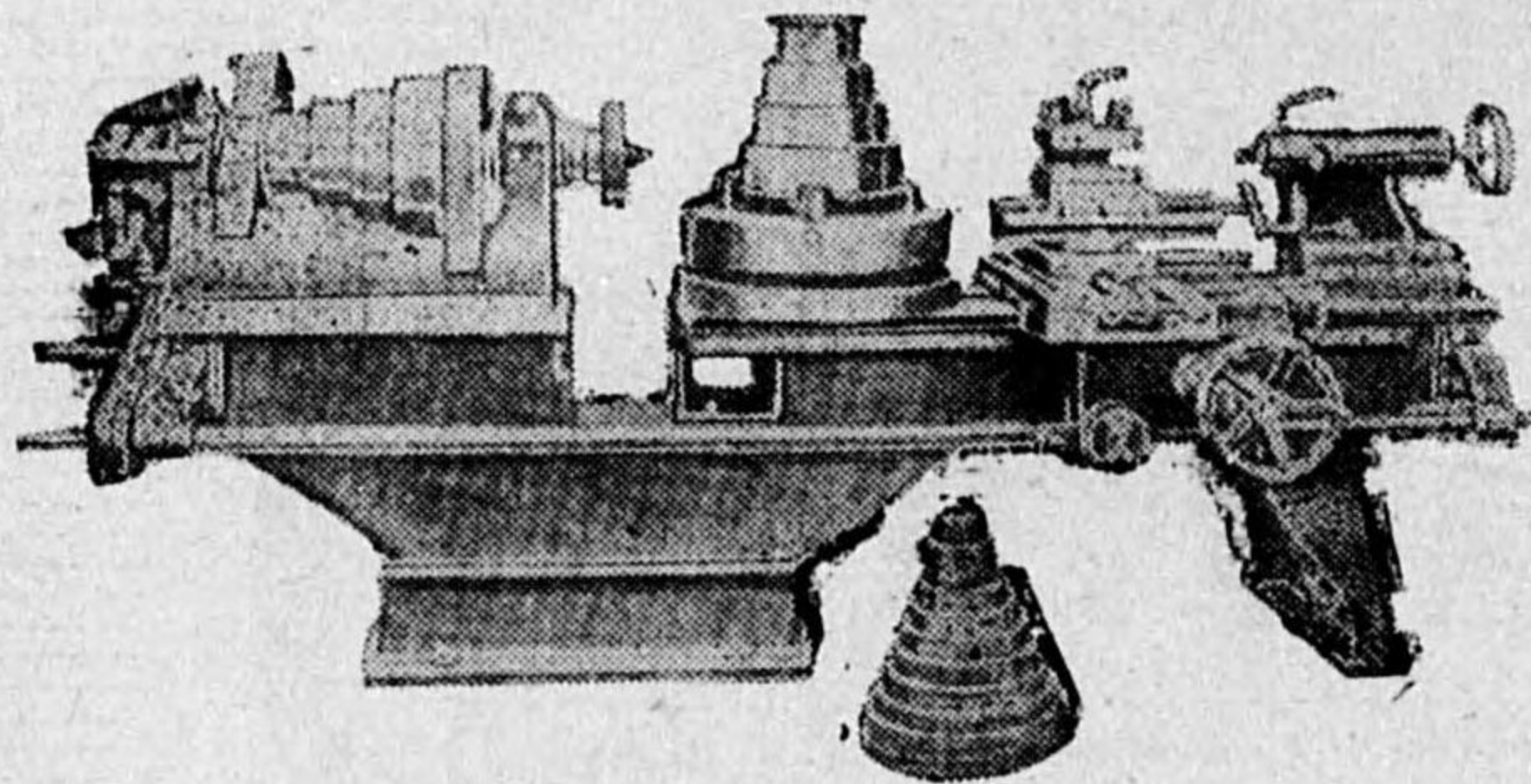
松本鋼管販賣所

管 庫 所 大阪市西區新町通丁目四十三番地
電話新町四五五・四一七四番
引拔工場 大阪市西區津守町三西一ノ一番地
電話天下茶屋三〇〇四番

後二六

高級 旋盤ボール盤セーパ・シカル盤各種 製作販賣

工作機械各種在庫
(カタログ進呈)



弊社ノ生命ハ良品安價提供ニアリ御用命ヲ乞フ
特別製作仕候
尙御注文ニ應ジ試運轉付高級品各種

二見音營業所製作部

大阪市南區内安堂寺町二丁目五五

電話東4608番 振替大阪105625

第一工場 東成區猪飼野町 第二工場 布旋市荒川町

後三一

營業課目

諸玩樂船航車計自農紡
機 空 量 動 織
具 器 船 輛 具
械 機 器 車 機
用 用 用 用 用 用 用 用

内田スプリング商店

大阪市西區北 堀江一 番丁六 番地
電話新町②2236番 振替口座大阪84013番

パイプ。

營業課目

各種
引拔鋼管製造販賣
瓦斯管切揃パイプ
手摺立随用

三豊商店

大阪市西區立賣堀北通二ノ一

電話新町二四二四番

和洋船舶用品・諸工具品・真中艤装用品
製作卸商

泉 辰 商 店

大阪市西區南堀江二番丁二十一
電話櫻川3323番
振替大阪79629番

後三〇

眞鍮
砲金・燐青銅
知仁青銅・滿俺青銅
ニッケルブロンズハードレド
アルミニウム合金
モルネメタル
其他特殊合金

計量器部

圧力計・真空計・聯成計
其他各種ゲージ販売

大住合金所

大阪市東淀川区中津濱通四ノ一
電話北(36) { 二一四番 六〇〇六番 振替大阪一四三五七番

後三三

各種メタルラス
帝國メタルラス製作所

大阪市西成區出城通壹丁目八
電話戎一五九七・四三三七番

各種鋼管
製造販賣

株式會社 帝國鋼管製造所

黒松勇助
大阪市西成區出城通壹丁目八
電話戎一五九七・四三三七番

後三三

M T K エムチカパーチ
#1050
最古/歴史 最良/品質
逓信省、鉄道省 納入



優良國産
美和商會
大阪市西區立賣堀北一電話新町1350・1359

國産品ノ代表
三菱印
M T K
螺旋工具



全國有名機械工具店ニアリ
發賣元
合名會社
美和商會
大阪市西區立賣堀北通一
電新1350・1359工場南7511

後三五

定評ある
鑄物用品

營業課目

黒鉛 黒味雲母石炭粉
芝本式鑄物用大正筆
芝本式型持ケレン
ヘラ・鐵セメント
其他鑄物用品一式
機械用油筆刷毛
砂落シ用ワイヤーブラシ
ワイヤー刷子各種
ボイラー煙管用ワイヤーブラシ

諸鐵陸
會道海
社省軍
御用達

芝本金治商店

大阪市此花區西九條下通一丁目一六
電話土佐堀七五四二番
振替口座大阪八一八六三番
工場 大阪市此花區西九條下通一ノ一七

銀取 株式會社 三和銀行朝日橋支店
行引 株式會社 三和銀行長堀支店
株式會社 三菱銀行安治川支店
安田銀行安治川支店

パイプ



鋼管商
大西三郎商店
大西三郎
大阪市西區西長堀
北通五丁目七番地
電話新町二八八番

阪車調帶 代理店 庫
横汝護謨 豊
湯浅調帶營業所
大阪販売店

カタログ
進呈

大阪市西區立賣堀北通三丁目
電話新町(53)二五六一番

後三四

製調速迅牢堅縫裁色染柄秀優最

品製良優の慶泉たい届行るよに產生量大・物り贈るなに告廣
品用賞一唯のてしと用傳宣・用品景・用答贈

服業作

夕オ
手巾
手軍

好最の跳御
!!る來節季
命用御乞

入西詰北橋金黒江堀北區西市阪大
部卸布綿慶泉
番四一三町新話電
(子キ〇)略電・三七一八二阪大替振

各種新古パイプ

引拔鋼管 瓦斯管

寸法切揃 専門

IMPORTERS & EXPORTERS

松本恒商店

大阪市西區立賣堀北通六丁目廿番地
電話新町⑤(三〇九六番
五八八番

後三九

輸出向・内地向

木捻廻は

創業廿周年
記念特賣

全國有名工具全物店・有

各種木捻廻專門製作

青柳製佗所

大阪市東成区鶴橋北詰一丁目三番地(電話六九八)

特殊 珪瑯

耐酸 耐熱
製薬用 調味用
醸造用 染料用
写真用 理化用
工業用 器具

矢満登珪瑯製作所

大阪市西區四ツ橋交叉點南
電話新町二一四七番
工場・大阪・難波

後三八

特許 No. 106055・109273號

電動機の起動難を解消

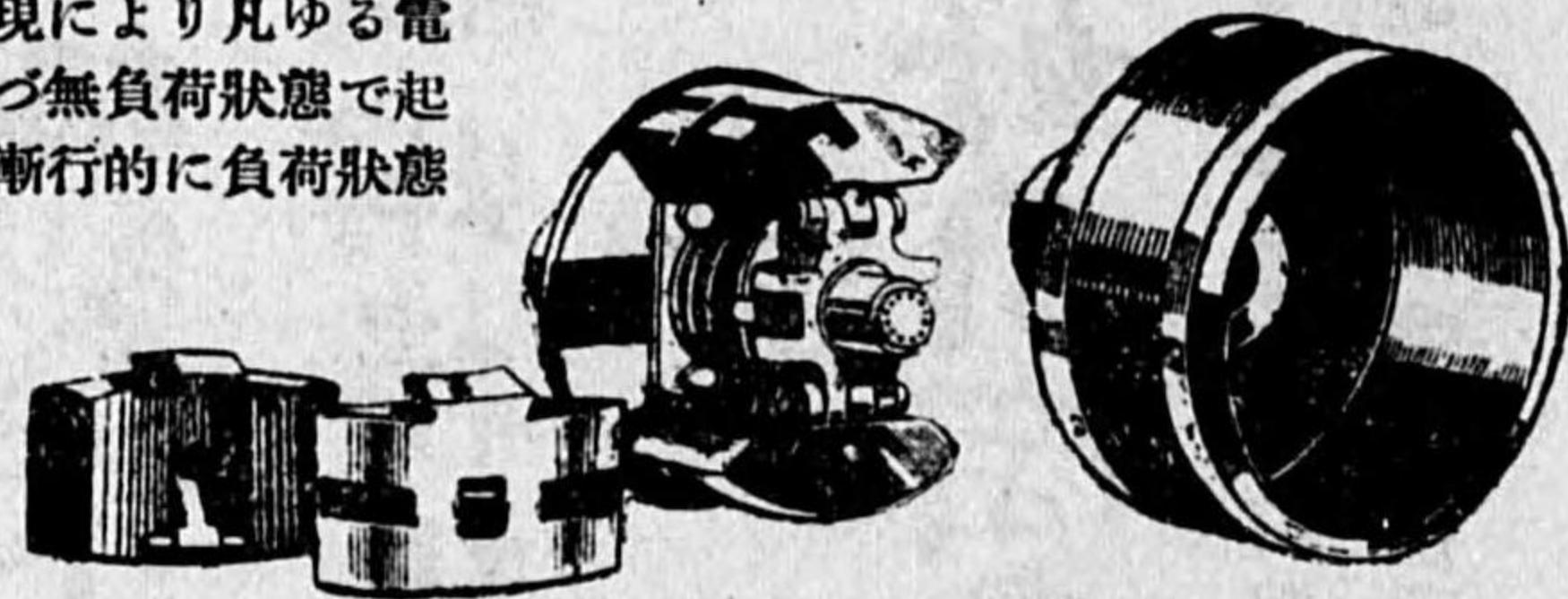
AUTO. FRICTION CLUTCH.

"オート・フリクションクラッチ"

(自動摩擦連軸機)

— 多年の懸案は解決さる —

本機の出現により凡ゆる電動機は先づ無負荷状態で起動し自動漸行的に負荷状態へ!!



(詳細なる型録進呈)

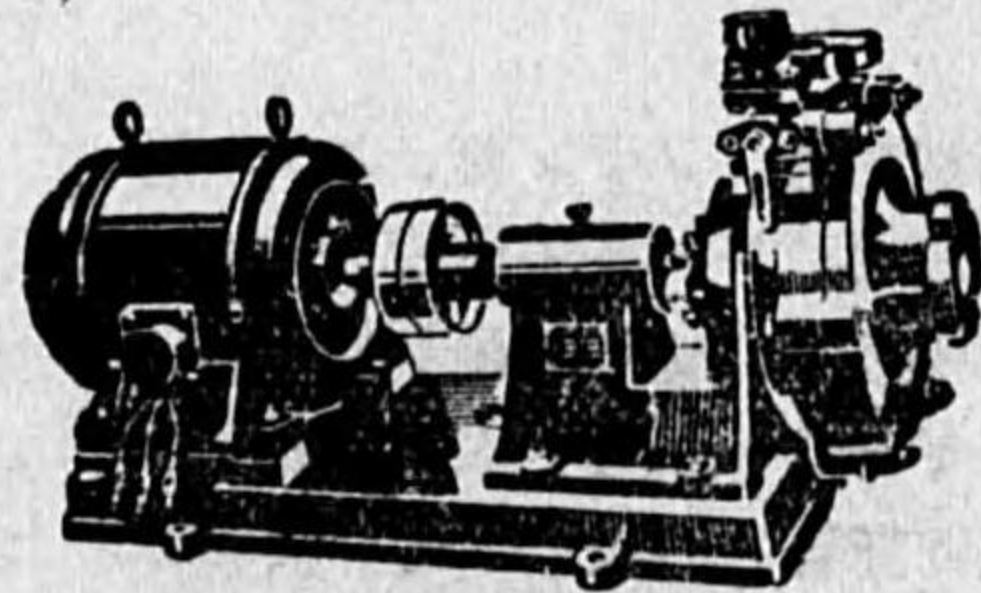
種類・直結運転用・調帯運転用(五馬力以上數百馬力用)

岡坂工業所

大阪市港区繁榮町一丁目二・電話西長三一四番

耐酸ポンプ

(MM型耐酸ポンプ)



バルブ・コック

耐酸フートバルブ
(合理的標準新製品)

耐酸鋼
耐酸合金鐵

松田ポンプ製作所

大阪市西淀川区浦江北四丁目一番地・電話福島④2228番

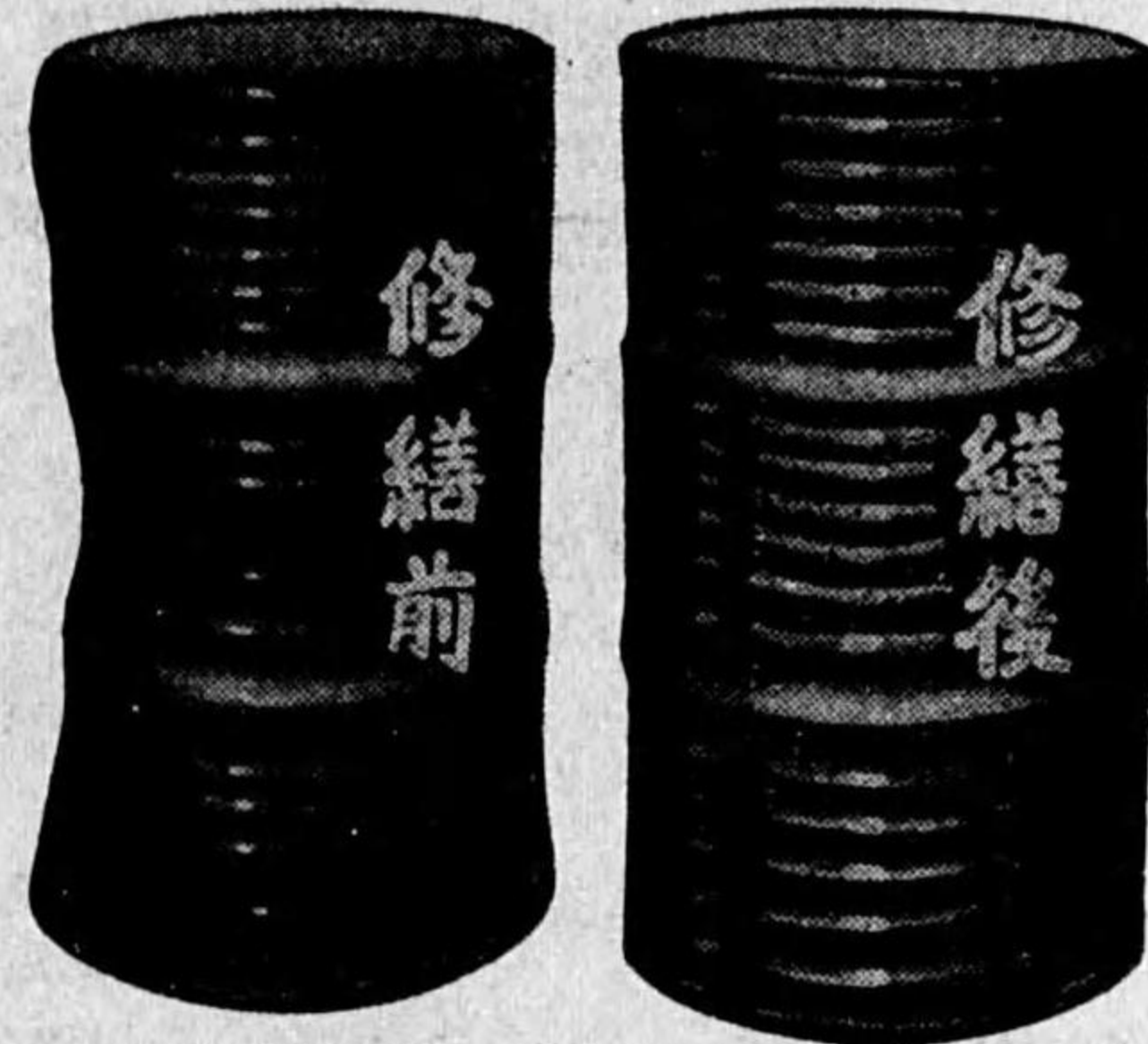
後四一

如何ナル酸類藥品ノ揚液ニ就イテモ御相談ニ應ズ

使用材料スワイゼン
(高硅素鑄鐵)

特許古ドラム罐再製装置・新罐機械・古罐再製機械製造販賣

◎一ヶ月の修繕約三千罐以上
◎ドラム罐器具一式



古ドラム罐の修繕は丸市へ

丸市商店

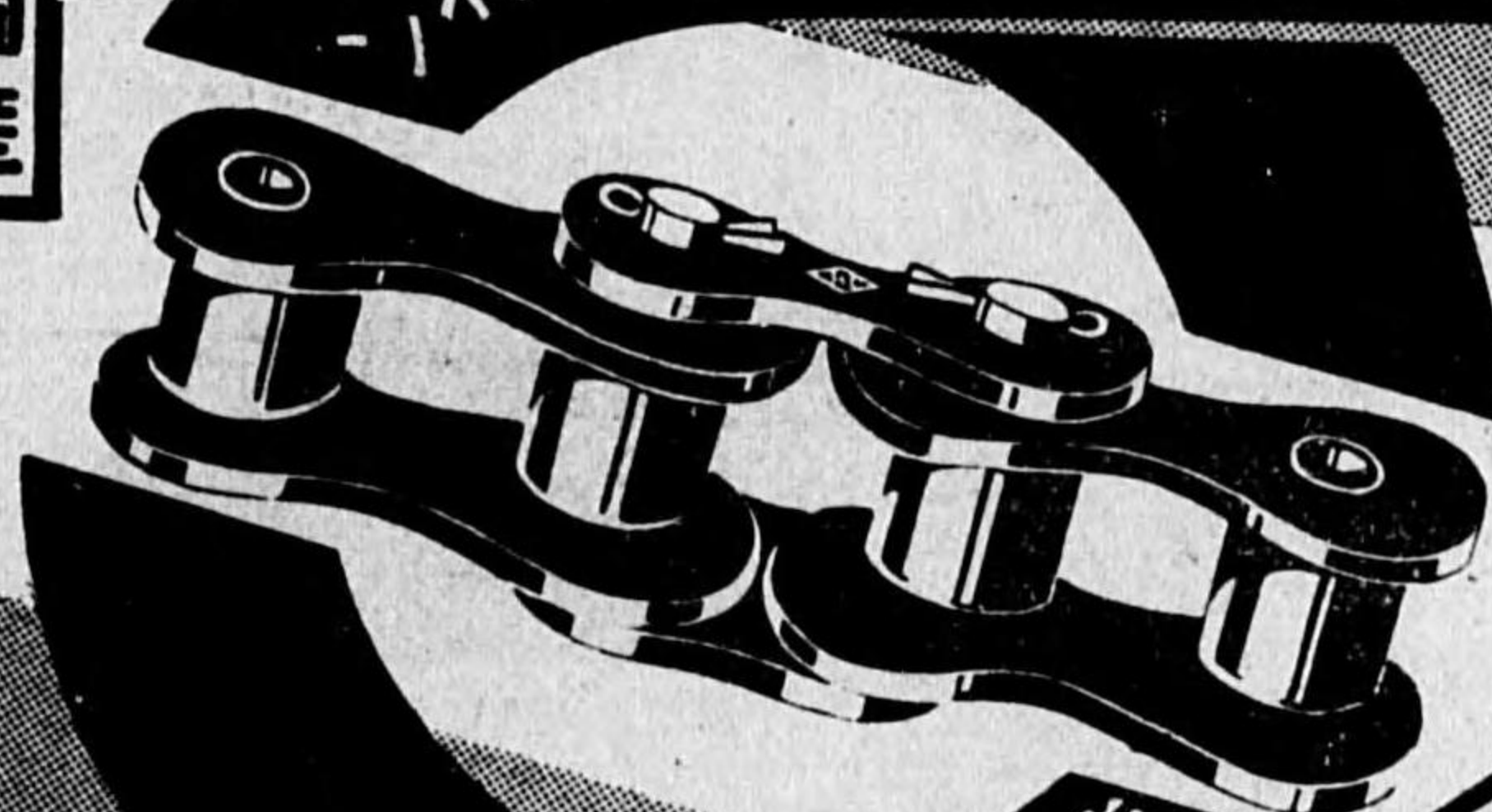
丸市ドラム罐再製修繕所

所主 春木伸夫

大阪市大正區泉尾濱通四丁目五四・電話櫻川④六〇七四番

純國産

一般傳動用ローラーチェーン
高速用サレイトチェーン



廣澤工業製作所

大阪市東淀川区南浜二丁目
電話北④三四二(36)

後四〇

熔接器械製作

規格電氣熔接棒

阪上好司商店

大阪市天王寺區下寺町四丁目
電話 戎四六〇三番

炭化石灰輸出

東洋産業合資會社

大阪市大正區大正通二丁目
泉尾ビルディング内

酸素瓦斯
カーバイト
電氣鎔接棒

泉尾酸素營業所

大阪市大正區泉尾濱通三丁目
電話 櫻川(二二三)一八二番



**發動機部分品百貨店
機械と工具**

小林弘之介商店大阪出張所
大阪市西區新町南通三(電車通)
電話新町三六二八番
振替大阪八二四四番

工場 大阪市西淀川區花川町二〇六
電話土佐堀八〇四五番

本店 岡山市下田町三六番地
電話六二四五・六二四六番
私書函岡山局第二六號

工場 岡山市島田町三五七
電話六〇六三番

後四三

各種 鋼管瓦斯管 寸法切斷

引抜鋼管、フラン管、ステー管
高壓管、ロール用厚管、瓦斯管
捻子無瓦斯管、建築手摺用管、
リヤーカー用管、大徑鋼管、大
徑瓦斯管、汽罐用鋼管、自轉車
管、紡績用鋼管、製氷機用鋼管
中古類各種其他附屬品一式

近藤要商店

大阪市西區立賣堀北通リ七丁目四〇
電話新町(三)三三三七番 四一七五番
電略「コ」又ハ「コント」
振替口座大阪三六五三五番
工場西區立賣堀北通七丁目三九

後四二

引拔鋼管
瓦斯管
自轉車管
製造販賣



印鐵管継手一手販賣

柏木良治商店

大阪市西區新町通五丁目三〇
電話新町 ⑤ 二六六七番
⑤ 五四七三番
振替口座大阪一四三三九番
大阪市西區島津町八番地
電話新町 ⑤ 二三一七番

継手部

製品要目

本邦唯一の産品

タングステン接點
(白金接點代用)
A 各種自動車及航空機用接點
B 各種リレー用接點
C 各種發動機用接點

タングステン
A X線真空管用ターゲット
B 昇降機用ターゲット
C 各種醫療電器用ターゲット

タングステン電極棒 (電弧熔接用)
タングステン・モリブデン薄板並ニ棒
Y・Y・メタル (電氣接觸材料)
其他タングステン及モリブデン加工品一切

海軍省指定工場

日本冶金株式会社

本社 大阪市西區土佐堀通一丁目一番地
大同ビル 電話土佐堀二五一一番
出張所 東京市麴町區丸ノ内一丁目
海上ビル 電話丸ノ内三六三四番
工場 東京市小森一丁目
電話二七一一番

商 品 要 目

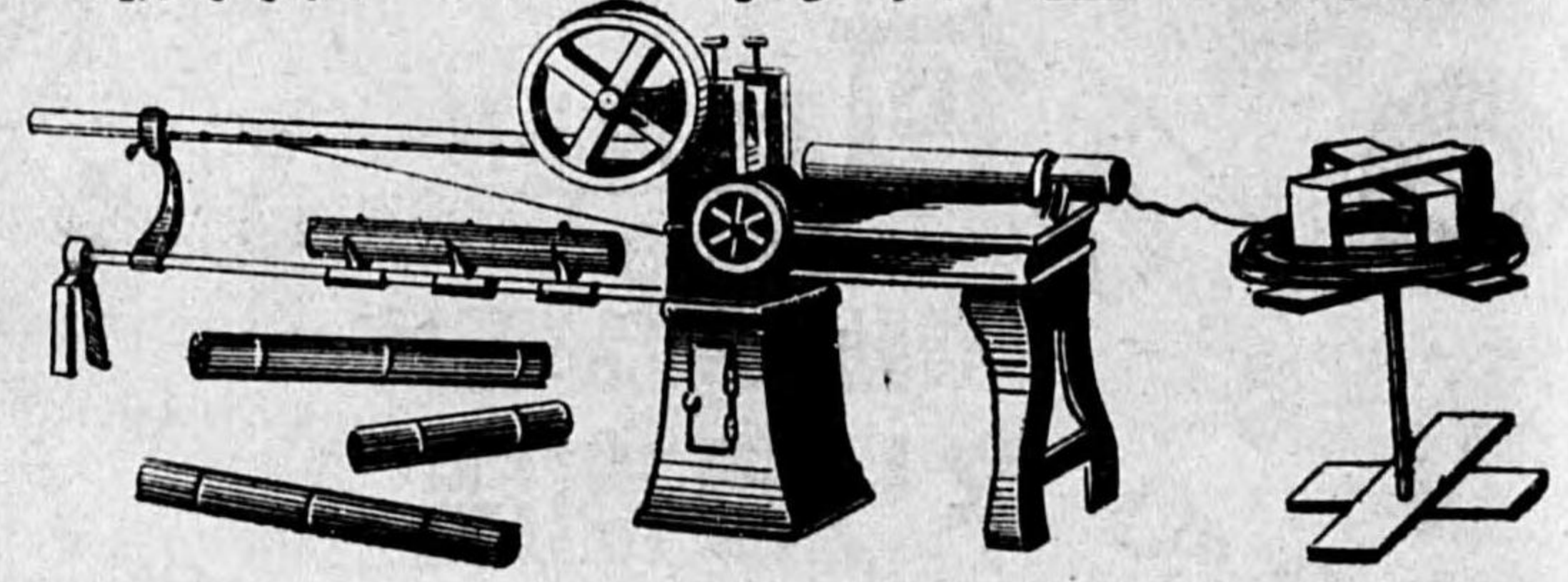
タングステン、ワイヤー
スパイラル、ワイヤー
モリブデン、ワイヤー
白金代用線
ニツケル線及板
導 入 線
其他加工品一式



日本纖維株式会社

本社 大阪市西區土佐堀通一
(大同ビル内) 電話土佐堀二九〇五番
電話土佐堀一四六三番
支店 東京市丸ノ内(東京海上ビル)
電話丸ノ内二六八三四番

るあ評定に界斯
機斷切働自線直金針



賣販作製門專
商斷切法寸ト線鐵種各

(型錄進呈)
(在庫豊富)

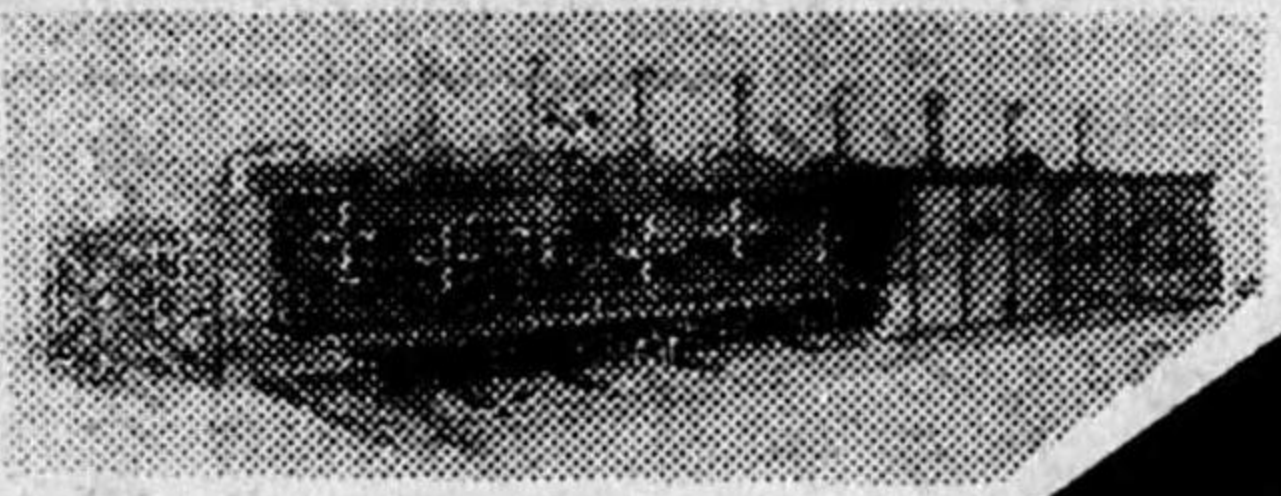
所 作 製 轟

○一目丁三町澤龜區所本市京東 店支 目丁一町野平東區寺王天市阪大
番一九五一 所本話電 番九二六五 南話電

各種乾燥機
製作專門

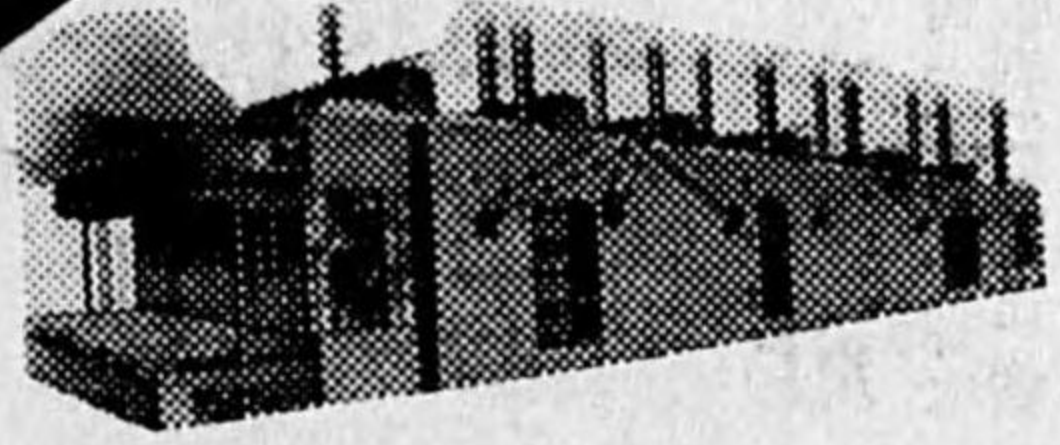
大阪市此花區玉川町
四丁目八七野田驛前

大和三光商會
電話土佐場④六二二〇



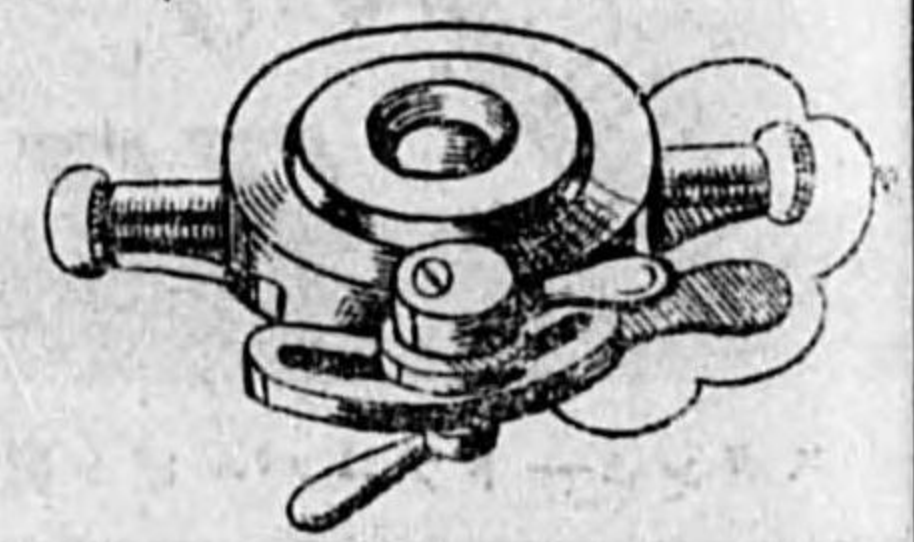
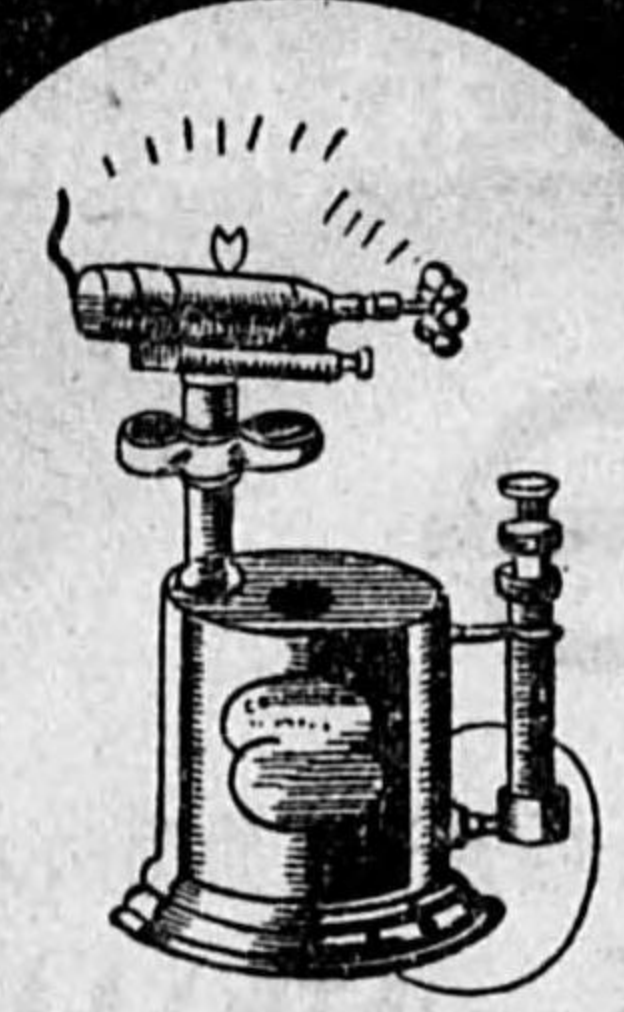
特各
許種

機 燥 乾



乾燥用途
人生用 粉類用 香料用 皮革用 木材用 漆料用 炭粉用 染料用 農藥用 肥料用 其他用
先有之
既經專門師之鑑定
其製法之精巧
以全圖二千餘種
之採擇

國產 REX 優秀
レツキス
瓦斯管捻型



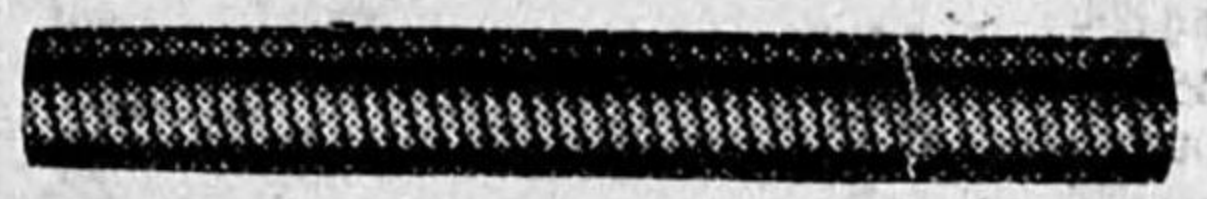
店ニ販賣ス
全國機械工具
品質絕對保證
トーチランプ
コブラー

宮川工具研究所

布施市菱屋東五三三
アカタ
電話英田一一〇番

後四七

Flexible Metallic Tube



絕對漏らざること他の追従を許さず

(陸海軍御指定品)

鐵道省
指定工場

川崎螺旋管製作所

東京市城東區北砂町四ノ一五三
電話本所⑤三五五六番
振替東京一〇一三三五番
第二工場・東京・世田ヶ谷・上馬

許特

K・S・R螺旋管(青銅・黄銅・鋼)

フレキシブルシヤフト
及附屬物一式

後四六

何でも揃ふ!!
陸 船
発動機用品と工具
ネリヲ商店
大阪市西區北堀江二番町三二
電話新町四〇六四番

高圧空機
諸機式一具縮式

目丁三通北堀戸江区西市阪大
店商一崎川
番六三三六六阪大座口替振

後四八

六角頭
ホールト

スタンダードターバーピン發賣元
藤岡澄商店
大阪市西區立賣堀北通七丁目
電話新町(四)四六五番

國産継手界の王座

(見本贈呈)



バルブ界の最高權威



五

株式會社

丸五商店

支店 東京市日本橋區江戸橋三丁目七
電話 日本橋 ④(四)三〇五五番
振替口座 東京 一八〇五四一番

大阪市西區新町通五丁目壹番地
電話新町 ⑤(三)二二三・二七八六番
振替口座 大阪 七〇五五九番

後四九

研成マシンタツブ
精巧無比



CEJ

ヨハンソン社製

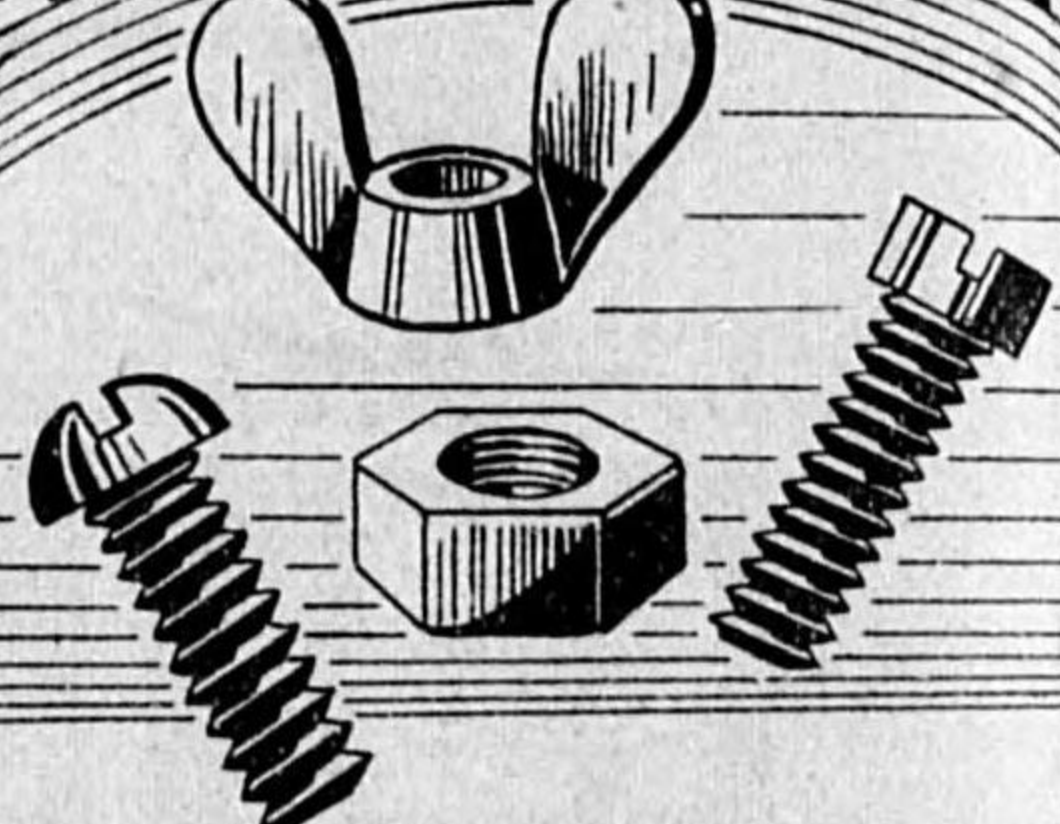


マシンタツブ

中元庸光商店

大阪市港区抱月町三ノ四
電話西④七二八二番
振替口座大阪二六九九五番

特種ネジ専門



飛行機用・電気用・瓦斯用・自轉車用・ラ
ヂオ用・建築用・金物附屬品・眞鍮・鐵
系ネジ其他換物一式・六角押ネジ及びボ
ールナット蝶錠

織田金屬所

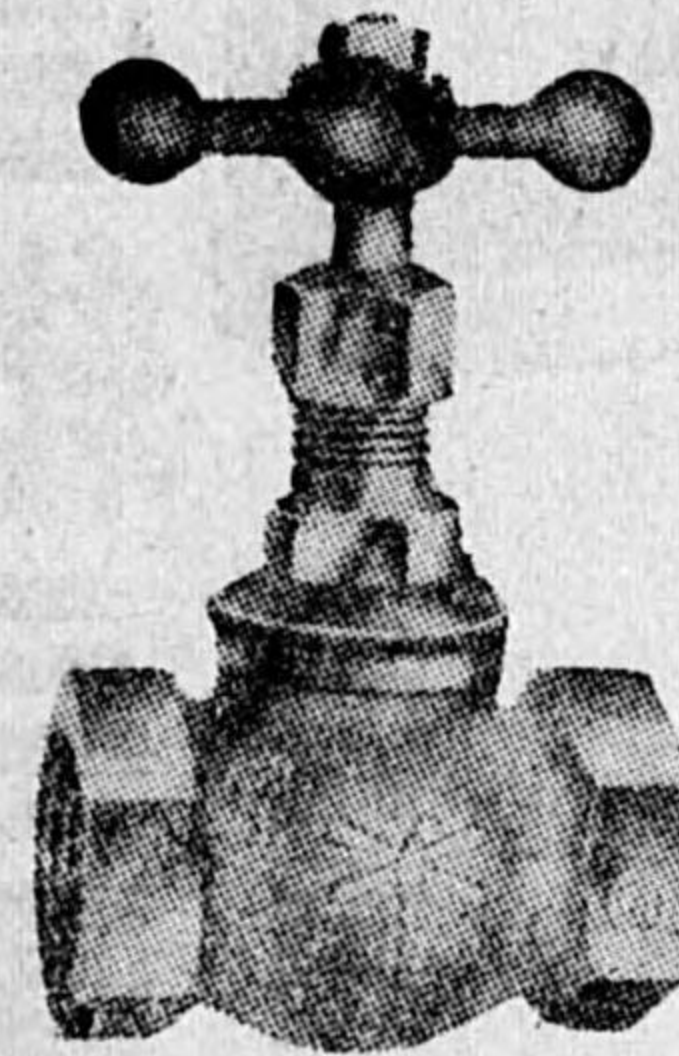
自宅 大阪市南區瓦屋町參番丁六〇
工場 大阪市南區瓦屋町參番丁五二
電話南四〇六九番



REGD
TRADE MARK



滿鐵指定



トンボ印
バルブ・コック
専門製作

トンボ印バルブ製作所

大阪市西區立賣堀南通二ノ二六

滿洲總代理店

株式會社 岡谷商店大連出張所

カサリヤスリ
鳥印



TRADE MARK

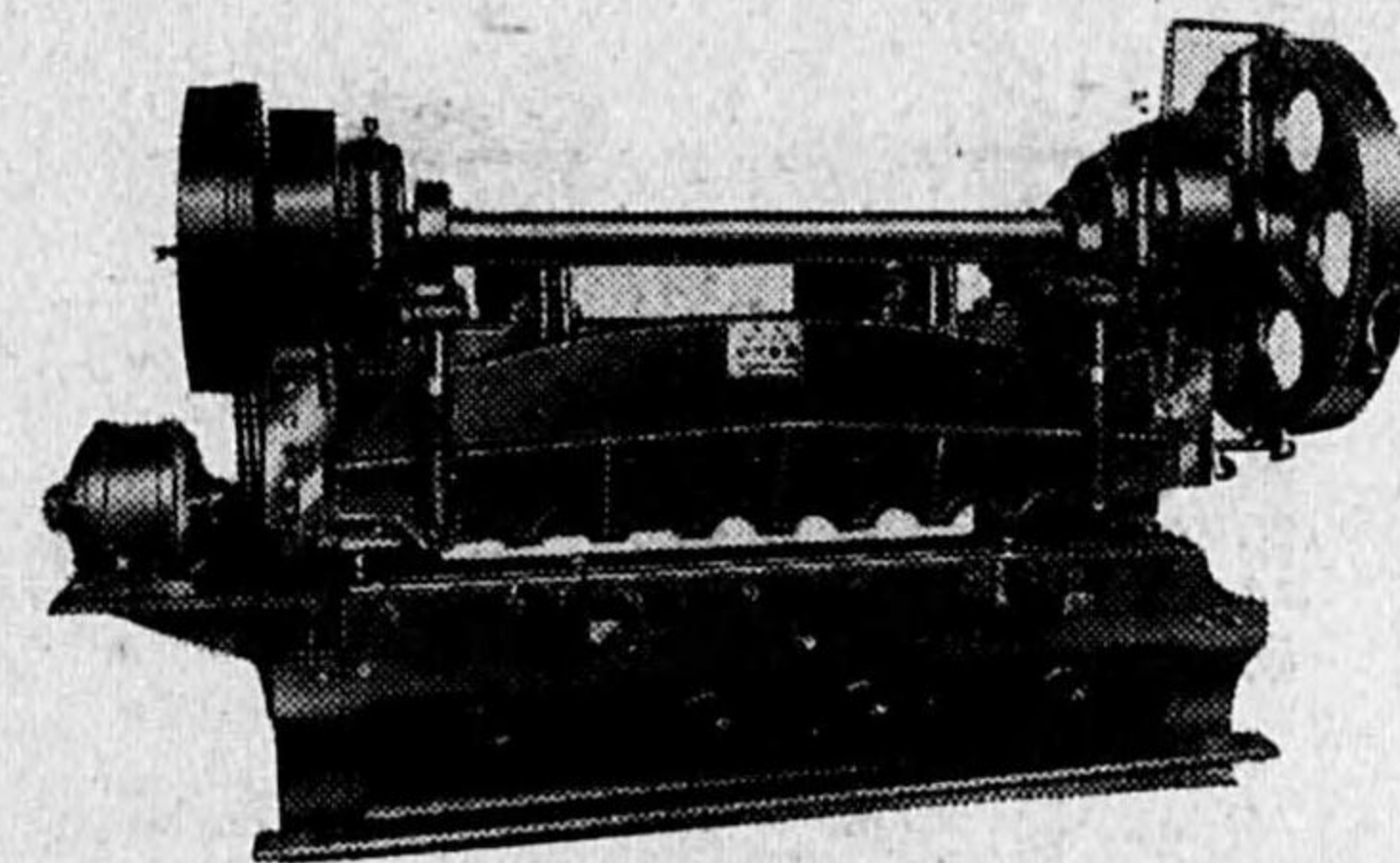
(カタログ進呈)

大阪ヤスリ製造所

大阪市大正區大正通七丁目五〇番地
電話 櫻川④四七八六番

各種シャーリング機専門

●工場増設



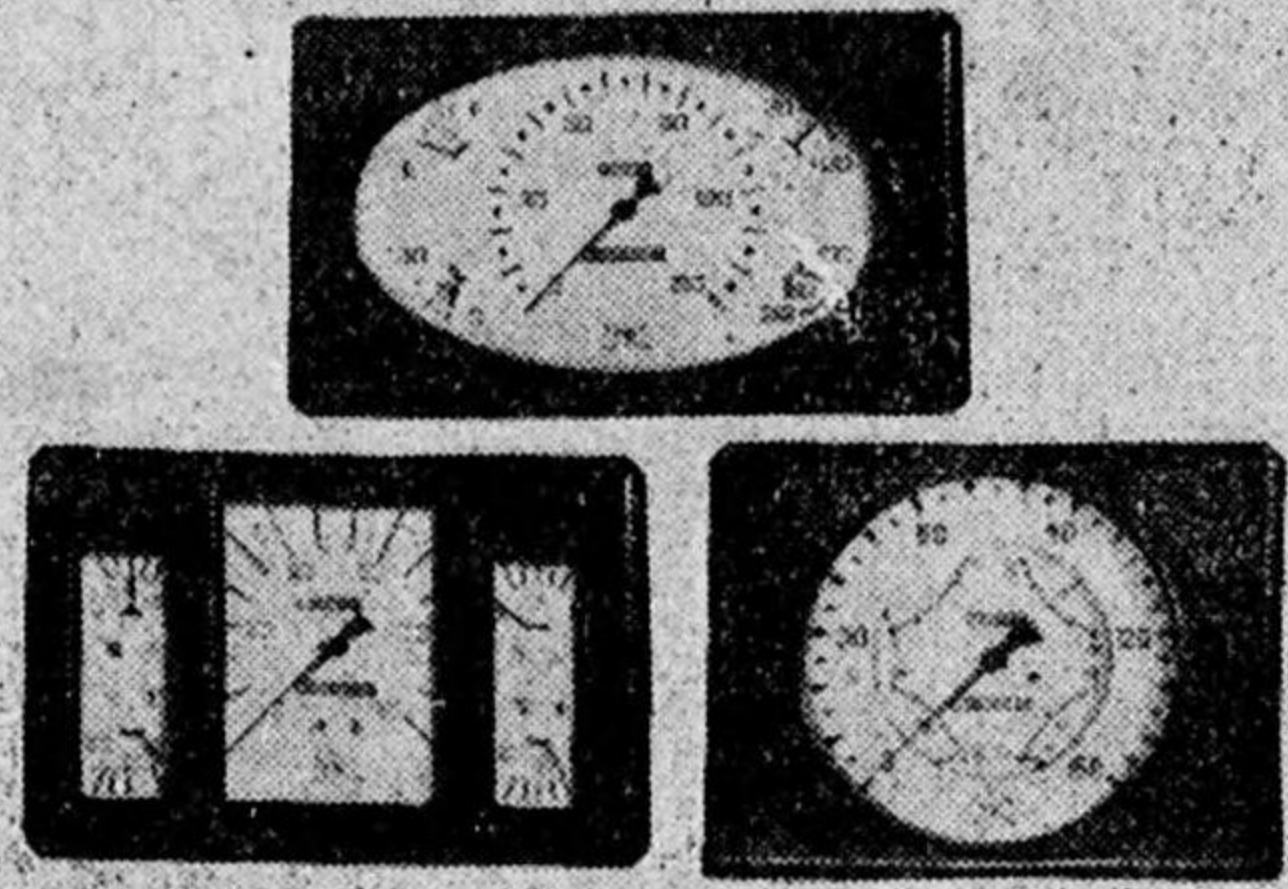
●乞御照會

島シャーリング機製作所

所主 島種次郎
大阪市港區南境川町四丁目二七
電話西六三二二番

自動車用計器

純國産の
最高峰



資社 目黒計器製作所

東京市麴町区内幸町一丁目三 大阪ビル
電話 銀座 五-八〇-九番

醫 療 器 械
理 化 學 器 械
硝 子 製 品
ゴ ム 製 品
度 量 衡 器 計 量 器

印 醫 療 理 化 學 器 械 製 作 販 賣

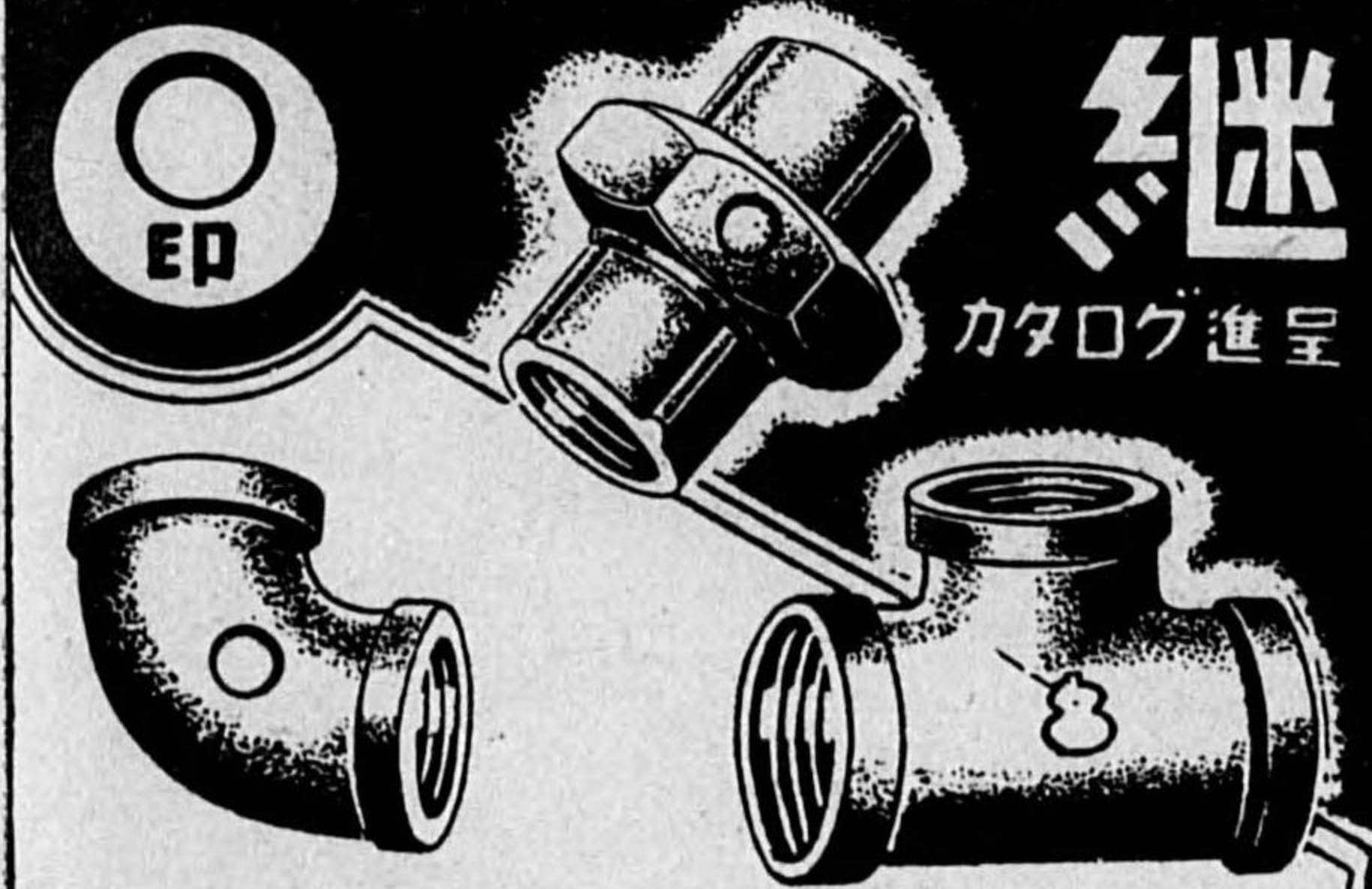
商 工 省 免 許
化 學 用 玻 璃 製 量 器 製 造



松 永 器 械 店

大 阪 市 西 區 立 賣 堀
北 通 三 丁 目 一 六 番 地
電 話 新 町 長 一 一 八 四 番
振 替 大 阪 一 二 二 四 一 番

手 一 式



繼 進 呈 覧 目 録

春 日 井 鉄 郎 商 店

大 阪 市 西 區 立 賣 堀 南 通 六 丁 目 一 五
電 話 新 町 三 一 一 八 番

營 業 銅 眞 鍮 管、板、棒
種 目 寫 眞 製 版 用 特 殊 磨 銅 板
亞 鉛 板

住 友 金 屬 工 業 株 式 會 社 伸 銅 所 製 品 販 賣
關 西 電 氣 銅 板 組 合 員 (片 面 磨 銅 板 販 賣)

地 銅 眞 鍮 問 屋

合 名 會 社 村 上 政 雄 商 店

大 阪 市 西 區 立 賣 堀 北 通 四 丁 目

電 話 新 町 長 一 一 九 二 番
長 二 七 四 三 番

イマシロード

英國ロイド協會公認

電弧熔接製罐工作

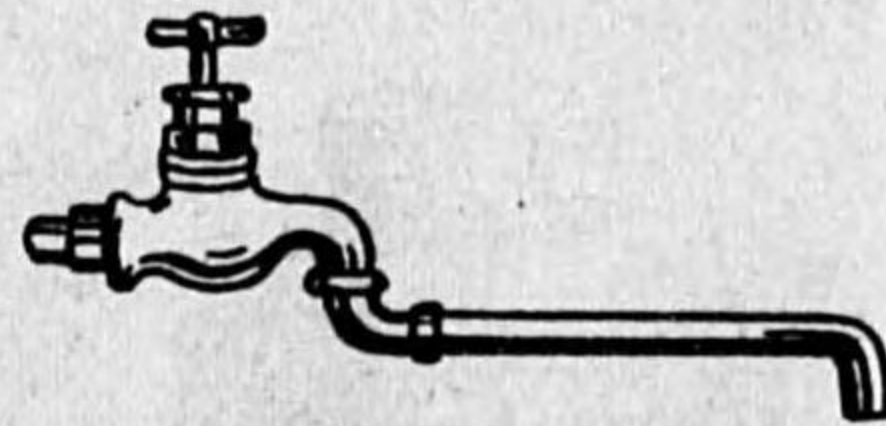
イマシロウエルディング商會

大阪市西淀川區大和田町一二八九

電話福島④一八四八・五五一三番

諸機械附屬品及水道用

砲金並眞鍮鑄物



製品の一般製作に應ず



バルブ、コック、カラン
水道衛生暖房器具
ボイラー及發動機附屬品
各種ポンプ及附屬品
フク、フラッシュバルブ
各種鐵管繼手類

製作販賣

特約販賣



中野製作所

大阪市西區阿波座四番丁一五番地
電話新町③四八五七番

後五五

電熱配線器具用捻鉄

自轉車電燈ラヂオ用高級捻鉄

銅鎮銻鉄アルミ鉄並リンフ

鎮銻鉄アルミ各種ナット

在庫豊富
高報進呈



大阪市西區北堀江御池通五丁目

白石商店

電話新町(53)四六〇四番

商標



製造並ニ修繕迅速

大阪市此花區江成町九〇番地

竹本鑢製造所

電話土佐堀四五六七番
振替口座大阪四八五五六番

ヤスリ専門

耐耐火煉瓦
耐スベト料
人造石材料
各種土石粉砕料

會社名

服部製品所

大阪市西成區津守町七七〇
(但シ 津守新道木津川濱)
電話櫻川④一一七三番

後五四



合資 阿波田良之助商會

大阪工場 電話土佐堀八四一・七七六五
大阪市港區三先町四丁目五三
電話築港二一六一

大阪市西區江戸堀上通二丁目四二

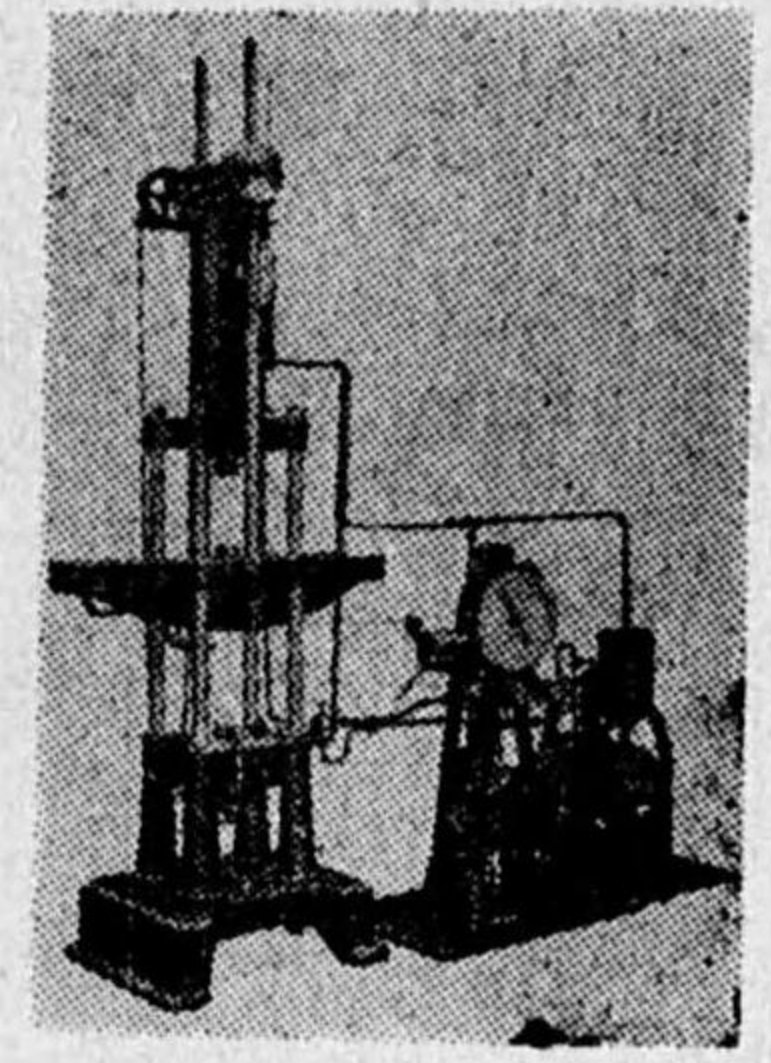
營業種目

煖房・冷房・換氣 諸材料
蒸汽・衛生・水道

放熱器並附屬弁類
エロフィンヒーター
コンベストボイラー
クボタ鑄鐵細管
低壓用シルホントラップ類
高壓用鑄鋼製諸弁類
空氣液體、溫度調節器
ピストン式減壓弁

專門設計製作販賣

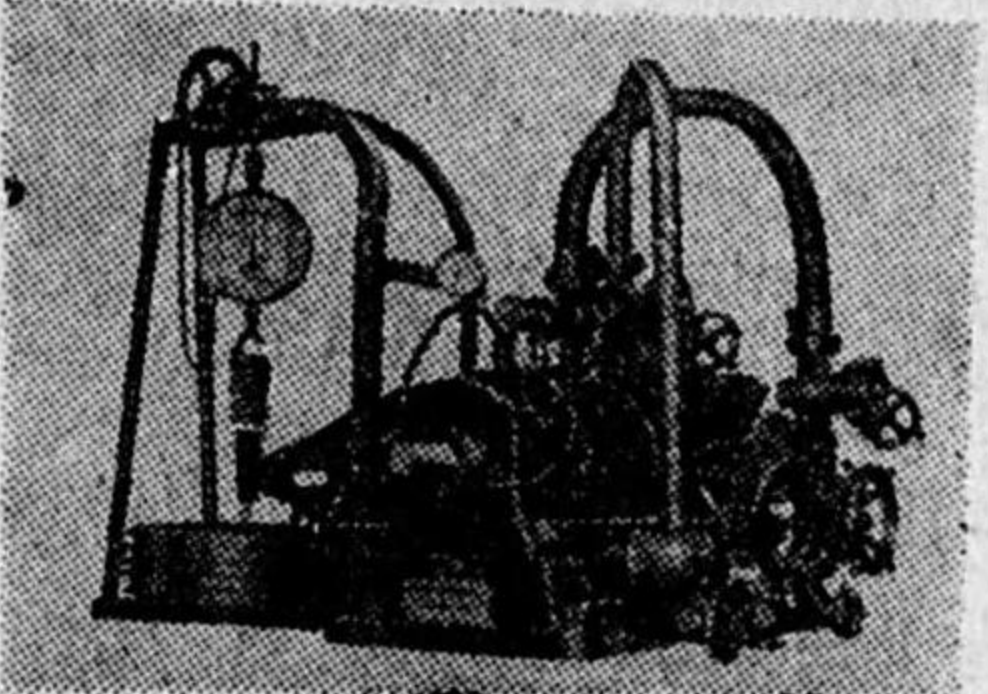
東京衡機アムスラー型萬能材料試驗機
特許動力計附



小山商店

大阪市西區薩摩堀南之町一
電話新町三〇一八番

營業品目
材料試驗機・工作機械
水壓各種機・ポンプ
水道用機械・切斷機
ブレスローラ機械
道路・港灣用機械
空氣機械・工具・起重機
運搬裝置・其他一般機械
設備・設計製作



東京衡機「フルード」式水動力計
可逆轉式(原動機馬力測定用)

金屬磨界の霸王
ピカール

研磨材料・光澤材料(カタログ進呈)
(粗悪なる類似品續出す、ピカールと御指名下さい)



煉製
一庇
1/2庇
1/4庇

ピカール金屬磨本舖
齋藤商店大阪支店
大阪市北區中ノ島七丁目 電話土佐堀八七一
本社及工場
東京市品川區大井南濱川町一六二三
電話大森一六六六番

液體ニオンス・セオンス・一四オンス



舶來品
純國產

アンダーフキード
自働石炭完全
燃焼機
燃焼機界ノ
最高標準機

東京市蒲田區南六郷三丁目一六
株式會社 大東工業所
東京營業所
東京市京橋區室町三丁目三
電話京橋七四二七番
大阪支店
大阪市西區江戸堀上通二丁目四二
電話土佐堀八四一・四二八一番

(型録御入用ノ節ハ單稱DIF或ハLC型ト御記入ヲ乞フ)

DIFストーカー

其他ノ
主ナル
取扱品
A・T・フラッシュ式急速濾過裝置
諸精密機械輸入及ビ製作販賣
各種加熱爐設計施工
清淨劑「ヤラゲン」總發賣元

LC型ハ、ランカシヤ、コルニツシュ・ボイラー専用

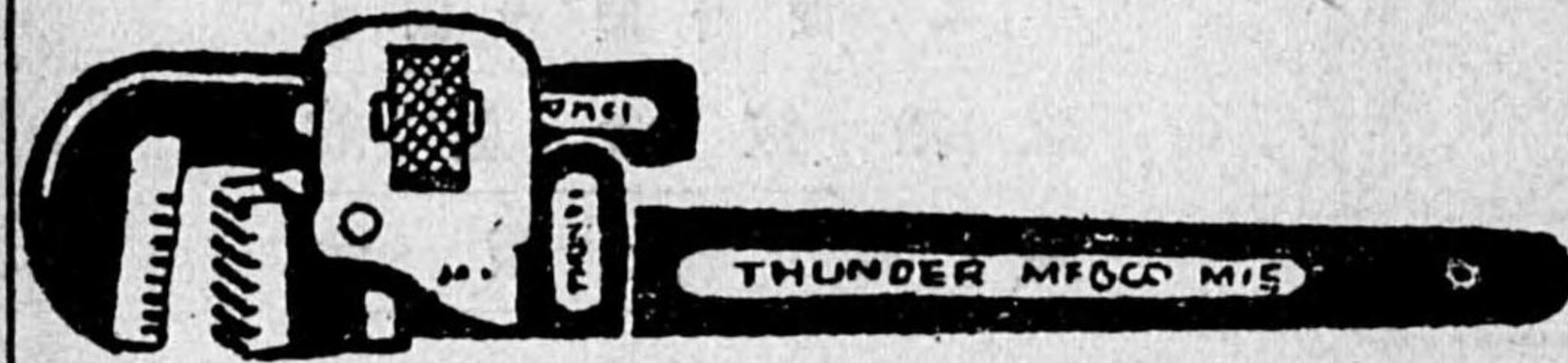
最高ノ經濟能率發揮
LB・CBボイラーニ加設最廉價ノ蒸氣ヲ發
生シ得
ピクロートニ急處裝置自在
不均一ノ給汽又ハ過負力ヲ速時加減シ完全燃
焼ヲ成ス
矧筒内ニ直接裝置シ取扱簡易
單稱DIF眞髓ノ機構、材質ヲ同一ニ製作

後 五七

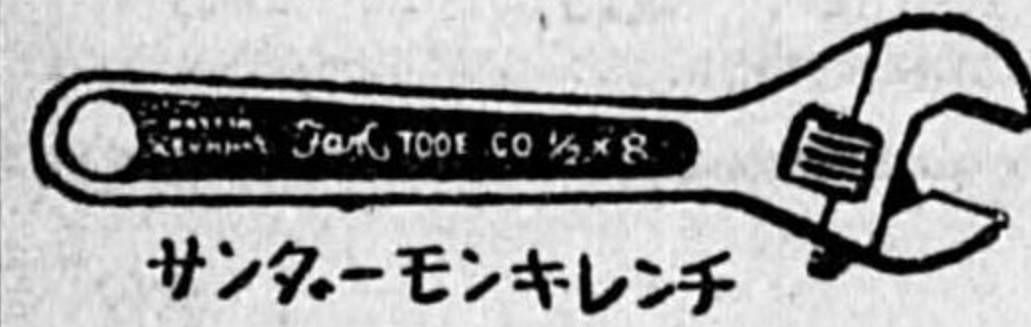
後 五六

優秀を誇る純國産

鍛鋼部製品



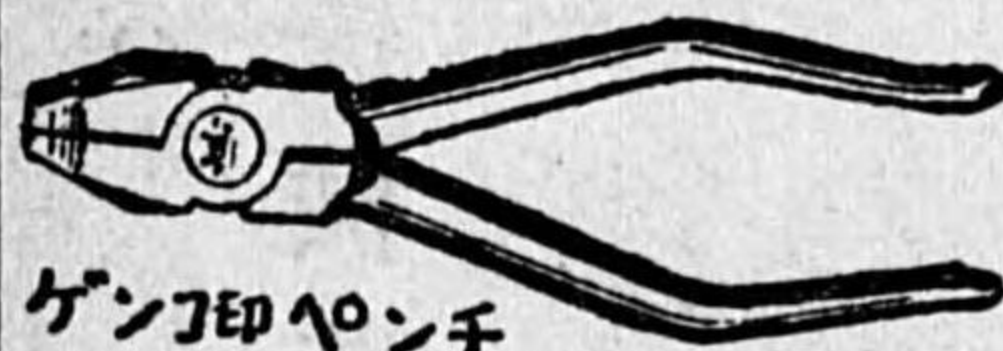
サンダーパイプレンチ



サンダーモンキレンチ



サンダーチキンレンチ



ゲンジ印ペンチ



サンダーパイプカッター

専門品製作販賣

合 名 社 伊 藤 商 店

大阪市西區新町通四丁目四三
電話新町三〇一六・五三二三・七四二番

陸海軍指定各官廳推奨納入品
南滿洲鐵道株式會社指定品

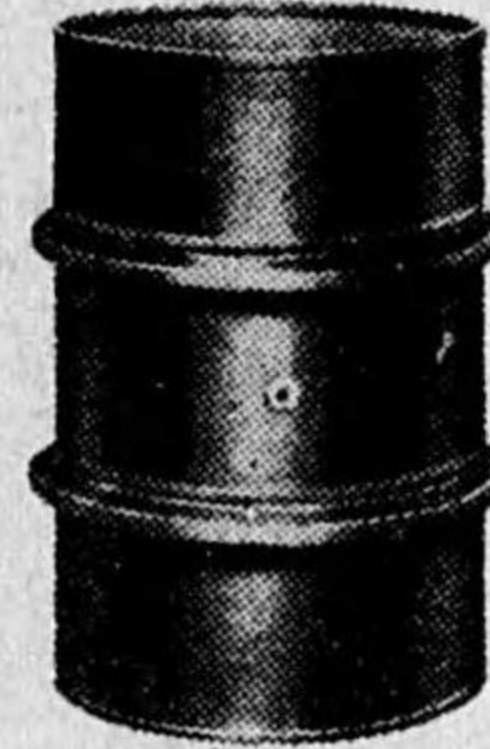
目 課

用 { ベン・ソリセリグ
ソリソガ・ループ
罐ムラド引鉛亞
罐ムラド用油魚・物植・鍍
造製罐ムラド種各



業 營

罐ムラド許特
罐ムラド用達曹性苛化硫
罐ムラド用料染・粉晒



罐 締 卷 種 各

〔カタログ進呈〕

所 罐 製 木 高 會 合 社 資

五〇五 一町田和大區川淀西市阪大
番六〇五七六阪大座口替振・番八四七二④島福話電



盾綿と

ゴム加互

巴パッキン製造所

大阪市浪速区恵美須町三丁目
電話 戎 一五一二番

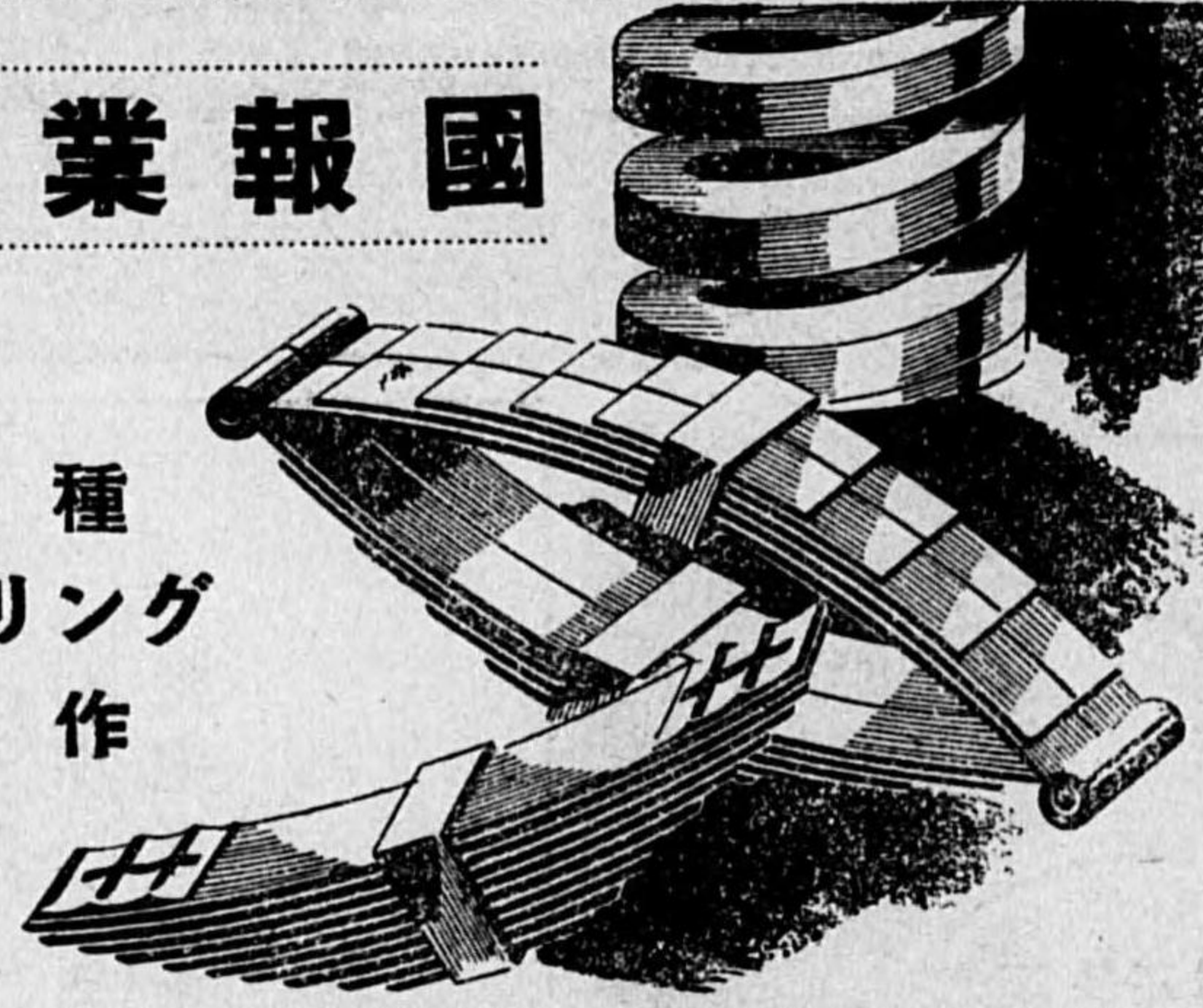
カタログ贈呈

無敵皇軍

SPRINGS

産業報國

各種
スプリング
製作



最新の技術
最古の歴史

東洋スプリング製作所

本社 大阪市東淀川区中津南通三丁目一六
電話福島④4677番 振替大阪33898番
九州出張所 小倉市室町一丁目 電話797番

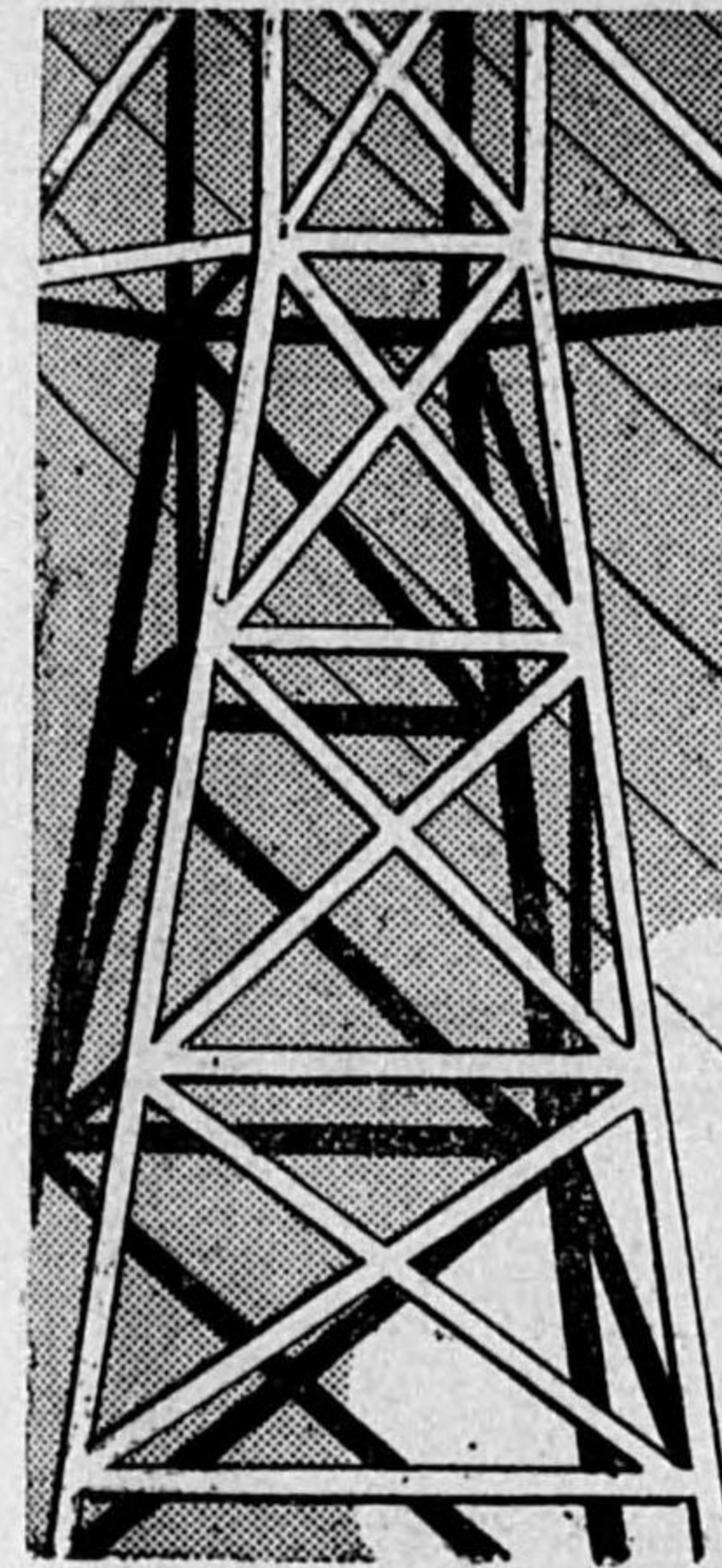
鐵塔・鐵柱・腕金

A.G.

設計製作請負
亞鉛鍍金全般
錫及鉛鍍金

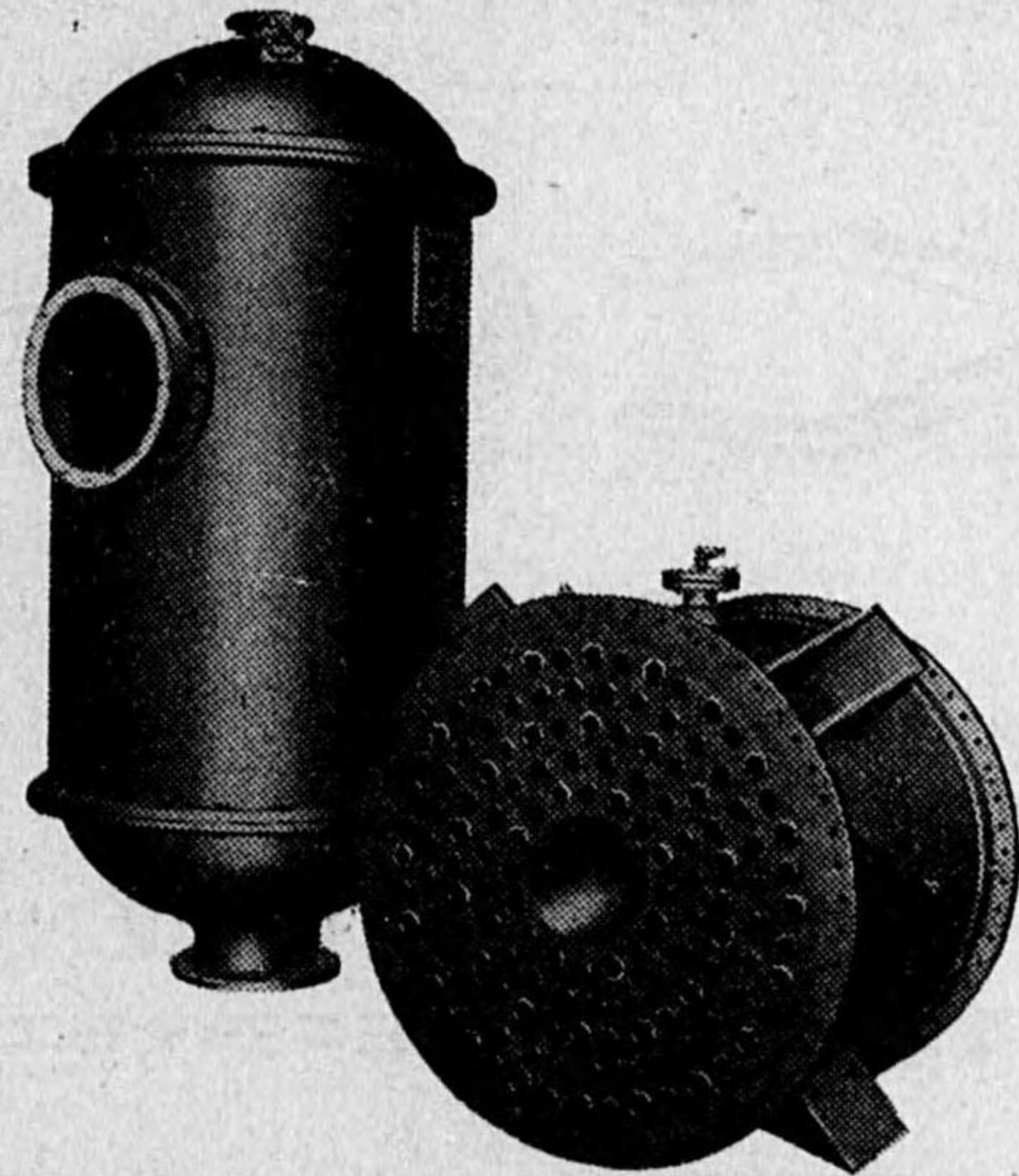
安治川亞鉛鉄工株式会社

大阪市港區石田町二丁目四番地
電話築港⑥337・338・339・國330
長野工場 府下長野町長町 電話長野二一五番



簡易パイプ製造用

機械装置一式



田邊鐵工所

大阪市浪速區櫻川一丁目一〇六九
電話櫻川④六一四七番

所 鐵 製 本 日
美 裝 鋼 板



特 約 販 賣 店

八幡製鐵指定販賣所
 (イロハ順)

大阪市西區立賣堀北通五丁目
千葉金三郎商店
 電話新町六六一・九三二番

大阪市西區新町南通二丁目
合資 山本菊藏商店
 電話新町二七九・三五五三番

大阪市西區西長堀北通四丁目
山本信義商店
 電話新町二九〇・四七三七番

大阪市西區立賣堀北通五丁目
松本茂八商店
 電話新町四二五・四二六五番

優美なる大カタログ贈呈
高橋美章堂
 大阪市西區信濃橋北へ半丁西側
 電話土佐堀三五二八番
 振替大阪八六五七三番

ホロー看板
 ネームプレート
 各種門標

重

營業種目
 船舶・鐵道・礦山
 建築用 諸金物
 リベット・ボルト
 ナット・各種 工具
 品質優秀・在庫 豊富

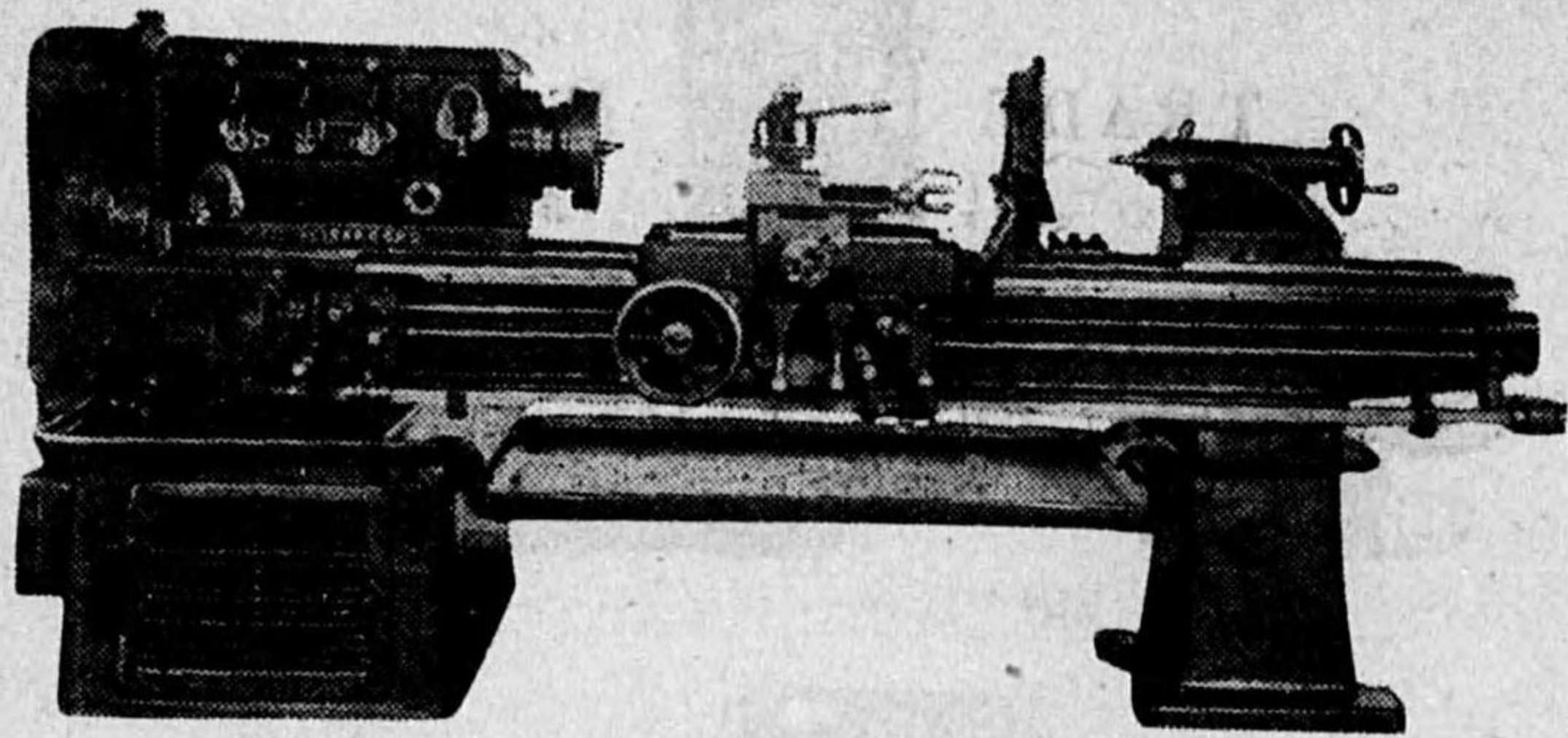
岩田商店
 神戸市葦合區北本町通三ノ一七
 電話葦合 ② - 三四四番

鐵道省指定工場
松下フェルト工場

大阪浪速區西濱北通四丁目二四
 電話櫻川 ④ - 二二三
 大阪浪速區榮町二丁目三五
 電話櫻川 ④ - 一八八番

營業種目
 鐵道省、滿鐵御指定
 各種車輛用フェルト
 各種式黄麻布フェルト
 各種式綿目フェルト
 各種式布目フェルト
 各種式毛織物
 各種式羊毛フェルト
 各種式毛織物
 各種式羊毛フェルト

生産量第一 價格低廉



工作機械製作

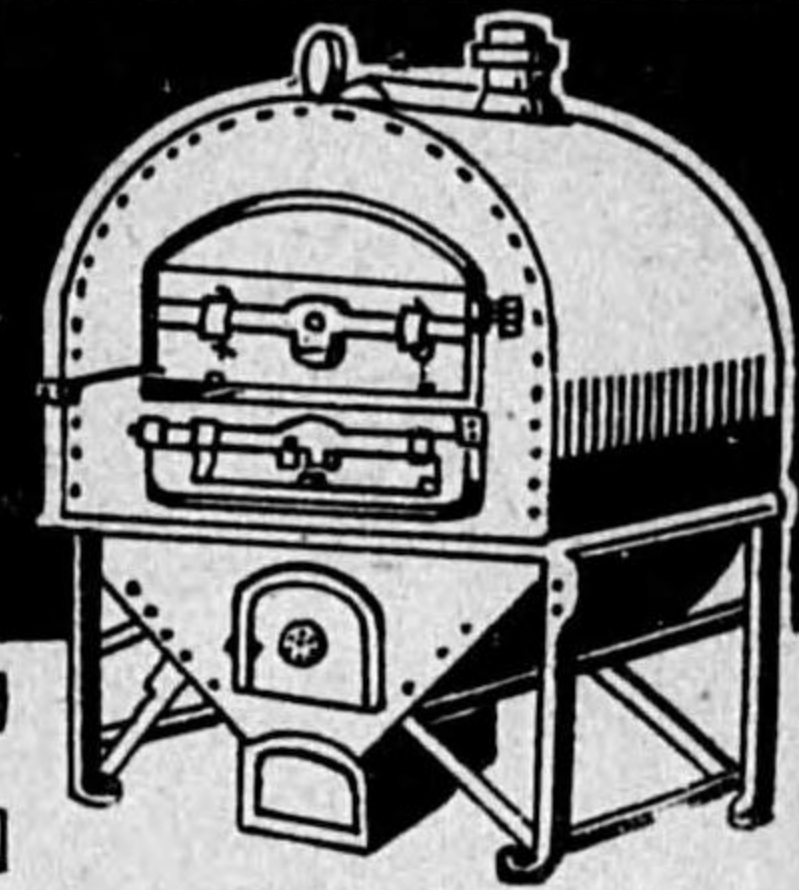
株式會社 靜岡縣清水港 富士製作所

電話清水園 一〇九七二番

清水郵便局私書函第拾六號

東京營業所 (東京市丸ノ内(丸ビル三階) 電話丸ノ内園一九五四番)
 大阪營業所 (大阪市大正橋 電話櫻川園二四〇八・一三〇七番)

伊東式 燒物器



IGK

陸海軍炊事調理機
 伊東軍需品株式會社

伊東製作所

大阪市東區材木町二二

電話東二八二〇・三九〇六番

工場

大阪市外大軌沿線若江岩田

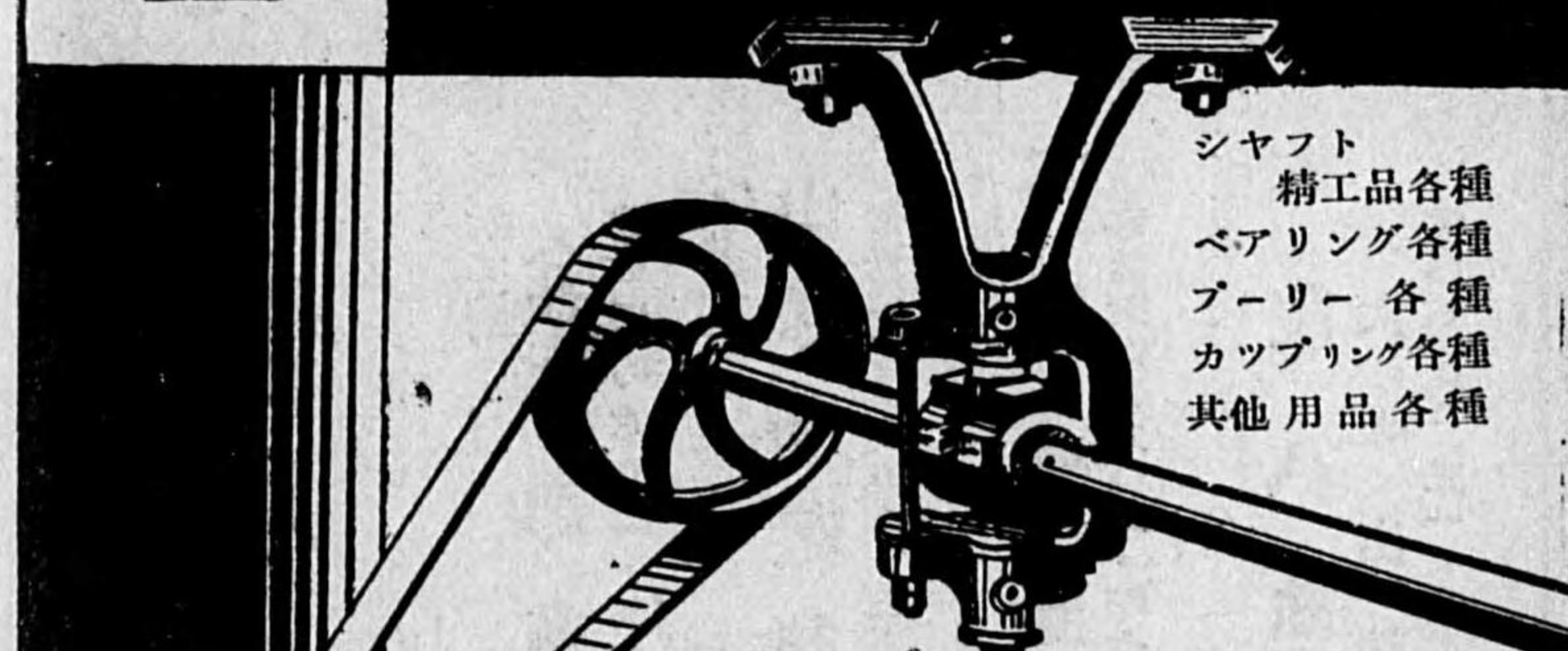
電話小坂三四二番

器器機機機機機機
 燒燒滌 剝斷搔
 ン子 洗切皮切 米風
 器 根葉 笹
 菓食肉球根卸洗送

(カタログ進呈)



動力傳導裝置



シャフト 精工品各種
 ベアリング各種
 プーリー各種
 カップリング各種
 其他用品各種

名會社 眞木傳動機製作所

大阪市此花區江成町 電話土佐堀一四九〇番

日立電動工具特約店
 鐵鋼マーク用電氣ペンシル販賣總代理店
 ニューマチック各種ツール輸入製作
 製鐵製鋼用合金及礦石
 工業用ダイヤモンド輸入加工



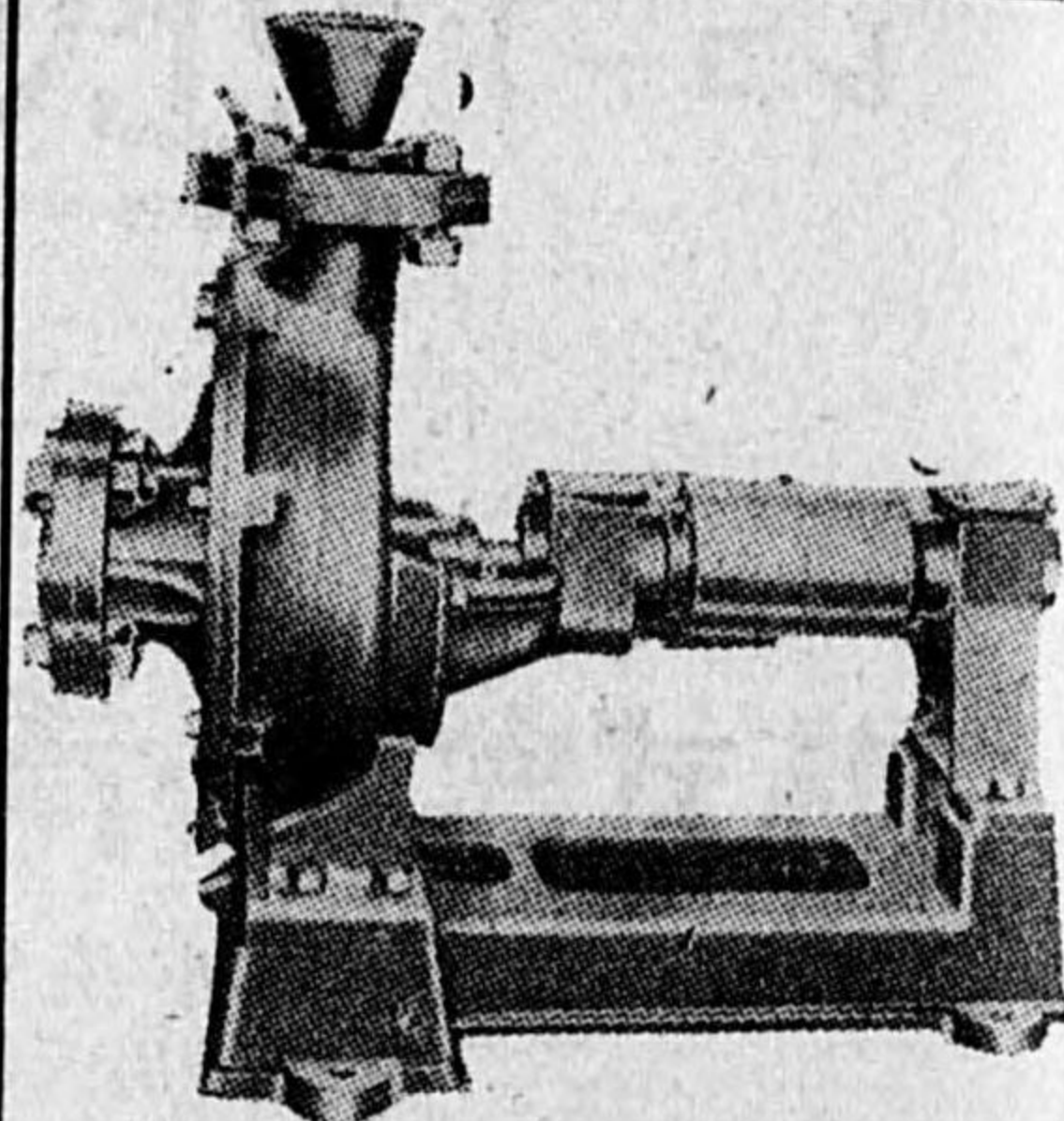
合資
 會社

岩崎商店

電話土佐堀④四〇五七

大阪市西區京町堀通一丁目第二太平ビル

電動機
 タービンポンプ
 ヒューガルポンプ



合資
 會社 稻垣鐵工場
 名古屋市中村區則武町御臺所九八八番地
 電話西⑤一〇八番

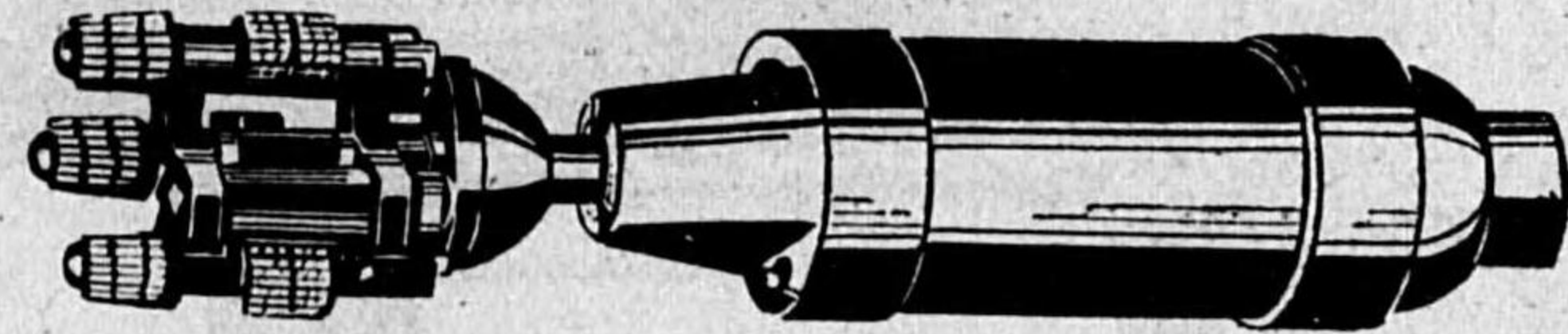
諸金屬打拔鋼板



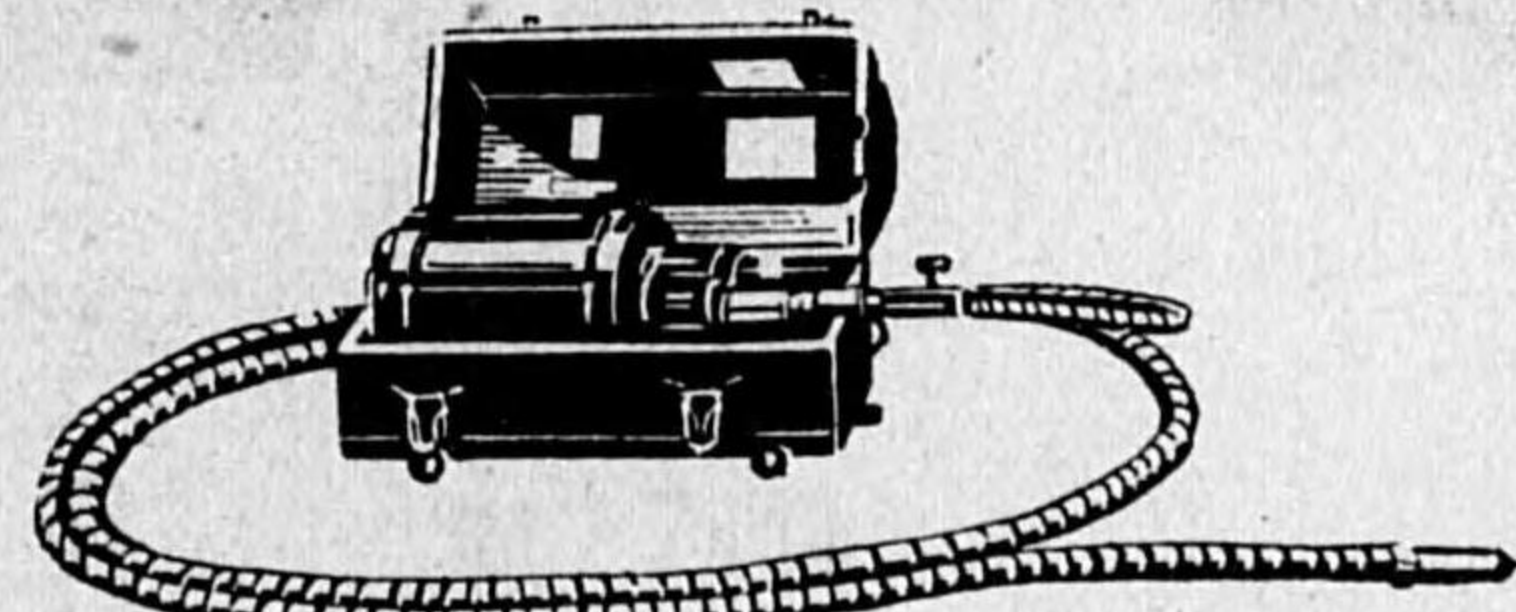
淀川打拔鐵工所
 大阪市此花區大開町四丁目三二
 電話土佐堀④6326



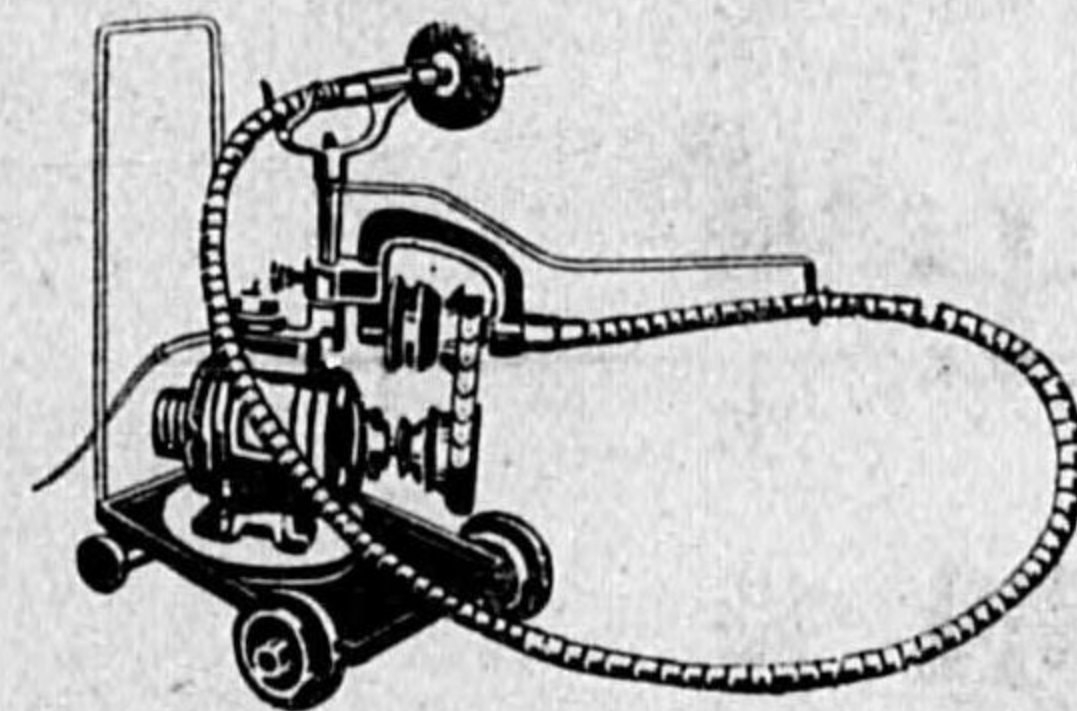
TRADE MARK



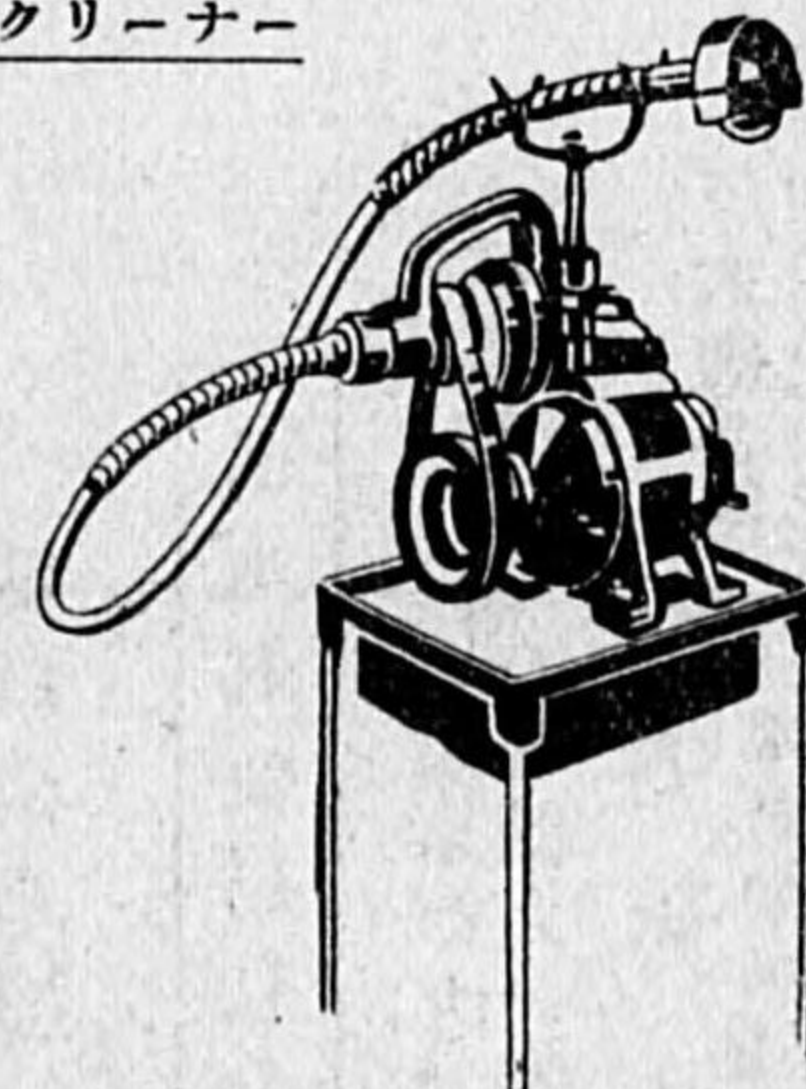
壓縮空氣チューブクリーナー



電動式ボイラーチューブクリーナー



電動研磨機



小型電動研磨機

特種機構製作所

合資
 會社 比留間福太郎商店

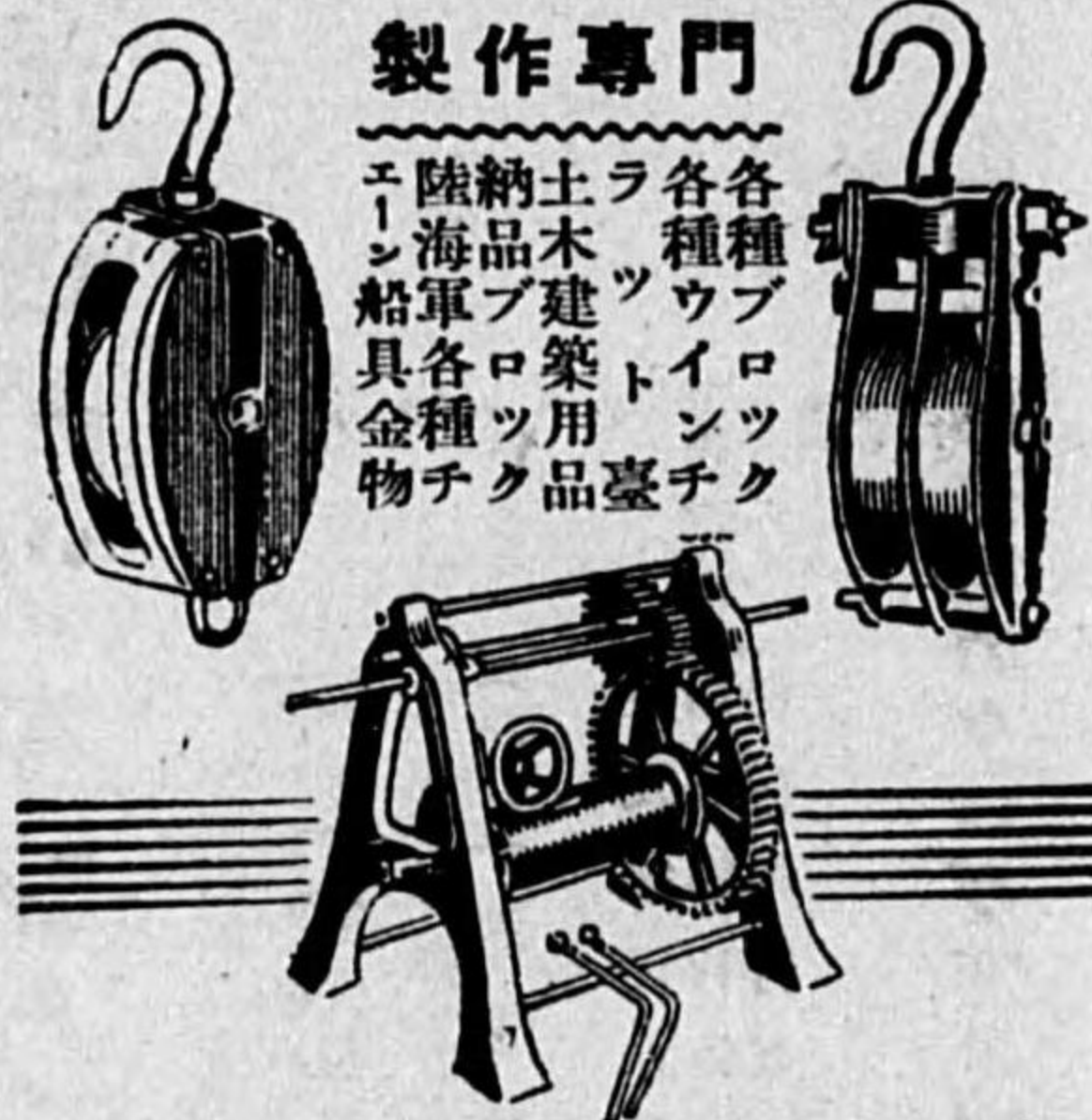
營業所 東京市芝區新橋四丁目三番地ノ三
 電話芝④一八七二番 振替東京一〇三五二二番



久山鐵工所
電話櫻川三八三五番

大阪市大正區福町一丁目七

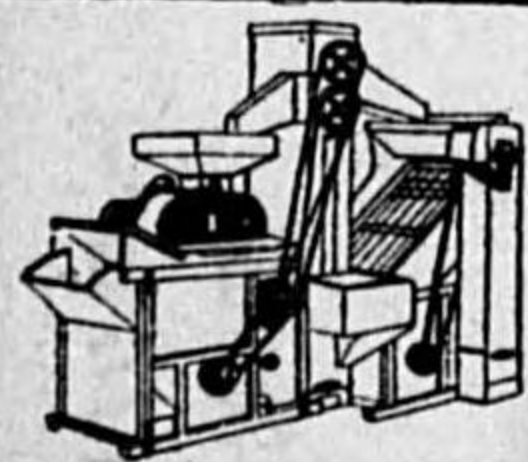
製作科目
陸船油槽・陸船汽罐・蒸釜鐵骨
各種ポンプ・鐵管工事並ニ設計製作



製作専門

各種アップロツク
各種アップロツク
各種アップロツク
各種アップロツク
各種アップロツク
各種アップロツク
各種アップロツク
各種アップロツク
各種アップロツク
各種アップロツク

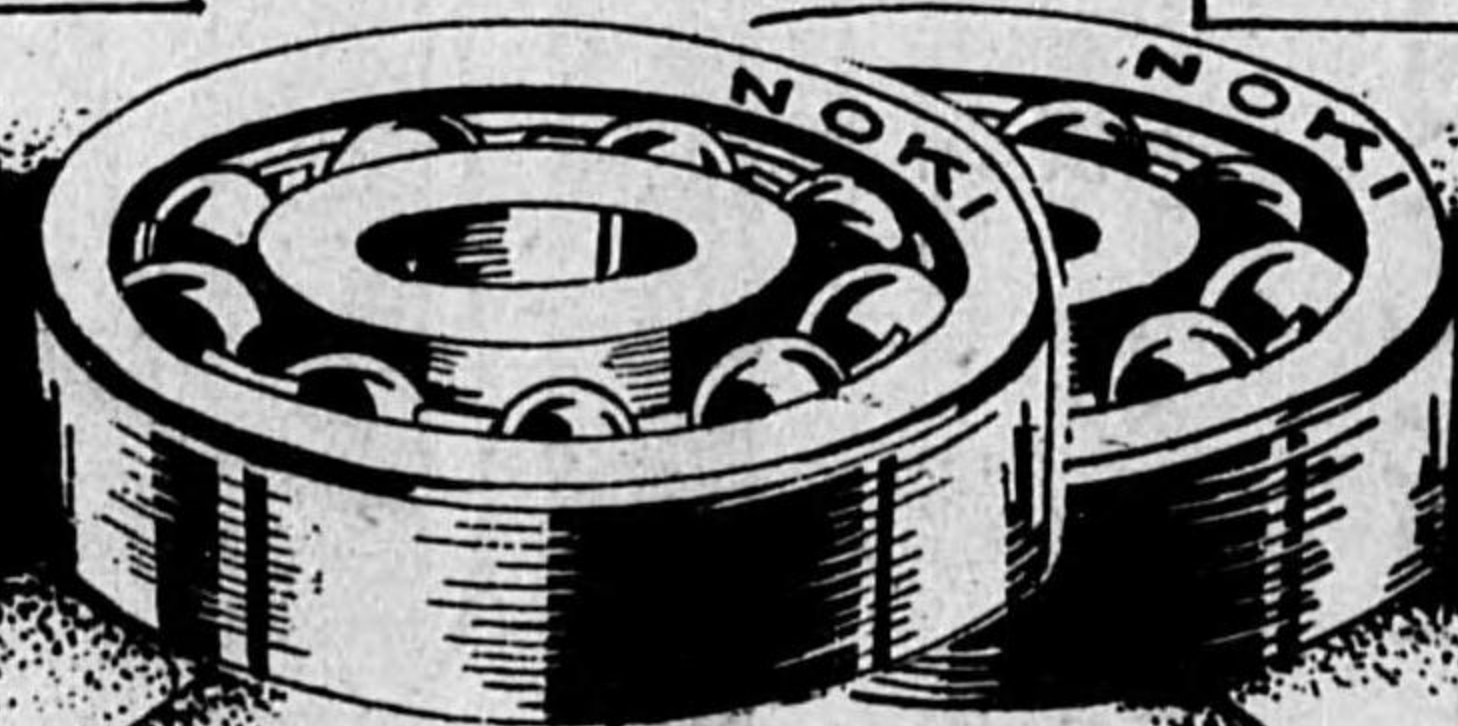
大阪市大正區三軒家浜通一丁目
佐藤製化所
電話櫻川(64)3142 振替大阪 100251



農機用
ボールベアリング



後六九
乞御照會



カタログ
進呈

農機用ベアリング専門製作
香山機工所

大阪市西淀川區海老江中三丁目七五
電話福島六四四九番

レコード RECORD ハガネ

特殊製鋼株式會社神戸代理店
レコード印鋼總發賣元

株式會社 青山鋼商店

本店 神戸市湊東區相生町五丁目
電話湊川⑤一五九二・二一八九番
支店 大阪市南區谷町筋六丁目
電話東④一四〇一・七五三九番

營業科目

機械、工具、鐵材、鋼、銅、眞鍮、地金類、引拔鋼管、瓦斯管
繼手、バルヴ、コツク、水道用品、傳動機用品
ボルトナツト類、特殊捻子並ニナツト製作

特許エスペロバルヴ代理店



森田商店

店主 絹田 繁藏

神戸市葺合區脇濱町二丁目一〇一
電話葺合②五三六〇番

後六八



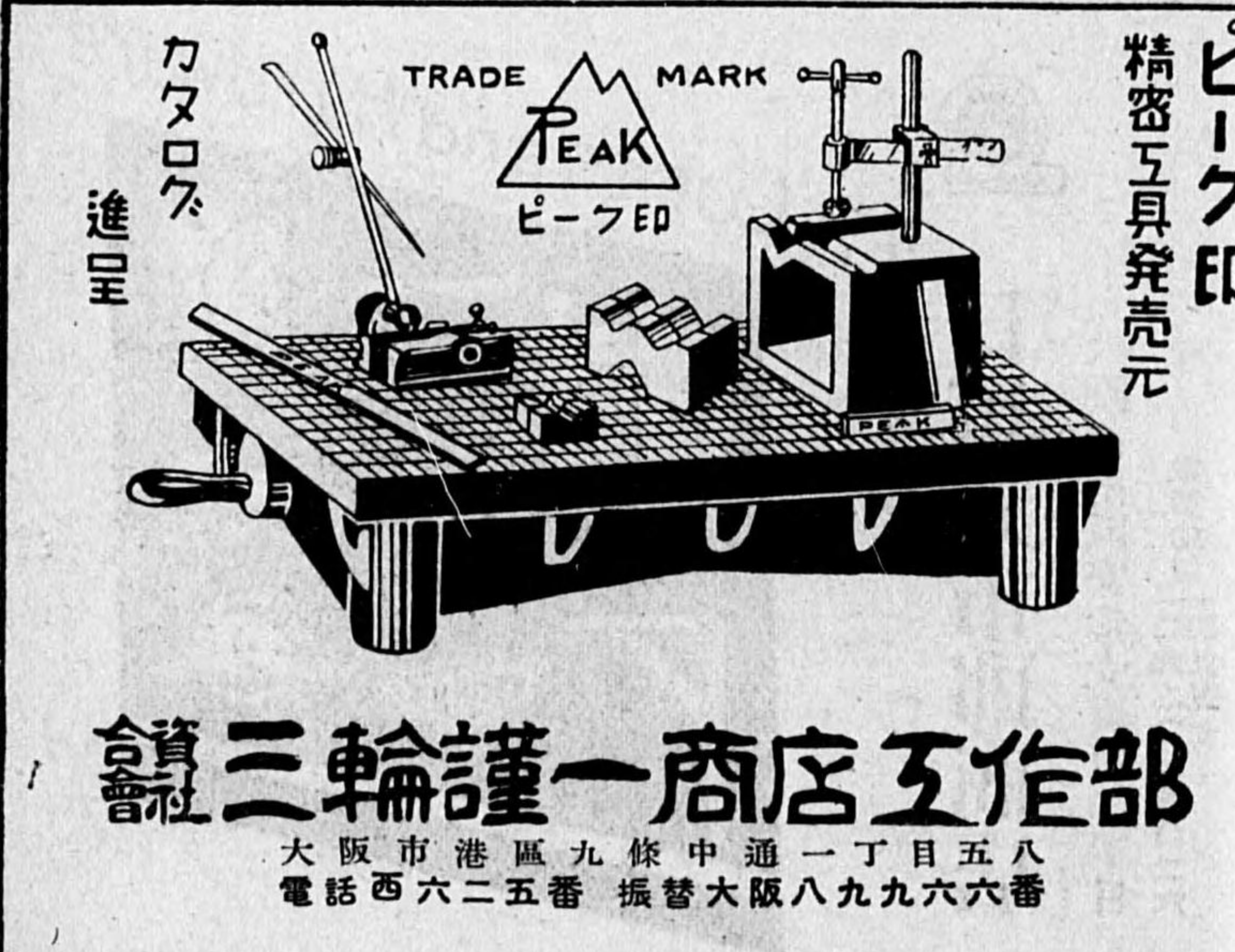
パイプ

銅真鍮パイプ・特殊合金管
各種ラジエーター用
高真機三脚用・理科學用

日本金屬工業所

大阪府中河内郡加美村正覺寺一七七三
電話 平野一四三六・一四三七

精密管工場
堺市遠里小野町



精密工具発売元

ピーク印

TRADE MARK
PEAK
ピーク印

カタログ
進呈

三輪謹一商店工作部

大阪市港區九條中通一丁目五八
電話 西六二五番 振替大阪八九九六六番

後七一

△石綿板
△石綿パツキング
△ゴムパツキング

製造販賣

浪速パツキング商會

營業所 大阪市西區立賣堀南通六丁目
電話 新町四八三・七一八番
振替口座大阪一七二五番

工場 大阪府豊中市麻田町
(阪急沿線 蚕ヶ池)

取引銀行 住友銀行立賣堀支店
川崎銀行百行西支店
野村銀行新町支店

〔御申込次第カタログ進呈〕

アルミニウム・ステンレス類
諸容器製作請負



内燃諸機關修理
一般金屬瓦斯銲接ノ需メニ應ズ

特色 工賃廉價ニシテ「ウソ」ヲ申サズ
堅實ニシテ迅速ナルヲモツトトス

田村瓦斯工業所

大阪市此花區上福島中三丁目
電話 福島④ 一一四五番

後七〇

高級
特殊

輕合金

(アルミニウム合金)

鑄造 ◆ 工作



牧野輕合金製作所

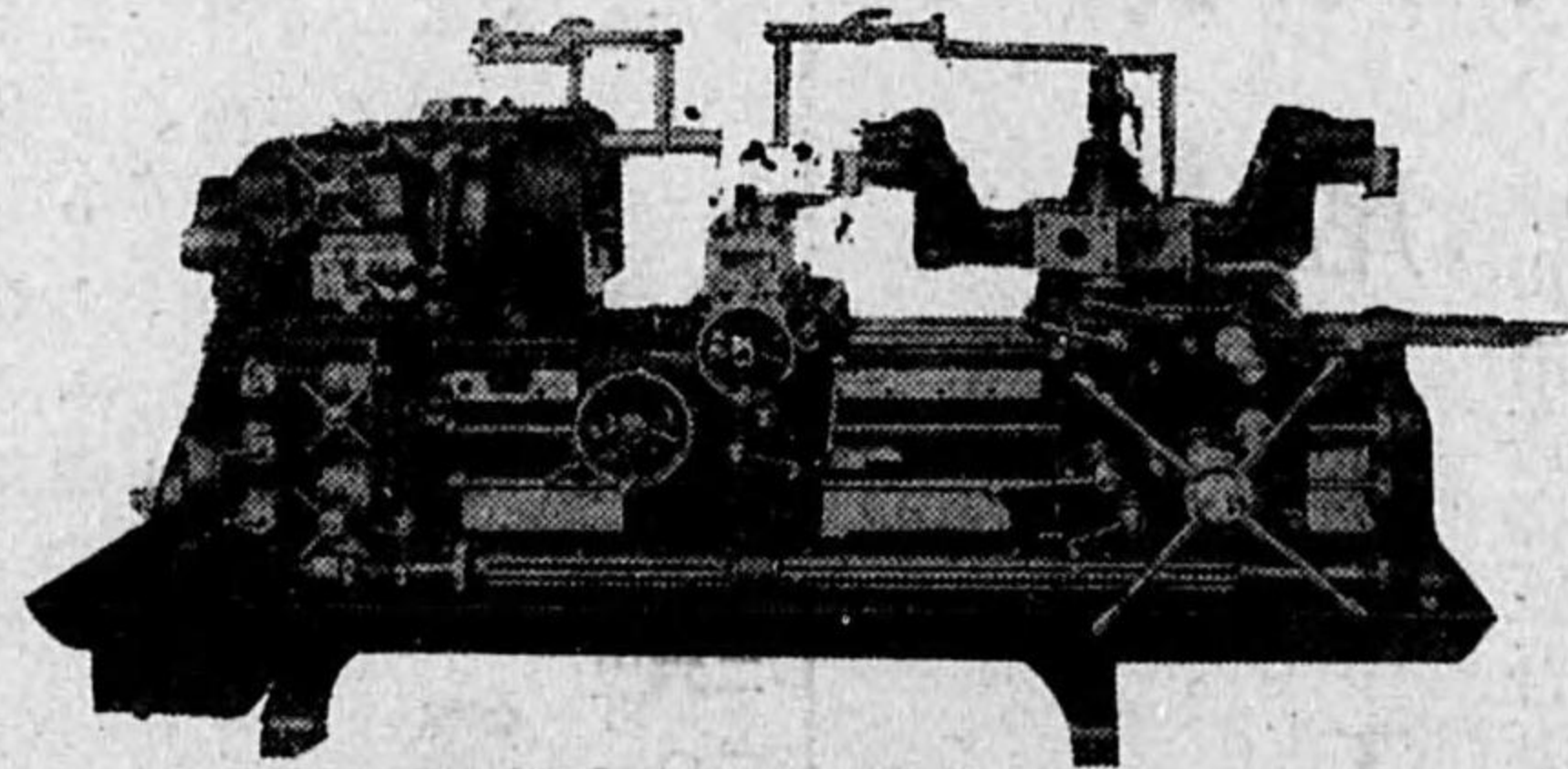
大阪市西淀川區姬島町一六九七

電話福島④2044番・2498番

振替口座大阪91546番

大隈TH型七番 コンビネーションターレットレース

(スウキング=15½" 主軸穴徑=2¼")



大隈鐵工所關西販賣所

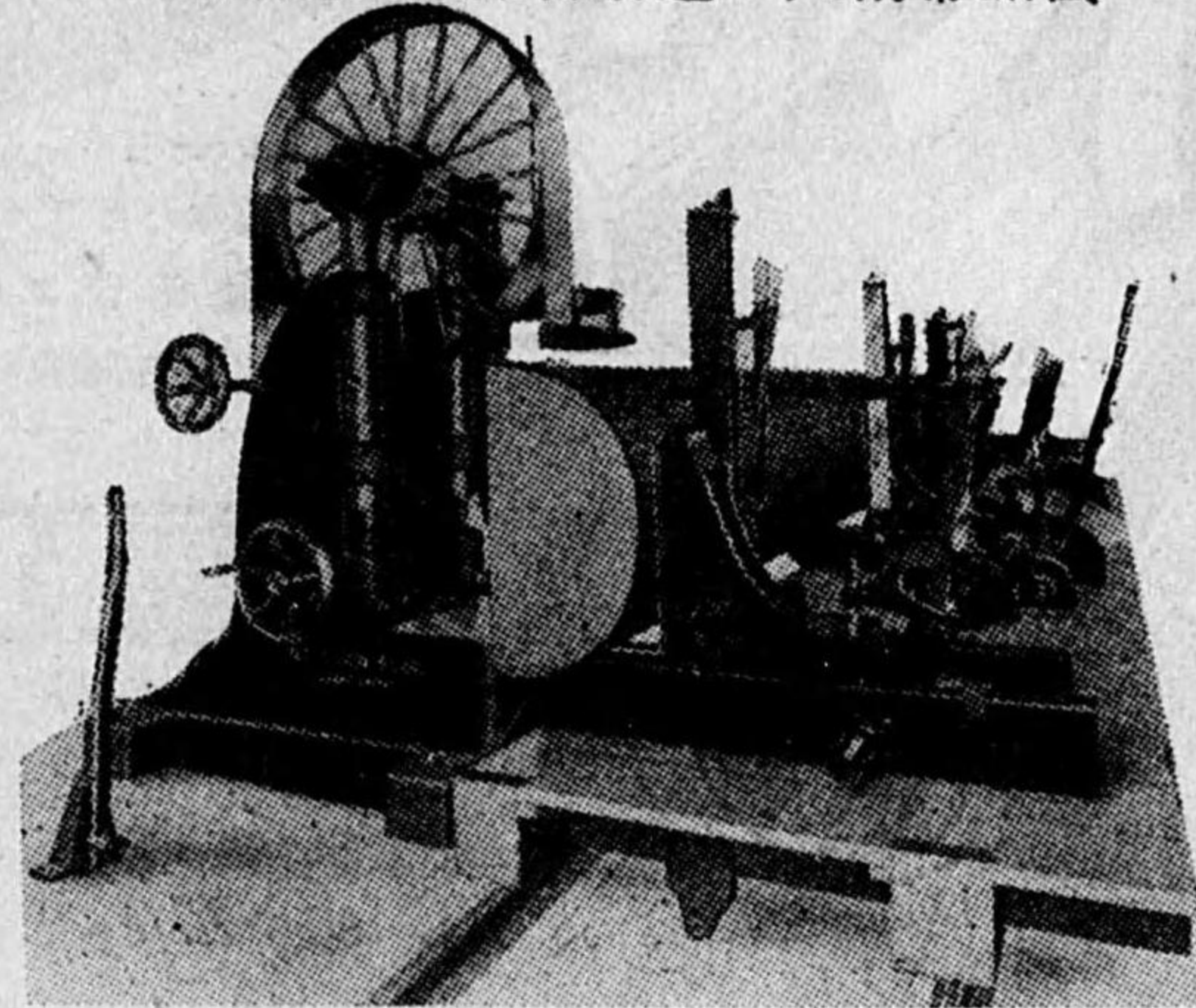
日本精機商會

大阪市北區曾根崎上三丁目八番地 電北一八七七番

後七三

特許

超高速強力自動送り大割帶鋸機



高級製材
機製作

能登鐵工所

大阪市大正區泉尾上通一丁目十六番地

電話櫻川七四二番
振替口座大阪九〇七二九番



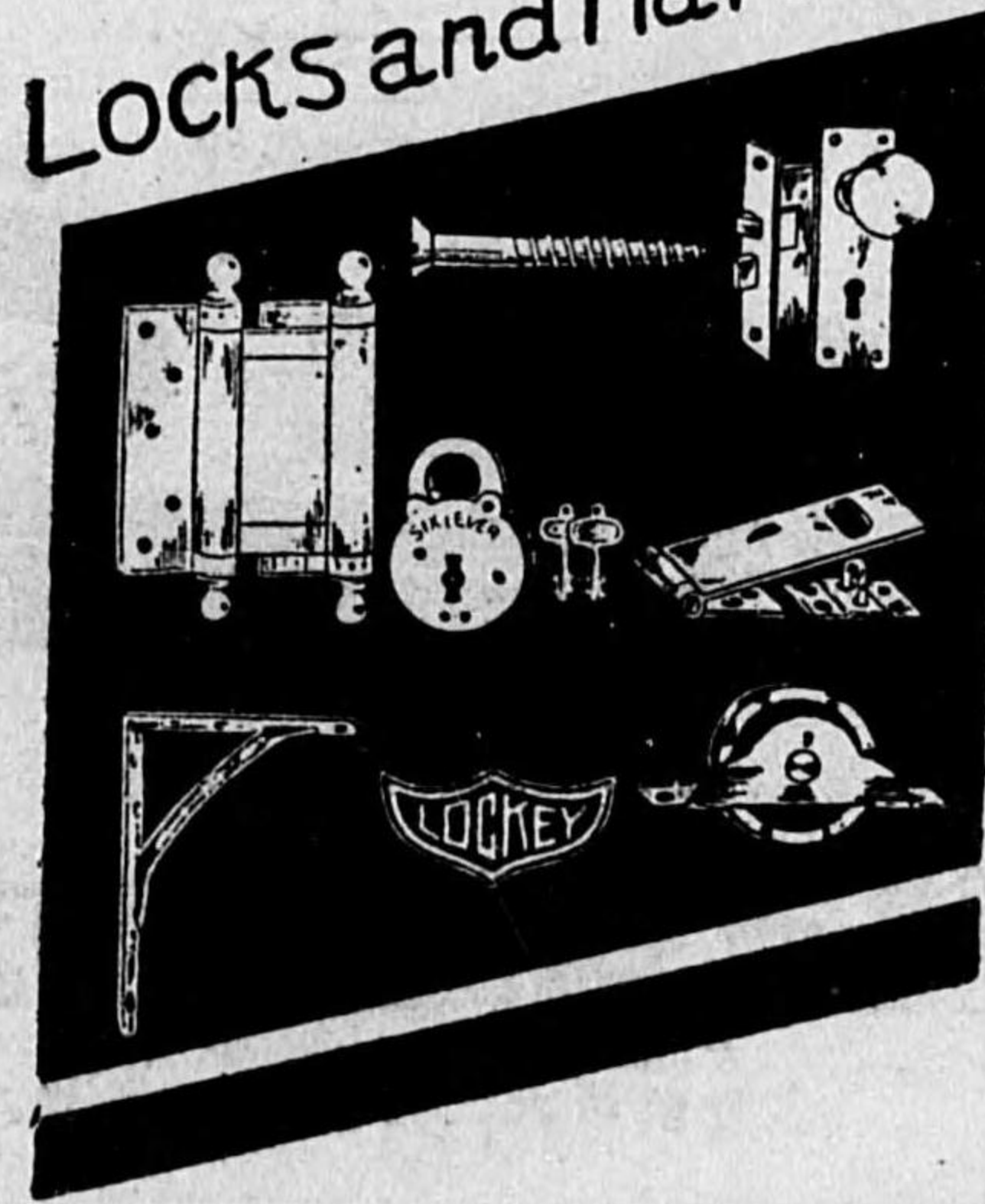
株式會社

日垣太市郎商店

大阪市南區安堂寺橋通二丁目

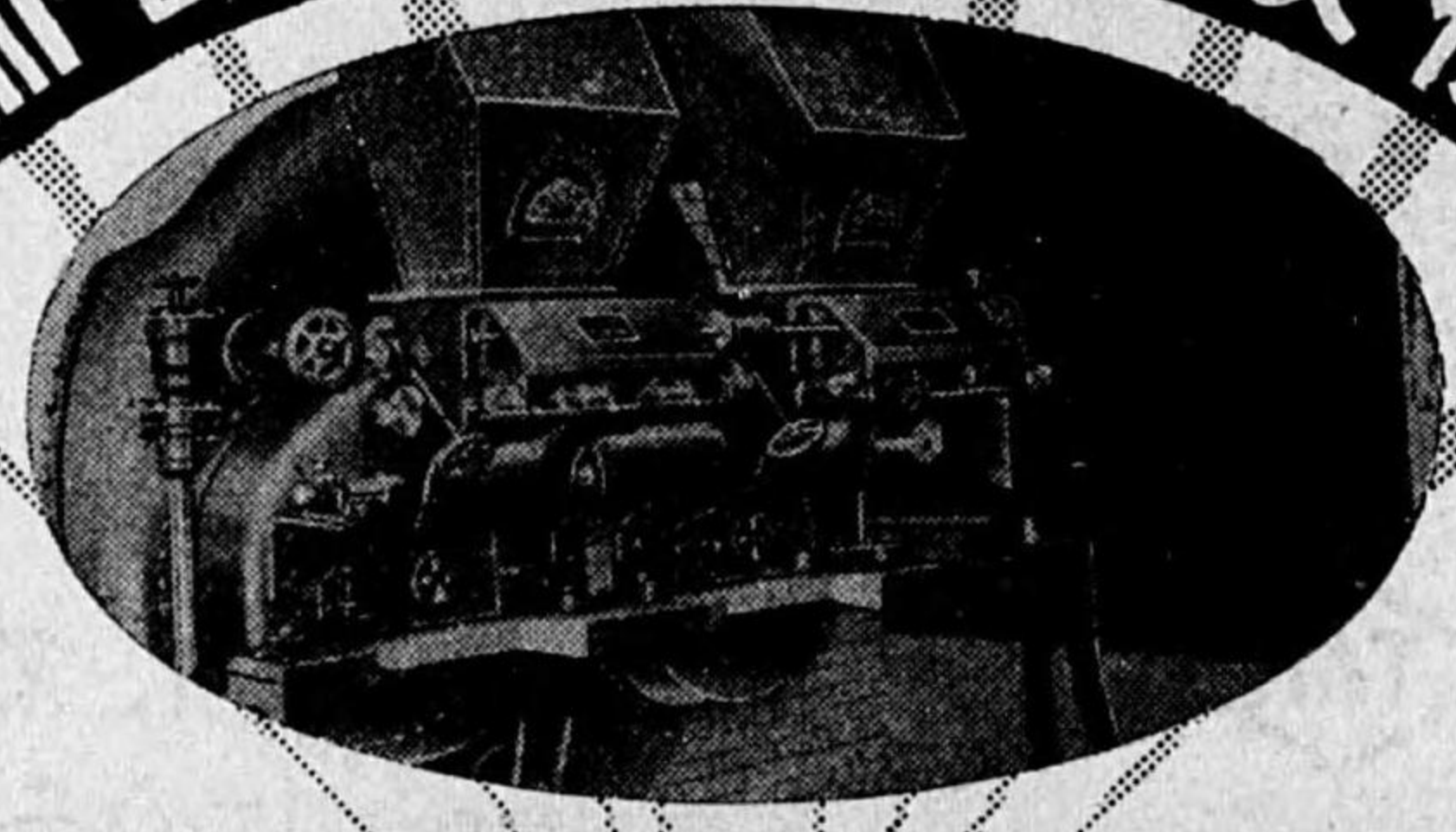
電話船場(四九五七)二六二二・四〇二六

Locks and Hardware



後七二

炭給働自式研帝



帝國工業研究所

大阪市東淀川區木川東ノ町一丁目五八 電話北七四七三

化學工業用 蒸發と乾燥 營業課目

真空蒸發裝置	迴轉式熱風乾燥裝置
傾斜管型高速度真空蒸發罐	低温熱風乾燥裝置
真空蒸溜裝置	真空ポンプ
真空乾燥裝置	真空濾過機
ロータリーバキュームドライヤー	耐酸金屬加工
スプレードライヤー	蒸發乾燥專門製作

合名社 櫻井化學機械製造所

櫻井化學研究所
電話兵庫二四五三番
營業所 前
住上工場 神戶市林田區東尻池八丁目電停前
製罐工場 神戶市林田區一番町

後七五

優秀ナル樹脂石炭酸積層品

電氣諸機械用

耐酸材料並ニ加工	絶縁材料	同	同	(ベークライト)各種	ヤサカライト	ニホンライト
		無音齒車材	成型品			



日本ライト商會

大阪市西淀川區大仁本町三ノ四〇
電話 福島 ④ 一〇一五番

株式會社 高尾鐵工所

神戸市葺合區吾妻町三丁目

營業種目

諸機仕上製作
セメタル
ニッケル
高炭素
滿炭素
普通
通
鑄鋼
鑄鋼
鋼



前川電氣鑄鋼所

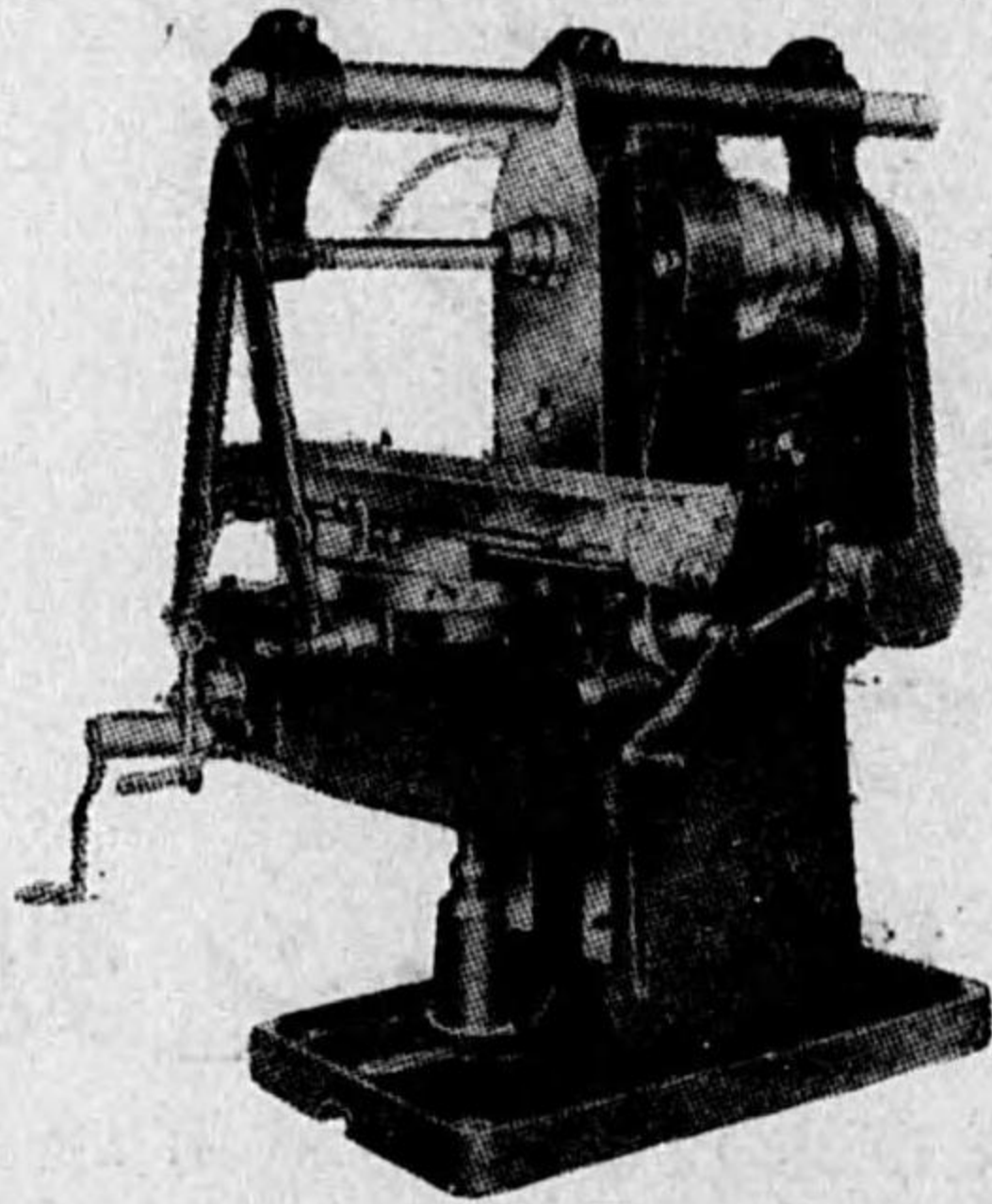
大阪府旭區放出町一〇二番地
電話 旭東二六二〇三七五〇番

後七四

ユニバーサル ミーリング マシン
No. 1½ Universal Milling Machine

店理代

不二越鋼材工業株式會社製品
ナチ印金切鋸及ナチ印ドリル
北方製作用所製品
北方印盤用チャック
機械用各種計數器



品作製要主

十二呎、六呎、八呎、セーパ旋盤
ミシ、二十四吋、セーパ旋盤
センシブル、各種磨鉛
コマシ、各種磨鉛
高射砲、各種磨鉛
各種磨鉛

深山商店 大阪市西區薩摩堀東之町九
電話新町⑧八六一番

營業科目

送電線用 { 亞鉛鍍金ボルトナット
鐵道氣機木架 架線金具各種
般電諸機 磨 各種高級螺子類一
土建ガ 各種磨鉛 各種磨鉛 各種磨鉛 各種磨鉛
各種磨鉛 各種磨鉛 各種磨鉛 各種磨鉛

大阪市西淀川區佃町一〇五一番地



資社 特殊亞鉛工業所

電話福島④ { 一八二一番
二四〇六番

第一工場 大阪市西淀川區佃町一〇五一番地
第二工場 大阪市西淀川區佃町一四五番地

東亞スプリング製作所
大阪市浪速區田川通六丁目四五 電話北區八六六番

後七七

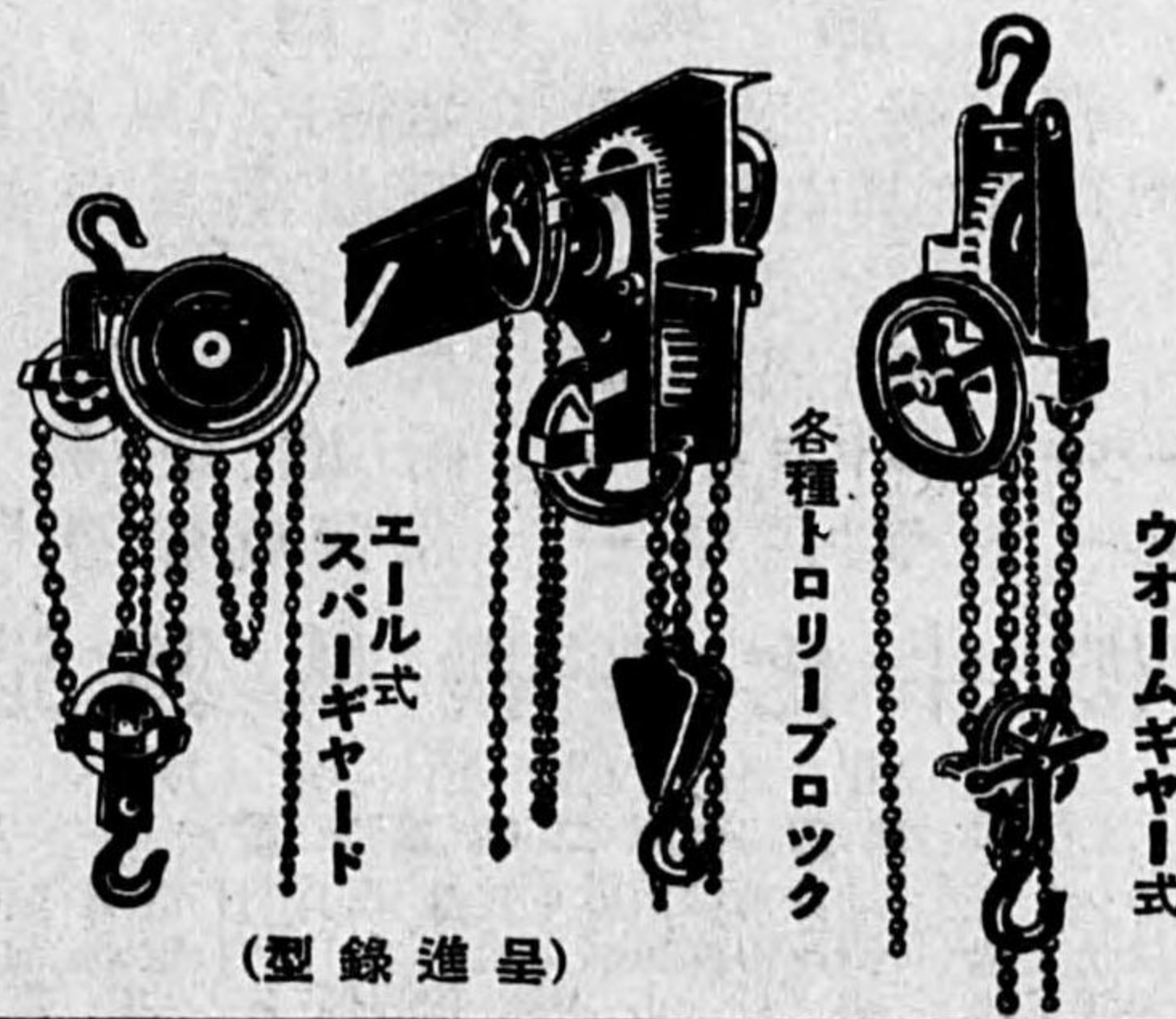
國産 “朝日印” 優秀



ウオームギヤード式
高速度三重式
各種トロリー
製造元

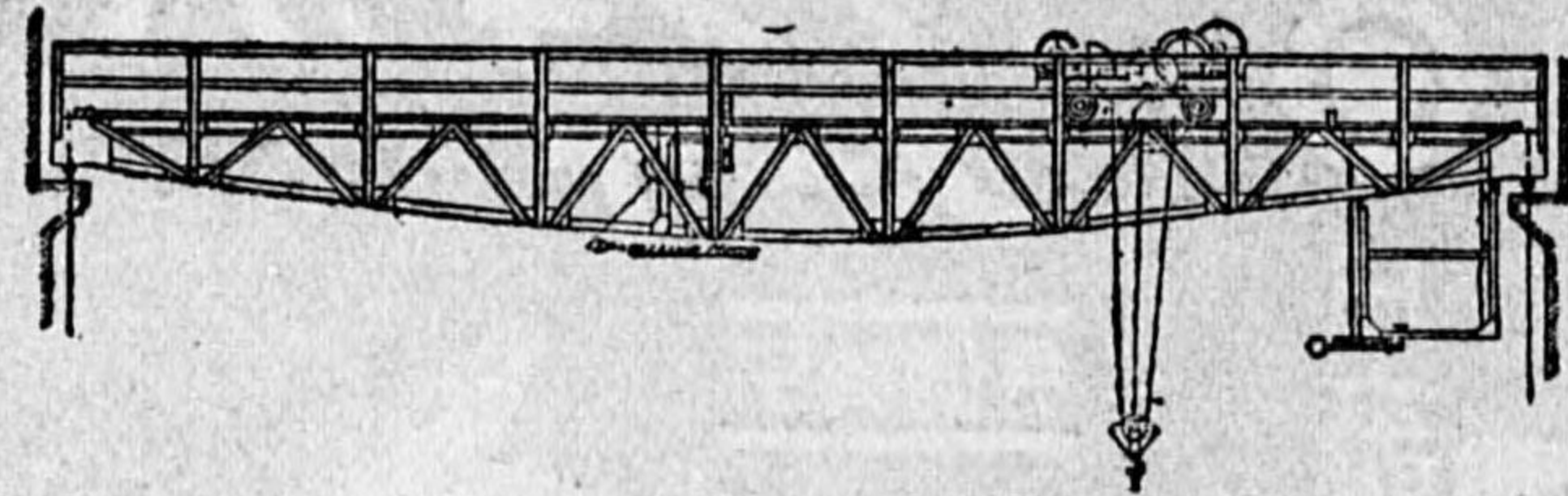
大阪市長速區反物町一三三二
合名 中元鐵工所

電話櫻川三〇六九・五七〇三番
振替口座大阪一六一六六番



(型錄進呈)

後七六



營業課目

エレベーター
リフト
捲揚機、起重機
オーバーヘッドレール
コンベヤ
エンドレスロープ
ケーブルカー
其他輸送用諸機械

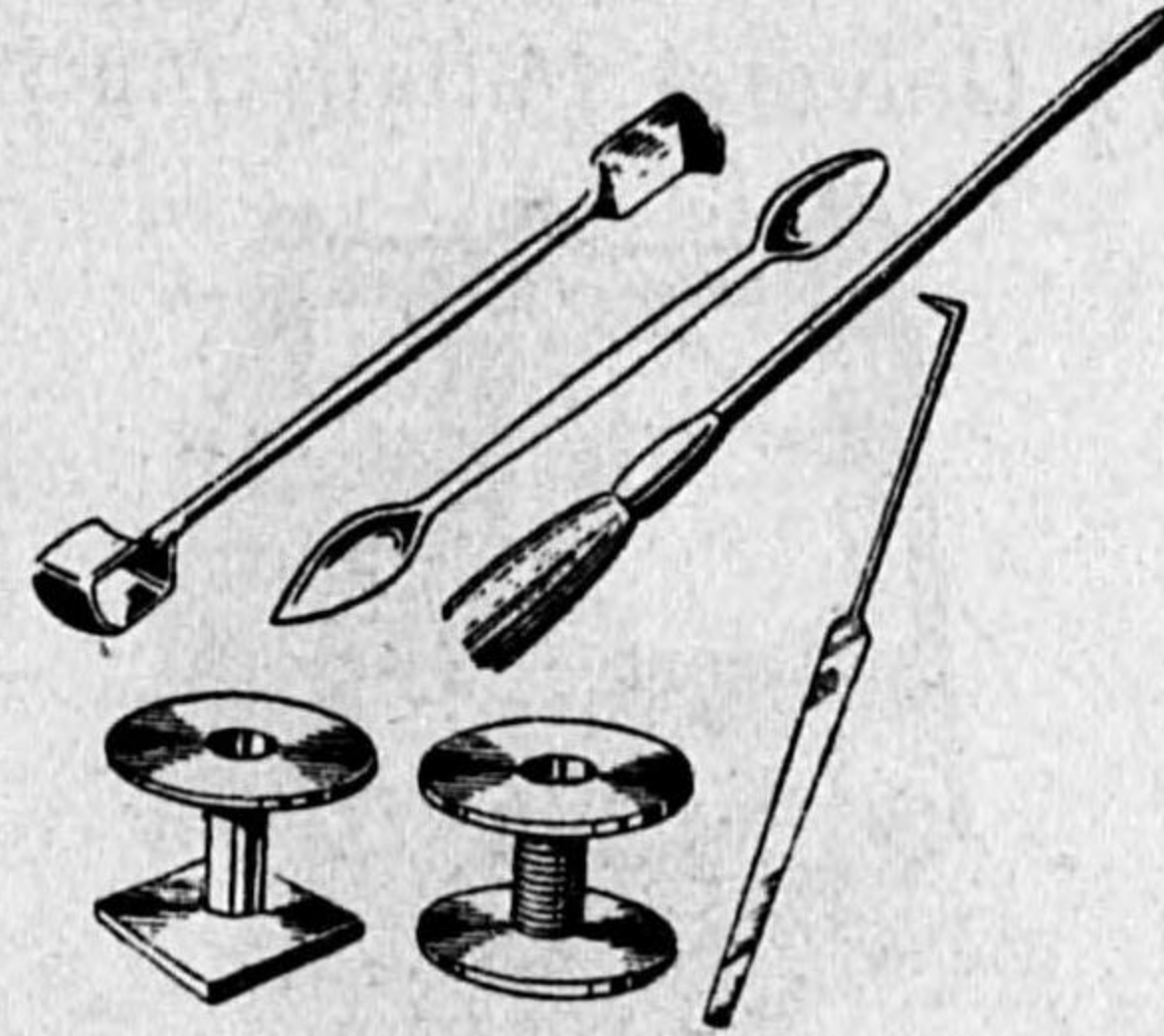
合資會社

中央製作所

大阪市北區中之島四丁目二五

電話 土佐堀二六五八・六五四二番

鑄造用



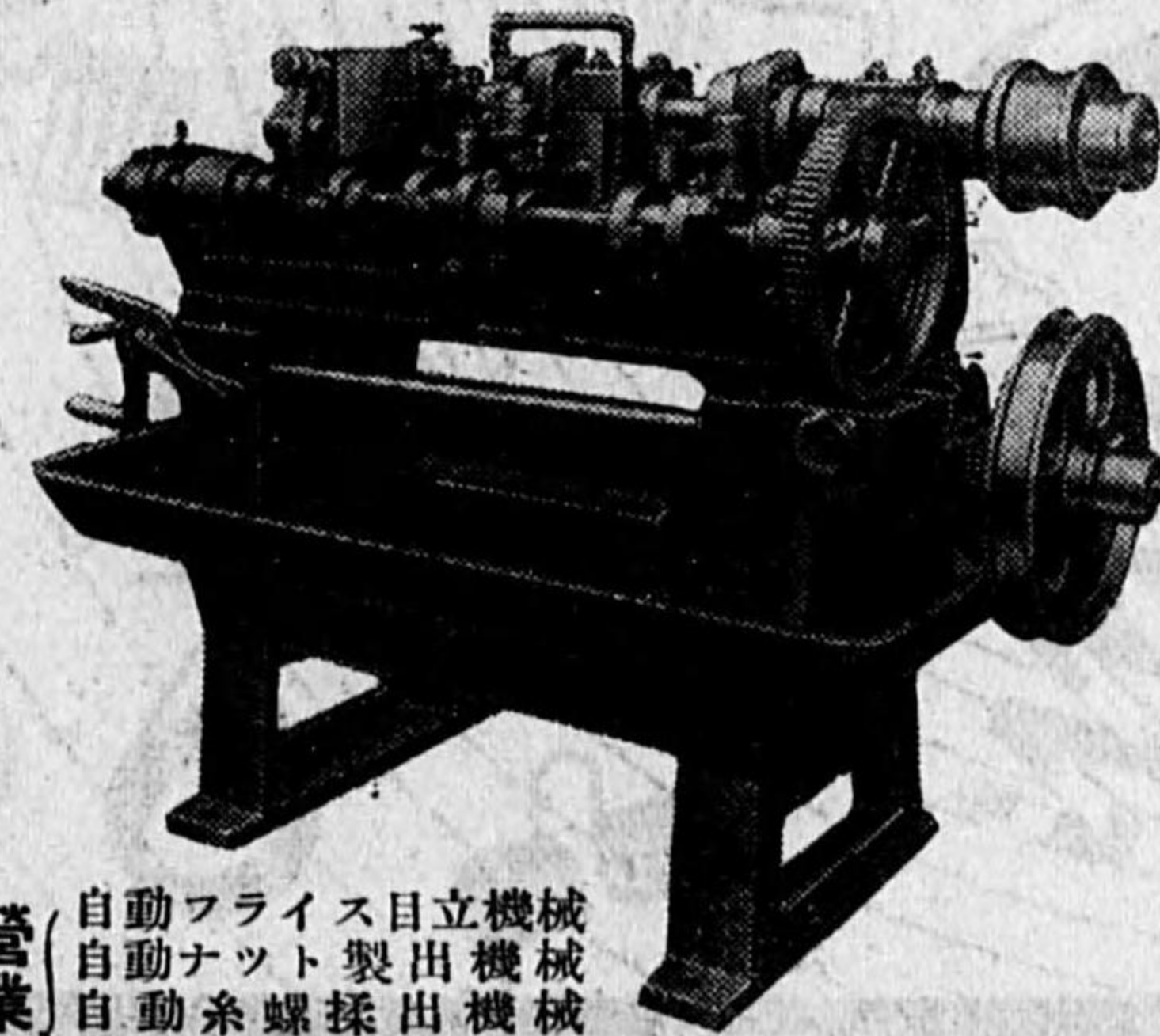
筆其他諸道具製作
鋼製ヘラ、ケレン

合資會社 吉田ケレン製作所

大阪市東成區南中道町四ノ五

電話 南一三二一 番

斯界ニ誇ル最優秀品!



自動ナット式
切出機

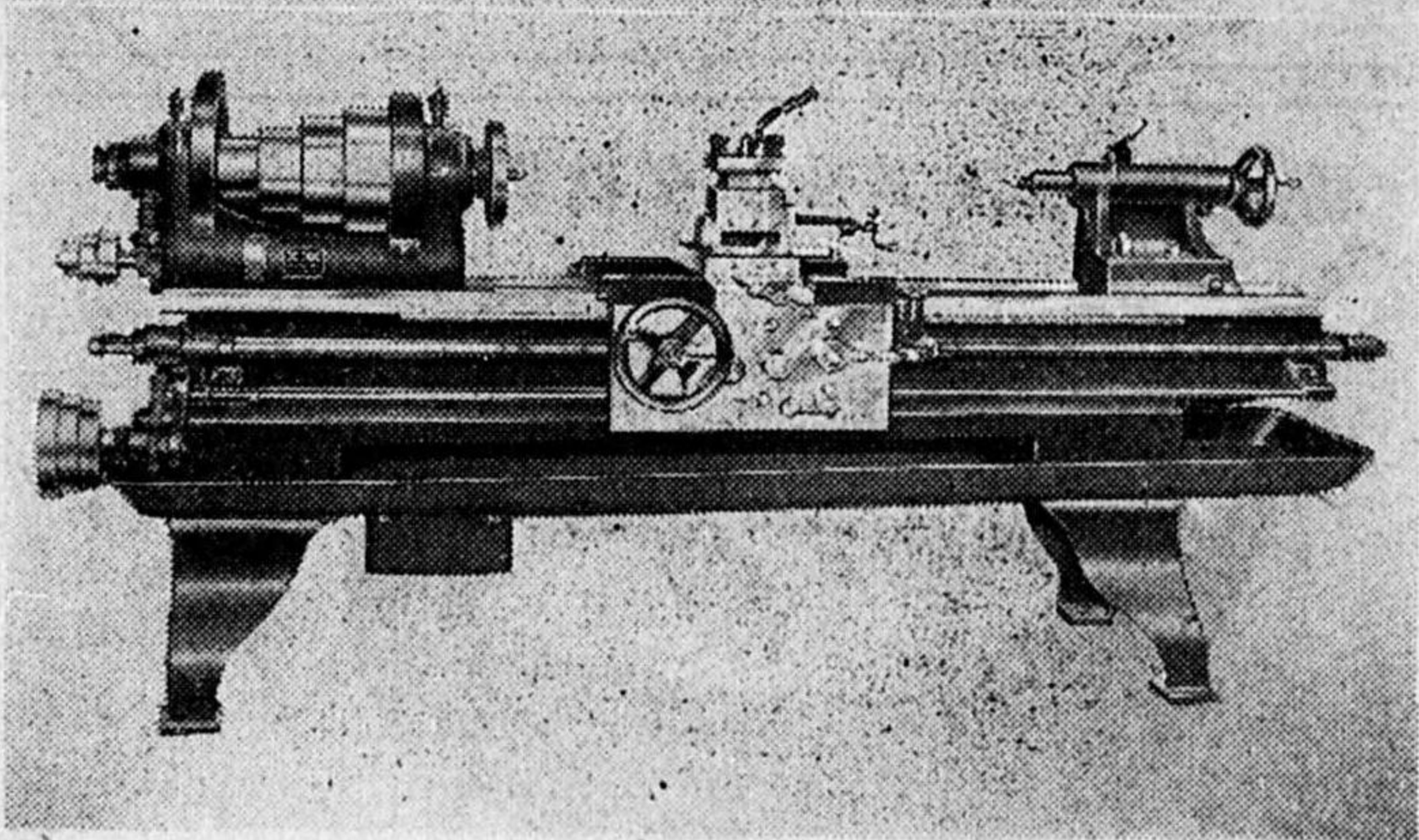
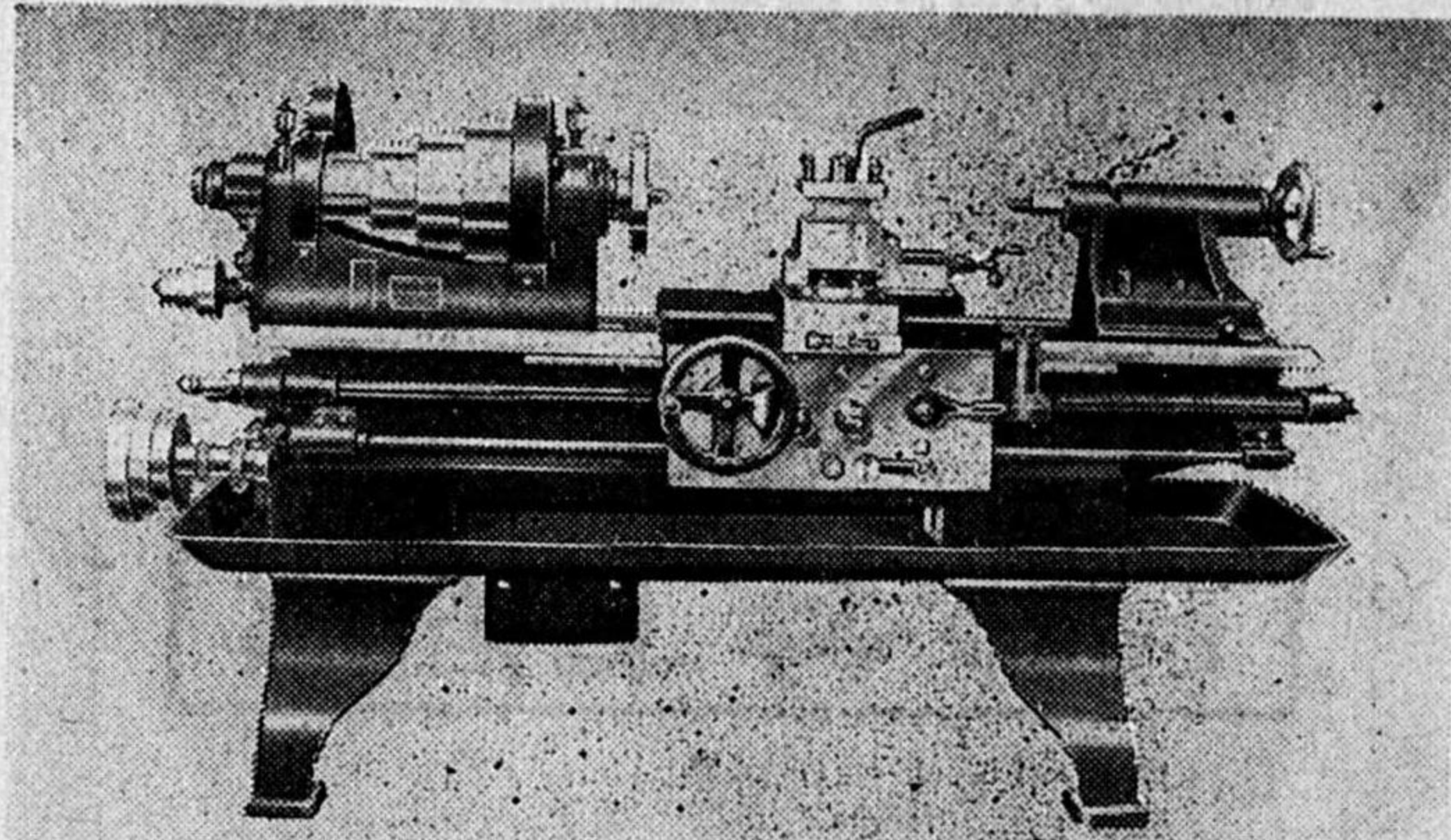
近藤機械製作所

大阪市東成區南中道町四ノ三四

營業課目

機械 機械 機械 機械 機械
立出機 揉切機 筋入機
目製機 子切機 筋入機
ス製機 捻子切機 筋入機
フライナット機 木捻子切機 筋入機
自動ナット機 自動木捻子切機 筋入機
自動ナット機 自動木捻子切機 筋入機

八 呎 米式強力精密旋盤



中 川 鉄 工 所

名古屋市中区菜場町三八番地
電話南⑥七三〇九番

後八一

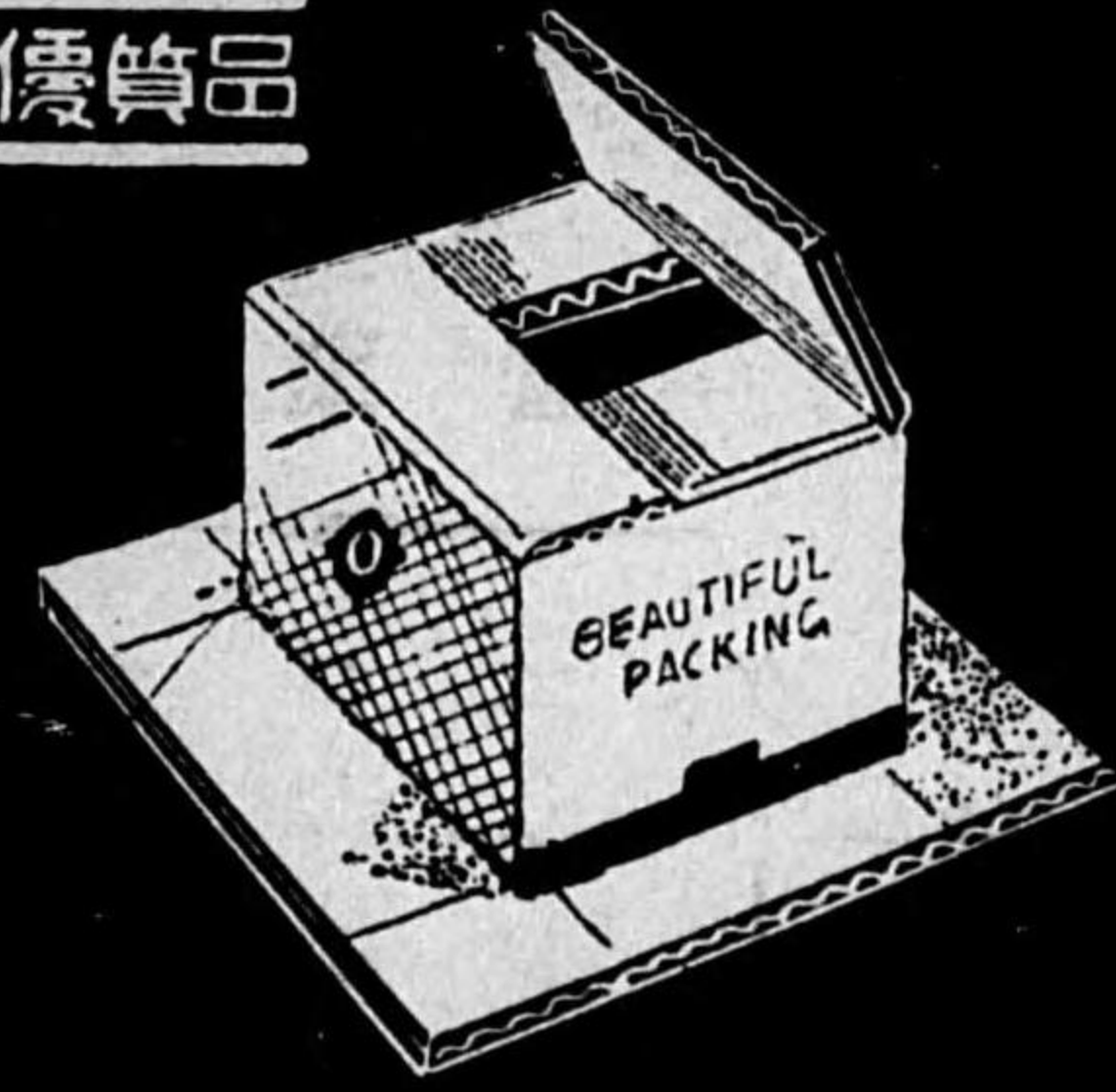


日本聯合紙器製作所

大阪市東成區深江中四丁目一三番
電話東④八一六五六一番
電話大阪④八一六五六一番

グンキッパ
スーケ

秀優賞品



目 種 業 營

ボイラー、エンジン
エヤーコンプレッサー
真空ポンプ
各種ポンプ
諸機械鐵工一式

御注文ニ依リ
設計製作
御照會ヲ乞フ

(各種在庫豊富)
(中古品豊富)

中 原 清 四 郎 商 店

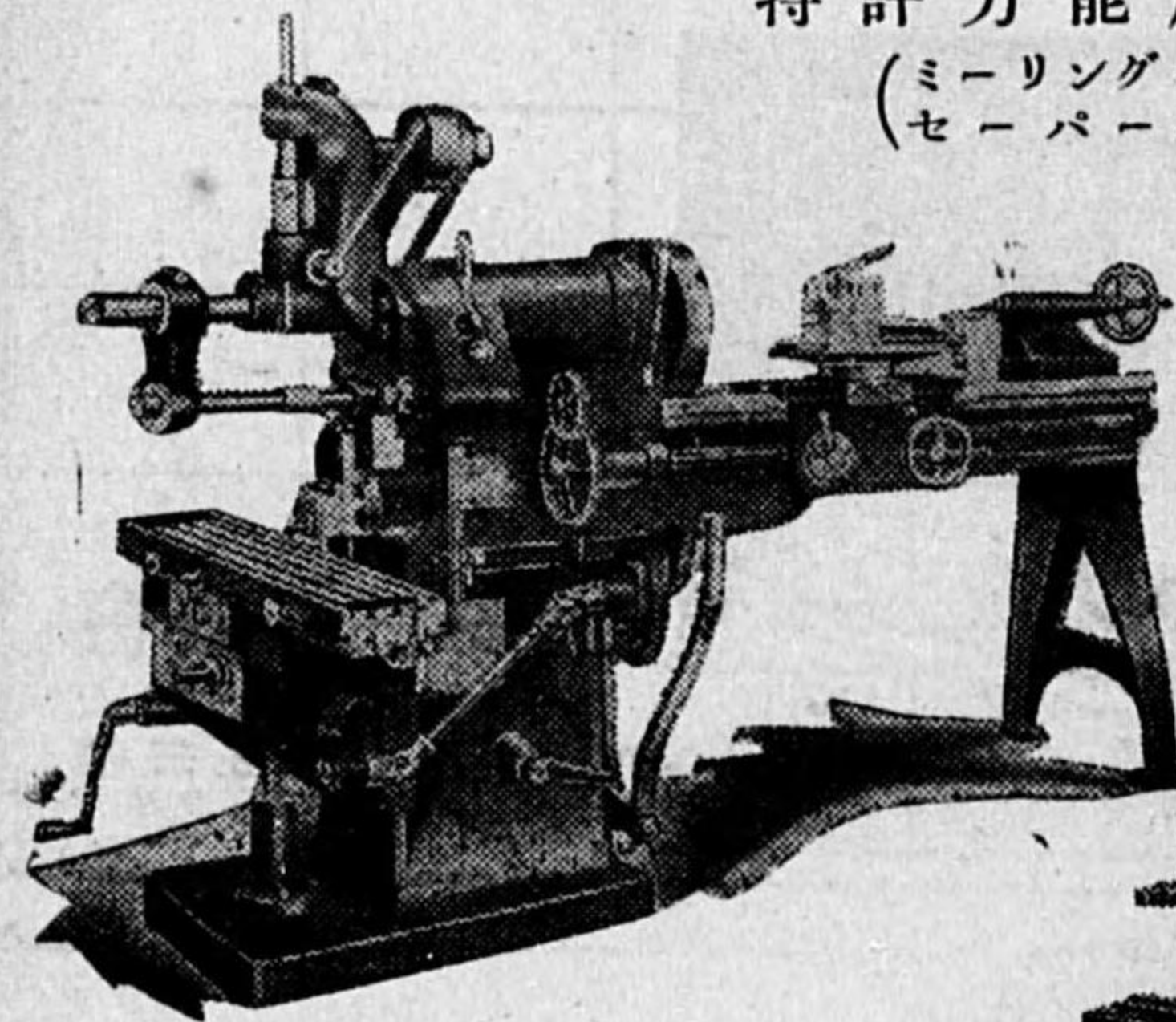
營業所 大阪市港區九條中通一丁目
電話西一三五一番
工場 港區九條南通三丁目

後八〇

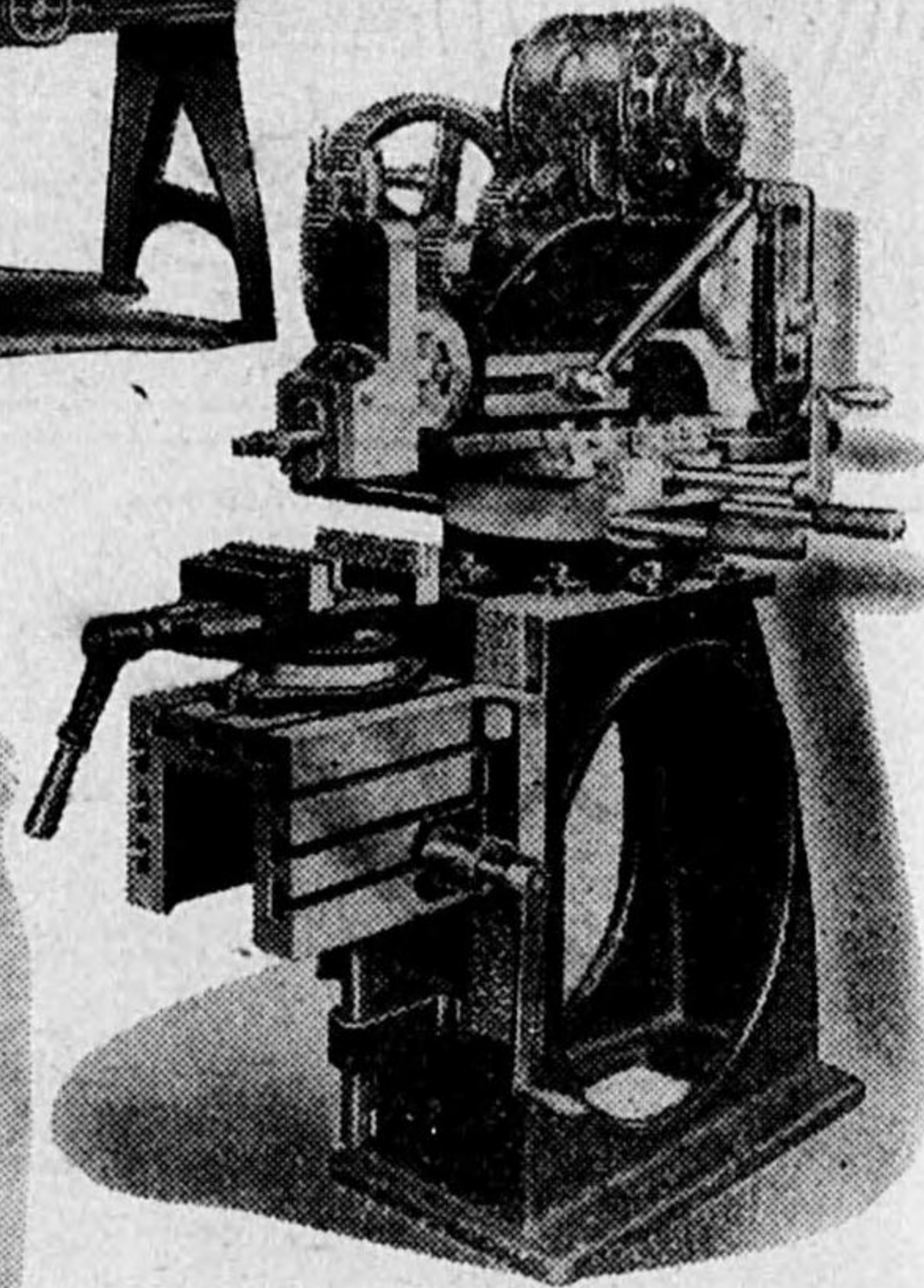
マシンツールの革命!

特許万能旋盤四作用

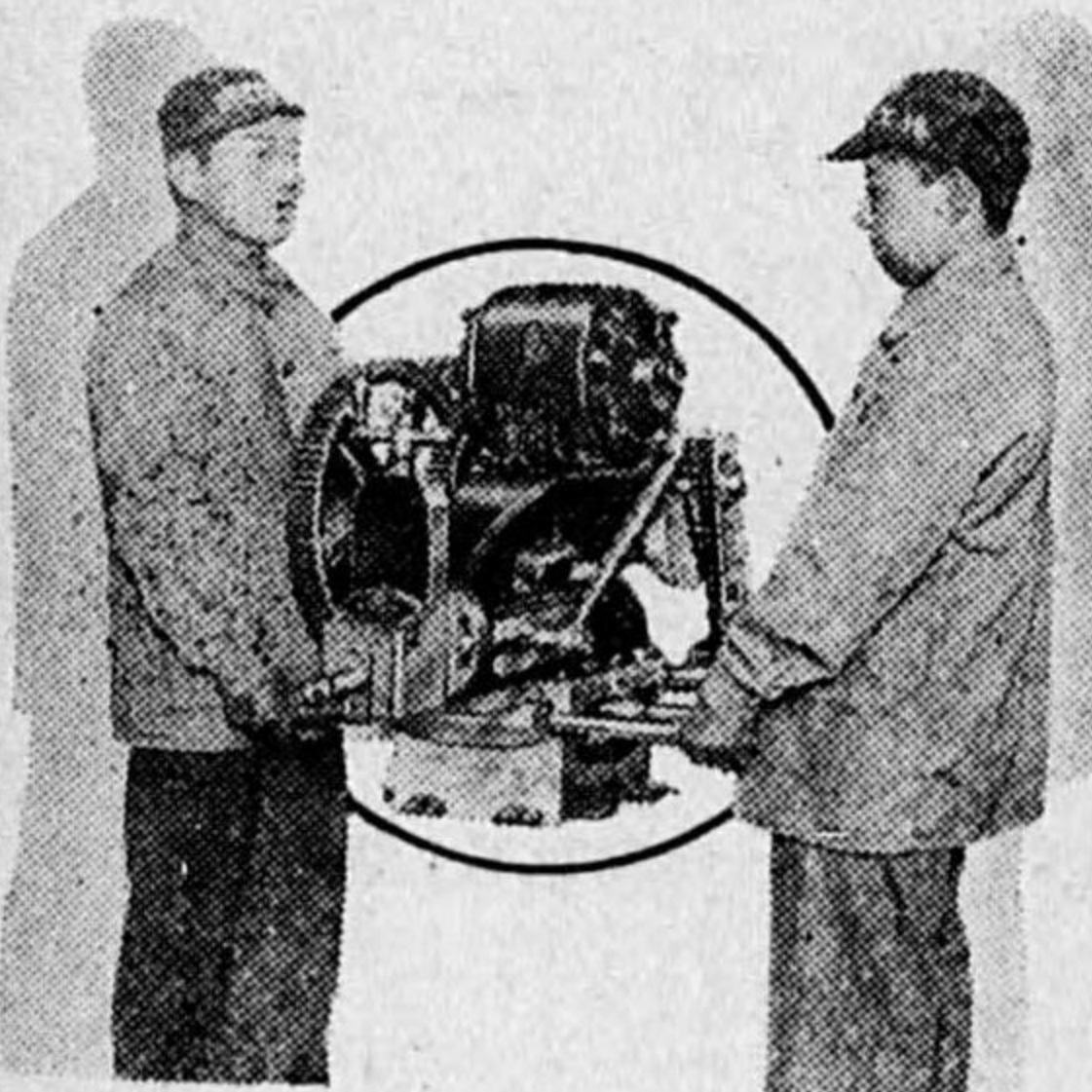
(ミールリング・ボール盤)
(セーパー・旋盤)



特許移動式10吋セーパー
(モーター直結)



取外シ何處へデモ持運自由



關西代理店 大阪市西區立賣堀南通五丁目

渡邊節商店

下川工務所

名古屋市西區名塚町新菊井173番地 電話西⑥1545番・2818番

後
八三

防錆塗料

(光明丹代用)

船具塗料商

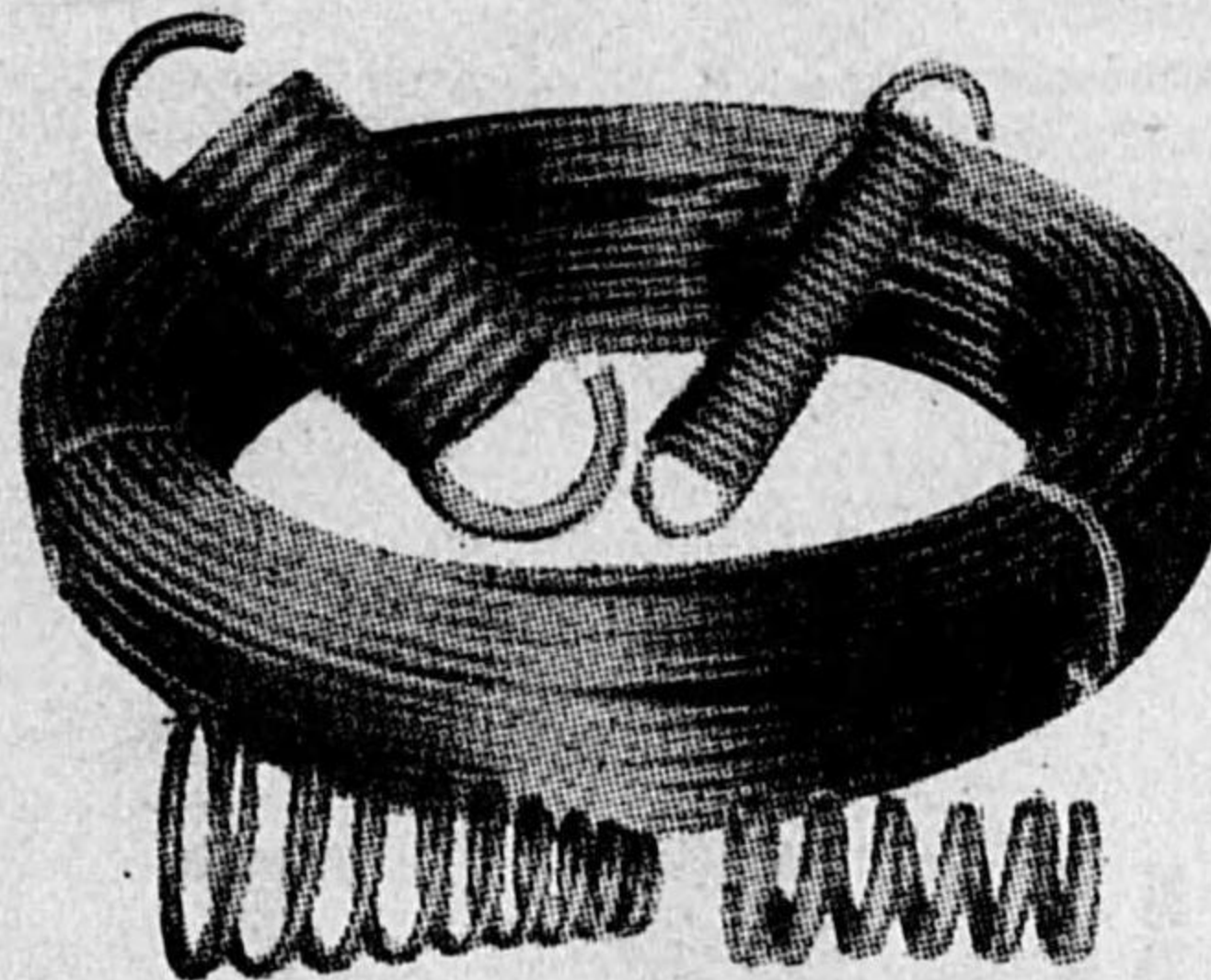


合資会社 井上商店

神戸市兵庫區西出町二二六番屋敷
電話兵庫⑥1099・2206番 振替神戸457番
工場 神戸市兵庫區東出町二丁目

高級鋼線及スプリング材料問屋 (附 帶) 發條製作

スプリング部
諸機械用其他各種發條
百般設計・考案・製作



【難物歓迎】

商報贈呈

若月源壽商店

大阪市西區立賣堀北通五丁目
電話新町⑧3459番・振替大阪27394番

工業用
ピアノ鋼線
耐酸性スプリング用不銹鋼線
ブライト鋼線
特殊合金線・帶・板
焼入鋼線及帶板
各種スプリング用鋼線
諸官公署規格鋼線
各種異型及鍍金線
各種工業用鋼線

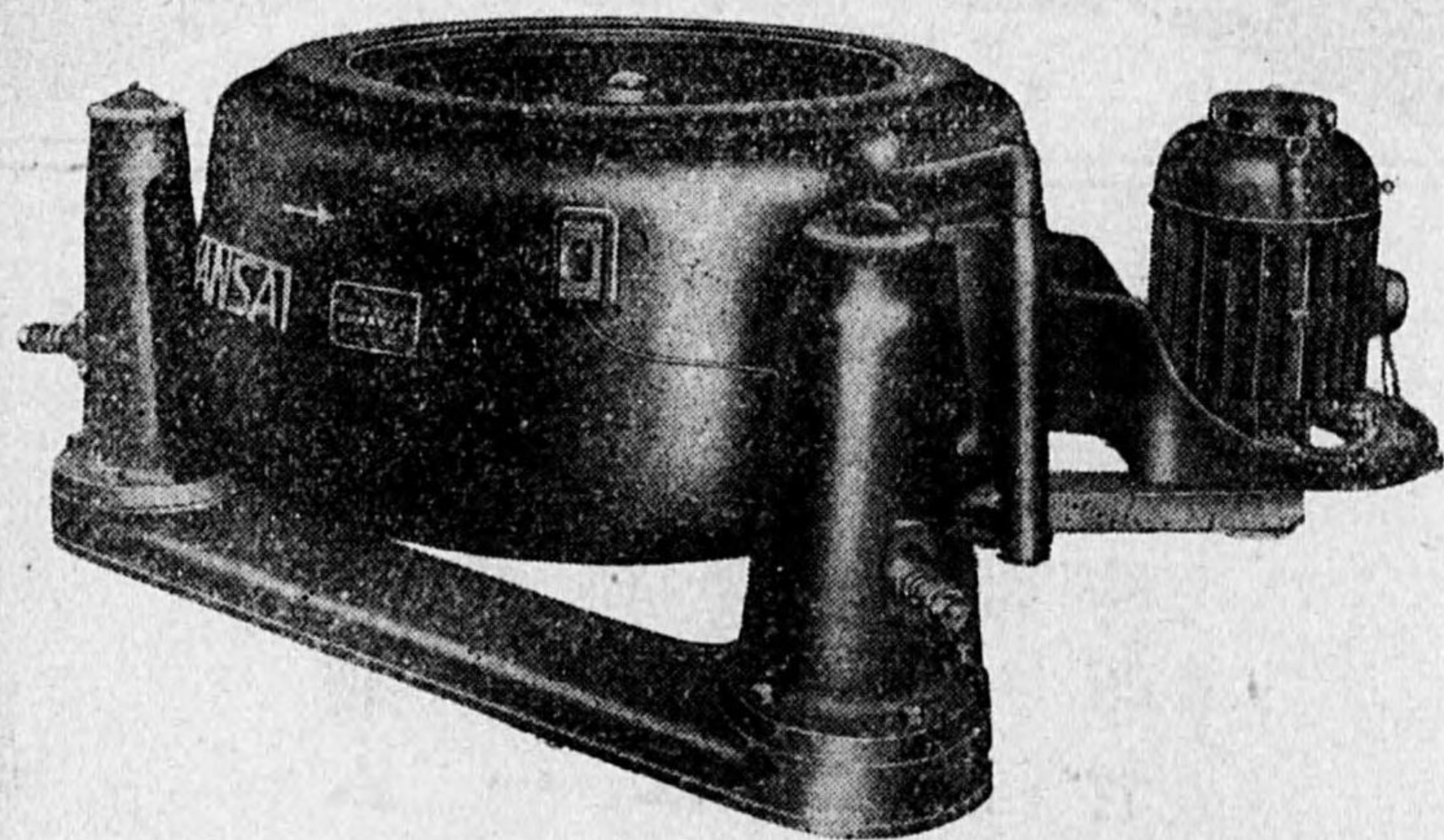
後
八二

高級 各種
流線型 遠心分離機

…専門製作…

用途

硝化綿、人造絹糸、セルロイド
 製油、製餡、製糖、製粉
 曹達、製紙、人造肥料
 製薬、製鹽、鍍金工場用

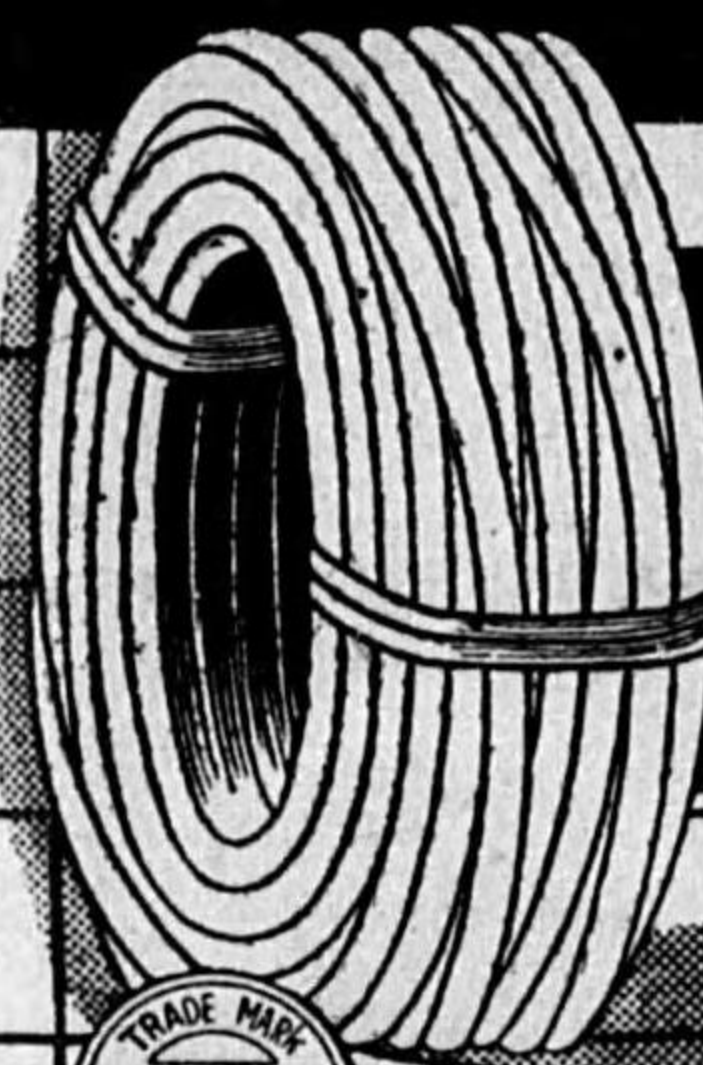


関西脱水機製造所

大阪工場 大阪市旭区赤川町四丁目一七〇九番
 電話 堀川 二二三番
 名古屋工場 名古屋市南区西古渡町中島
 電話 南長 二六六番

後八五

工業用ゴム一式



サクシオンホース
 高圧酸ホース
 機械用ゴム
 水送用品
 パッキンク



大澤ゴム商會

大阪市北区北扇町四六
 電話 北七〇五三番
 工場 大阪市東成区東今里町

斯界の權威
フィルタークロス

メトロポリス印

濾過布

用途

塗料・肥料・人絹・餡・石油・鑛山
 イースト・砂糖・染料・麥酒・顔料・各種化學工業用

製織發賣元

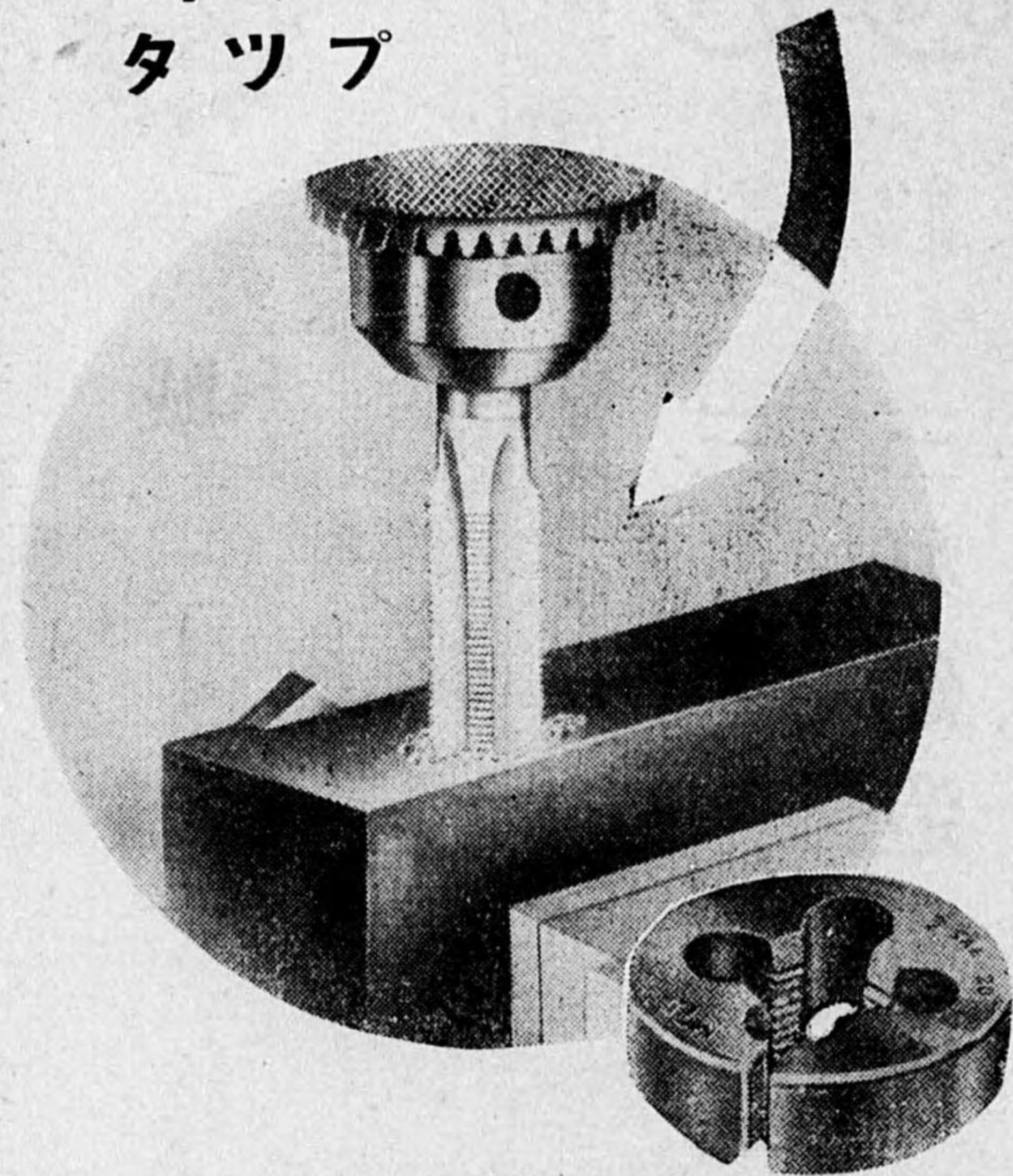
合名社 **於勢商店**

大阪市西區本田町通三丁目
 電話西三六四・一九二〇・四四六〇

後八四

M.T.D. TAPS AND DIES

ハンド
パイプ
タツプ



舶來品をノックアウトしたる

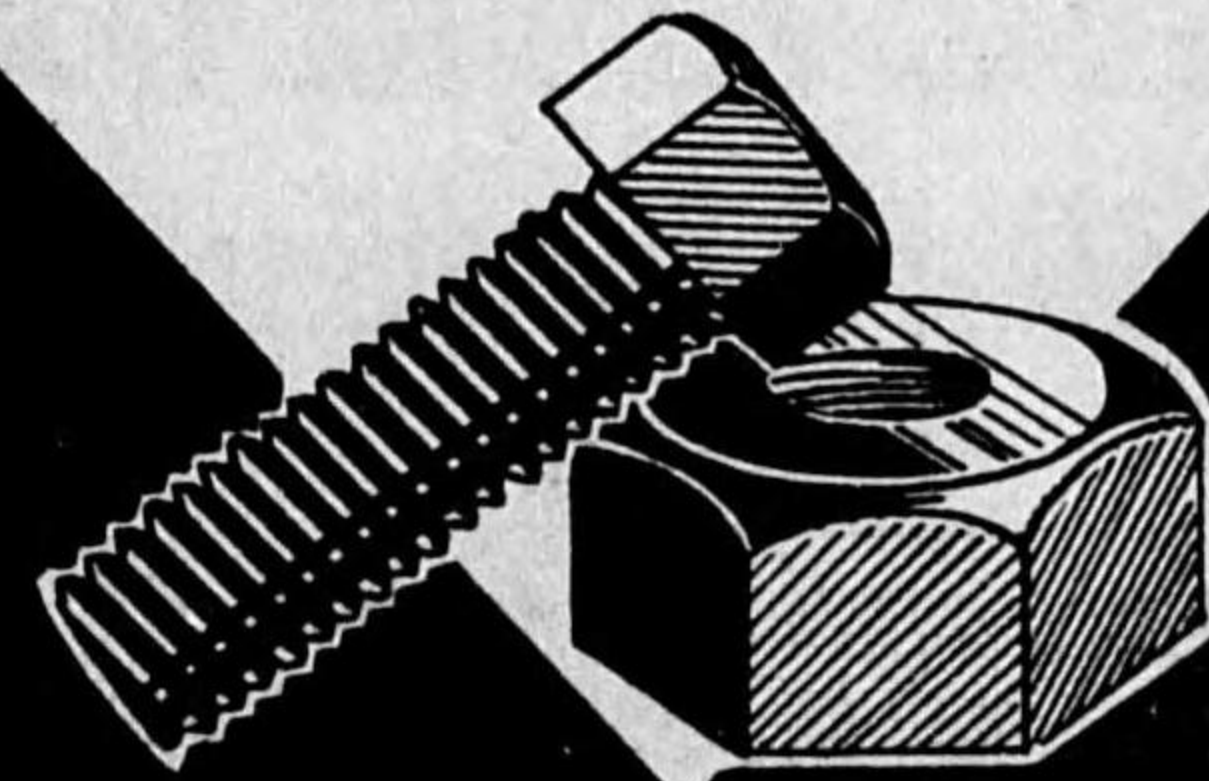
絶對他品の追隨を許さず

全國有名機械工具店にあり

營業目錄

日本標準規格 ウイツトウオース規格
アルサス紡機規格 紡織機各種ネジ
其ノ他精密螺子一切特種ネジ及各種ネジ
製作ニ應ズ

各種ネジ製作専門
カタログ進呈



鋼材工具
諸機械

吉田造商店

大阪市西區新町通三丁目四五
電話新町四六七一番

營業課目

試金分析用品
紡織用塗料藥
亞砒 砒 酸
セレンニウム

松 垣 藥 店

大阪市北區樽屋町一一
電話堀川2587番・振替大阪2829番

“ORIENT”
オリエンツ反斯管檢型



日立電動工具



金 床



理 研
旋盤用チャック



O.K.N
パイプレンチ



モンキレンチ



機械工具製作販賣
井上機工商事株式會社

大阪市南區內安堂寺町三丁目
電話東二一六四・三〇七一・四六六三番

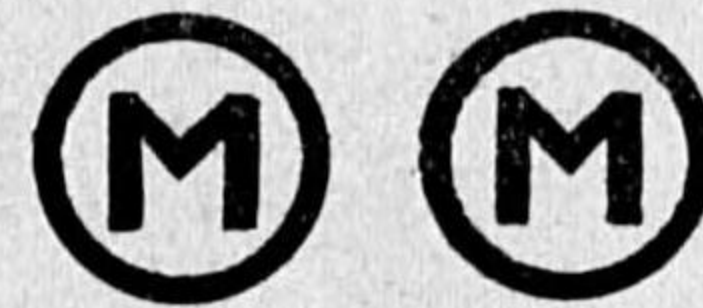
諸機械及精密工作器具製作販賣



城 下 工 作 所

工場 大阪市旭區蒲生町三三四
電話旭二七四四番

高級諸機械鑄造並ニ諸機械製作



會合
社資

三好鑄造所機械部

大阪市大正區泉尾松之町五丁目五番地
電話櫻川⑥三四四番

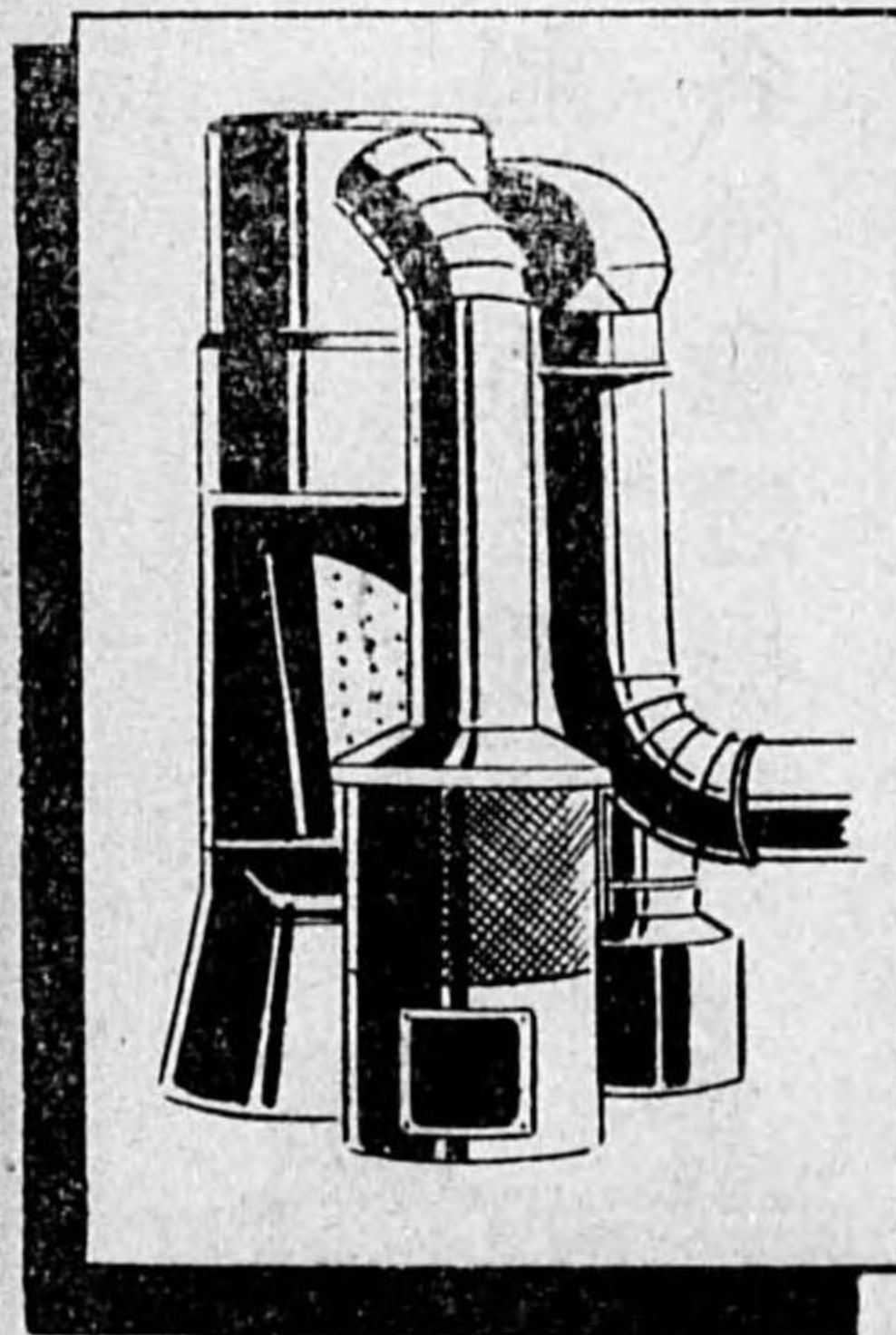


會合
社資

三好鑄造所

専賣特許 稲田式 空気浄化集塵装置

貴工場の空気浄化に
飛散せる微粉塵の回収に
是非弊器を御指定あれ!



用途

木工場・コルク工場・製薬工場
織布工場・エポナイト工場
黒鉛工場・カーボン工場
セメント工場・亜鉛華工場
其他微粉末処理工場・一般工場

製造元

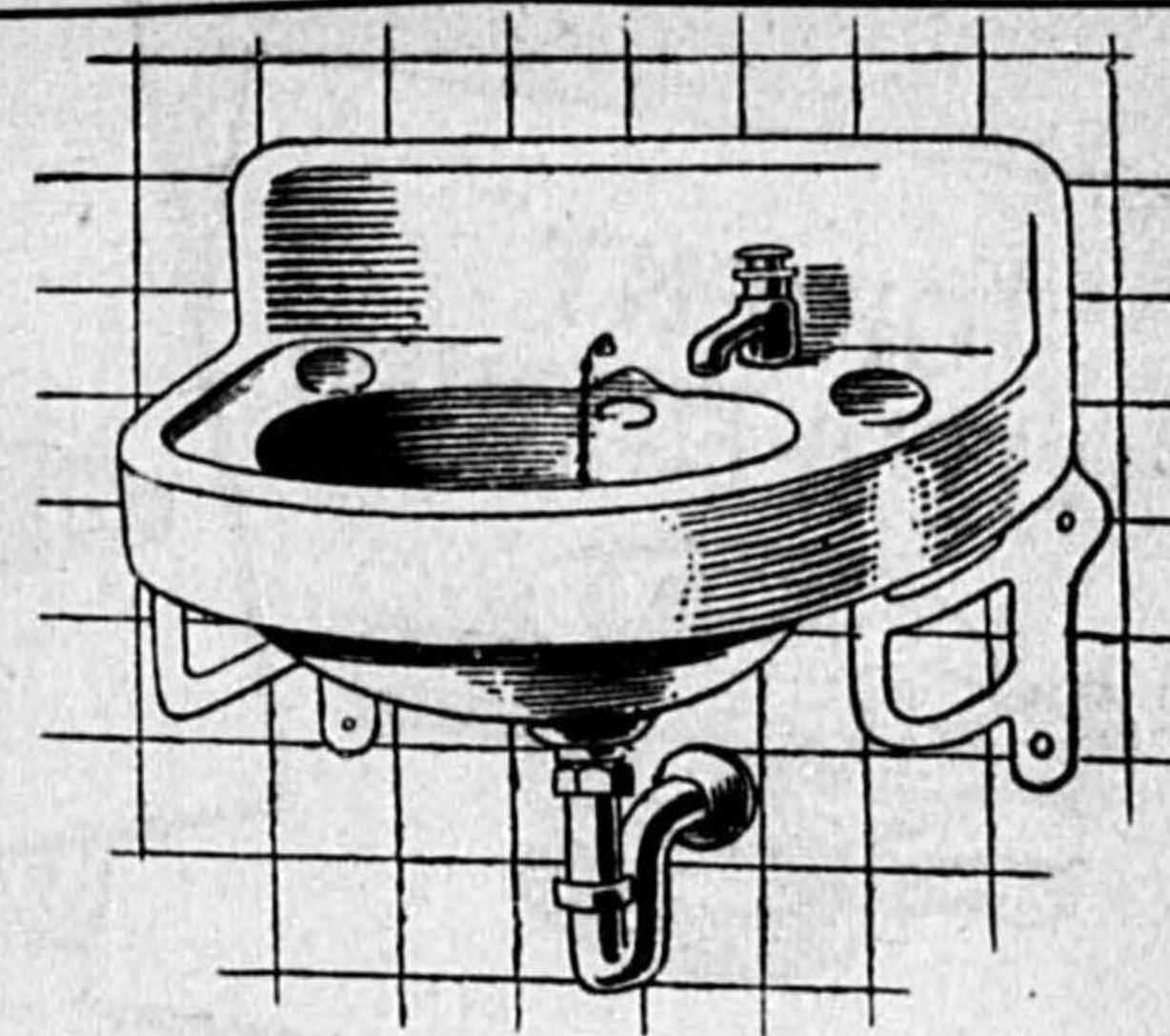
大阪除塵器製作所
大阪市西淀川区浦江中二丁目二
電話 福島 2847 番

代理店

大倉商事株式会社
大阪支店 建材係
大阪市東區釣鐘町二丁目二九
電話 東 321-325 番

後九一

洗面器・便器
附屬金物
タ イ ル
モ ザ イ ク



株式会社豊橋製陶所神戸販賣所
東邦サニタリー製陶所神戸販賣所

東 光 商 會

神戸市葺合區御幸通八丁目一一六 (瀧道交叉點東詰)

電話 葺合 2799 番 振替 神戸 一三八〇 番

国産優良



田原之助商店

大阪市西區立売堀南通三丁目
電話 報 野 八六五 番

營業種目

アスファルト及石油ビッチ
鯨印便利瓦及フキルト
鯨印アスファルト麻布及綿布
鯨印萬代瓦及アスファルト目地板
蝙蝠印便利瓦及フキルト
木煉瓦及アスファルトブロック
アスファルトプライマー及ナスチック
アスファルト乳劑及重油
寒水石粉及蠟石粉
富士テックス及アスファルト刷毛
壁面塗裝材セメンファルトテックス

日本石油株式会社・日本木材防腐株式会社・日本
軍油株式会社・大日本アスファルト工業株式会社
セメンファルト工業株式会社

販賣所

中 西 商 會

東京市日本橋區吳服橋一ノ三
電話 日本橋 一七九〇 番
二五六 番
振替 口座 東京 七一三六 番

後九〇



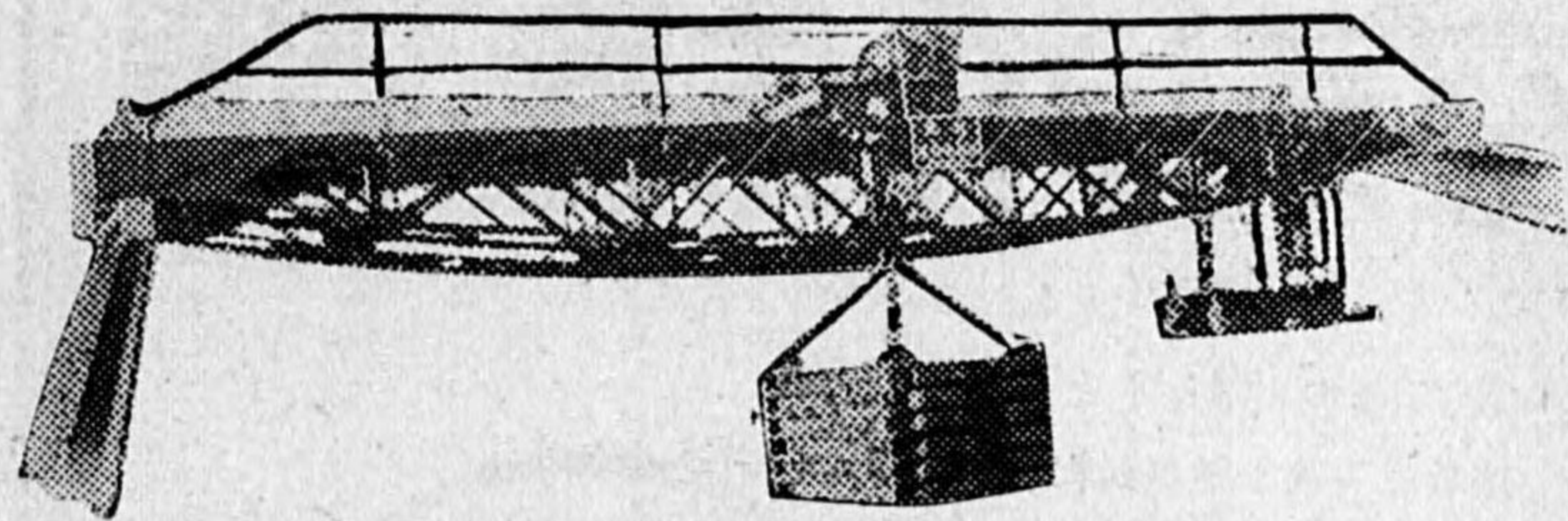
ボルト・ナット・リベット 角座・丸座

鉄骨材料・鉄筋材料 一般鉄材

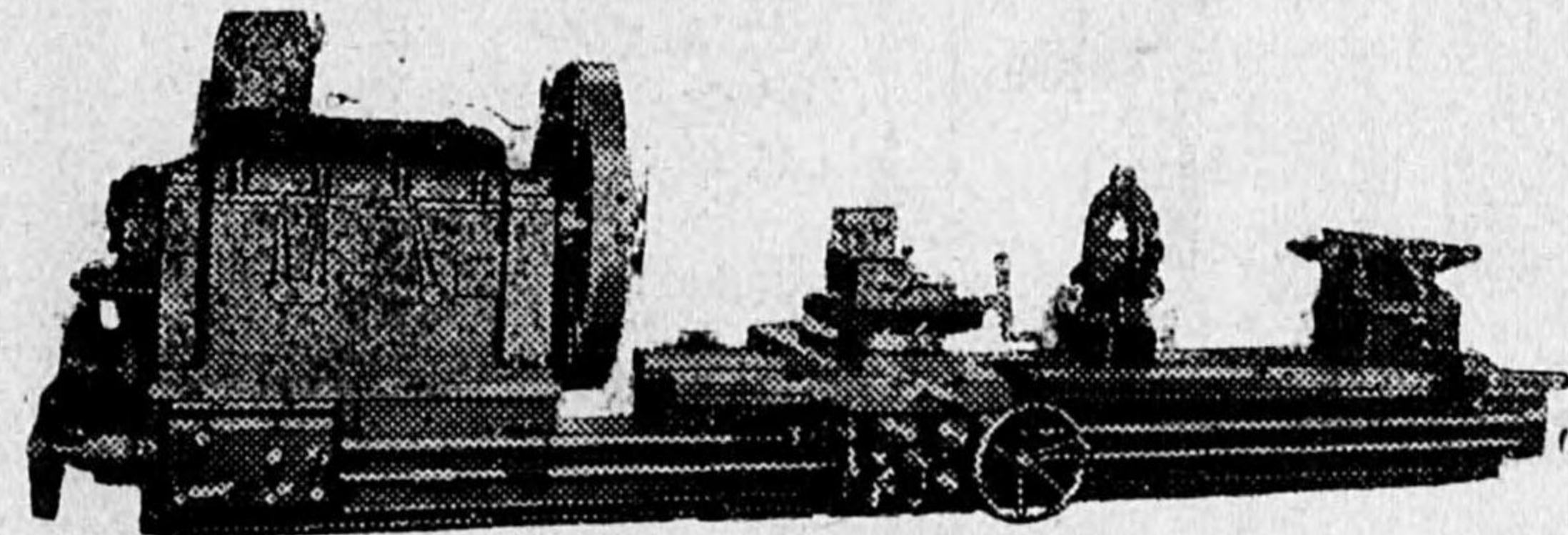
カタログ進呈

後
九三

星加式起重機及大型高級旋盤



營業種目	
諸機械製作	大型高級旋盤
各種ポンプ	道路輾壓機
各種輸送機	起重機



大阪市大正區泉尾松之町一丁目二九

合名會社 星加製作所

電話櫻川(四)三一一番

後
九二

株式會社 所鋼鑄氣電立共

大阪市西淀川區大和田町一三六一
電話 福島 0708 番

製品種目

鋼鋼械爐
鑄鑄機
通殊山氣
普特鑛電

營業品目

耐熱鋼 不銹鋼 銅
耐酸鋼 高級特殊鋼
純ニツケル合金
輕合金 各種高級合金

代表取締役 西脇徳和

後九五

株式會社 所鋼製殊特脇西

大阪府豐能郡庄内村字菰口
電話 三國 271 番

大同電力株式會社

取締役社長 增田次郎
常務取締役 藤波收
同 永松利熊

後九四

所鋼鑄電氣立共株式會社

大阪府西淀川區大和田町一三六一
電話 福島 0708 番

製品種目

鋼鋼機械爐
鑄鑄機
通殊山氣
普特鑛電

營業品目

銅 鋁 鋼 不 鋼 銅
高級特殊鋼
純ニツケル ニツケル合金
輕合金 各種高級合金

代表取締役 西脇徳和

所鋼製殊特脇西株式會社

大阪府豐能郡庄内村字菰口
電話 三國 271 番

後九五

大同電力株式會社

取締役社長 增田次郎
常務取締役 藤波收
同 永松利熊

後九四

電氣絶縁材料

ファイバー
日昭ライト
アートライト
マイカ
フィッシュペーパー
エンパイヤ類
エポニー
布入歯車材料
ラヂオ材料

ベークライト
日昭化粧板
エポナイト
プレスボード
レツドロップ
各種テープ
トランサイト
アスベスト
型録進呈

阿部商店

東京市芝区新堀河岸三四(芝園橋電停前)
 電話三田④0485・3363・3971・4268・4269 (倉庫)
 振替口座東京九六六九三番

蔵前出張所
 東京市浅草区蔵前三ノ六
 電話浅草三五二六番

蒲田出張所
 東京市蒲田区東蒲田一ノ一ノ二
 電話蒲田二一三四番

成型部エーライト製作所 東京市芝区新堀河岸三一號地

製 作 品 目

化 學 工 業 用

吸 收、吸 着、蒸溜装置一式、硝化機、攪拌機
 冷却器、オートクレーブ、濾過機、遠心分離機類

耐 酸 金 屬 製 品

耐酸不銹鋼、硅 素 鐵、硬 鉛、ニッケル
 モーネルメタル、アルミニウム加工品一式

熔 接

電氣熔接(交流、直流、及アトミックハイドロゼン
 酸 素、水 素 熔 接 作 業 及 出 張 工 事 請 負

東京市芝区芝浦二丁目三番地

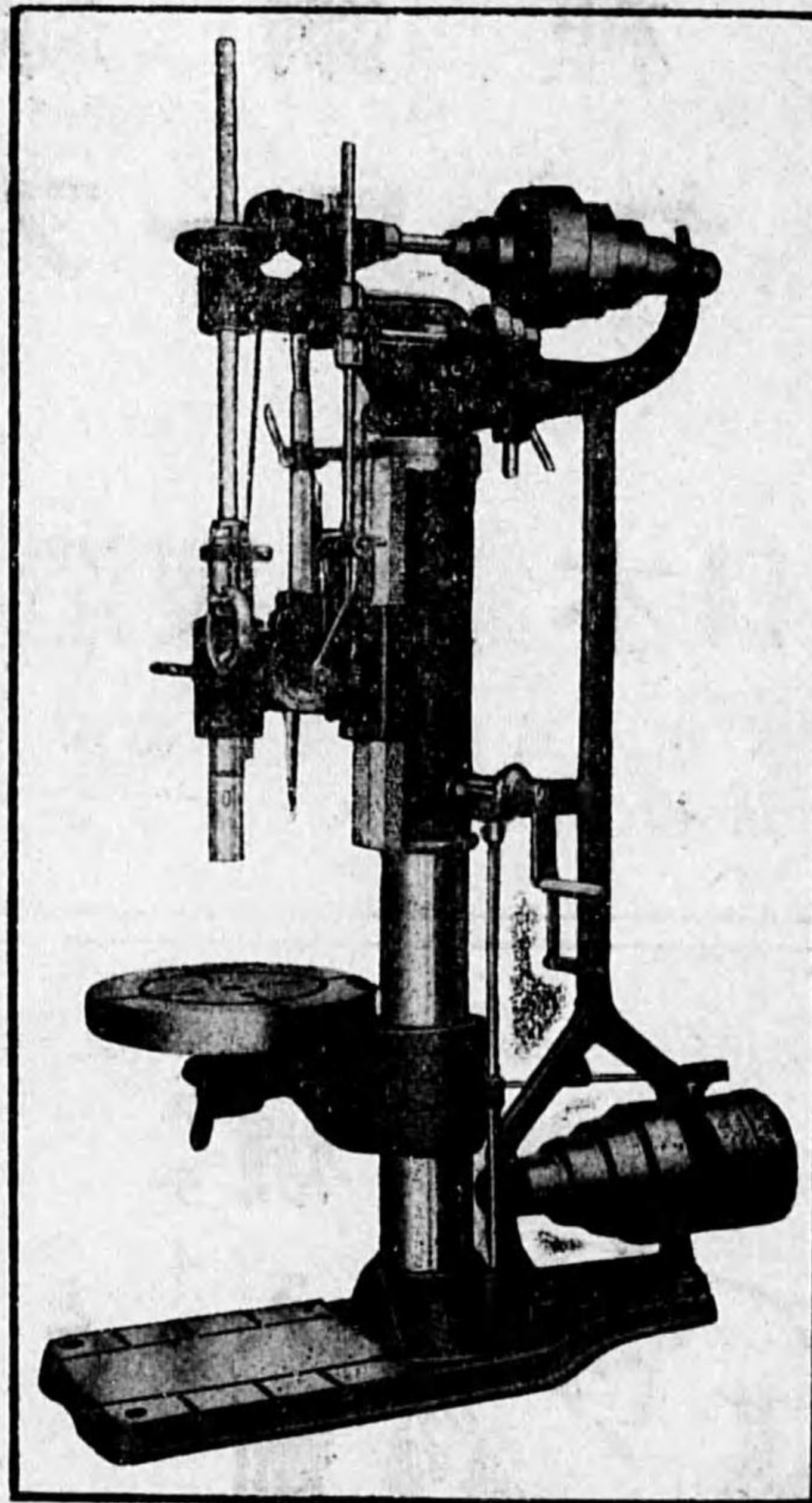
大 江 工 業 株 式 會 社

電話三田④ (一六九八・二〇一四
 二〇一五・二五七〇)

出 張 所 宇 部 市 西 區 松 島 通 り
 電 話 宇 部 一 六 四 番
研 究 所 蒲 田 區 本 町 六 二 二 三
 電 話 羽 田 三 六 四 番

分 工 場

品川區南濱川町一七三一
 電話高輪④ 四四一〇八二番



アサヒ印工作機械製造及鑄造
特許西山式バス電車用方行幕機

② 西山鉄工所

本工場 大阪市東區味原町六一番地
 第二工場 大阪市南區和歌山一丁目三三番地
 鑄造工場 大電布施市永和市

カウベ・バッテリーライト

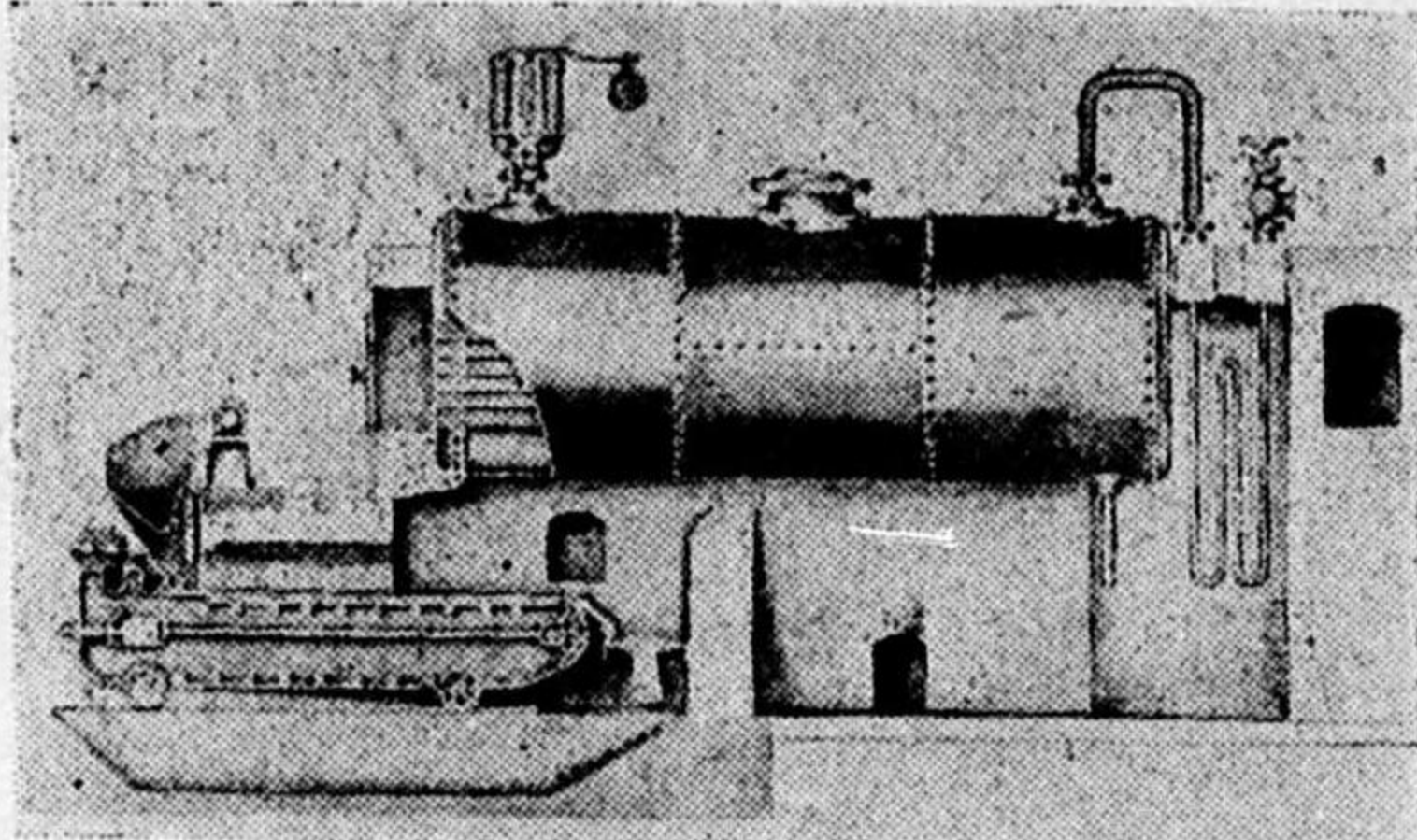


警備と互佐に
夜の太陽

神戸電機の蓄電池式照明灯

機炭給動自置設一ライボアシカンラ

CHAIN GREAT STOKER



蒸気罐ノ効率増進ト燃料費ノ節約ニハ當所製作自動給炭機ト蒸氣過熱機設置ハ斯界ニ定評アリ既ニ認メラル

模各高過 型各高過 組型教 合運活熱 式門熱 節搬各 裝各器 置機種

大坂府中河内郡長瀬村北蛇草(大軌電車後道停留所前)

三宅機械製作所

電話小坂七番二・三番

各種鋼線
ワヤロープ

日本鋼線製造所

大阪市大正區北恩加島町
電話櫻川(64)二〇六三番

錫亞了活鑛
銅版地
吹業
武田彌商店

大阪市浪速區西園手町一〇一九
電話櫻川四六一二番

後一〇一

V型ハマロープ
(一名グツドリツチVベルト)
各種調整
卸
秋田商會營業所

大阪市浪速區敷津町二丁目
電話戎九六四・二四三番

横濱護謨製造株式會社特約代理店

エステイ
焼入油
と
エステイ
焼入劑



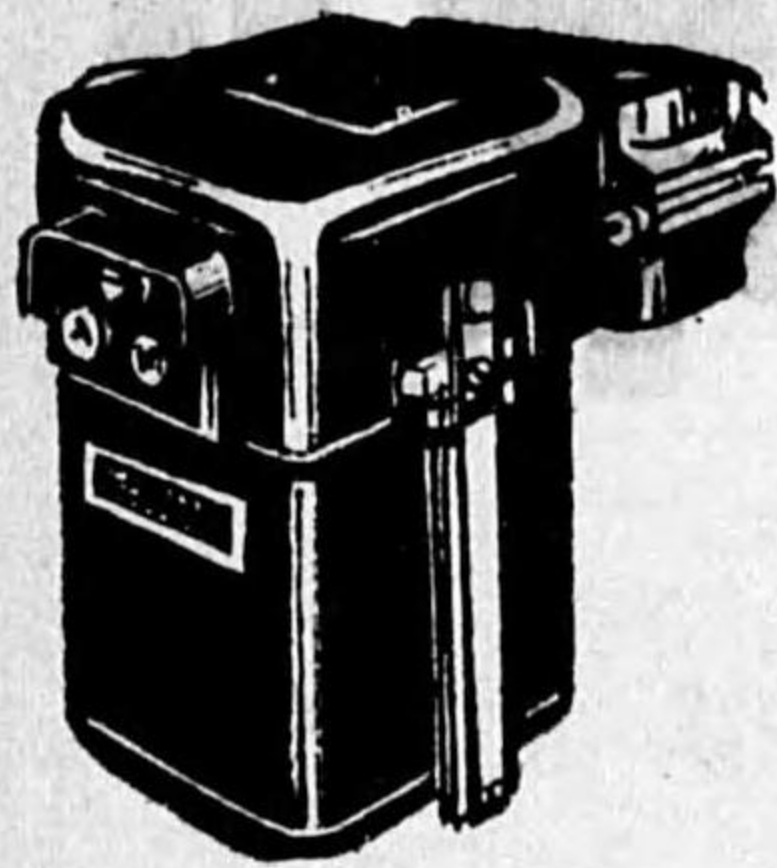
會社資三恩商會



本 社 大阪市西區京町上二丁目一三番
東京事務所 東京市麻布區三軒屋一丁目一〇三番
名古屋事務所 名古屋市中區區代官三丁目二五番
電話東京七二二三番

後一〇〇

B-20型起動安全開閉器



- ◇手動押卸操作◇
- ◇熱動過負荷繼電器◇
- ◇短絡引外装置◇
- ◇磁気吹消装置◇
- ◇銀接觸子◇
- ×3相220ヴォルト用5馬力迄×
- ×3相440ヴォルト用7½馬力迄×

GM-36型油入電磁開閉器



- ◇押卸操作◇
- ◇熱動過負荷繼電器◇
- ◇二重遮断式接觸◇
- ◇プラスチック容器入◇
- ◇特許表示装置附◇
- ×220ヴォルト用5馬力迄×

奥谷電器製作所代理店

福理工業社

大阪市北區曾根崎上一丁目四三番
電話北七八一九番

最高權威  月星製品

月星黒鉛・黒味・ルツボ
鑄物、耐火工業材料

赤谷商會

京都驛前 電話下2965
福岡市祇園町 電話2616
工場 東海道線向日町驛東

鋼板切斷
新古鐵材
株式會社

奥小路シャーリング工場

大阪市港區南境川町三丁目一八
電話西④ 長二三八番番
六六〇六三四番番

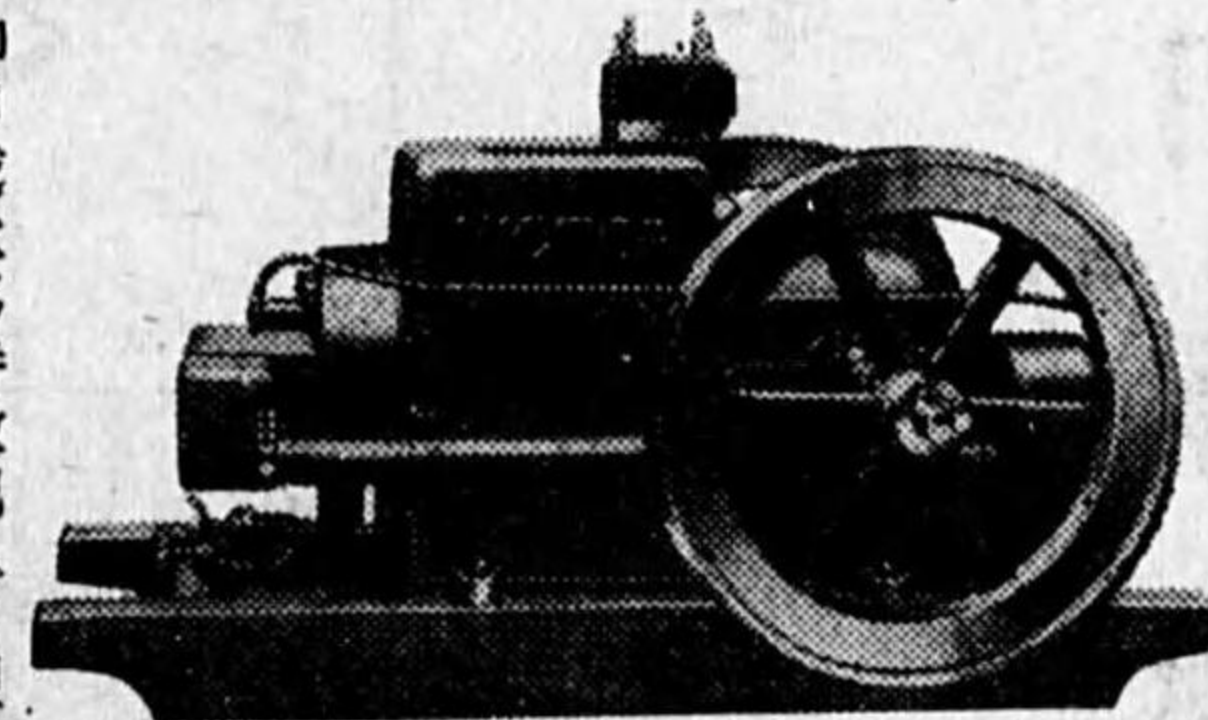


竹本シート商會

大阪市港區九條通四
電話西(43)4648
振替大阪79352番

オフセット式元祖
回轉式マグネット付

F型ビクター發動機



二馬力型

【シリンダー(氣筒)交換式】

農林省御推薦
ビクター發動機製造發賣元

大阪市東區谷町五丁目

野依商店機械部

電話東一八一五番番
振替大阪四一七〇九八番番
工場 大阪市東區三津屋北通四ノ二番九

御申越次第特徴記入ノ型錄進呈



萬歲貿易商會

東京 奉天 大阪 東京
東京サービス工場

東京市日本橋區通一丁目六番地
大阪市西區阿波座下通一丁目十番地
大阪市加茂區仲六郷一丁目十七番地

後一〇五

營業品目

自動車及航空機用品

優良舶來品

テオエエオテ
ルコルコル
シトコ
レミ
イパト
ク電
キ部
ラ分
ツ品

ハデエ
ルコ
シト
レミ
イパ
ク電
キ部
ラ分
ツ品

ラハデ
ウリコ
ウソハ
イシ
カイン
油ラ
圧ツ
式チ
電エ
機ヤ
ボテ
ーリ
工タ
具機

ススサアワ
トムモ
ンナウ
コツ修
ンル
ブオ機
リケ
ン工
タ具

リスス
ンナウ
コツ修
ンル
ブオ機
リケ
ン工
タ具

自動車用品輸出入商

優良國産品

ク・R・W
セ・フ・オ
ン・ド
ト
指
定
修
理
用
機
具

ス・メ
タ
ス
レ
ア
ム
コ
リ
コ
ス
ベ
ス
ア
リ
ン
グ

エ
ス
ケ
ー
ラ
フ
ル
ク
ロ
ー
ラ
ト
ロ
草
刈
機

マ
マ
古
芝
河
浦
テ
テ
テ
シ
シ
シ
ガ
バ
ト
ド
テ
リ
ル

電
機
具
品



ハガネ印

値段表進呈

營業課目

高級高速度鋼
各種炭素鋼
鑿岩機用鋼
ニツケルクロム鋼
ニツケルケル
耐酸鋼
スプリング鋼
各種特殊鋼
各省規格鋼

東京鋼材株式會社製品
關西一手販賣
英國サミルフオックス社製
矢印鋼發賣元

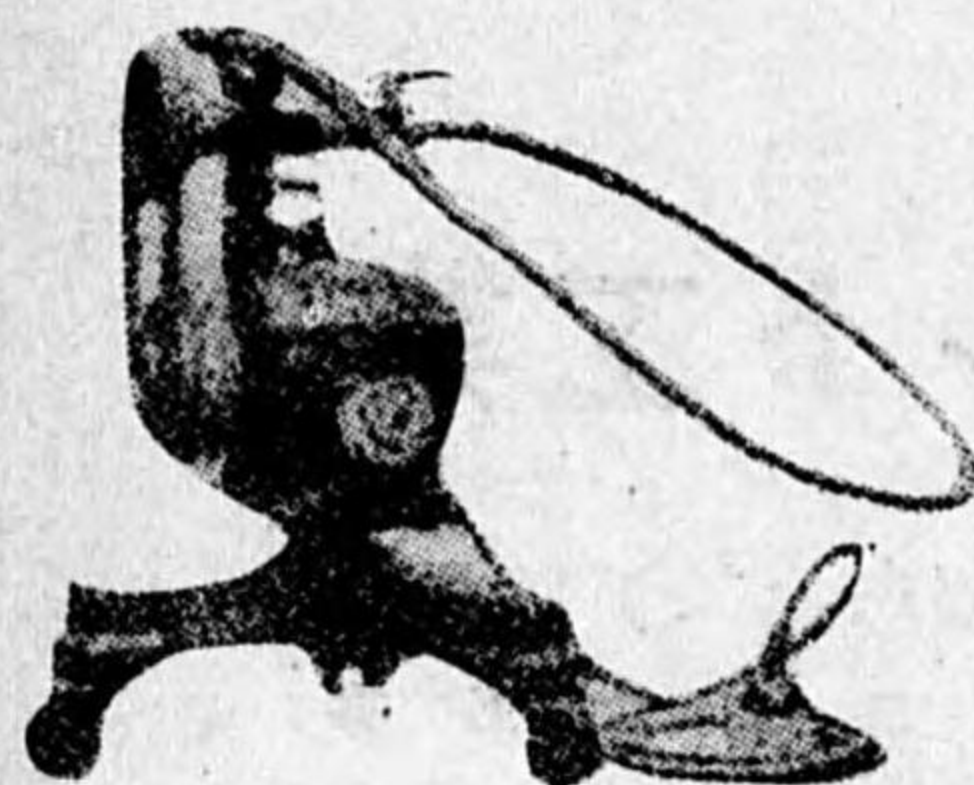
ハカマ鋼商店

大阪市西區立賣堀北通三丁目
電話新町一七六五・四二五六・二八三七
振替口座大阪五七八八一番・電略(ハカマ)又ハ(ハ)
九州出張所 福岡市下西町三九 電話一三二番

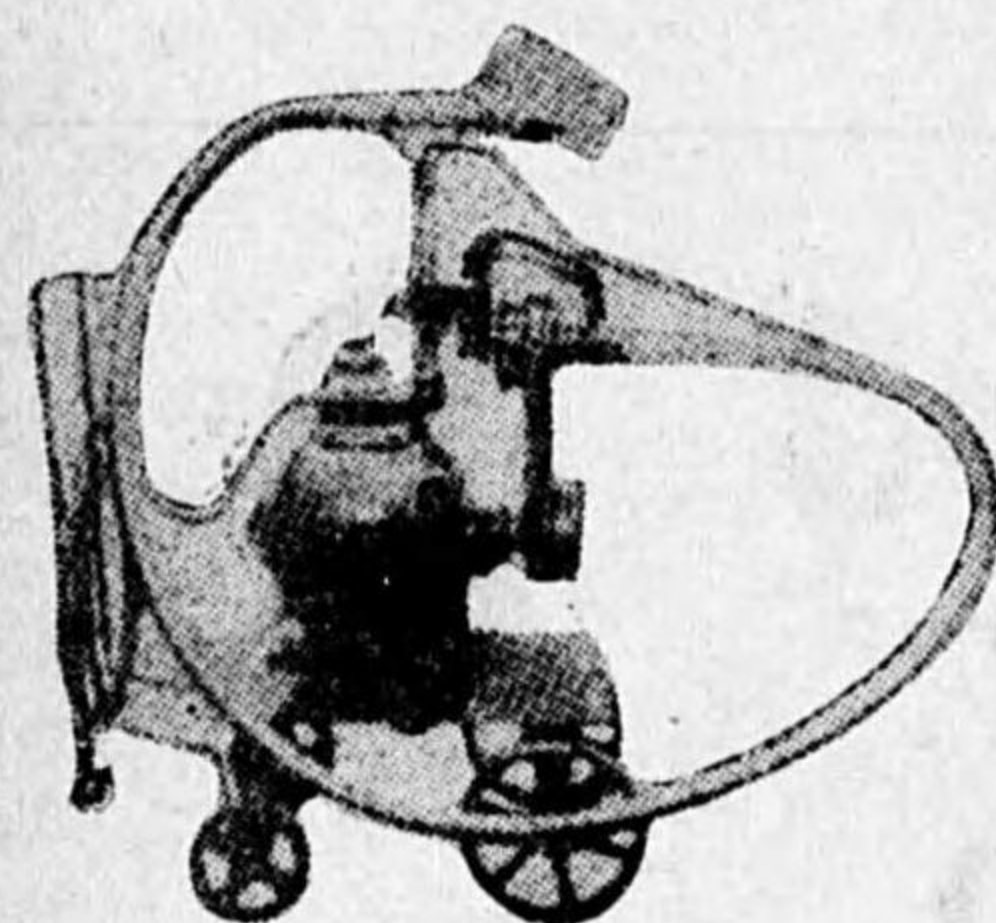
後一〇五

KEM

H.K.C-4 グラキンダー

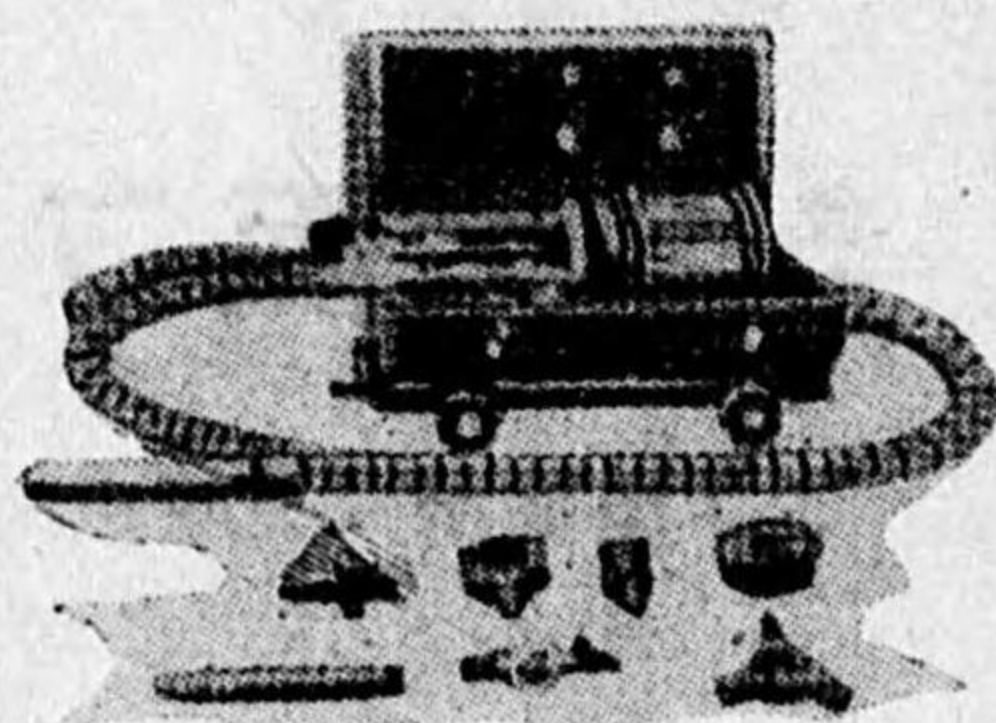


H.K.C-2 グラキンダー

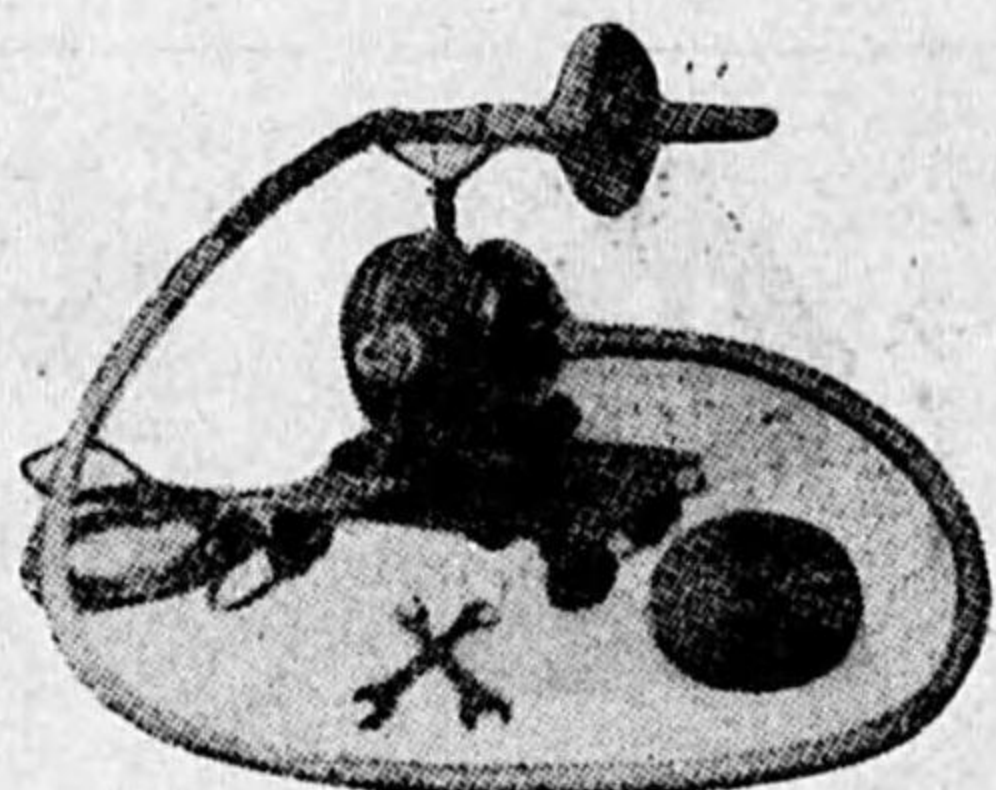


コイデ式フレキシブルシャフトグラキンダー

コイデ式
ボイラーチューブクリーナー



H. K. D-1 グラキンダー



精密機械・電動工具・コイデ式可撓軸電動萬能機

合資 會社 **小出兄弟商會**

大阪市東成區大今里町五七九番地

電話 東 { 1 1 8 9 番
 7 3 2 6
振替 大阪 9 1 5 8 7 番

後一〇七



AZA

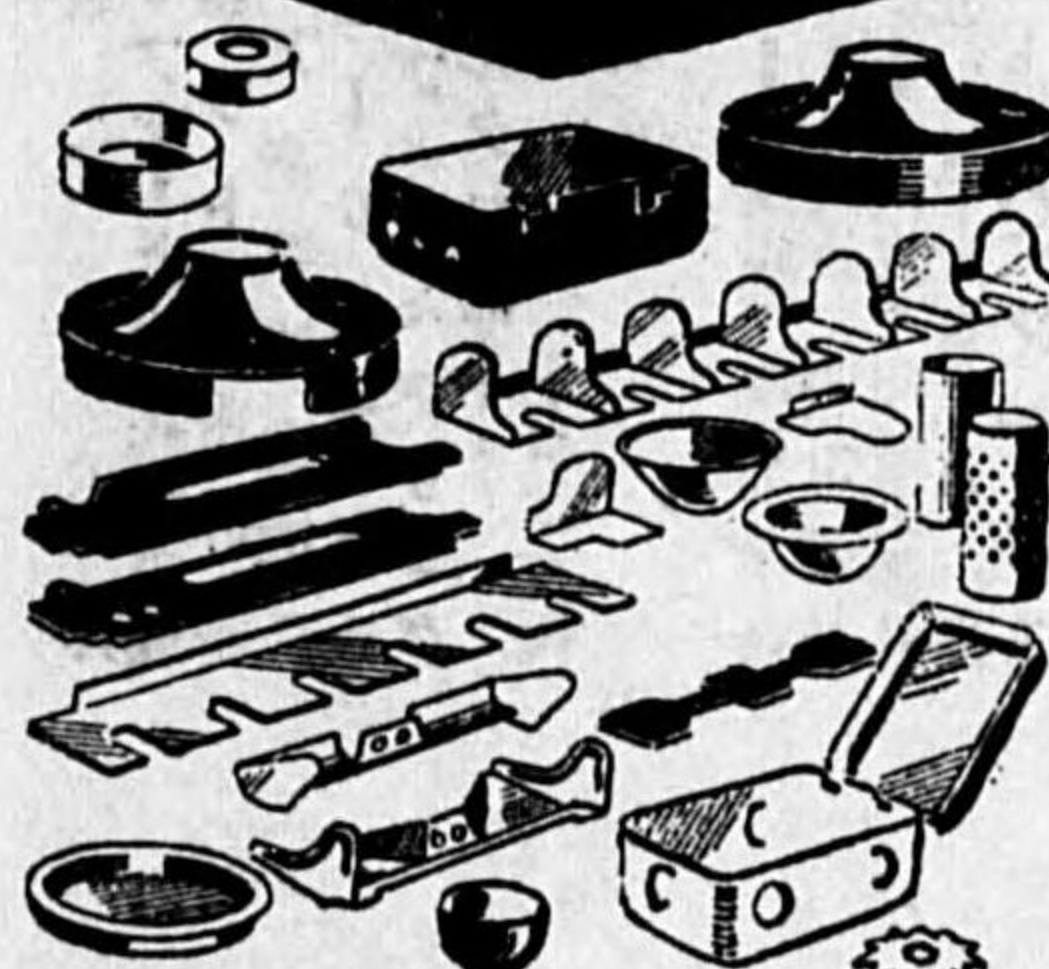
亞細亞工具製作所製品

十三ドリル製
カッター・リーマー
特約店
ドロップフォージ鍛造品製作販賣
亞細亞工具製作所製
チエインブロック

藤橋良商店

大阪營業所 大阪市西區南堀江一番町五十番地
電話 櫻川 四六七一
工場 大阪市東成區猪飼野町中通一丁目

式一業作スレプ属金種各



{ チツキス・用械機・用機紡・用機電 } 業鑄
{ 作製工加具器板鋼他其・スクツボ } 目課

所作製具器下木 OKK

地番一十目丁三町月抱區港市阪大
番 〇 八 〇 七 西 話 電

會株 會合 大
社式 社名 阪
釜 釜
吉 吉
製 鑄
作 鍊
所 所

後一〇六

鋼

自 業 品 官
 高 速 度 鋼
 高 級 工 具 鋼
 鑛 山 用 鋼
 規 格 鋼
 特 殊 鋼
 半 硬 鋼
 特 殊 鋼

合 資 會 社

植 野 商 店

大 阪 市 西 區 立 賣 堀 北 通 二 丁 目 二 番 地
 電 話 新 町 二 八 五 八 番 ・ 三 八 四 六 番 ・ 五 二 五 九 番
 振 替 口 座 大 阪 六 一 一 〇 九 番

後一〇九

牛 毛 毛 羊 毛 フ エ ル ト

合 資 會 社 大 阪 フ エ ル ト 工 業 所

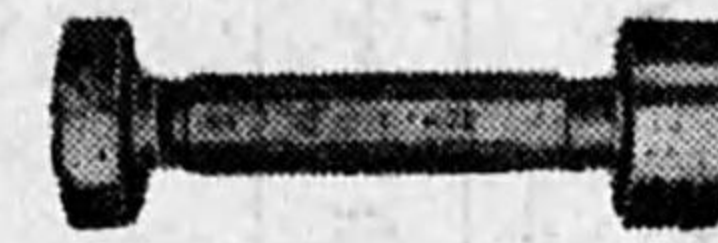
營 業 所 大 阪 市 此 花 區 上 福 島 北 二 丁 目 八 六

電 話 福 島 ④ 二 二 六 五 番

工 場 阪 神 沿 線 鳴 尾

電 話 西 宮 二 八 八 八 番

特許ブリーヨ



實用リミットゲージ



特許ブリーヨ

HRD

紡 織 機 械 部 分 品 傳 導 裝 置 一 式 機 械 工 具 金 物 機 械

各 種 リ ミ ッ ト ゲ ー ジ 特 許 ブ リ ヨ ー

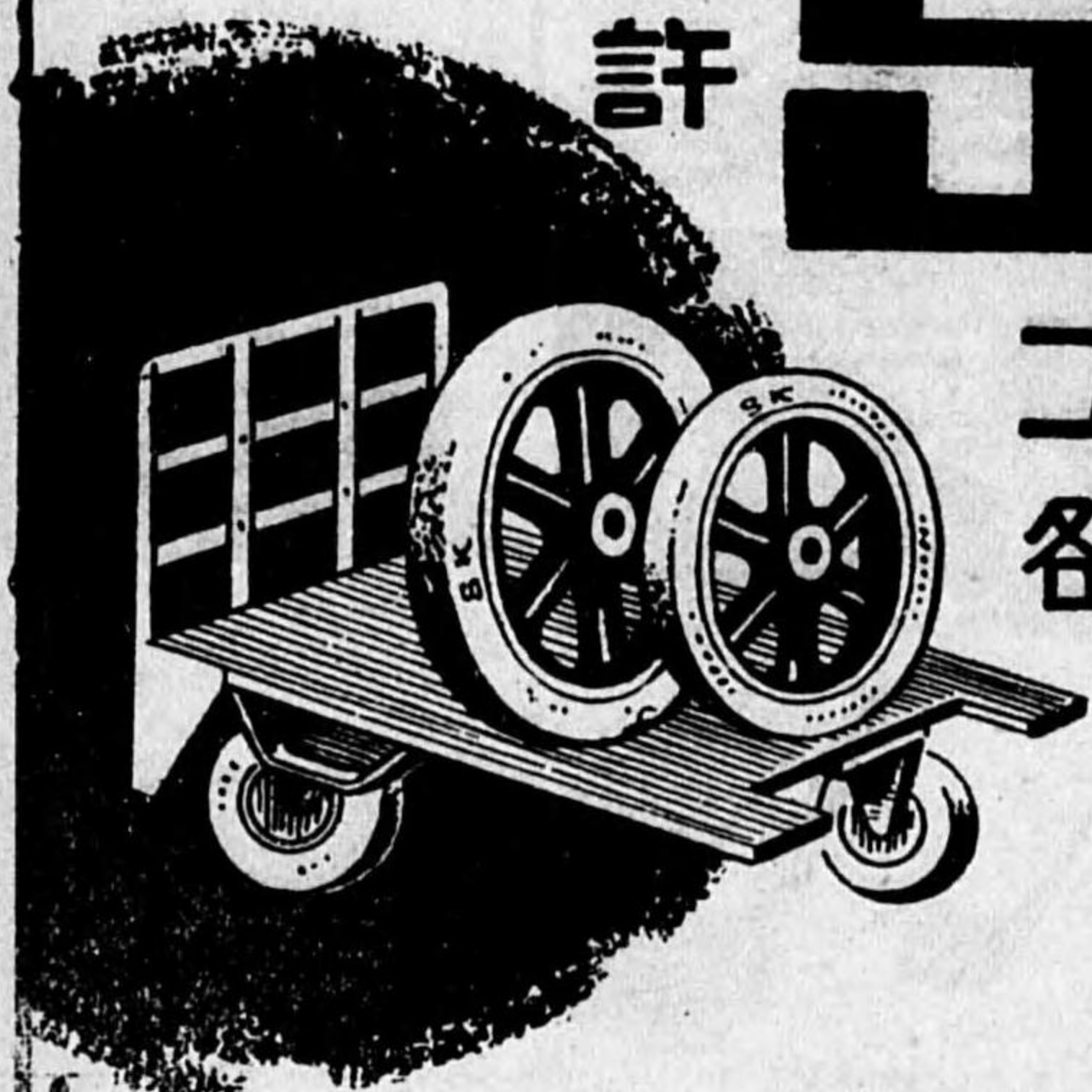
製 造 發 賣 元

原 田 商 店

大 阪 市 旭 區 蒲 生 町 三 三 四 電 話 旭 二 九 八 三 番

後一〇八

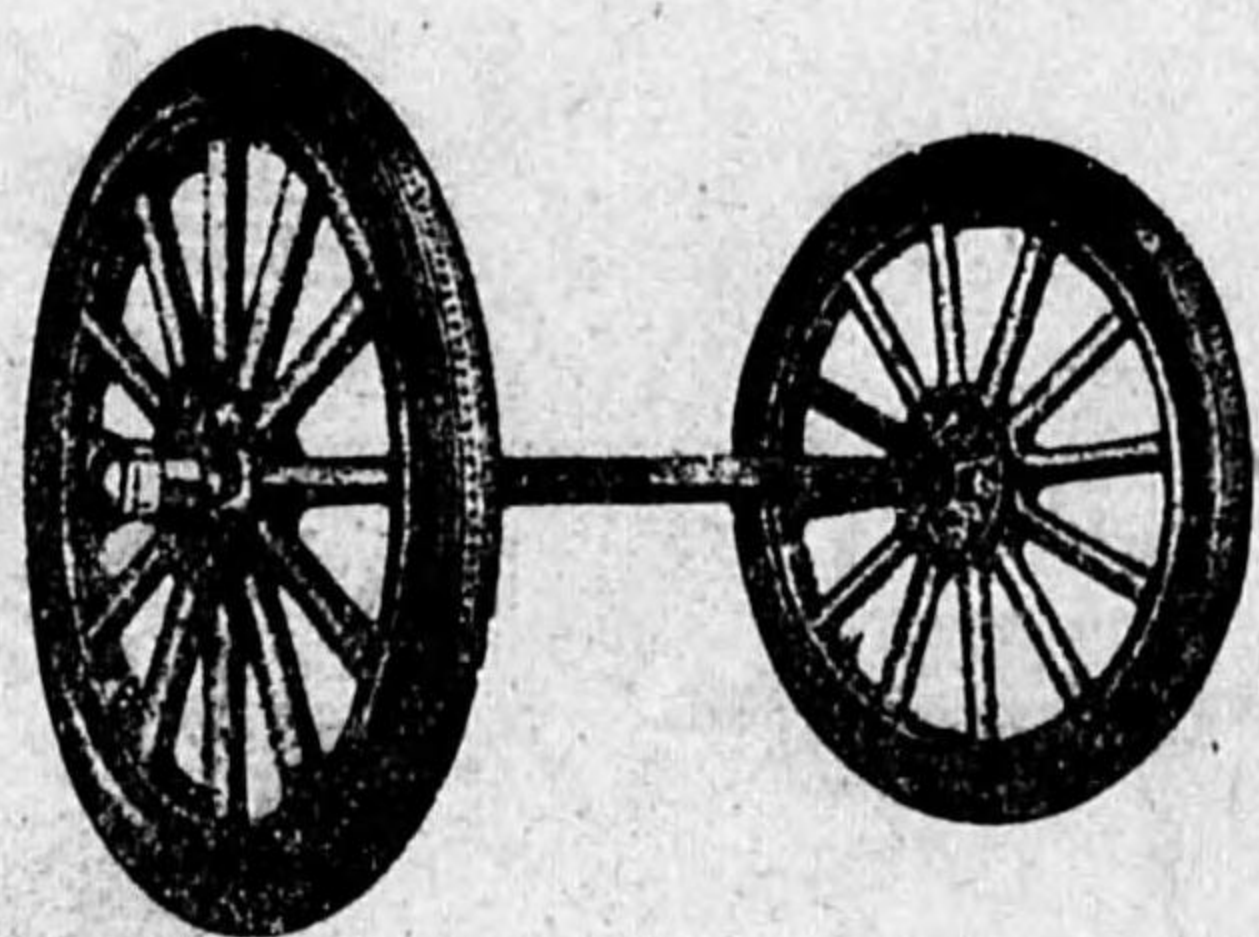
特許 **SK**



ゴム車輪と
各種運搬車

人絹紡績
諸工場用

其食様チロピ木織
他器卷|||管布
各ススム運運
種運運運運
運搬搬搬搬搬
車車車車車車車



大阪市西區新町通三丁目

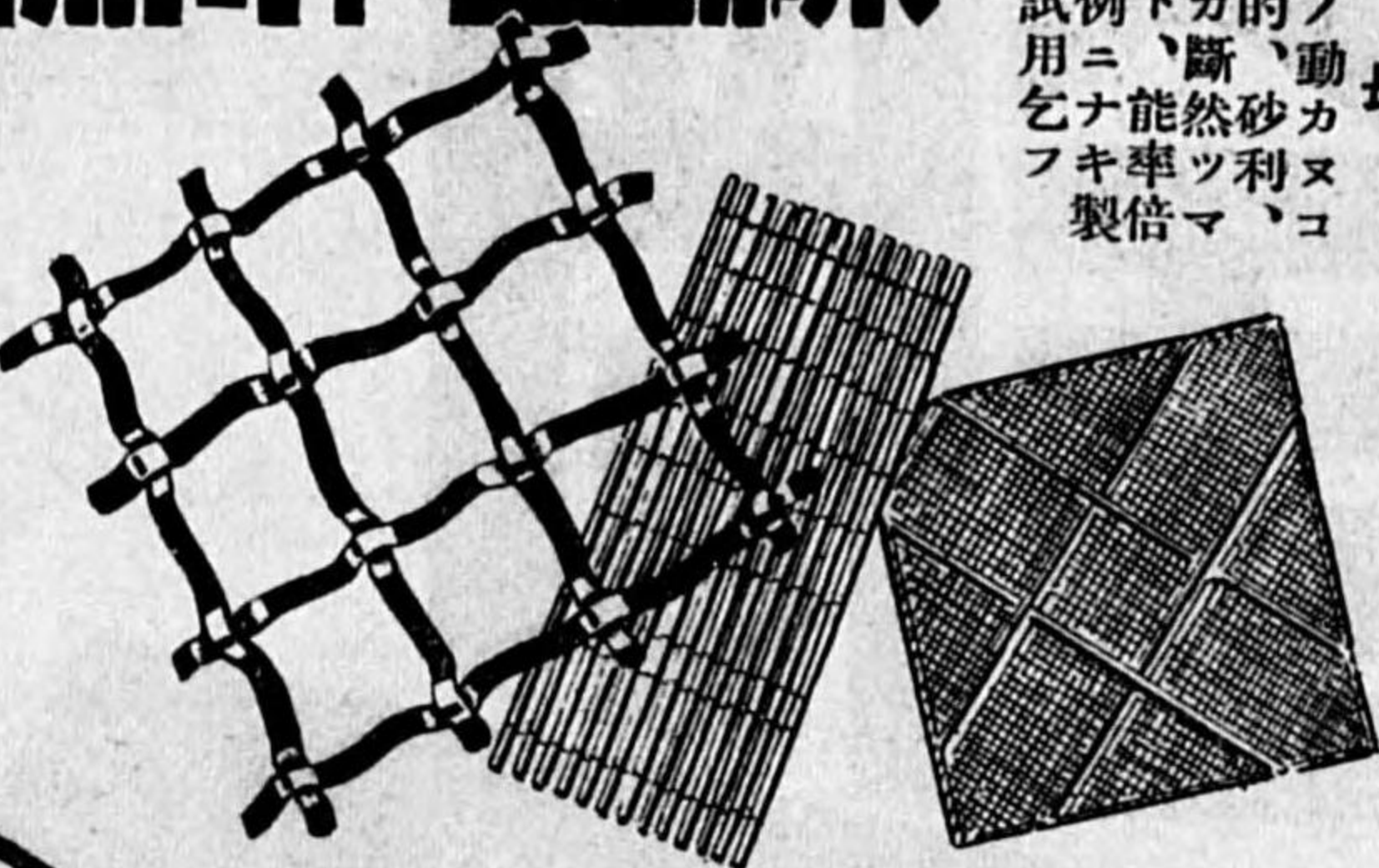
日本ゴム車輪製作所

電話新町二六六四番・振替大阪九一六三九番

後一一一

金網ト直線

弊工場獨特ノ新考案
クリンク金網新形製作
特長
十字點ノ動カマコ
ト絶體的砂利マ
小石等ガ断然ツマ
ラヌコト能率倍
加、前例ニナキ製
品、御試用乞フ



ダストケージ、ローラー、ホ
ツト、砂利採取船用金網、針
金直線寸法切、人絹用、口
力用金網



兒島金網製作所

大阪 市西區幸町五丁目二二番
工場 大阪市西成區津守町七四一
電話 櫻川 ④一〇一二番

營業品目

パイロメーター各種
記録式各種温度計
自動温度調整器
各種精密高級電気計器



精電社製作所

大阪市東淀川區野中南通三丁目七番地

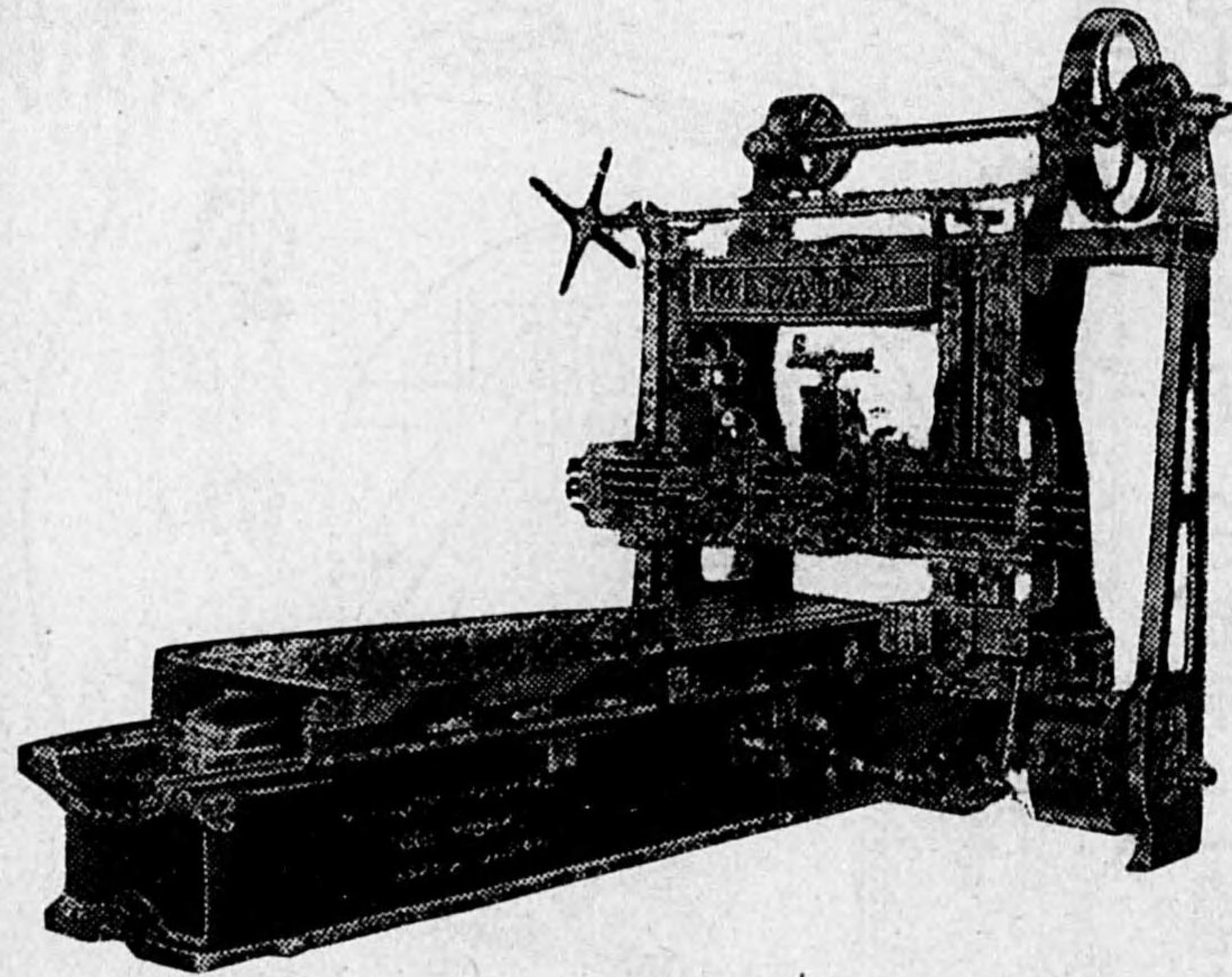
電話北 ④四六八二番

後一一〇

高級シカル盤製作専門

プレナーノ御注文ハ専門工場へ
製品ハ當工場ニテ試運轉嚴密
調査ノ上渡シ識者間ニ絶體信用ヲ有ス

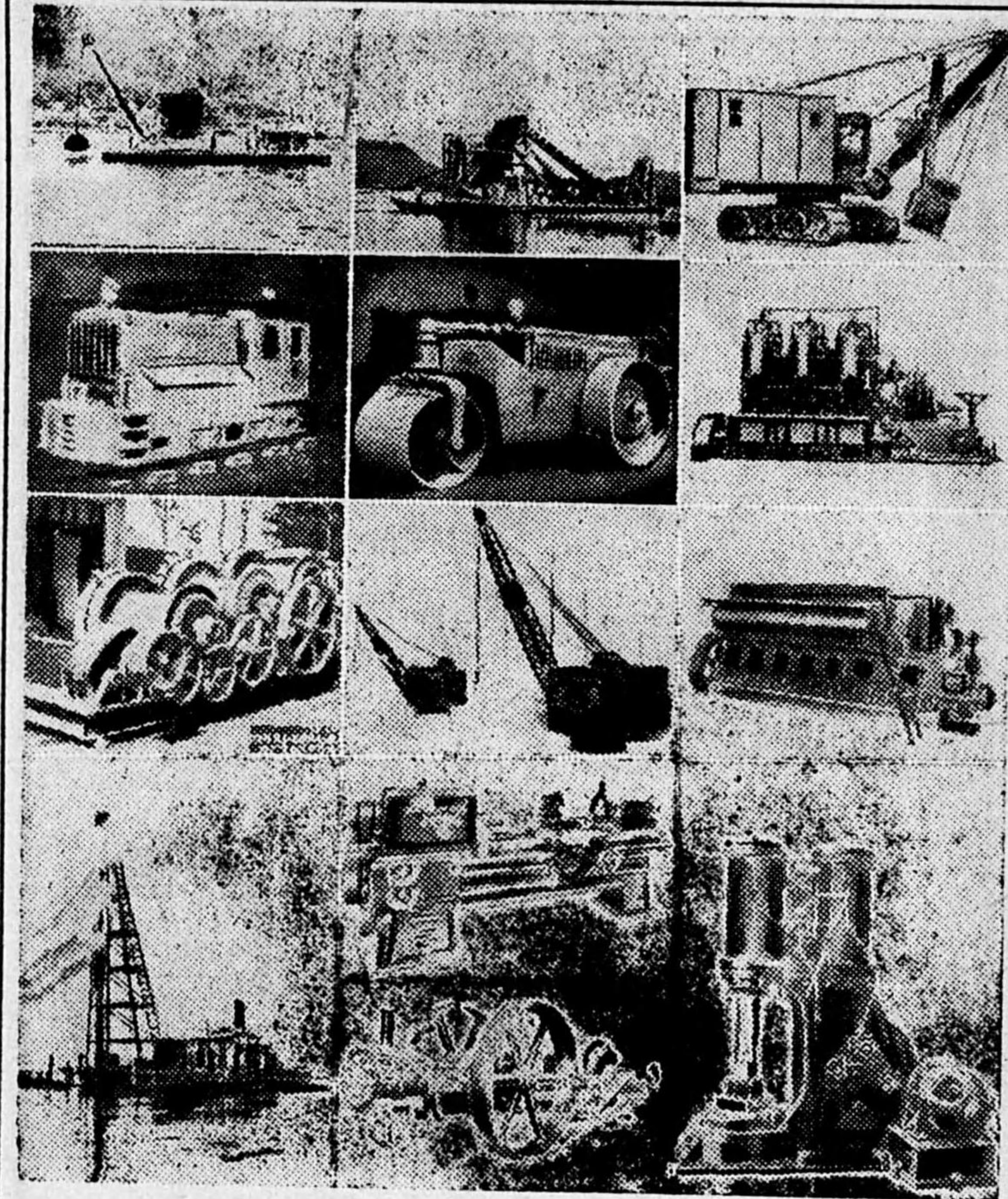
(乞御照會・型錄進呈)



宮内工 作 所

大阪市東成區森町南二丁目四三番地
電話 東 二 五 二 七 番

後
一
三



取扱品目

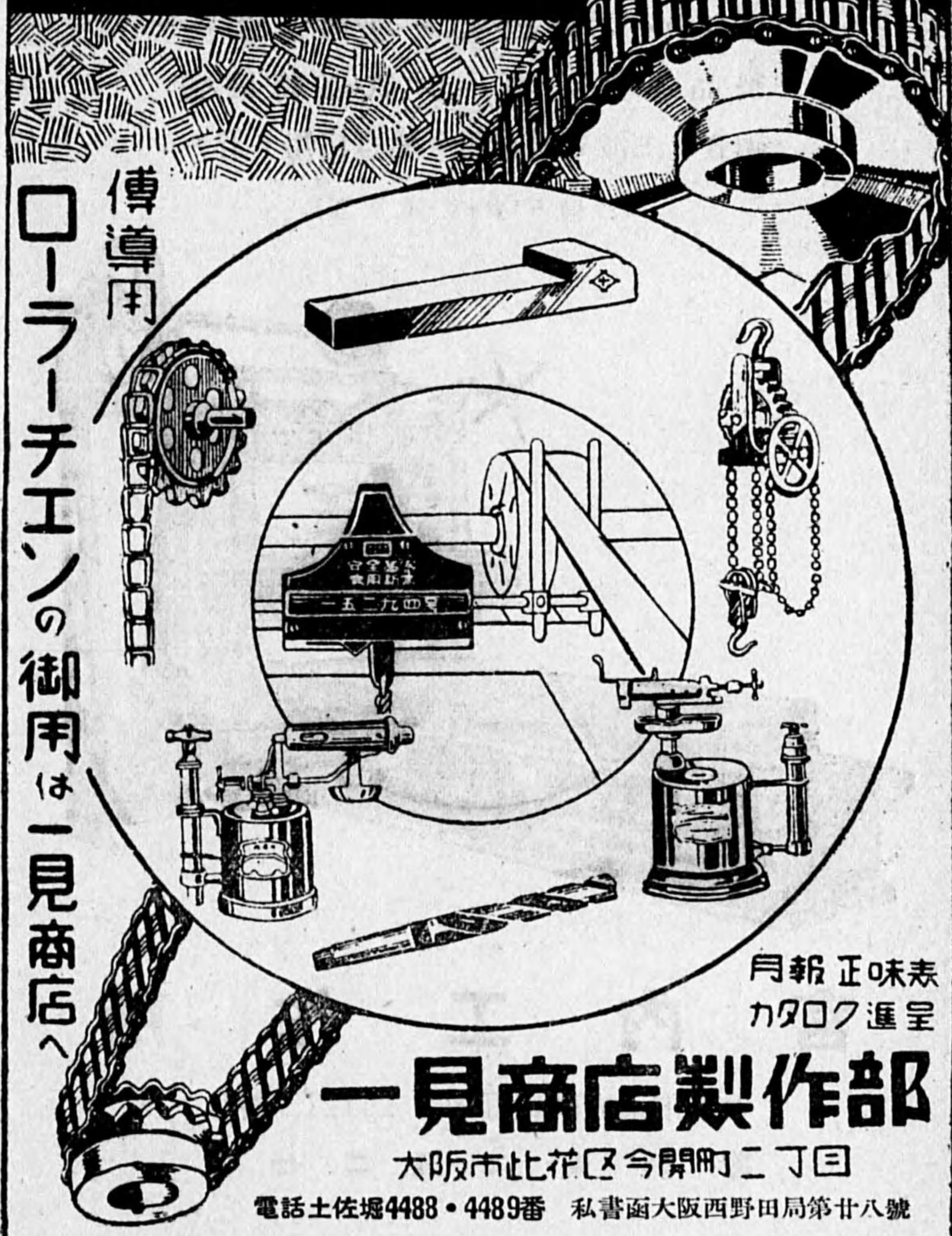
土 建 鎖 電 工 造 原	木 架 山 氣 作 船 動	諸 諸 諸 諸 諸 諸	機 機 機 機 機 機	械 械 械 械 械 械	其 他
---------------------------------	---------------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	--------

片岡商店

大阪市南區末吉橋通四丁目一六番地
(新橋ビルディング)
電話 船場三五二四番

後
一
三

“ROK”



傳導用
ローラーチェーンの御用は一見商店へ

月報正味表
カタロク進呈

一見商店製作部

大阪市此花区今開町二丁目

電話土佐堀4488・4489番 私書函大阪西野田局第廿八號

後二一四

シ リ ト カ ゾ
リ 降 性 硫 酸
沈 降 性 硫 酸
鹽 化 化 化
硝 酸 酸 酸
炭 酸 酸 酸
化 學 學 學
化 學 學 學
並 用 分 析 用 藥 品



向陽化学工業株式会社

代表取締役 井 碩 健 祐

本 社 堺 市 向 陽 町 四 〇 三 番 地
電 話 一 三 三 八 番
大 阪 西 區 阿 波 座 上 通 一 〇 四 番 地
電 話 新 町 三 八 九 六 番
大 阪 營 業 所 堺 市 元 宮 通 一 丁 目 一 三 番 地
電 話 三 二 四 三 番

後一一五

大阪市東區大手通二六

株式會社

松

村

組

支店 東京、京都、名古屋、小倉
滿洲營業所 新京 中央通 一九

大阪市東區農人橋二丁目十二番地

合名會社

大

阪

橋

本

組

支店

東京市丸ノ内二丁目丸ビル七階
小倉市大字中井一三五〇番地

大阪市北區中ノ島(朝日ビル)



株式會社

竹中工務店

支店

東京・京都・神戸
名古屋・福岡

出張所 横濱